

留学ガイド 2026

STUDY ABROAD GUIDE

留学ガイド2026 目次

所長メッセージ	1
留学プランニング	
留学は、世界に羽ばたく第一歩	2
自分の留学計画を具体化させよう	2
主な語学検定試験	8
2026年度国際交流センター・年間スケジュール	10
プランニングチャート	12
留学制度	
獨協大学の留学制度	14
短期留学 共通事項	18
短期協定校留学	18
短期協定校 留学プログラム	19
短期協定校留学体験記	24
短期協定校留学オンラインプログラム・参加体験記	25
短期協定校留学テンプル大学ジャパンキャンパスプログラム	26
短期認定留学	28
2026年度短期認定留学プログラム一覧	29
短期認定留学（学外ドイツ語活動）	30
短期認定留学体験記	31
短期留学 Q & A	32
短期留学により修得した単位の認定について	33
長期留学 プランニングから留学出発まで	38
交換留学	
交換留学の資格・条件	40
2027年度交換留学募集要項	44
協定校情報	48
認定留学	
認定留学の資格・条件	70
これまでの認定留学先大学一覧	76
長期留学生（交換・認定）共通事項	
留学期間の延長	78
奨学金	78
留学前に行うこと	82
渡航手続き	84
留学時の学納金の取り扱い	86
留学中に行うこと	87
留学後に行うこと	88
長期留学により修得した単位の認定について	90
長期留学 Q & A	99
長期留学体験記	102
危機管理・安全対策	
安全な海外留学のために	110
危機管理	112
海外渡航時に役立つサイト	121
就職活動	
留学と就職	122
長期留学した学生の主な進路一覧	123
留学経験者による就職活動レポートとアドバイス	124
留学統計資料	126

「留学ガイド2026」の掲載内容に変更が生じる場合があります。

所長メッセージ

留学への一歩はここから

国際交流センター所長

浅岡 千利世

国際交流と聞いて、皆さんはどのようなことを思い浮かべるでしょうか。海外留学、英語など自分の母語とは異なる言語でのディスカッション、外国人の友人——そうしたイメージを持つ人も多いかもしれません。一方で、「自分には少しハードルが高い」と感じる人もいるのではないのでしょうか。

しかし、国際的な学びは、海外へ行くことや流暢に話すことから始まるわけではありません。言葉に迷いながら相手の話を聞こうとすること、自分とは異なる考え方に会い、戸惑いながらも理解しようとする事。その一つひとつが、すでに国際交流の大切な一歩です。

国際交流センターは、そうした小さな一歩を安心して踏み出せる場所でありたいと考えています。英語などの外国語が流暢でなくても構いません。異文化について詳しくなくても問題ありません。大切なのは、「うまくできるか」よりも、「やってみようとする事」です。

交流の中では、思うように伝えられなかったり、誤解が生じたりすることもあるでしょう。けれども、その経験こそが、自分自身の視野を広げ、他者との向き合い方を考えるきっかけになります。国際交流とは、わかり合うことを目指しながら、わかろうとし続ける過程そのものだと言えるかもしれません。

国際交流センターでは、留学生と本学の学生が共に学び合い、支え合えるさまざまな機会を用意しています。イベントやプログラムへの参加はもちろん、ふらりと立ち寄って話をするだけでも構いません。ここでの出会いや経験が、皆さんの日常の学びと静かにつながっていくことを願っています。

この場所が、皆さんにとって「挑戦しても大丈夫だ」と思える空間であり続けられるよう、私たちが共に考え、歩んでいきたいと思えます。国際交流センターでの時間が、皆さんの世界を少し広げるきっかけとなることを心から願っています。



留学プランニング

Study Abroad Planning

》 留学は、世界に羽ばたく第一歩

獨協大学では、長期休業期間を利用した短期留学プログラム（夏季・春季）と、1～2学期間にわたり留学する長期留学プログラムを用意しています。短期留学は語学力の向上や異文化・生活体験を目指すものであり、長期留学は専攻分野の学習・研究を主目的としています。自分の目的と本学の留学制度を照らし合わせ、自分に合った留学計画を考えてください。

留学は、留学形態にかかわらず十分な準備が必要となります。特に、1～2学期間にわたる長期留学の場合は、留学先大学への出願手続きやそのための語学能力試験の受験準備も含め、留学に出発する約1年半以上前から準備を始めることが求められます。留学に関する情報収集や語学能力試験のスコア取得に向けてできるだけ早い時期から取り組みましょう。

ただし、留学がゴールというわけではありません。卒業までに大学でどのようなことを身につけたいかという長期的な学習計画、卒業後の進路を視野に入れた人生計画のステップのひとつが留学なのです。

まずは、この「留学ガイド」に目を通すことから留学準備を始めてください。



自分の留学計画を具体化させよう

留学は、留学費用の準備や保証人の同意や協力を必要とすることから、自分の力だけですぐに実現できるものではありません。留学を実りあるものとするためにも、入念に留学計画を立て、早めに準備することが大切です。

1. 留学目的の明確化

留学したいと思ったら、まず留学の目的を明確にしましょう。留学は、語学力の向上、国際感覚の醸成、複眼的な視点の獲得、異文化理解など、得るものが多い反面、肉体的、精神的、金銭的な面で大きな負担がかかります。それだけに、「ぼんやりとした留学のイメージ」を可能な限り具体化させ、目的を明確にすることが大切です。

留学中は、言葉の問題のみならず、文化や習慣の違いからくるストレス等、さまざまな問題に直面します。留学の目的・目標をしっかりと持つことは、これらの困難を克服し、大きな留学成果を上げるための重要な基盤であると言えます。まず、「留学後にどんな自分になりたいのか」を想像しながら、留学計画を立ててみましょう。



- ①なぜ留学をしたいのか？
- ②何を目的に留学をするのか？
- ③その目的は留学をしなければ達成できないのか？
- ④留学を通して何を手に入れたいのか？
- ⑤留学の経験を将来どのように活かしたいのか？

2. 留学情報の収集・留学先の選定

留学に関する正確な情報を得た上で、自分に合った留学先を選びましょう。情報収集の際には、二次情報ではなく、必ず「オリジナルの情報源」から最新情報を得よう心がけてください。大学の情報を得るには、各大学のHPが最も確かな情報源です。提供されている授業、学内外周辺環境、宿舎の情報、おおよその生活費等、多くの情報を入手することができます。国によっては、駐日大使館のHP上で留学情報を提供している場合もあります。また、

指導教員や受講している授業の教員に積極的に相談することも重要です。

ビザ取得の手続きや現地の治安に関しては、駐日大使館のHPや外務省が提供している海外安全情報等を確認し、最新の情報を入手するようにしましょう（P.121「海外渡航時に役立つサイト」）。

留学先の選定にあたって考慮すべきポイントは、①学びたい分野、②国・地域、③留学時期・期間、④大学・機関の特徴・規模・施設・地域環境・留学生数、⑤出願時に要求される能力（成績・語学力等）、⑥学費その他の必要経費等です。特に重要な点は、留学先の学科や設置科目の内容が、自分の専攻分野や関心に見合ったものであるかということです。各大学・機関のHPや学校案内（Catalog、Bulletin等）で確認しましょう。



- ①学びたい分野は？
- ②留学したい国・地域は？
- ③留学する期間、留学開始時期は？
- ④どのような大学（規模・施設・環境）に留学したいのか？ 等

インターネットや書籍等を活用し、自分自身で情報収集する習慣をつけましょう。

3. 国際交流センターに相談してみよう

「留学に興味はあるけれど、何から準備を始めたらいいか、わからない」という人は、まず天野貞祐記念館2階にある「国際交流センター」を訪ねてみましょう。各言語圏別にスタッフが相談に応じるほか、さまざまな留学関係の書籍、資料等を取り揃え、一部貸出も行ってあります。また、留学から帰国した学生のアンケート等も閲覧できます。

窓口オープン時間	通常：月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00 ※夏季休業期間中の開室についてはPorTaⅡ掲示板【お知らせ・ご案内】をご確認ください。
場所	天野貞祐記念館2階

一般的な留学相談については、窓口オープン時間であれば、曜日に関係なくいつでも相談に応じますが、内容により別途予約をお願いする場合があります。

またZoomによる留学相談も行っています。オンライン予約システム（DOORS）から事前予約してください。変更がある場合は、PorTaⅡ掲示板【留学支援・国際交流】でお知らせします。

4. 留学説明会、語学試験説明会に参加してみよう

国際交流センターでは毎年4月に行う「海外留学ガイダンス」をはじめとして、さまざまなセミナー、説明会や交流会を開催するほか、留学や海外体験に関する情報提供を行っています。主なものはP.10の2026年度国際交流センター・年間スケジュールに記載しています。詳細はPorTaⅡ掲示板【留学支援・国際交流】で告知します。

5. 留学時期・期間の決定

【短期留学】

短期留学は、大学の夏季休暇・春季休暇を利用して海外の提携大学等で行われる約1ヶ月の「短期集中語学研修」で、原則として誰でも参加できます（定員超過の場合のみ選考あり）。なお、参加時期に卒業を予定している8学期生は、本学卒業（3月20日または9月20日）までに終了するプログラムに限り参加できます。

【長期留学】

長期留学は、2～3年次に留学した場合は留学期間を含めて4年間で卒業することも可能ですが、単位の認定および修得状況により卒業時期が延びる可能性があります。卒業後の進路やこれまでの学習状況等を勘案し、無理のない計画を立てましょう。

また、日本と他国の学年暦の違いが障壁になる場合があります。海外の大学の多くは通常8～9月が年度開始時期となっており、この時期から留学を開始するのが一般的です（学事日程により春学期から留学が開始できない国・地域・留学先があります）。年度始めにオリエンテーションがあることや学習環境への適応を考えると、留学開始を現地の年度始めに合わせる事が望ましいと言えます。基本的には学期ごとに入学できるシステムになっている大学でも、留学生に対しては年度始めだけに制限している場合もあります。

オーストラリア、韓国等は2～3月が年度始めとなっており、獨協大学の学年暦とほぼ対応しています。このような地域へ4年次に留学した場合は4年間で卒業できる可能性もありますが、帰国してすぐに卒業となるので、留学前に単位修得の条件等を必ず教務課各学部係窓口で相談するとともに、就職、大学院進学等、卒業後の計画を綿密に立て、キャリアセンターにも相談しながら準備をする必要があります。



留学の目的、留学希望先の国・地域、在学中の学習・履修計画に合わせて、最適な留学プログラムを選びましょう。

6. 留学資金計画

留学は学力、語学力とともに、留学経費をまかなうことのできる財政能力が重要です。留学費用は、渡航前の準備段階から発生します。例えば、語学能力試験の受験料、留学が決まった後は渡航費、ビザ申請費、保険料が必要になります。渡航後の留学費用の大部分は授業料と生活費（住居費・食費等）で、このほかに教材費、通信費、その他雑費等が加わります。留学経費は、国および地域、大学（公立・私立の別、協定校の場合は協定内容）、住居や食事の形態（学生寮・アパート、外食・自炊等）によって異なります。短期留学では約40万円から90万円程度、長期留学では1年間に約150万円から400万円以上かかるところもあります。また外国為替レートの変動により想定以上に費用がかさむこともあります。

留学先、渡航国によっては、留学経費を負担できる経済力を証明できないと入学許可書およびビザが発行されません。一般的には本人の銀行残高証明書や奨学金の受給証明書を提示する必要があります。

以上のことを念頭に、綿密な資金計画を立ててください。また、獨協大学の交換・認定留学制度を利用して留学する場合は、奨学金を申請することもできます（P.78～）。なお、留学先での就労は、多くの国で原則として禁止されています。

【長期留学の費用】

留学に必要な費用の主なものは、次の通りです。

1. 留学・渡航準備にかかわる費用

パスポート・学生ビザの取得、留学準備のため個人的に参加する語学研修の授業料等

2. 往復渡航費

3. 留学先大学へ支払う授業料、施設費等

留学中は、本学への授業料は全額免除されます。ただし交換留学では、協定に基づき、留学先大学へ授業料を納入する代わりに、獨協大学へ授業料を納入する場合があります。

※長期留学中の本学への学納金および大学からの学納金納付案内のスケジュールについては、P.86をご確認ください。

4. 住居費

5. 保険料等（本学が加入を義務づけている海外旅行保険等（P.112参照）、渡航国・地域や留学先が加入を義務づけている医療保険等）

6. 食費、書籍・教材費、被服費、交通費、通信費等、日常生活に必要な費用

【認定留学に必要な費用概算（参考）】

以下に示す費用は、2024年度までに認定留学した学生から提出された留学アンケート等の結果に基づくものです。ただし、留学する大学や地域等によって異なる場合があるため、あくまでも目安として利用しましょう。

留学先	留学先大学へ支払う 登録費・学費等（年額）	学費以外に現地で 必要な費用総額（年額）	獨協大学へ支払う費用※	
			入学年度 2016～2023年度	入学年度 2024年度以降
ドイツ語圏の大学	400～3,350ユーロ（州による）	11,000ユーロ	施設設備費 および 学生教育研究災害傷害 保険料 280,800円／年 ＋ 父母の会年会費 12,000円／年	教育充実費 （在籍基本料分） および 学生教育研究災害傷害 保険料 160,800円／年 ＋ 父母の会年会費 12,000円／年
英国の大学	10,000～17,000ポンド	9,100～11,400ポンド		
オーストラリアの大学	15,000～33,000豪ドル	16,000～20,000豪ドル		
アメリカの大学	13,000～28,000米ドル	15,000～20,000米ドル		
カナダの大学	12,000～20,000カナダドル	12,000～15,000カナダドル		
フランスの大学	2,000～7,500ユーロ	12,000～14,000ユーロ		
スペインの大学	7,000～10,000ユーロ	7,000～12,000ユーロ		
メキシコの大学	32,000～44,000メキシコペソ	48,000～110,000メキシコペソ		
中国の大学	17,000～30,000元	50,000～60,000元		
台湾の大学	110,000～160,000ニュー台湾ドル	150,000～300,000ニュー台湾ドル		
韓国の大学	600万～1,000万ウォン	1,000万～1,500万ウォン		

参考：1米ドル≒153円、1ポンド≒208円、1カナダドル≒112円、1ユーロ≒182円、1豪ドル≒106円、1メキシコペソ≒8円、1元≒22円、1ニュー台湾ドル≒5円、1ウォン≒0.11円（2026年2月時点）

交換留学の費用は、各協定校の紹介ページ（P.48～）を参照してください。

※長期留学中の本学への学納金および大学からの学納金納付案内のスケジュールについては、P.86をご確認ください。

7. 学力の向上

留学先の受入れ可否の決定には、獨協大学の学業成績（GPA）（P.41参照）が考慮されます。また、十分な留学成果を収めるには、その裏付けとなる基本的な学力が備わっていることが必要です。さらに、留学先では授業中の発言や積極的な参加態度も大事な評価対象となりますので、知識を増やすだけでなく、自分の意見を持ち、進んで発言することを日頃から心がけましょう。



留学のためには、語学力だけでなく学業成績（GPA）も重要です。

獨協大学で履修する授業にも日頃から真面目に取り組み、良い成績を修められるようにしましょう。

8. 語学力の向上

語学能力の向上を目的とする短期留学プログラムでは、一部のコースを除き語学スコア等の参加要件はありませんが、長期留学の応募には語学スコア要件が設けられていますので、留学先大学の要件を確認する必要があります。

HP等で調べ、受験プランを立ててください（交換留学希望者は、P.44～の応募条件を参考にしてください）。語学試験の受験準備は留学先選びや情報収集と並行して、またはそれ以前から始める必要があります。各種語学検定試験については、本冊子を参照するとともに、自分で実施団体のHPを確認しましょう。

語学力の向上には、地道な勉強が必要です。学内の施設や視聴覚教材、外国語講座を最大限活用し、語学力を高める努力をしてください。

●図書館

- ①3階 言語・語学エリア：多読本、語学検定試験対策の本、CDも借りられます。Maruzen eBook Library収録タイトルなど、オンラインで利用できる英語多読本もあります。
- ②3階 AVコーナーブース：DVDなどで各国の映画を活用しましょう。
- ③3階 発話トレーニングブース：ALC NetAcademy（アルクネットアカデミー）などを使って、発音・発話練習ができます。教科書の音読もOKです。
- ④1階 日本学コーナー：日本について外国語や対訳で書かれた資料を言語ごとに配架。日本を紹介する際に役立ちます。
- ⑤1階 新聞コーナー：英字新聞をはじめ外国語の新聞が読めます。ドイツ語新聞は電子版もあります。Nexis Uni[®]などのデータベースを使えば、世界の新聞を検索して、記事を読むこともできます。
- ⑥Galeデータベース：地球規模の社会課題について学習に役立つ文献を収録。英語の難易度表記、音声情報のテキスト付。

●ICZ (International Communication Zone) 天野貞祐記念館3・4階 (全学生利用可能)

- ①チャットルーム：無料会話レッスン(ドイツ語/英語/フランス語/スペイン語/中国語/韓国語)(P.7参照)
- ②マンツーマンオンライン英会話：PorTaⅡ掲示板を参照し申込
- ③ピアサポーター：語学学習に力を入れている先輩に、外国語力向上のアドバイスや経験を教えてもらえます。
- ④各言語圏ルームでアクティブ・ラーニング：新聞、雑誌、マンガ、CD、DVD、世界のラジオ放送等
- ⑤各種語学検定試験の受験料補助、対策講座の実施(P.8、9参照)
- ⑥留学生との交流・情報交換の場として利用しよう！
- ⑦なんでも相談：大学院生等によるドイツ語/英語/フランス語の学習相談
参考情報は、P.23をご確認ください。

●英語学習サポートルーム (English Learning Support Room) 中央棟1階

全カリ英語履修 8学科対象 (ドイツ語学科、フランス語学科、経済学部、法学部)

- ①英語学習相談：英語学習アドバイザーが学習上の悩みや疑問に答え、個人に合わせた学習計画の支援を行います。英語学習サポートルームの窓口などから予約可能
- ②ミニ講座：昼休みに、英語学習アドバイザーが効果的な学習法などのワークショップを実施
- ③ELSR Newsletter：英語学習に役立つ情報満載のニュースレターを定期的に発行

●言語別学習相談コーナー

①CCE (Consulting Corner for English) (英語) 【言語文化学科対象】

- ・英語学習サポート：言語文化学科の英語担当教員が個人・グループ相談を受け付け、英語力伸長を支援します。
- ・ワンポイントアドバイス講座：テーマを設け、英語学習のヒントをお届けします。

②CCC (中国語)、CCK (韓国語)、CCS (スペイン語) 【全学科対象】

各言語の担当教員が各言語の学習に関する相談を受け付け、言語能力の伸長を支援します。

上記①と②の相談スケジュールなど詳細はPorTaⅡで案内しています。相談の予約は、オンライン予約システム「DOORS」を通じて行ってください。空きがあれば当日参加可の言語もありますので確認してください。



- ・長期留学（1～2学期間）には、一定の語学力が求められます。
- ・語学力は一朝一夕では身につかないので、留学時期にかかわらず、早いうちから継続的に学修する必要があります。
- ・学部留学を希望する場合は、ほとんどの大学で指定の語学検定試験（英語の場合はTOEFL iBT[®]、IELTS[™]など）のスコア提出が求められます。受験機会は限られており、スコア入手までに時間を要しますので、早めに受験準備をしましょう。
- ・語学検定試験のスコア提出が求められない大学への留学を希望する場合でも、自分の語学レベルを知るためにぜひ積極的に語学検定試験を受験してください。

PICK UP ! 語学力の向上に役立てよう!

●チャットルーム

チャットルームとは、学部・学科問わず、本学の学生ならだれでも無料で参加できる少人数制の会話レッスンのことです。ドイツ語、英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語の計6言語で行われています。ネイティブスピーカーの講師と日常会話を練習することができ、授業以外での学びに役立ちます。言語によって入門・初級・中級などのレベルがありますので、習熟度に合わせてご参加ください。日時や会場などの詳細はICZやPorTaⅡで確認できます。

●自身の語学スコアを確認してみよう!

長期留学の応募には語学スコア要件が設けられています。獨協大学では次のとおり語学検定試験の受験料補助をしています。自身の語学スコアを確認するためにぜひ活用してください。

●語学検定試験の受験料補助制度について

補助の条件

- ▶ 補助対象となる試験は、P8, 9「主な語学検定試験」の表中、「ICZでのサポート 受験料補助 あり」の指定レベルの試験で、各年度4月1日以降に実施され、2月末日までに試験結果が出るもの。
- ▶ 補助対象者は、本学学生で、試験出願前に本学に補助申請し、レベルを認定され（合格し）、試験結果を3月10日までに提出した者。
- ▶ 申請は年度内で各言語1回かつ2言語までとします。
- ▶ 受験料補助を受けた場合、次年度以降の同一言語での申請は、直近に認定されたレベルより高いレベルに限り申請できます。

受験料の補助金額

語学検定試験受験料	5,000円~9,999円	10,000円~14,999円	15,000円~
大学からの補助額	2,000円	5,000円	10,000円

受付期間

各年度、4月1日から翌年3月10日まで

指定レベルなどの詳細は、天野貞祐記念館3階ICZカウンターで確認してください。

●語学力要件「CEFR」とは?

CEFR（セファール）という言葉に耳にしたことがありますか。これはCommon European Framework of Reference for Languages（ヨーロッパ言語共通参照枠）の略称で、欧州評議会（Council of Europe）が2001年に公開した言語能力を評価する国際指標です。

CEFRは、外国語の熟達度をA1（初心者）、A2、B1、B2、C1、C2（ほぼネイティブ）の6つのレベルに分けて評価します。各レベルについて、その言語を使って「何ができるか」を表す「can-do descriptor」を用いて具体的に説明しています。次頁の主な語学検定試験を参照してください。

獨協大学の交換留学応募の語学力要件にも、CEFRのレベルが用いられています。

熟達した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介ことができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

（出典）プリティッシュ・カウンスル、ケンブリッジ大学英語検定機構

（英語4技能 資格・検定試験 懇談会HPより）

主な語学検定試験

※語学検定試験の日程等は予定です。最新の情報は各自でご確認ください。

言語	試験名	試験概要	ICZでのサポート	
			受験料補助	その他
ドイツ語	ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験	世界で通用するドイツ語統一試験。A1レベルからC2レベルまで6段階が設けられている。C1以上の合格証書は、ドイツの大学に入学する際の語学試験の代わりになる場合がある。	あり※	★試験対策講座（有料） 試験に精通しているゲーテ・インスティトゥートによる授業を本学内で特別料金で受講できる。2026年度春・秋学期には以下2つのレベルの対策講座を開講予定。 ・Goethe-Zertifikat A2 準備講座 ・Goethe-Zertifikat B1 準備講座
	ÖSD (Österreichisches Sprachdiplom Deutsch)	オーストリア政府公認のドイツ語能力検定試験。A1レベルからC2レベルまで6段階が設けられている。各レベルとも筆記試験（読解、聴解、作文）と口述試験によって構成されている。C1以上の合格証書は、ドイツ語圏の一部の大学に入学する際の語学試験の代わりになる場合がある。試験は、年2回実施。		
	ドイツ語技能検定試験	「独検」の名前で広く知られている日本で行われる代表的なドイツ語の技能検定試験。レベルは5級から1級まで（準1級を含む）6段階が設けられている。夏期試験は2級～5級のみ、冬期試験は全級で実施。		★模擬試験（無料） 春学期：2級・3級（6月予定）／秋学期：準1級・3級（11月予定）
	TestDaF	世界共通のドイツ語統一試験。読解・聴解・筆記・口述それぞれの分野でTDN 3～TDN 5までの3段階の判定があり、ドイツの大学へ留学する際の語学能力証明として認定される。		
英語	TOEFL iBT® (Test of English as a Foreign Language)	英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストで、TOEFL iBT® はインターネット版テストでコンピュータ受験する。「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つのセクションからなる。各セクションの平均から算出される0～6のバンドスコアで評価される。米国で大学学部留学に求められるスコアは4.5～5.5以上。		
	IELTS™ (International English Language Testing System)	海外留学や研修のための英語力判定試験。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのパートからなる。各パートごとの英語力がバンドスコア（1.0～9.0）で示され、さらに総合評価としてオーバーオールバンドスコア（1.0～9.0）が出される。一般的に大学学部の入学基準は6.0～6.5。	あり	★試験対策講座（有料）両講座ともにレベル6.0を目指す方向への対策講座 【4技能対策講座】（5～6月、90分×2コマ×5日） 4技能すべての対策ができる。特にライティングでは講師による細やかな添削もあるため、一人一人に合った学習が可能。 【スピーキング対策講座】（8月、90分×3コマ×1日） 一人では対策が難しいスピーキングに特化した講座。対策指導と実践練習を通して3パート全ての対策ができる。
	実用英語技能検定 (英検)	国内最大規模の英語検定試験。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を、筆記・リスニング・スピーキングのテストで直接的に測定し合格を判定。従来型（一次試験と二次試験を2日間で行う）とS-CBT（スピーキングテストをパソコン上で吹き込み4技能を1日で判定）がある。レベルは5級から大学上級程度の1級（準2級・準1級を含む）までの7段階で、3級以上はスピーキングの試験がある。		
	TOEIC® L&R テスト	リスニングとリーディングの2技能に特化し、日常生活やビジネス環境における受容能力を測定する試験。スコアは各495点、合計990点が満点として評価される。主に日本国内の企業や大学で広く普及しており、就職や昇進の客観的な指標として高い信頼を得ている。実務的な語彙や資料読解が中心であり、オフィスでの円滑な情報処理能力を測る。	※	★試験対策講座（有料） リスニングとリーディングそれぞれの技能について、対策講座を実施。少人数制で集中的に指導。 【リスニング】5月、100分×2コマ 【リーディング】6月、100分×2コマ ★試験対策講演会（無料） TOEIC® L&R テストの受験経験が少ない学生に向けて、問題構成や各パートの対策等を説明（11月予定）。
	Duolingo English Test	スピーキング、ライティング、リスニング、リーディングの4技能を総合的に測定する試験。スコアは10～160点の5点刻みで算出され、各技能の習熟度を示すサブスコアも提供される。AIを活用した適応型テストを採用しており、海外大学の正規入学基準として普及し始めている。		

※団体割引あり。詳細は天野貞祐記念館3階ICZカウンターに問い合わせてください。

フランス語	DELF・DALF	フランス国民教育省認定のフランス語資格試験。DELF (A1・A2・B1・B2)・DALF (C1・C2) の6つのディプロムから構成されており、聴解・読解・文書作成・口頭表現の4つの能力が評価される。DELF B2以上を取得すると、フランスの大学の学部に入學する際に義務づけられているフランス語能力評価試験が免除される。	あり	
	TCF	フランス国民教育省認定のフランス語能力検定試験 (Test de Connaissance du Français)。結果は点数で示され、欧州共通基準 (CECRL) の6段階のレベルに分けられる。聴解・語彙文法・読解の3分野からなる。		TCF TP (一般)：フランス語学科は2年次の終わりに全員受験。(問い合わせはフランス語学科共同研究室まで)
	実用フランス語技能検定試験 (仏検)	文部科学省および在日フランス大使館文化部後援。5級から1級 (準1級・準2級含む) までの7レベル。春 (準1級を除く)・秋 (1級を除く) 実施。準2級以上の一次試験は筆記と聞き取り・書き取り。二次試験は面接形式。3級以下は筆記試験と聞き取り試験。		★模擬試験 (無料) 2級・準2級 (5月・10月予定) ★試験対策講座 (無料) 二次の面接試験の対策講座を実施予定。 春・秋学期：準1級・2級・準2級 (7月・12月予定)
スペイン語	DELE	スペイン教育・職業訓練省のもとインスティトゥト・セルバンテスが実施する、外国語としてのスペイン語検定試験。レベルは6段階 (A1・A2・B1・B2・C1・C2) で、筆記試験 (読解・聞き取り・西作文) と口頭試験からなる。日本国内で年2回実施され、東京では特別開催 (レベル限定) がある (開催日程は各自で確認)。		★試験対策講座 (無料) 春学期：A2・B1 (6月予定) / 秋学期：B1・B2 (10月予定)
	SIELE	広大なスペイン語圏の多様なスペイン語に対応。「読解」、「聞き取り」、「文章表現」、「口頭表現」の4つのセクションからなり、スコアは合計1000点満点で評価され、セクションごとにCEFRに基づいたレベルが示される。受験後3週間以内に結果が出るので、短期間での証明書の取得が可能。証明書の有効期限は5年間。	あり	
	スペイン語技能検定試験 (西検)	文部科学省後援のスペイン語試験。レベルは6級から1級までの6段階。2級以上は面接形式の二次試験がある。		
中国語	HSK・HSKK	中国政府認定の世界共通基準の資格「漢語水平考試」。HSK (筆記試験) は1級から6級までの6段階、HSKK (口頭試験) は初級・中級・高級の3段階に分けられている。	あり	
	中国語検定試験	日本中国語検定協会が実施している、主に日本語を母語とする中国語学習者対象の試験。準4級から1級までの6段階。準1級と1級のみ一次試験合格者および免除者対象に二次試験 (口頭試験) を実施。		
	TOCFL (華語文能力測驗)	台湾の国家中国語能力試験推進委員会が開発を行い、全世界への普及を推進している、台湾華語 (中国語) を母語としない人向けの能力試験。Level 1 入門級 (A2) から Level 6 精通級 (C2) までの6段階評価。		
	TECC (中国語コミュニケーション能力検定)	TECCで測定するのは、中国語の実践的な運用能力、総合的なコミュニケーション能力で、初級者から上級者までの実力を1000点満点で測定する。入門レベルのF (0~249点) から上級レベルのA (900~1000点) までの6段階評価。		
韓国語	韓国語能力試験 (TOPIK)	韓国政府が認定・実施する韓国語試験。TOPIK I または II を選択受験し、点数にしたがって I は1~2級、II は3~6級に振り分けられる。試験科目は I が聞き取り・読解、II が聞き取り・筆記 (作文含む)・読解となっている。	あり	
	「ハングル」能力検定試験	日本語を母語とする韓国語学習者を対象とする試験。レベルは5級から1級 (準2級含む)、入門級・IBT 5級 (オンライン試験)。試験科目は聞き取り・筆記・書き取り (1級)。1級のみ一次合格者に対して二次試験 (面接) がある。		

※団体割引あり。詳細は天野貞祐記念館3階ICZカウンターに問い合わせてください。

(備考) 上記の試験を活用できる各留学制度およびそのレベルについてはP.44~47、P.72をご確認ください。

ICZで行うサポートについては天野貞祐記念館3階ICZカウンターにて、その他試験の詳細については外部実施団体にお問い合わせください。

2026年度国際交流センター・年間スケジュール

実施時期は●で示しています。詳細の日程は、PorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕や国際交流センター掲示板で確認し

年	2026														
学期	春学期														
月	4			5			6			7			8		
時期	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
国際交流イベント・説明会 (国際交流センター主催、共催)	<p>●海外留学ガイダンス</p> <p>留学成果報告会(前年度秋学期留学終了者)</p> <p>●海外安全対策セミナー</p> <p>長期留学終了者が留学終了後の2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学成果や自身の課題、今後のキャリアプランを発表します。発表者にとっては、参加者からのフィードバックをもらい、次のステップに向けての新たな気づきを得ること、他の学生にとっては、留学や海外体験について考えるきっかけとすることを目的としています。</p> <p>年間を通して各種セミナー・説明会・交流会を実施します。詳細はPorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕でお知らせします。</p>														

留学制度	種別	留学開始時期	言語圏	派遣期間	4			5			6			7			8		
					上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長期留学	交換留学	<2027年度春学期> 2027年2月~	ドイツ語						●説明会						●説明会				
			英語						●説明会					●締切	●選考		●内定		
			フランス語						●説明会					●締切	●選考		●内定		
			スペイン語						●説明会					●締切	●選考	●内定			
			中国語						●説明会					●締切	●選考	●内定			
			韓国語					●説明会						●締切	●選考		●内定		
			ドイツ語																
	英語								●説明会										
	フランス語	<2027年度秋学期> 2027年8月~																	
	スペイン語						●説明会												
	中国語																		
	韓国語																		
	認定留学		<2026年度秋学期> 2026年9月~							事前研修			●申請期限	事前研修					
			<2027年度春学期> 2027年2月~																
短期留学	協定校留学	夏季・春季休業期間中							●夏季プログラム募集説明会								夏季 短期協定校留学プログラム実施 ・ハレ=ヴィッテンベルク大学 ・ポトランド州立大学 ・マリー=エ=ルイ=バスターール大学 ・サンティアゴ=デ=コンポステーラ大学 ・大連理工大学 ・慶熙(キョンヒ)大学		
	認定留学								●夏季プログラム募集説明会			●夏季プログラム募集締切					夏季 短期認定留学プログラム実施		

てください。

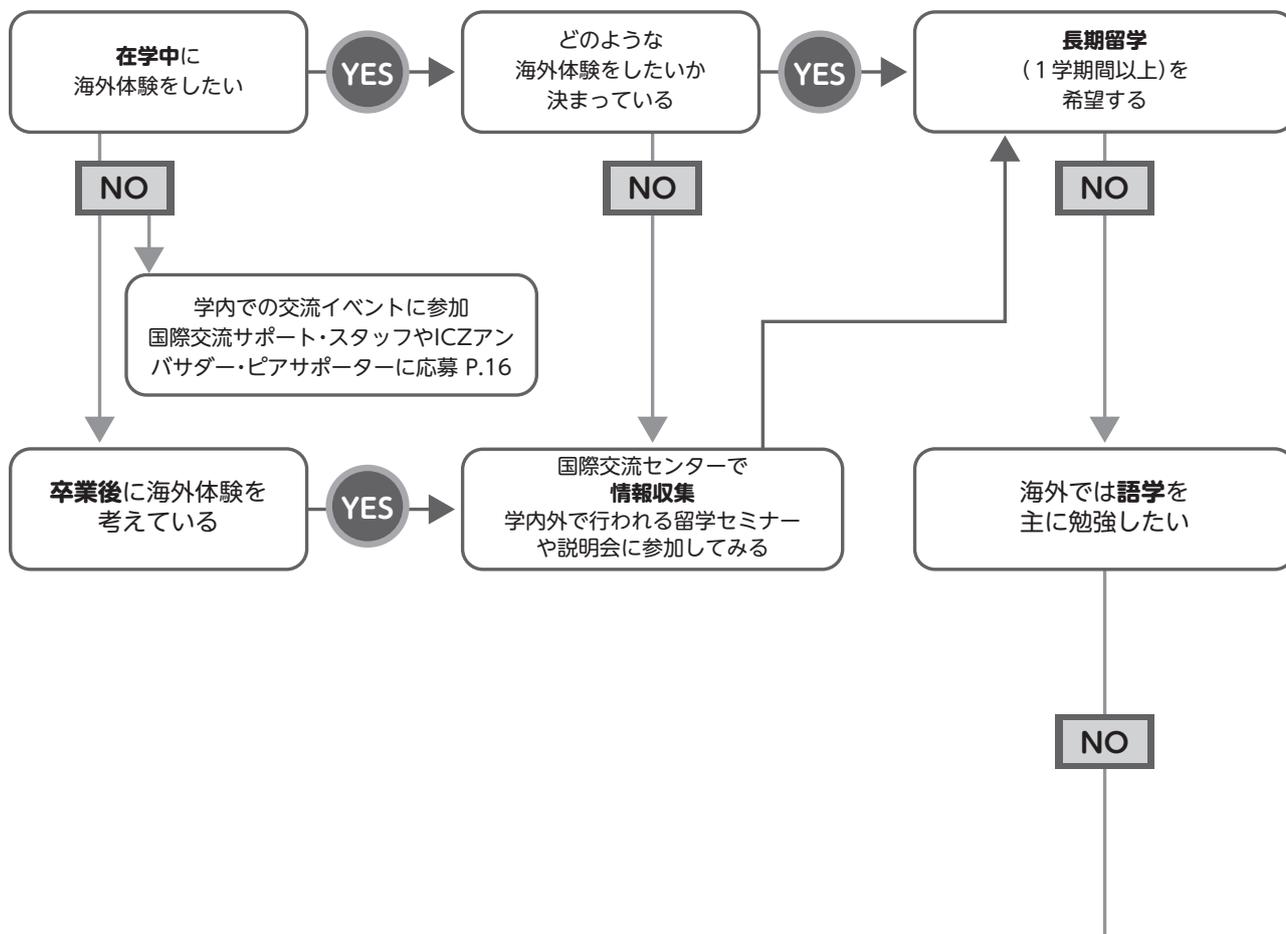
												2027								
												秋学期								
9			10			11			12			1			2			3		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
<p>●留学成果報告会(春学期留学終了者)</p> <p>長期留学終了者が留学終了後の2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学成果や自身の課題、今後のキャリアプランを発表します。発表者にとっては、参加者からのフィードバックをもらい、次のステップに向けての新たな気づきを得ること、他の学生にとっては、留学や海外体験について考えるきっかけとすることを目的としています。</p>												<p>●海外安全対策セミナー</p>								

												2027										
												秋学期										
9			10			11			12			1			2			3				
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
●締切	●選考	●内定		●二次募集締切	●選考	●内定																
●二次募集締切	●選考	●内定		事前研修					事前研修				<p>交換留学の決定時期とその後の学修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原則として留学開始の2学期前の学期中に学内選考を行い、留学が内定します。 ・留学開始直前学期は、留学に向けて専門や関連科目の知識を深めるとともにより具体的な準備をする学期です。 									
●二次募集締切	●選考	●内定																				
●二次募集締切	●選考	●内定																				
								●説明会						●説明会						●締切	●選考	●内定
			●説明会					●一次募集締切	●選考	●内定				●二次募集説明会		●二次募集締切	●選考	●内定				
			●説明会											●締切	●選考					●内定		
			●説明会					●締切	●選考	●内定						●二次募集締切	●選考	●内定				
			●説明会					●締切	●選考	●内定						●二次募集締切	●選考	●内定				
			●説明会					●締切	●選考	●内定						●二次募集締切	●選考	●内定				
				事前研修										●申請期限								
			●春季プログラム募集説明会					●春季プログラム募集締切								<p>春季 短期協定校留学プログラム実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーク大学 ・ウーロンゴン大学 						
			●春季プログラム募集説明会					●春季プログラム募集締切								<p>春季 短期認定留学プログラム実施</p>						

》 プランニングチャート

質問に沿って進み、自分にピッタリの留学や海外体験を探してみましょう。

関連ページを参照したり、説明会に参加し、理解を深めましょう。



*** 学生派遣に関する本学の危機管理と対応について ***

海外への派遣留学・研修等の実施、中止、延期、継続、途中帰国にあたり、次の事情に分けて判断しています。

①派遣先地域の事情

海外における日本人の安全対策の一環として外務省が提供する外務省危険情報レベル及び感染症危険情報レベル（以下、「危険レベル」という。）をもとに担当部局が判断しています。プログラム開始の概ね45日前時点で危険レベルが2以上の場合、派遣中止または延期とする方針をとっており、すでに留学中の場合についても留学中止または途中帰国を指示することを基本方針としています。

※ただし、個々の学生の状況により、帰国が困難である、または現地滞在を継続する方が安全であると考えられる場合は、保証人の同意のもと、留学継続を認めることを検討します。なお、危険レベル1以下の場合でも危険を避けるため特別な注意を払っています。

②派遣先機関の諸事情等

同機関における学業継続の不可（退学処分等を含む）や派遣先（国・地域）の社会情勢・自然環境の悪化等の場合には、留学・研修等を中止、延期または途中帰国とします。

③個人的事情

派遣先での病気やケガにより1ヶ月以上の入院治療（緊急の場合は除く）が必要となった場合や精神疾患を発症した場合は帰国を促すこととしています。

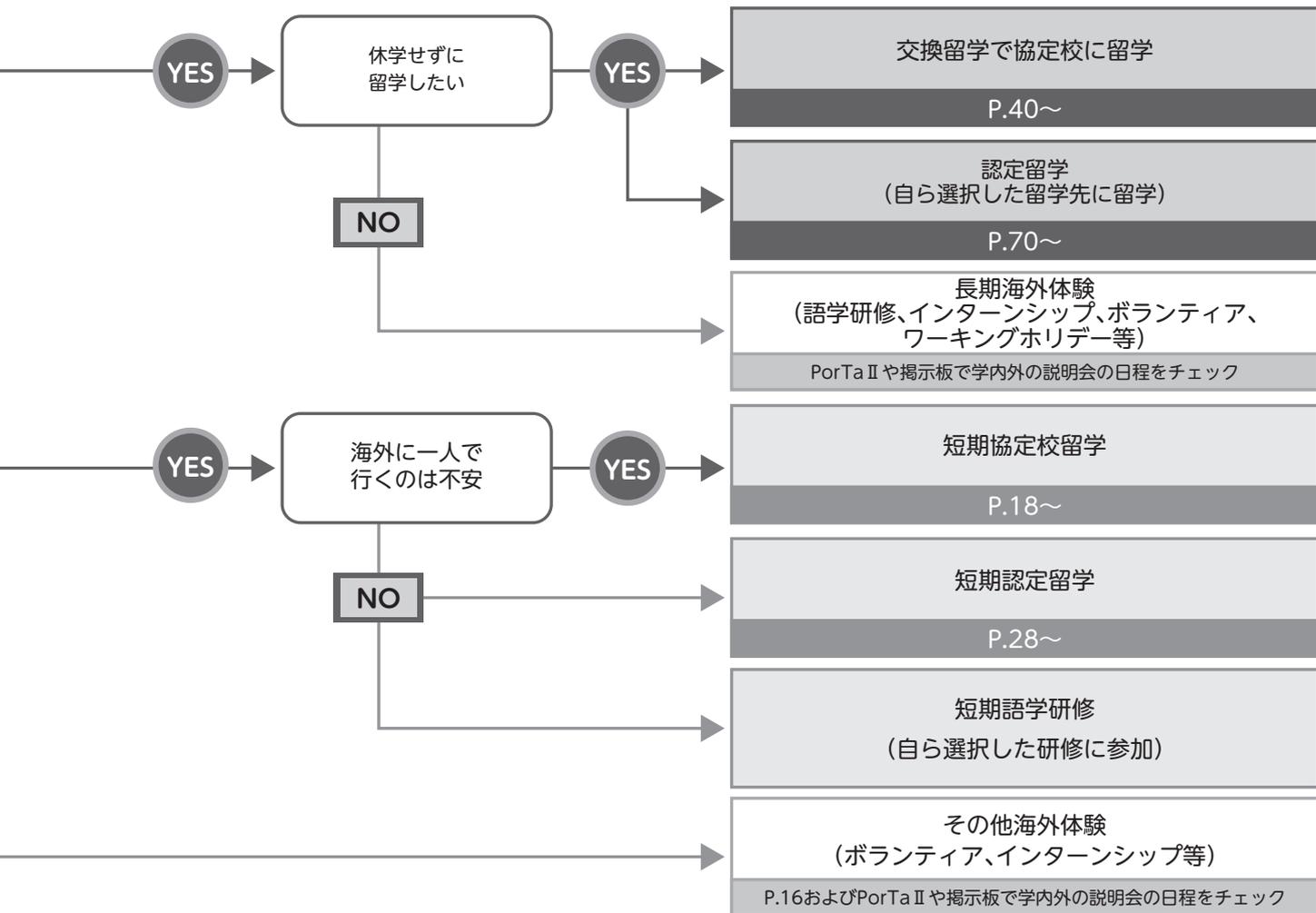
本学では大学としての安全配慮義務を全うするとともに、万が一緊急事態が発生した場合、迅速かつ適切に対応をするため、「海外危機管理マニュアル」を制定しています。危機発生時は、同マニュアルに基づき、関係各省庁とも連携し危機管理対応を行います。

大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし、出発前に一読ください。



HOME > 国際交流 > 留学関連情報 > 危機管理 > 海外における危機管理対応について > 海外危機対応マニュアル

海外学習をめぐる状況が大きく変化したとはいえ、留学が貴重な学修成果を上げる機会であることに変わりはありません。大学は皆さんの安心・安全を第一に、今後ともさまざまなサポート、情報提供を行います。



GLOBAL FRONTIER

天野貞祐記念館2階の国際交流センター・日本語教育オフィスと、3・4階ICZをまとめて「GLOBAL FRONTIER」と名付け、学内の国際化を推進しています。

URL:
https://www.dokkyo.ac.jp/global_frontier/

facebook: 獨協大学GLOBAL FRONTIER



Instagram: dokkyo_global



さまざまなアクティビティを通して世界とつながる [ICZ]

ICZは「異文化交流」をテーマにした施設で、在学学生は誰でも利用できます。外国の文化に触れられる書籍や映像資料、ボードゲームなどを取りそろえており、また、留学生や外国人学生も多く利用するため日本にいながら異文化交流ができます。

このICZで活躍してくれているのが**GLOBAL FRONTIER アンバサダーとピアサポーター**の学生たちです。

- 活動内容
 - ・アンバサダー：イベントの企画・実施、広報
 - 【例】留学生との交流イベントの企画・実施
 - ICZの施設や活用法のアドバイス等
 - ・ピアサポーター：外国語学習相談
 - 【例】勉強方法や検定試験対策、留学等に関する相談対応

ICZでは、ゲーテ・インスティトゥートドイツ語検定試験、IELTS™等といった留学に必要な資格試験をはじめ、TOEIC® L&R公開テスト等、就職活動に活用できる資格試験の受験料補助または割引サポート、また、資格試験や外国語学習に役立つ多数のイベントや講座も実施しています。

ICZで体験できる豊富なアクティビティを通して世界とつながってみませんか？



留学制度

Study Abroad Programs

独協大学の留学制度

独協大学の留学制度には、大きく分けて「短期留学」と「長期留学」があります。



短期留学

短期留学には、本学が企画し協定校で実施する教職員同行の「短期協定校留学」と、本学が認定した研修プログラム（教職員の同行なし）から選んで個人で参加する「短期認定留学」の2種類があります。

どちらも本学の夏季休暇・春季休暇を利用して行われる「短期集中語学研修」です。語学力の向上、異文化・生活体験、さまざまな国の学生との交流を目的とするもので、ホームステイができるプログラムもあり、「長期留学」へのステップともなります。また、研修先での修了証と成績表をもとに本学教員が評価し、合格と評価された場合は本学の外国語科目等の単位として認定されます。どの科目の単位が認定されるかは、留学先・所属学科によって異なります（P.33～）。

■ 短期協定校留学（原則として本学教職員の同行あり） Check P.18～

本学が企画し、旅行会社が旅行業務法上の受注型企画旅行として、協定校で実施する研修です。4月および10月に行われるプログラム別の参加者募集説明会（日程はPorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕参照）に出席し、プログラム内容や申込方法を確認してください。

テンプレ大学ジャパンキャンパスのプログラムについては渡航はありません。詳細はP.26参照。

■ 短期認定留学（本学教職員の同行なし） Check P.28～

旅行会社が募集型企画旅行として実施する外国語研修プログラムのうち、授業内容、授業時間数、研修時期などが本学基準を満たすプログラムについて、短期認定留学として参加者を募集しています。詳細は4月および10月に行われる短期認定留学参加者募集説明会（日程はPorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕参照）で配布する募集要項を確認してください。

■ 短期認定留学（学外ドイツ語活動） Check P.30

ドイツ語学科が推奨するプログラム等から興味のあるプログラムを選択し、個人で申込や航空券、宿泊などの手配を行うドイツ語学科生のみが参加できるプログラムを、短期認定留学（学外ドイツ語活動）として実施します。

短期留学の目的

夏季・春季休業期間に実施する約1ヶ月の短期留学は、在学生であれば学年を問わず参加できます（定員超過の場合のみ選考あり）。他国の文化を知り、外国語学習のモチベーションを上げることが目的です。

帰国後は、留学先で学んだ言語の語学能力試験を受験してレベルアップを確認しましょう。可能なら、さらに半年間または1年間の長期留学にもチャレンジしてください。



長期留学

長期留学には、交換留学と認定留学の2種類があります。

いずれも、本学から派遣される留学生としての自覚と責任感を持ち、全ての授業および試験に出席し、単位修得に努めることが求められます。

■ 交換留学

獨協大学と学術交流協定を結んでいる大学へ、学内選考を通過した学生を派遣します。交換留学生は原則として、獨協大学国際奨学金（交換留学生奨学金）を受給することができます（P.78参照）。

■ 認定留学

大学間の協定によらず、個人で留学先大学を選択し入学許可を得た上で、本学の承認手続きを経て留学します。応募条件を満たす場合は、本学が給付する獨協大学国際奨学金（認定留学奨学金）に応募することができます（P.78参照）。

長期留学生は、次の優遇措置を受けることができます。

1. 留学中の授業料を免除

【交換留学の場合】

それぞれの大学との協定に基づいて、獨協大学または留学先大学のどちらかの授業料が全額免除になります。

【認定留学の場合】

獨協大学の授業料が全額免除され、留学先に授業料を納付します。

※交換留学および認定留学ともに、授業料以外の学納金（教育充実費（在籍基本料分）または施設設備費、学生教育研究災害傷害保険料、父母の会年会費）は期日（春学期4月末・秋学期9月末）までに納める必要があります。

2. 単位の認定（振替・換算）

留学先で修得した単位は、32単位を上限として本学の卒業に必要な単位として認定することができます。なお大学院生の場合は15単位を上限として修了に必要な単位として認定可能です。

3. 在学期間として算入

長期留学の期間は在学期間として算入されます。したがって、2.の単位の認定を行うことで留学期間を含めて4年間で卒業することも可能です。

長期留学の目的

1. 外国語運用能力、コミュニケーション能力の向上

留学終了後に、留学前のCEFR（P.7参照）のレベルを最低でも1段階上げましょう。

2. 国際的視野の獲得

専門の科目履修や他国の人々との交流を通して、自分（日本）の位置を相対化して把握するしなやかな理解力（＝教養）を身につけ、ゼミなどを含む授業やクラブ活動等においてリーダーシップを発揮できるようになりましょう。

3. 国際人としての行動力、問題解決能力を養う

留学中の生活で起こるさまざまな問題を自ら解決する逞しい行動力と自立心を身につけ、他国の学生と積極的に交流し、留学後も継続しうるネットワークを作り上げましょう。

4. 社会的責任・使命を果たす

留学後は“グローバル・シチズン”としての自覚を持ち、留学中に学んだこと、体得したことを積極的に発信しましょう。また国際社会のために行動することの意義を周囲の人々に伝えましょう。



日本文化を発信する“アンバサダー”へ

留学は、短期の留学であっても、学業面だけでなく精神面にも大きな成長をもたらします。それだけに、自分自身の成長だけにとどまらず、留学先で日本文化を発信し、日本の理解者を世界に増やす“アンバサダー”としての役割もぜひ果たしてください。留学から帰国した皆さんが、獨協大学のグローバル化推進のための原動力となり、卒業後には、国の内外を問わずグローバルに活躍する人材になってほしいと願っています。



留学制度を使わない海外体験・異文化体験

本学の留学制度を使わず、海外へ語学学習に出かけたり、ワーキングホリデーやボランティアに長期間参加する学生もいます。このような目的で大学を長期間休む場合は休学手続きを取る必要があります。休学手続きについては、教務課に確認してください。休学の場合は所定の期日までに手続きを行うことで授業料が免除されます（教育充実費（在籍基本料分）または施設設備費、学生教育研究災害傷害保険料、父母の会年会費を除く）。渡航する日程や利用する航空会社が決まり次第、PorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）に入力してください。

■海外ボランティア

獨協大学はNPO法人ICYEジャパン学校会員制度のメンバー校です。ICYEジャパン（International Cultural Youth Exchange Japan Committee）は、ドイツに本部を置き、世界4大陸 50カ国以上で青年「国際ボランティア生/インターン生」の派遣・受入を行っているNPO法人です。ICYEジャパン主軸活動である長期派遣プログラム（6・12ヶ月）、短期派遣プログラム（2週間～4ヶ月）等の事業については、学内説明会も実施しています。説明会開催情報はPorTaⅡ掲示板「留学支援・国際交流」にてお知らせします。

■学部・学科主催の海外活動、支援等

・海外インターンシッププログラム【国際教養学部】

大学で修得した語学力を、海外のさまざまな企業や組織で活動しながら実際に運用し、その実績を本学の単位の一部として組み込むことができます。2年次以降、事前・事後学習を含め半年間のプログラムで行います。

・ドイツ語圏へのインターンシッププログラム【ドイツ語学科】

イエーナ大学GIP東アジアによる夏季語学コースに参加する学生がイエーナやエアフルト近郊においてインターンシップを行う場合、または、ドイツ語圏全域で主体的にインターンシップ先を開拓してインターンシップを実施する場合、宿泊費の一部を支援します。

■学生寮での国際交流

獨協大学では、半年または1年間本学で学修する海外協定校からの外国人留学生（交換留学生）を受入れており、留学生のための学生寮を用意しています。受入れ留学生数に応じて、各学期で学部学生の入居者を募集しています。募集の詳細はPorTaⅡ掲示板「留学支援・国際交流」にてお知らせします。

■留学生バディ

海外協定校から来日する外国人留学生のために、主に次のサポートをしてくれる学生を学期ごとに募集しています。

- ・ 宿舎入居時の案内（宿舎最寄駅等でのピックアップ含む）
- ・ 日用品購入の同行
- ・ 市役所等での手続きをサポート
- ・ その後の日本での生活をサポート など

【募集方法と時期】

●募集方法

PorTaⅡ掲示板「留学支援・国際交流」にてお知らせ

●募集時期（予定）

春学期のサポート：1月中旬、秋学期のサポート：7月中旬

※外国人留学生の受入れ状況により2026年度の募集は変更となる可能性があります。

■GLOBAL FRONTIER アンバサダー・ピアサポーター（P.13参照）

アンバサダーは、GLOBAL FRONTIERの広報や留学生と在学生の交流、イベントの企画・運営を行う学生スタッフです。

ピアサポーターは、ICZにて学生の外国語学習に関するアドバイス等を行う学生スタッフです。

それぞれ活動したい学生は、天野貞祐記念館3階のICZカウンターまでお問い合わせください。

■日本語学習サポーター

外国人学生・外国人留学生に対して、「日本語」科目の授業内外をサポートする日本語学習サポーターを学期ごとに募集しています。主なサポート内容は次のとおりです。

- ・ 「日本語」科目の授業課題や予習・復習の支援
- ・ 「日本語」科目の授業参加、留学生への情報提供および話し合いへの参加

日本語学習サポートに興味のある学生は、天野貞祐記念館2階の日本語教育オフィス（国際交流センター隣）までお問い合わせください。

国際的視野を広げるために獨協大学でできること・すべきこと

日本に生きる自分たちの日常は、世界と分かちがたく結びついています。痛感させられました。世界を知ることなしに、私たちは自らの立ち位置、そして進むべき道を考えることは困難です。世界を知るには留学は大きな力となります。しかし国際的な視野を得るために獨協大学で学べること、学ぶべきことも、実はたくさんあるのです。

本学は外国語学部、国際教養学部、経済学部、法学部の4学部11学科の学生が同じキャンパスで学んでいます。学部・学科を超えた交流を通し、様々な考え方や価値観に触れ、柔軟な思考力を身につけることができます。このオールインキャンパスのメリットを活かして自分が所属する学科・学部の授業だけでなく、他学部他学科で開設されている科目にも目を向け、留学の準備も含め、グローバル・シチズンとして生きていく力を養ってください。

1. グローバルな視点を養うための学び

- ・履修計画は、卒業要件のみにとらわれることなく、より広い興味・視野に立って考えてみましょう。そのためにはクラス担任や演習指導教員に積極的にアドバイスを求めてください。
- ・学問研究には専門分野を問わず、その学問体系の根底となる文化や思考方法に対する理解も必要です。学んでいるときには関連性がよくわからずバラバラだったことが、いつか、ああ、そういうことだったのか、と思えることがあるかもしれません。
- ・視野を広げるには、キーワードによるシラバス検索も役に立ちます。

【基本的な知識を幅広く養う】 日本史、世界史、文化史、思想史、宗教史、社会保障、情報、社会調査、統計 など

【地域研究】 文化研究、ツーリズム、開発 など

【国際社会理解】 国際関係、国際協力、国際経済、国際政治、国際法、NPO、NGO、グローバル など

【現代社会理解】 環境、ジェンダー、SDGs、メディア、移民、難民 など

2. グローバルイベント

- ・国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」(例年6月に実施)

獨協大学が草加市国際交流協会と共催で本学キャンパス内で実施する国際交流フェスティバルです。世界各国出身の方と草加市民が参加し、自国文化に関連するバザール、料理、音楽、ダンスなどを披露します。2025年度のフェスティバルでは、獨協大学からも、高橋雄一郎ゼミ(外国語学部)、玉井昇ゼミ(外国語学部)、米山昌幸ゼミ(経済学部)、高安健一ゼミ(経済学部)、国際親善倶楽部(DIAC)、E.S.S.(英語会)が参加しイベントを盛り上げました。



- ・Interaction Lounge ~日本語×好きな言語で話そう~

留学生と自分の好きなことや興味のあることを好きな言語で語り合うイベントで、2025年度は秋学期に全10回実施しました。曜日ごとに異なるトピックが設定され、トピックごとのグループに分かれて留学生と会話を楽しむことができます。

2025年度実施のトピック例：

旅行、マンガ/アニメ、音楽など

Instagram: dokkyo_global



 イベントの様子はこちら！

3. グローバル時代のキャリアデザイン

Dokkyo留学診断所~留学・語学学習・就職スケジュールを考えよう~

ICZ、国際交流センター、キャリアセンターの3課が合同で開設する出張窓口です。

留学と就職、就職と語学学習、語学学習と留学など組み合わせて考えることで将来の選択肢が広がります。ICZ、国際交流センター、キャリアセンターのスタッフが一堂に集まり、さまざまな疑問や質問にお答えします。

※2026年度の内容や実施日は、確定次第、PorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] / [図書館・学修支援・語学学習] でお知らせします。

短期留学 共通事項

短期留学参加者は、国際交流センターが実施する「海外安全対策セミナー」への出席（P.111参照）や、本学指定の海外旅行保険への加入（P.112参照）が義務付けられています。その他、遵守すべき事項を定めた誓約書を提出してください。最少催行人数に満たない場合、または研修先機関の都合等により、研修が中止となることもあります。本学が危険と判断する事態（戦争、テロ、新型インフルエンザ等の感染症流行など）が発生した場合も、研修の中止や研修期間の短縮またはコース変更を行うことがあります。

※参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じて、特別措置は一切講じません。プログラム選定の際は、十分に留意してください。

■ 単位認定

留学先が発行する修了証、成績表をもとに単位認定の審査が行われ、その結果により短期留学に参加した翌学期に単位が認定されます。研修に参加すれば自動的に単位認定されるわけではありません。また単位認定で振替・換算できる科目は学部・学科により異なるので、P.33からの「短期留学により修得した単位の認定について」を熟読し、不明点がある場合は必ず申し込む前に教務課の各学部窓口で確認してください。



ホームステイを伴うプログラムについて

以下をよく理解の上、参加申込みをしてください。

1. ホストファミリーの家庭環境は各々異なります。
ホストファミリーのライフスタイルや家族構成（高齢の夫婦のみの家庭、母子家庭、小さな子どもがいる家庭、同世代の異性の子どもがいる家庭、共働きの家庭、一人暮らしの方等）、人種・民族、文化、食事（ホストファミリーの手作り、冷凍食品、参加者自身による自炊等）、ペットの有無、設備、通学距離・方法等は、滞在する家庭によって異なります。
2. ホームステイ申込書等で、家庭環境（子どもやペットの有無等）の希望を記載できる場合も、必ずしも希望どおりになるわけではありません。
3. 他の日本人や、同じプログラムに参加する本学の学生、他国からの学生と同じホームステイ先になる場合があります。ホストファミリーに限らず、留学先で知り合う人たちとは、心を開いて人間関係を築く努力をしましょう。人とのつながりから学べることはたくさんあります。
4. 「ゲスト（お客様）」として滞在中ではなく、家族の一員として、滞在中はハウスルール（家庭内の規則）を守り、感謝の気持ちを忘れずに行動しましょう。
5. 出発前、プログラム参加中に、参加者の一方的な希望による滞在先の変更はできません。
ただし、ホストファミリー側のやむを得ない諸事情（不慮の出来事、病気等）により、ホームステイ先が現地手配側により変更される場合があります。
6. キャンパスや寮、ホームステイ先などでセクシャル・ハラスメントや自身が不快と感じる行為等を受けた場合には、すぐに本学同行教職員または留学先スタッフに相談してください。また相手に対してはあいまいな態度をとらず、はっきりとした態度でNOと示しましょう。

短期協定校留学

「短期協定校留学参加申込書」、「誓約書」その他必要な書類を定められた期日までに国際交流センターに提出してください。上記の書類の提出をもって申込手続き完了となりますが、申込者が定員を超過した場合は選考を行うことがあります。「短期協定校留学参加申込書」、「誓約書」は、PorTaⅡダウンロードセンター>留学支援>留学関連提出書類>短期留学参加申込書類>短期協定校留学からダウンロードしてください。なお、次ページ以降に記載のプログラム日程・費用等は、変更になる場合があります。

※短期協定校留学は原則として4単位認定プログラム（注）として実施します。また参加者による単位認定申請手続きは不要です。
（注）テンブル大学ジャパンキャンパスのプログラム参加時は選択科目数に応じて、2単位または4単位の認定となります。

夏季プログラム

夏季 ドイツ語	研修先大学	ハレ=ヴィッテンベルク大学 (ドイツ)		
	クラスのレベル	初級～上級		
	1クラスの最大人数	12名		
	本学での募集人数	15名 (2025年度参加実績15名)		
	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 9:00～12:15/13:00～14:30/土曜日 エクスカーション		
	授業科目	総合的なドイツ語授業、ドイツ事情、小グループでのテーマに沿ったプレゼンテーション		
	エクスカーション	3日間のミュンヘン研修、ベルリンおよびライプツィヒへの日帰り観光、ヴィッテンベルク市内観光等。		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約75万円 (往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、エクスカーション費、ミュンヘン研修費、海外旅行保険料、研修期間中の食費 (朝・夕)、燃油サーチャージ等を含む)			
研修期間	2026年8月1日(土)～8月31日(月) (31日間)			
	8月1日(土)	羽田発		
	8月2日(日)	ウィーン経由ベルリン着、ヴィッテンベルクへ		
	8月2日(日)～8月27日(木)	ハレ=ヴィッテンベルク大学でのドイツ語研修 (ホームステイ)		
	8月27日(木)	ヴィッテンベルクからベルリンへ。空路でミュンヘンへ移動。ミュンヘン研修 (3泊)		
	8月30日(日)	ミュンヘン発 (機内泊)		
8月31日(月)	羽田着			
その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。 Institut für deutsche Sprache und Kultur (IDSK) での語学研修。			

夏季 英語	研修先大学	ポートランド州立大学 (USA)		
	クラスのレベル	獨協大生でワンクラスまたは他大学生とミックス		
	1クラスの最大人数	15名程度		
	本学での募集人数	20名		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	月～金 9:30～16:00 (教室外のアクティビティも含む)		
	授業科目	文法、会話、読解、プレゼンテーション、ディスカッション/オレゴン州の文化、社会、観光などに関する授業・フィールドワーク		
	エクスカーション	オレゴン州ポートランドの文化・観光スポット、ミュージックフェス見学、コロンビアリバー渓谷、オレゴン・コーストへのガイド付き見学。		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約82万円 (研修費、往復航空運賃、宿泊費、米国空港～寮まで往復交通費) ※個人の食費、海外旅行保険料、燃油サーチャージは除く		
研修期間	2026年8月8日 (土)～8月30日 (日) (3週間) (予定)			
	8月8日 (土)	羽田発		
	同日	ロサンゼルス乗り継ぎ、ポートランド着		
	8月10日 (月)～8月28日 (金)	ポートランド州立大学にて英語研修 (学生寮)		
	8月29日 (土)	ポートランド発、ロサンゼルス乗り継ぎ		
	8月30日 (日)	羽田着		
その他	日本、アジア諸国から他大学生も参加の可能性あり			

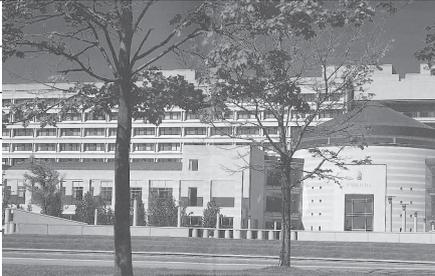
夏季	研修先大学	マリー・エ・ルイ・バストゥール大学 (旧フランシュ・コンテ大学) (CLA) (フランス)		
	クラスのレベル	入門～上級までの5段階		
	1クラスの最大人数	15名程度		
	本学での募集人数	15～25名 (2025年度参加実績14名)		
フランス語	宿泊形態	学生寮 (個室)		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 9:00～11:00 / 13:00～16:00 *曜日により異なる (週23～25時間)		
	授業科目	会話、読解、発音、聞き取り、文法、作文などの総合的なフランス語の授業を中心に、フランスの文化、文明についての講座、校外学習もあります。		
	エクスカージョン	ブザンソン周辺地域の文化に触れる小旅行等 任意参加、料金別途現地支払い		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約74万円 (往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む) *エクスカージョンの費用、食費は含まれていません。		
研修期間		2026年7月31日(金)～8月30日(日) (31日間)		
		7月31日(金)	羽田発	
			ヘルシンキ経由ジュネーブ着、ブザンソンへ	
		8月3日(月)～8月28日(金)	マリー・エ・ルイ・バストゥール大学でのフランス語研修 (マリー・エ・ルイ・バストゥール大学学生寮)	
		8月28日(金)	ブザンソンからジュネーブへ。ジュネーブで1泊	
		8月29日(土)	ヘルシンキ経由で成田へ	
		8月30日(日)	成田着	
	その他	世界各国より参加者あり。他大学学生の参加あり。		

夏季	研修先大学	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学 (スペイン)		
	クラスのレベル	A1～C2まで6段階、初日のプレイスメントテストによりクラス分け		
	1クラスの最大人数	15名		
	本学での募集人数	10～15名程度		
スペイン	宿泊形態	前半：学生寮 (個室)、後半：ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	月～金 9:15～14:00		
	授業科目	文法、会話、読解、プレゼンテーション、ディベート/スペイン語圏の文化、社会、映画などに関する授業		
	エクスカージョン	サンティアゴ・デ・コンポステーラの歴史地区、公園、美術館などへのガイド付き見学、地元のバルでのタパス体験や夜の街歩き、地元の工芸品づくりを体験するワークショップ、ハイキング等		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約75万円 (往復航空運賃、宿泊費、講習費、教材費、海外旅行保険料、燃油サーチャージを含む)		
研修期間		2026年8月15日(土)～9月13日(日) (30日間) (予定)		
		8月15日(土)	羽田発	
		8月16日(日)	イスタンブール経由マドリッド着、サンティアゴ・デ・コンポステーラへ	
		8月17日(月)～9月10日(木)	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学でのスペイン語研修	
		9月11日(金)	研修終了後 サンティアゴ・デ・コンポステーラからマドリッドへ。マドリッドで1泊。	
		9月12日(土)	イスタンブール経由で成田へ	
		9月13日(日)	成田着	
	その他	サンティアゴ・デ・コンポステーラは、カミーノ・デ・サンティアゴ巡礼路の終着点として知られる歴史都市で、ユネスコ世界遺産に登録された旧市街と宗教建築が有名。		

夏季	研修先大学	大連理工大学 (中国)		
	クラスのレベル	初級～上級		
1クラスの最大人数	20名以下			
中国語	本学での募集人数	8～15名 (2025年度東呉大学参加実績8名)		
	宿泊形態	学生寮 (1～2人部屋)		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週4～5日 8:00～11:40/13:30～15:05 (週により異なる)		
	授業科目	中国語授業 (総合、聴解・会話・HSKなど)、文化体験、講座など		
	エクスカーション	大連市内観光、博物館 (予定)		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約33万円 (往復航空運賃、宿泊費、研修費 (校外学習含む)、海外旅行保険料、燃油サーチャージを含む)		
	研修期間	2026年8月2日(日)～8月29日(土) (28日間) (予定)		
		8月2日(日)	羽田発、大連着	
		8月3日(月)～8月28日(金)	大連理工大学での中国語研修 (学生寮)	
		8月29日(土)	大連発、羽田着	
その他	中国語授業は総合、聴解力・会話力の授業に加え、HSK対策も含めており、語学力強化を目指します。			

夏季	研修先大学	慶熙 (キョンヒ) 大学 (韓国)		
	クラスのレベル	初級～上級		
1クラスの最大人数	15～20名			
韓国語	本学での募集人数	8～15名 (2025年度参加実績8名)		
	宿泊形態	学生寮 (2人部屋)		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 9:00～13:00/14:10～16:00		
	授業科目	韓国語授業 (文法、スピーキングなど)、文化体験 (詳細未定)、慶熙大生との交流会、会話特別講座		
	エクスカーション	日帰り現地学習2日 (詳細未定)		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	約37万円 (往復航空運賃、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージを含む)		
	研修期間	2026年8月2日(日)～8月25日(火) (24日間) (予定)		
		8月2日(日)	羽田発、ソウル (金浦) 着	
		8月3日(月)～8月24日(月)	慶熙大学での韓国語研修	
		8月25日(火)	ソウル (仁川) 発、成田着	
その他	ソウル市北東部の比較的落ち着いた地域に位置しています。ヨーロッパの歴史的建造物を思わせる建物が並ぶ美しいキャンパスです。韓国語の授業の質にも定評があります。一般向けに行われる授業のほかに獨協大生のための会話特別講座を組み合わせたカリキュラムで、短期間で韓国語力の向上を目指します。			

春季プログラム

春季	研修先大学	ヨーク大学 (カナダ)		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	15～20名			
本学での募集人数	15～20名 (2025年度参加実績16名)			
英語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
教室内の授業	週5日 8:30～12:30/12:30～16:30			
授業科目	リスニング、スピーキング、文法、発音、カナダの歴史・地理・多文化主義等に関する講義・ディスカッション等			
エクスカーション	ナイアガラの滝見学、CN Tower、アイスホッケー観戦等			
応募資格	獨協大学に在学中であること			
研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2025年度は約95万円。往復航空運賃、講習費、教材費、エクスカーション費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む)			
研修期間	2027年2月14日(日)～3月7日(日) (22日間) (予定)			
	2月14日(日)	羽田発、トロント着 (ホストファミリー宅へ)		
	2月15日(月) ～3月5日(金)	ヨーク大学での英語研修 (ホームステイ)		
	3月6日(土)	トロント発		
3月7日(日)	羽田着			
その他	大学付属の英語研修機関YUELIで開講されているSpring Break Immersion Program。他大 学学生の参加あり。			

春季	研修先大学	ウーロンゴン大学 (オーストラリア)		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	15名程度			
本学での募集人数	15～30名 (2025年度参加実績19名)			
英語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
教室内の授業	週5日 8:30～12:30または13:30～17:30 (クラス別で異なる)			
授業科目	会話、読解、作文等。各国からの学生とグループディスカッションやプレゼンテーションを通しての学習。			
エクスカーション	シドニー1日ツアー、アクティビティ (水族館、ブルーマウンテンズ、オーガニックファーム、アボリジナルアート体験、老人ホーム訪問等)			
応募資格	獨協大学に在学中であること			
研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2025年度は約90万円。往復航空運賃、団体行動中の交通費、ホームステイ費、講習費、教材費、エクスカーション費、海外旅行保険料、研修期間中の食費 (一部を除く)、燃油サーチャージ等を含む)			
研修期間	2027年2月20日(土)～3月21日(日) (30日間) (予定)			
	2月20日(土)	羽田発		
	2月21日(日)	シドニー着、シドニー市内自由行動		
	2月22日(月) ～3月19日(金)	ウーロンゴン大学での英語研修 (ホームステイ)		
	3月20日(土)	研修終了後シドニーへ移動		
3月21日(日)	シドニー発、羽田着			
その他	留学生を対象とした大学付属の英語研修機関で開講されているクラスで、レベル別に分かれて学びます。			



WHERE YOUR GLOBAL JOURNEY BEGINS グローバルな旅が始まる場所

天野貞祐記念館3階、4階 「ICZ」で、 グローバルな学びの一步を

ICZ(International Communication Zone)は、所属や学年、国籍、年齢関係なく、誰もが外国語や外国の文化に触れ、交流することのできるコミュニケーションスペースです。外国人留学生も多く利用するため、キャンパスにしながら異文化交流ができます。イベントや講座に参加したり、各種資料を使って自習・グループワークをしたりと、あなたの関心や目標に合わせ、大いに活用しましょう。

ICZ活用例

チャットルーム (無料会話レッスン)



本学の学生なら誰でも無料で参加できる少人数制の会話レッスンです。ドイツ語・英語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語の計6言語あります。ネイティブスピーカー教員と気軽に日常会話を練習することで、語学学習のモチベーションが上がります。

学生×留学生イベント



学生のスタッフが企画して留学生との交流イベントを定期的に開催しています。外国語を使ったゲームをしたり、書き初めをしたり、楽しく交流できます。開催は、PorTa IIの掲示板で案内します。ICZには海外のボードゲームや日本のマンガの外国語版もあるので、空いた時間楽しんでください。

外国語学習アドバイジング



語学が得意な先輩が、語学学習などの質問に、同じ学生の立場から相談に乗ります。気軽に相談できる頼れる存在です。留学生が担当することもあるので、会話練習をしたり、海外の大学や外国文化について聞いてみたりするのもおすすめです。

語学検定試験 受験料補助制度



以下の語学検定試験で一定の基準をクリアすると、受験料の一部補助を受けることができます(最大10,000円)。

※試験の受験前に要手続き
※諸条件あり

- [独] ゲーテドイツ語検定試験
- [西] SIELE Global
- [中] HSK
- [英] IELTS
- [韓] TOPIK
- [仏] DELF



短期協定校留学体験記

春季

英語研修

ウーロンゴン大学

2024年度 プログラム参加

英語学科 O. A.

私がこのプログラムを選んだ理由は、自身の英語力がどこまで通用するか試しながらさまざまな経験をしたかったことや、内向的な性格を外向的な性格に変えたかったこと、前半10日間は同行教職員の方がいるという点で安心感があったことなどが挙げられます。実際に参加したことでこれらのメリットを感じられたので、海外に慣れていない方や英語にあまり自信がない方にもおすすめのプログラムだと思います。



授業は、渡航前のレベル分けテストでのスコアによって自分の実力に応じたクラスに入ります。クラスごとに授業内容は異なりますが、私のクラスでは話す・聞く力を問うような対話形式の授業がメインで、英語のスラングやイディオム、オーストラリアの文化についても扱ってくれたため、より実践的な英語を学ぶことができたと感じます。先生もたくさんサポートしてくれたため、英語が苦手な方でも楽しめる授業だと思います。また、エクスカーションでは、シドニーへ泊二日の遠足をしたり、ブルーマウンテンや動物園に行ったりなど、さまざまな経験をすることができました。

ホームステイはマザーのみのご家庭でしたが、非常に優しく迎えてくれ、とても過ごしやすかったです。特に思い出に残っているのは、マザーが経営しているインターナショナルスクールに見学に行かせていただいたことでした。私は教員志望であったため、実際に英語を教えている様子を見ることのできたことはとてもいい経験になりました。ホームステイ以外にも、ウーロンゴン大学でのイベントやバスケットボールサークルの活動に参加するなどさまざまなイベントに主体的に参加するようにしたため、たくさん異文化体験をすることができました。

ホームステイはマザーのみのご家庭でしたが、非常に優しく迎えてくれ、とても過ごしやすかったです。特に思い出に残っているのは、マザーが経営しているインターナショナルスクールに見学に行かせていただいたことでした。私は教員志望であったため、実際に英語を教えている様子を見ることのできたことはとてもいい経験になりました。ホームステイ以外にも、ウーロンゴン大学でのイベントやバスケットボールサークルの活動に参加するなどさまざまなイベントに主体的に参加するようにしたため、たくさん異文化体験をすることができました。

最後にお伝えしたいことは、留学を良いものにできるかどうかは自分次第だと思います。異国という慣れない地で不安も多いと思いますが、ぜひ一歩踏み出してみてください！その一歩が踏み出せば多くのことを得られますし、自分の今後にもつながる経験ができると思います！

夏季

フランス語研修

マリー・エ・ルイ・バストゥール大学

2025年度 プログラム参加

フランス語学科 M. R.

私がこのプログラムに参加した理由は、もともと長期留学に興味があったからです。しかし、なかなか一歩を踏み出す勇気が出なかったため、まずは短期のこのプログラムからチャレンジしてみようと思いました。結果として、この1ヶ月間は本当にあっという間で、非常に充実した時間となりました。



平日は語学学校で8:30から15:30まで授業を受け、休日には学校のプログラムに参加したり、個人的にパリやコルマルを訪れたり、自由に過ごすことができました。学校でのクラスは、事前にクラス分けテストを受け、その結果で振り分けられました。1クラス20名ほどで、授業中はフランス語で積極的にクラスメイトとコミュニケーションを取る形式が多く、自然と会話力が鍛えられました。最初は、フランス人の先生が話していることがほとんど理解することができませんでした。留学の終わりの頃には、なんとなく理解できるようになり、確実にリスニング力がアップしていたと実感することができました。

滞在中は寮で生活をしました。通学は、バスとトラムを利用しました。お昼休みは毎日2時間程度あり、友達と街のカフェやパン屋に行き、フランスの日常を楽しみました。食事の際に通りすがりの人が“Bon appétit”と声をかけてくれて、日本では見られない文化に触れることができました。街の人々はとても親切で、拙いフランス語にも丁寧に対応してくれて、その温かさに何度も心が和らぎました。

1ヶ月という短い期間ではありましたが、この経験を通して自分に自信がつき、視野も大きく広がりました。また、自分や日本を客観的に見つめる機会ともなりました。今後は、このことを活かし、長期留学にも挑戦していきたいです。今まで1ヶ月以上海外に滞在する経験をしたことがなかった私にとって、心から行ってよかったと思える、貴重な経験となりました。

留学制度 短期留学

短期協定校留学オンラインプログラム

渡航をとまなう短期協定校留学および短期認定留学のほかに、オンラインプログラムを実施します。

■オンラインプログラムのメリット

- ・渡航することなく現地の授業を受けることができるので費用を抑えることができる。
- ・ディスカッションやグループワーク等を通じて、他大学や他国・地域の学生と交流することができる。プログラムによっては、現地学生や地元住民との交流も含まれる。
- ・ライブ授業だけでなく、オンデマンドによるレッスンが充実している。
- ・オンライン上のコミュニケーション力やITスキルを鍛えることができる。

■オンラインプログラム参加の目的（参加者アンケートより）

- ・語学力の向上
- ・語学学習に対するモチベーションの向上
- ・現地の文化や社会を知ること視野を広げたい
- ・長期留学に行くための事前準備

■募集案内・参加申込について

夏季または春季に実施する各プログラム詳細が決まり次第、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] でお知らせします。参加を希望の場合は、「短期協定校留学（オンラインプログラム）参加申込書」を定められた期日までに国際交流センターに提出してください。その後、国際交流センターの指示に従い、研修先大学への出願および参加費支払いを完了してください。

「短期協定校留学（オンラインプログラム）参加申込書」は、PorTaⅡ ダウンロードセンター＞留学支援＞留学関連提出書類＞短期留学参加申込書類＞短期協定校留学（オンラインプログラム）からダウンロードしてください。

※短期協定校留学（オンラインプログラム）は、2単位認定プログラムです。また参加者による単位認定申請手続きは不要です。

■単位認定

留学先が発行する修了証、成績表をもとに単位認定の審査が行われ、その結果により単位が認定されます。研修に参加すれば自動的に単位認定されるわけではありません。また単位認定で振替・換算できる科目は学部・学科により異なるので、P.33からの「短期留学により修得した単位の認定について」を熟読し、不明点がある場合は必ず事前に教務課の各学部窓口で確認してください。

■参加に係る留意点

- ・時差
プログラムの開始時間は必ずしも日本時間の日中でなく、現地との時差を考慮してください。授業が行われる時間を事前に確認の上、参加を決める必要があります。
- ・通信機器・環境・通信データ量
使用されるオンラインツールはZoom、Microsoft Teamsなどプログラムによって異なります。マイクやカメラのほか、安定した通信環境を整えるとともに、授業で利用するアプリなども最新のバージョンにアップデートしておきましょう。

以下は2026年3月1日時点の情報です。プログラムが追加または中止されたり、日程や内容および費用が変更となる場合があります。

※日程および時間は日本時間で表記しています。

研修言語	英語
国・地域名	カナダ
プログラム提供	レジャイナ大学
プログラム名	Learn English and Experience Western Canada Online
クラスのレベル	初級～中上級
日程（プログラム日数）	夏季：2026年8月3日～21日 春季：2027年2月初旬～下旬（予定）
授業時間数	69時間（4,140分）
授業内容	総合的な英語力アップのための集中講座：さまざまなトピックを通してカナダの文化を学ぶ。（ライブ授業 38.5時間／オンデマンド授業 30時間）
費用	1,000カナダドル（約112,000円）＋オプション費用別途

※参考 1カナダドル≒112円（2026年2月時点）

協定校提供 短期オンラインプログラム参加体験記

英語研修

レジャイナ大学（カナダ）

英語学科 O. M.

レジャイナ大学のオンライン留学プログラムに参加しようと思ったのは、長期休暇中に英語力を鍛えたい、何か一つのことを頑張りたいという思いがあったからです。元々長期休暇には海外に留学したいと思っていましたが、コロナで渡航ができなかったため、大学の案内を見てオンライン留学の参加を決めました。

本プログラムの良かった点は3つあります。1つ目は授業が午前中という点です。時差の関係で昼前に授業が終わるので長期休暇でも規則正しい生活ができます。午後は基本的に自由に過ごせるので充実した一日が送れました。2つ目は多くのアクティビティが含まれていたことです。毎週レジャイナ大学周辺の博物館や農場ヘリアルタイムのオンラインツアーなどのイベントがありました。ツアーガイドの方と会話をしながらなので、家にいながらもカナダに留学しているような気分になりとても楽しかったです。3つ目はレジャイナ大学学生との交流機会です。Zoomのブレイクアウトルームでレジャイナ大学に留学中の学生と（私は中国人学生と）1対1で話しました。お互い母語は英語ではないので相手の英語の訛りに苦戦しながらも、文化の違いやコロナ禍の状況などたくさん話すことができ、少しですが会話力が鍛えられた気がします（笑）。

3週間毎日英語に触れる環境に身を置くことで、英語コミュニケーション能力に自信が付き、とても充実した長期休暇になりました！

テンプレ大学ジャパンキャンパスプログラム

日本国内	大学名	テンプレ大学ジャパンキャンパス AEP			
	U R L	Temple University Japan Campus (Academic English Program)			
	大学設立年	1982年	協定締結年		2024年
	所在地	東京都世田谷区太子堂1-14-29			
大学紹介	米国ペンシルベニア州立総合大学であるテンプレ大学の日本校として設立され、2005年2月に文部科学省が外国大学日本校に指定した。本学との協定は、米国本校とは関わりなく、ジャパンキャンパスのAEPに限定。学部生の交換はなく、AEPが開講するプログラムを獨協生が受講する形式で、対象となるプログラムは獨協大学国際交流センターが指定・案内する。				
派遣期間	現状では獨協大学の春期休暇期間中（短期プログラム）に限定して運用中				
成績条件	なし				
外国語力条件	募集の際に公示する				
費用概算	授業料	283,000円（2026年実施例／2科目受講・早割適用の場合）			
	教材費	0～10,000円(受講科目による)			
	合計	約300,000円			
備考	単位認定には条件があるため申し込む前に確認すること（P.27参照）				

テンプレート大学ジャパンキャンパス短期留学プログラムの認定科目、認定単位数一覧

学部学科		60時間分修得の場合	120時間分修得の場合
外国語学部	ドイツ語学科	一研修につき、「English」として1単位×2科目まで認定されます。	一研修につき、「English」として1単位×4科目まで認定されます。
	英語学科	【2023年度までの入学者】 プログラムに参加した翌学期に「Communication Skills」(2単位×1科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(2単位)として認定されます。	【2023年度までの入学者】 プログラムに参加した翌学期に「Communication Skills」(2単位×2科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(4単位)として認定されます。
		【2024年度以降入学者】 プログラムに参加した翌学期に「Communication Seminar」(2単位×1科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Seminar」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(2単位)として認定されます。	【2024年度以降入学者】 プログラムに参加した翌学期に「Communication Seminar」(2単位×2科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Seminar」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(4単位)として認定されます。
	フランス語学科	一研修につき、「English」として1単位×2科目まで認定されます。	一研修につき、「English」として1単位×4科目まで認定されます。
交流文化学科	【2023年度までの入学者】 プログラムに参加した翌学期に学科共通科目「Communication Skills」(2単位×1科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(2単位)として認定されます。	【2023年度までの入学者】 プログラムに参加した翌学期に学科共通科目「Communication Skills」(2単位×2科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(4単位)として認定されます。	
	【2024年度以降入学者】 プログラムに参加した翌学期に学科専門科目「Discussion」(2単位×1科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Discussion」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(2単位)として認定されます。	【2024年度以降入学者】 プログラムに参加した翌学期に学科専門科目「Discussion」(2単位×2科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Discussion」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(4単位)として認定されます。	
国際教養学部	研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、次の条件を満たす場合は、記載している表(※1)の科目を1単位×2科目まで(ただし、英語上級、英語演習Ⅱ、上級英語演習Ⅰ、上級英語演習Ⅱは2単位×1科目まで)卒業要件単位として振り替えることができます。 ・学生が科目の振り替えを希望し、当該科目を未修得であること。 ・振り替えることができる科目は、研修に参加した学期までに当該学生が履修可能な科目に限る。 ・5学期に研修に参加した場合、英語上級は1科目2単位まで振り替え可とする。	研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、次の条件を満たす場合は、記載している表(※1)の科目を1単位×4科目まで(ただし、英語上級、英語演習Ⅱ、上級英語演習Ⅰ、上級英語演習Ⅱは2単位×2科目まで)卒業要件単位として振り替えることができます。 ・学生が科目の振り替えを希望し、当該科目を未修得であること。 ・振り替えることができる科目は、研修に参加した学期までに当該学生が履修可能な科目に限る。 ・5学期に研修に参加した場合、英語上級は1科目2単位まで振り替え可とする。	
経済学部	研修に参加した翌学期に「English(全力選択必修科目)」(1単位×2科目)として単位認定します。	研修に参加した翌学期に「English(全力選択必修科目)」(1単位×4科目)として単位認定します。	
法学部	研修に参加した翌学期に「English」の単位として振り替え(2単位)	研修に参加した翌学期に「English」の単位として振り替え(4単位)	

※1 国際教養学部の英語科目一覧

【2023年度以前入学者】

英語研修	1から7学期で研修に参加	履修可能学期	科目名
		1	英語Ⅰ(IE)、(W)、(S)
2	英語Ⅱ(IE)、(W)、(S)		
3	英語Ⅲ(IE)、(W)		
4	英語Ⅳ(IE)、(W)		
5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ		

【2024年度以降入学者】

英語研修	1から7学期で研修に参加	履修可能学期	科目名
		1	英語Ⅰ(IE)、(W)、(S)
2	英語Ⅱ(IE)、(W)、(S)		
3	英語Ⅲ(IE)、(EP)		
4	英語Ⅳ(IE)、(EP)		
5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ		

短期認定留学

本学の指定する旅行会社の主催・運営による短期認定留学に参加した場合、所定の手続きと申請に基づき、短期認定留学により修得した単位を、一定の基準に基づいて本学で修得すべき授業科目の単位として認定することができます。プログラムへの参加を希望する人は、次の手続きを行ってください。なお、短期認定留学の申込にあたっては、プログラムに参加する学期は、在学していることが必要です。

1. 短期認定留学プログラム説明会への出席

詳細はPorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にてお知らせします。
夏季プログラム：2026年4月15日（水） / 春季プログラム：2026年10月7日（水）（予定）

2. 短期認定留学研修先の決定

「2026年度短期認定留学プログラム一覧」から研修先を選択してください。各プログラムに関する質問はエスティーエートラベルが応じます。また、各プログラムのパンフレットは、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にも掲載します。

※実施プログラムの開始日は、各学期の定期試験期間終了後に設定していますが、参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じて、特別措置は一切講じられません。プログラム選定の際は、各自で十分に留意してください。

3. 研修の申込

プログラムの申込については、1.の短期認定留学プログラム説明会にて説明します。

■オンライン申込：各プログラム募集要項記載のQRコードより申込

■国際交流センターに「短期認定留学参加申込書」、「誓約書」を以下の期日までに提出してください。

夏季プログラム：2026年6月5日（金）15：30 / 春季プログラム：2026年11月27日（金）15：30

「短期認定留学参加申込書」「誓約書」は、PorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 短期留学参加申込書類 > 短期認定留学からダウンロードしてください。

4. 海外安全対策セミナーに出席

詳細は、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] および [あなたへのお知らせ] にてお知らせします。

以下の日程で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

夏季：2026年7月1日（水）または7月3日（金）（予定）

春季：2027年1月8日（金）または1月13日（水）（予定）

5. 海外旅行保険等に加入（Web手続き・支払い）・被保険者証の受信

短期認定留学参加者は全員、本学が指定する海外旅行保険に加入していただきます。

Web申込方法や金額・支払い方法等は海外安全対策セミナーで案内します。

手続き完了後、メールで受信する被保険者証は必ず印刷し、渡航先へ持参しましょう。

6. 短期認定留学の単位認定申請手続き

「短期認定留学単位認定申請書」を研修先大学等発行の修了証、成績表、「短期認定留学参加者アンケート」とともに以下の期日までに国際交流センターに提出してください。締切日以降の単位認定申請はできません。

夏季プログラム：2026年10月19日（月）15：30 / 春季プログラム：2027年4月19日（月）15：30

「短期認定留学単位認定申請書」「短期認定留学参加者アンケート」は、PorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 短期認定留学単位認定申請書類からダウンロードしてください。

★プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。



2026年度短期認定留学プログラム一覧

以下は2026年2月現在の情報のため、最新のプログラム日程や費用は説明会で確認してください。

*プログラムにより認定される単位数が異なります。

*プログラムに変更が生じた場合は、PorTa II 掲示板「留学支援・国際交流」にてお知らせします。

夏季

研修先大学 (国・地域名)	サンディエゴ州立大学 (アメリカ)
研修都市	サンディエゴ
研修期間 (予定)	2026/8/12~2026/9/13
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	965,000~995,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大18名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	LSIポーツマス (英国)
研修都市	ポーツマス
研修期間 (予定)	2026/8/2~2026/8/24
認定単位数	3単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	718,000~738,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	LSIポーツマス (英国)
研修都市	ポーツマス
研修期間 (予定)	2026/8/15~2026/9/14
認定単位数	4単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	798,000~838,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~、IELTSコースはB1レベル (TOEIC L&R 550相当)以上 / 最大12名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	イーストサセックスカレッジ (英国)
研修都市	ルイス
研修期間 (予定)	2026/8/30~2026/9/20
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	648,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~、A2レベル以上 / 最大20名
宿泊形態	学生寮 (学生レジデンス)

研修先大学 (国・地域名)	サザンクロス大学 (オーストラリア)
研修都市	ゴールドコースト
研修期間 (予定)	2026/8/15~2026/9/12
認定単位数	3単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを含む)	800,000~900,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	カンタベリー大学 (ニュージーランド) (運営 : CCEL)
研修都市	クライストチャーチ
研修期間 (予定)	2026/8/15~2026/9/6
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを含む)	654,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	エンデランカレッジ (フィリピン)
研修都市	マニラ
研修期間 (予定)	2026/8/16~2026/9/12
認定単位数	4単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	500,000~580,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / マンツーマン授業 : 1名、グループ授業 : 4~10名
宿泊形態	大学寮

研修先大学 (国・地域名)	デ・ラ・サルアラネタ大学 (フィリピン)
研修都市	マニラ
研修期間 (予定)	2026/8/23~2026/9/5
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	430,000~460,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大10名
宿泊形態	学生寮 (学生レジデンス)

研修先大学 (国・地域名)	アジアパシフィック大学 (マレーシア)
研修都市	クアラルンプール
研修期間 (予定)	2026/8/2~2026/8/29
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	500,000~600,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大32名
宿泊形態	学生寮 (学生レジデンス)

春季

研修先大学 (国・地域名)	コロラド大学ボルダー校 (アメリカ)
研修都市	ボルダー
研修期間 (予定)	2027/2/6~2027/2/28
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	876,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大20名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	CIEオックスフォード (英国)
研修都市	オックスフォード
研修期間 (予定)	2027/2/14~2027/3/7
認定単位数	3単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	775,000円
クラスレベル / クラス人数	ツーリズム研修 : 中級~※ / 最大15名 ※授業は英語レベル別のクラス編成ではありません
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	チチェスターカレッジ (英国)
研修都市	チチェスター
研修期間 (予定)	2027/2/13~2027/3/7
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	658,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大16名
宿泊形態	学生寮 (学生レジデンス)

研修先大学 (国・地域名)	カンタベリー大学 (ニュージーランド) 運営 : CCEL Christchurch
研修都市	クライストチャーチ
研修期間 (予定)	2027/2/13~2027/3/7
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを含む)	654,000円
クラスレベル / クラス人数	初中級~ / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	エンデランカレッジ (フィリピン)
研修都市	マニラ
研修期間 (予定)	2027/2/14~2027/3/13
認定単位数	4単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	500,000~580,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / マンツーマン授業 : 1名、グループ授業 : 4~10名
宿泊形態	大学寮

研修先大学 (国・地域名)	デ・ラ・サルアラネタ大学 (フィリピン)
研修都市	マニラ
研修期間 (予定)	2027/2/14~2027/2/27
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	430,000~460,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大10名
宿泊形態	学生寮 (学生レジデンス)

研修先大学 (国・地域名)	アジアパシフィック大学 (マレーシア)
研修都市	クアラルンプール
研修期間 (予定)	2027/2/21~2027/3/20
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	500,000~600,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大32名
宿泊形態	学生寮 (学生レジデンス)

研修先大学 (国・地域名)	F+U アカデミーオフランゲージズ ハイデルベルク (ドイツ)
研修都市	ハイデルベルク
研修期間 (予定)	2027/2/13~2027/3/7
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	678,000~713,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	学生寮 (学生レジデンス)

研修先大学 (国・地域名)	カヴィラム (フランス)
研修都市	ヴィシー
研修期間 (予定)	2027/2/7~2027/2/28
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	783,000~788,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大15名
宿泊形態	ホームステイ

研修先大学 (国・地域名)	CLICインターナショナルハウス (スペイン)
研修都市	セビリア
研修期間 (予定)	2027/2/13~2027/3/7
認定単位数	2単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	683,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大10名
宿泊形態	学生寮 (学生レジデンス)

研修先大学 (国・地域名)	韓国外国語大学 (韓国)
研修都市	ソウル
研修期間 (予定)	2027/3/3~2027/3/23
認定単位数	3単位
費用 (予定)(燃油サーチャージを除く)	430,000~460,000円
クラスレベル / クラス人数	初級~上級 / 最大13名
宿泊形態	民間レジデンスまたはホテル



短期認定留学（学外ドイツ語活動）

ドイツ語学科においては、学科が推奨する短期留学に参加した場合、所定の手続きと申請に基づき、受講時間数に応じて、本学で修得すべき授業科目（2023年度以前入学者は選択科目、2024年度以降入学者は「学外ドイツ語活動」）の単位として認定することができます（ただし、ドイツ語学科以外の学生は、本制度を適用した単位認定の対象外になります）。プログラムへの申込、航空券・宿泊場所の手配などはすべて学生自身が手続きを行うことになります。

1. プログラム申込、航空券、宿泊手配

DAAD（ドイツ学術交流会）のウェブサイトにて短期ドイツ語コースの情報がまとまっていますので、主体的に情報収集を行ってください。参加を希望するプログラムが決定したら、研修先大学名および渡航日程をドイツ語学科共同研究室（laboger@ml.dokkyo.ac.jp）に連絡し、参加許可を得たのちに、学生自身でプログラムへの申込、航空券・宿泊場所の手配を行ってください。事前に参加許可を得ていない場合、単位認定の対象となりませんので注意してください。

参考（DAADウェブサイト）：<https://www2.daad.de/deutschland/studienangebote/sommerkurse/de/>

以下のプログラムはあくまで一例であり、変更や中止などが生じる場合があります。必ず自身で最新の情報を確認してください。なお、以下のプログラム以外でも、所定の条件を満たせば単位認定が可能な場合があります。必ず事前にドイツ語学科の担当教員に相談してください。

2026年度夏季 短期認定留学（学外ドイツ語活動）候補プログラム（ドイツ）

研修先大学	プログラム期間	申込締切	費用 (Euro)	レベル	時間数 (h)	認定単位数
トリーア大学	8/3~8/28	7/15	790	A1, A2, B1, B2, C1	65.25	2
GIP-Sommerkurs Jena	8/3~8/21	5/1	300	A1, A2, B1	60	2
フライブルク大学	8/3~8/28	6/30	900	A1, A2, B1, B2, C1	*75	3
デュッセルドルフ大学	8/4~8/28	6/15	700	A1, A2, B1, B2, C1	100	4
ハノーファー大学	8/5~8/28	6/1	790	A2, B1, B2	*75	3
ハイデルベルク大学	7/31~8/27	6/15	910	A1, A2, B1, B2, C1, C2	*84	3
ビーレフェルト大学	8/5~9/3	6/30	790	A2	*75	3
チュービンゲン大学	8/3~8/28	6/30	790	A2, B1, B2, C1	96	4
ミュンスター大学	8/3~8/26	7/13	550	A2, B1, B2, C1	*67.5	3
ミュンヘン大学	8/4~8/27	6/20	640	A1, A2, B1, B2, C1	*75	3

* 「学外ドイツ語活動」（2単位）＋「換算科目」（1単位）として認定予定

2. 参加申込書、誓約書提出

ドイツ語学科教員から配付された「短期認定留学参加申込書（学外ドイツ語活動）」および「誓約書」をドイツ語学科共同研究室（laboger@ml.dokkyo.ac.jp）にて2026年6月5日（金）15時までに提出してください。

3. 海外安全対策セミナー参加（必須）

2026年7月1日（水）または7月3日（金）（予定）

詳細はPorTaⅡ掲示板「留学支援・国際交流」および「あなたへのお知らせ」にてお知らせします。

授業との重複で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

4. 海外旅行保険等の加入（Web手続き・支払い）・被保険者証の受信

短期認定留学（学外ドイツ語活動）参加者は、渡航を許可された全日程について本学が指定する海外旅行保険等に加入する必要があります。Web申込方法や金額・支払い方法等は海外安全対策セミナーで案内します。手続き完了後、メールで受信する被保険者証は必ず印刷し、渡航先へ持参しましょう。

5. 単位認定申請手続き

「短期認定留学（学外ドイツ語活動）単位認定申請書」を研修先大学等発行の修了証、成績表と「短期認定留学（学外ドイツ語活動）参加者アンケート」とともに、2026年9月30日（水）までにドイツ語学科共同研究室（laboger@ml.dokkyo.ac.jp）まで提出してください。締切日以降の単位認定申請はできません。



フィリピン

エンデランカレッジ

2024年度 春季プログラム参加

言語文化学科 S. H.

私は春休み期間を利用し、フィリピンのエンデランカレッジで2024年の2月から1ヶ月間の語学留学に参加しました。平日は毎日、午前8時から12時までマンツーマンでの英語レッスンがあり、午後1時から3時までグループレッスンがありました。週末は授業がなく自由に過ごせたため、週末アクティビティに参加したり、友だちと現地の観光スポットに旅行したりして過ごしました。

平日の個別レッスンでは、学校で配布された教科書をもとに、道案内などの基礎的な表現からビジネスの場面で使われる表現まで、テーマ別に幅広く学びました。午前中は4時間びっしり授業が続くため、最初は大変に感じることもありましたが、先生方がとてもフレンドリーで常に気遣ってくれたため、楽しみながら授業に取り組むことができました。

午後のグループレッスンは、曜日ごとに内容が分かれていました。月・水・金曜日は社会問題をテーマにディスカッションを行う「Social Club」、火曜日は学校内の生徒や先生にインタビューして発表する「Field Work」、木曜日はフィリピンの社会問題や伝統について学び議論する「Interaction」でした。グループレッスンは、獨協大学から来たメンバーと先生だけの少人数だったため、発言しやすく、集中して授業に取り組むことができました。特に印象に残っているのは火曜日のField Workです。知らない生徒や先生に話しかけなければならず、初めはとても緊張しました。しかし、フィリピンのフレンドリーな国民性のおかげで、皆が快くインタビューに応じてくれました。その経験は、精神的な面でも英語スキルの面でも、自分の成長につながったと感じています。

休日は、友だちとスーピックへ旅行に行ったり、週末アクティビティに参加したりしました。週末アクティビティでは、サンチャゴ要塞やマニラ大聖堂などの世界遺産を訪れたり、スラム街を見学してストリートチルドレンと交流したりしました。

ストリートチルドレンとの交流では、最初は「貧しい子どもたち」という印象が強かったのですが、実際にかかわってみると、彼らはとても明るく人懐っこく、すぐに打ち解けることができました。彼らの生活環境を見たり、直接会話をしたりする中で、スラム街に暮らす人々の現実を知ることができ、自分の視野や価値観を広げる非常に貴重な経験になりました。

1ヶ月間の留学を通して、語学学習だけでなく、異文化理解や社会問題への関心を深めることができました。特に、現地の人々との交流やスラム街の見学は、教室では得られない視点を得て、自分の価値観を広げる経験となりました。今回の留学で得た学びは、今後の学習や人生に大きな影響を与えるものだと感じています。



英国

チチェスターカレッジ

2025年度 夏季プログラム参加

国際関係法学科 T. K.

私は、2025年8月31日～9月21日までイギリスにあるチチェスターカレッジへ語学留学に行きました。私が留学先にイギリスを選んだ理由は、アメリカやオーストラリアに比べ、イギリスは歴史や文化が色濃く残っている地域であるため、日常の中で学ぶ経験が多いと感じたからです。

留学前の私の英語レベルはかなり低く日常会話が成り立つのか不安でした。実際にカレッジへ行ってみると現地の先生の話すスピードが速く聞き取ることが難しく授業についていけない日々が続きました。私の性格上最初から馴染むこともできず「帰りたいな」と内心感じることもありましたが、しかし、せっかく留学に来たしちょっと恥ずかしい思いをしてでも行動すべきだと感じ、先生に分からないことは積極的に質問してみたり、分からなくても答えたりすることで自然と英語に慣れてきて最後の週は少しレベルの高いクラスに参加し、その授業にもついていける程度まで英語力を伸ばすことができました。

また放課後に行われるゲームイベントやピザパーティーなどにも積極的に参加し、海外の学生と交流を深めたくさんの友人を作ることもできました。その友人とは、夜一緒にボウリングに行ったり、みんなでご飯に行ったりとたくさんの思い出を作ることができました。

休日にはロンドンなどの観光地に行き、カフェに行ったりおいしいご飯を食べたり日本で過ごす休日とは少し違う優雅な時間を過ごすことができました。私は英語がほとんどできなかったのですがこのような観光も英語を学ぶ重要な機会だと考えていて、英語を使えるタイミングがあれば積極的に話すよう心がけました。そのおかげでたくさんの貴重な経験をすることができたと思います。

この留学を通して学んだことは、コミュニケーションの大切さと、積極的に行動することです。日本でも海外でもこの2つを意識することで周りの人たちと良い関係を築くことができるのではないかと思います。この経験を次は社会人になった時に活かしたいと考えています。自分がすべきことと考えて行動することや周りの人たちとのコミュニケーションなど、活かせる場面はたくさんあると思うので今後の成長につなげていきたいです。



短期留学 Q&A

Q 1. 短期協定校留学と短期認定留学の違いは何ですか？

A 1. 主な違いは本学教職員の同行有無と実施校の違いです（詳細はP.14参照）。海外渡航を伴う短期協定校留学はプログラム開始時から約10日間は原則として本学教職員が同行しますが、短期認定留学は日本出発時から帰国まで参加者の個人行動となります。また短期協定校留学は本学協定校での実施に限られますが、短期認定留学ではさまざまな国・地域の教育機関によるプログラムを選択することができます。ただし、どちらのプログラムにおいても予め決められた留学期間を短縮・延長することはできません（短期認定留学（学外ドイツ語活動）は除く）。※日本国内での留学は協定校であっても教職員の同行はありません。

Q 2. 参加にあたり、語学力や成績の条件、選考はありますか？

A 2. 短期協定校留学：語学力や成績要件はなく募集人数を超過しない限り、原則的に選考はありません。
短期認定留学：一部のコースでは語学力要件が設けられています。またプログラム定員を超過した場合には、参加できないことがあります。

Q 3. 短期留学期間中に卒業を迎える予定ですが、参加できますか？

A 3. 短期留学は本学在学生在が参加できるプログラムです。卒業を予定している8学期生は、卒業予定日（3月20日または9月20日）より前に研修が終了するプログラムのみ参加が可能です。なお8学期生が研修に参加した場合、単位認定の対象となりません。

Q 4. 短期認定留学（学外ドイツ語活動）の内容や参加条件を教えてください。

A 4. 参加希望者自身でドイツ語学科が推奨するプログラム等から興味のあるプログラムを選択し、申込や航空券、宿泊などの手配を行うプログラムです。イェーナ大学GIPプログラムを除き原則、ドイツ語学科生のみが参加できます。本学が定める所定の手続きと申請をすることで、受講時間数に応じて単位認定をすることができます。詳細はP.30を確認してください。

Q 5. 留学中はどこに滞在しますか？

A 5. 滞在先は学生寮、ホームステイ等があります。協定校留学ではプログラムごとに指定されますが、認定留学では滞在先を選択できるプログラムもあります。滞在先により食事、シャワー、洗濯等のルールが異なります。初日に各自しっかり確認しておきましょう。特に短期認定留学（学外ドイツ語活動）では、安全面等に十分に配慮し、滞在先を決めましょう。

Q 6. 留学中、勉強以外にできることはありますか？

A 6. プログラムにより、エクスカージョン等が組み込まれている場合と、オプションで選択可能な場合があります。現地の文化を体験するよい機会となりますので参加を検討してみてください。ただし、車やバイク運転、電気を動力とする乗り物（電動キックボード、ペダル付き原動機付自転車など）、パラグライダー、スカイダイビングなど危険を伴う活動は禁止されており、これらの活動に伴うケガや事故は保険適用対象外となります。

Q 7. 現地での生活費用はいくら必要ですか？

A 7. 留学先やプログラムに含まれる食事の回数等によっても金額は大きく異なります。過去の参加者のアンケートを国際交流センター内で公開していますので参考にしてください。また渡航時に多額の現金を持っていくのは危険です。クレジットカード（VISAかMastercard）、国際キャッシュカード、VISAデビットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポートなど、複数の手段を用意しましょう。なお、近年は電子マネーによる決済も増えています。

Q 8. 初めての海外です。渡航前に知っておくべきことはありますか？

A 8. 各研修のオリエンテーションおよび海外安全対策セミナーで基本事項を説明しますので必ず出席しましょう。事前に外務省海外安全情報無料配信サービス「たびレジ」に登録し、外務省の海外安全ホームページに掲載されているパンフレット『海外安全虎の巻』（PDFファイル）にも目を通しておきましょう。現地では、「ここは日本ではない！」という意識を常に持ちながら行動することが大切です（P.110～参照）。

Q 9. 留学中に病気やケガをするなど、困った時は誰に相談できますか？

A 9. 全ての参加者は、大学が指定する海外旅行保険およびトータルサポートサービスへの加入が義務づけられています。「海外危機管理サポートデスク」に連絡（LINE無料通話にも対応）をすれば、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて、24時間365日、日本語で相談することができます。

Q 10. 留学先にはどんな通信手段を持って行けばよいですか？

A 10. 日本で普段使用している携帯電話、スマートフォンを海外でそのまま利用すると、国際ローミングサービスを利用することになり、高額な費用がかかります。海外で通話をしたい場合や無料Wi-Fiスポット以外でもインターネットを利用したい場合には、海外で使用可能なポケットWi-FiやSIMカード等を手配しておくことをおすすめします。

短期留学により修得した単位の認定について

1. 履修登録

短期協定校留学参加申込書または短期認定留学参加申込書を提出し、参加が認められた学生は、その申込書の提出をもって履修登録の手続完了とみなされます。この登録は履修登録上限には含まれません。

2. 成績評価、単位認定および振替・換算について

短期協定校留学の場合は同行教員、短期認定留学の場合は原則として所属学部学科の教務委員が、オンラインプログラムの場合には同行教員がないため協定校留学、認定留学ともに所属学部学科の教務委員が帰国後またはプログラム修了後に提出された修了証と成績表をもとに評価します。

合格と評価された場合は、短期留学に参加した翌学期の単位として認定し、翌学期の成績通知表に研修参加校名とともに評価欄に「P」と記載し、通知します。

振替・換算される科目は学部・学科により異なるので、以下の学科別の単位認定方針を各自熟読し、不明点は事前に教務課各学部係で確認してください。

また、認定単位数や振替・換算科目等の単位認定方針はプログラムにより変更となる場合があるので、参加申込時に必ず確認してください。

なお、卒業予定時期に関わらず、8学期生が研修に参加した場合、単位認定の対象となりません。

振替・換算される科目は学部・学科により異なります。また、学科別の単位認定方針に記載がない言語圏に短期留学した場合、単位は認定されません。以下の学科別の単位認定方針を各自熟読し不明点は事前に教務課各学部係で確認してください。

3. 単位の認定上限

認定できる単位数は通算8単位までです。



ドイツ語学科

ドイツ語研修	一研修につき、2023年度以前入学者は、選択科目〔換算科目（【留学先名】短期留学）（1単位×4科目まで）、2024年度以降入学者は、「学外ドイツ語活動」（2単位×2科目まで）として認定されます。
英語研修	一研修につき、「English」として1単位×4科目まで認定されます。



英語学科

	2単位	3単位	4単位
英語研修	・「Communication Skills」 (2単位×1科目) ・「換算科目（短期留学）」(2単位)*	・「Communication Skills」 (2単位×1科目) + 「換算科目（短期留学）」(1単位) ・「換算科目（短期留学）」(3単位)*	・「Communication Skills」 (2単位×2科目) ・「換算科目（短期留学）」(4単位)*
英語研修	・「Communication Seminar」 (2単位×1科目) ・「換算科目（短期留学）」(2単位)*	・「Communication Seminar」 (2単位×1科目) + 「換算科目（短期留学）」(1単位) ・「換算科目（短期留学）」(3単位)*	・「Communication Seminar」 (2単位×2科目) ・「換算科目（短期留学）」(4単位)*
ドイツ語研修 フランス語研修 スペイン語研修 中国語研修 韓国語研修	一研修につき、全学共通授業科目の選択科目（外国語部門（英語以外））【言語名】（4単位まで×1科目）として認定されます。ただし、第二外国語としては認定されません。		

* 単位認定時に「Communication Skills」または「Communication Seminar」の履修条件を満たしていない場合



フランス語学科

フランス語研修	一研修につき、2019年度入学者は、卒業要件外科目「フランス語」（1単位×4科目まで）、2020年度以降入学者は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（1単位×4科目まで）として認定されます。
英語研修	一研修につき、「English」として1単位×4科目まで認定されます。



交流文化学科

【英語】

英語研修	2単位		3単位		4単位	
	2023年度以前 入学者	・「Communication Skills」 (2単位×1科目) ・「換算科目(短期留学)」 (2単位)*	・「Communication Skills」 (2単位×1科目) + 「換算科目 (短期留学)」(1単位) ・「換算科目(短期留学)」 (3単位)*	・「Communication Skills」 (2単位×2科目) ・「換算科目(短期留学)」 (4単位)*		
2024年度以降 入学者	・「Discussion」(2単位×1科目) ・「換算科目(短期留学)」 (2単位)*	・「Discussion」(2単位×1科目) + 「換算科目(短期留学)」 (1単位) ・「換算科目(短期留学)」 (3単位)*	・「Discussion」(2単位×2科目) ・「換算科目(短期留学)」 (4単位)*			

*単位認定時に「Communication Skills」または「Discussion」の履修条件を満たしていない場合

【第二外国語(英語プラス1言語)】

卒業要件外科目として認定されます。ただし、下記科目を第二外国語(英語プラス1言語)として過去に履修登録し、単位認定時に未修得の場合は、以下に記載している順番に1単位×4科目まで振り替えます。

ドイツ語研修	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
	1	ドイツ語(Ia総合1)	6	ドイツ語(Ib総合3)	11	ドイツ語(IIb総合2)
	2	ドイツ語(Ia総合2)	7	ドイツ語(IIa総合1)	12	ドイツ語(IIb総合3)
	3	ドイツ語(Ia総合3)	8	ドイツ語(IIa総合2)	13	ドイツ語(IIIa応用)
	4	ドイツ語(Ib総合1)	9	ドイツ語(IIa総合3)	14	ドイツ語(IIIb応用)
	5	ドイツ語(Ib総合2)	10	ドイツ語(IIb総合1)		

フランス語研修	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
	1	フランス語(Ia総合1)	6	フランス語(Ib応用)	11	フランス語(IIb総合2)
	2	フランス語(Ia総合2)	7	フランス語(IIa総合1)	12	フランス語(IIb応用)
	3	フランス語(Ia応用)	8	フランス語(IIa総合2)	13	フランス語(IIIa応用)
	4	フランス語(Ib総合1)	9	フランス語(IIa応用)	14	フランス語(IIIb応用)
	5	フランス語(Ib総合2)	10	フランス語(IIb総合1)		

スペイン語研修	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
	1	スペイン語(Ia総合1)	6	スペイン語(Ib会話)	11	スペイン語(IIb会話2)
	2	スペイン語(Ia総合2)	7	スペイン語(IIa会話1)	12	スペイン語(IIb総合)
	3	スペイン語(Ia会話)	8	スペイン語(IIa会話2)	13	スペイン語(IIIa応用)
	4	スペイン語(Ib総合1)	9	スペイン語(IIa総合)	14	スペイン語(IIIb応用)
	5	スペイン語(Ib総合2)	10	スペイン語(IIb会話1)		

中国語研修	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
	1	中国語(Ia講読・文法)	6	中国語(Ib会話2)	11	中国語(IIb会話1)
	2	中国語(Ia会話1)	7	中国語(IIa講読・文法)	12	中国語(IIb会話2)
	3	中国語(Ia会話2)	8	中国語(IIa会話1)	13	中国語(IIIa応用)
	4	中国語(Ib講読・文法)	9	中国語(IIa会話2)	14	中国語(IIIb応用)
	5	中国語(Ib会話1)	10	中国語(IIb講読・文法)		

韓国語研修	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
	1	韓国語(Ia総合1)	6	韓国語(Ib応用)	11	韓国語(IIb総合2)
	2	韓国語(Ia総合2)	7	韓国語(IIa総合1)	12	韓国語(IIb応用)
	3	韓国語(Ia応用)	8	韓国語(IIa総合2)	13	韓国語(IIIa応用)
	4	韓国語(Ib総合1)	9	韓国語(IIa応用)	14	韓国語(IIIb応用)
	5	韓国語(Ib総合2)	10	韓国語(IIb総合1)		



国際教養学部

研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、次の条件を満たす場合は、記載している表の科目を1単位×4科目まで（ただし、英語上級、英語演習Ⅱ、上級英語演習Ⅰ、上級英語演習Ⅱ、スペイン語上級、中国語上級、韓国語上級は2単位×2科目まで）卒業要件単位として振り替えることができます。

- ・当該科目を未修得であること。
- ・振り替えることができる科目は、研修に参加した学期までに当該学生が履修可能な科目に限る。
- ・5学期に研修に参加した場合、英語上級は1科目2単位まで振り替え可とする。

該当科目への振替申請は、各学期の履修登録期間に行ってください。

研修修了者であっても、認定単位が成績通知表に記載されていない時点（認定確定前）での振替申請はできません。

【2023年度以前入学者】

英語研修	1 から 7 学期 で 研 修 に 参 加	履修 可能学期	科 目 名
		1	英語Ⅰ（IE）、(W)、(S)
		2	英語Ⅱ（IE）、(W)、(S)
		3	英語Ⅲ（IE）、(W)
		4	英語Ⅳ（IE）、(W)
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

スペイン語研修	1 から 7 学期 で 研 修 に 参 加	履修 可能学期	科 目 名
		1	スペイン語Ⅰ（総合1）、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	スペイン語Ⅱ（総合1）、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	スペイン語Ⅲ（総合）、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	スペイン語Ⅳ（総合）、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5	スペイン語上級

中国語研修	1 から 7 学期 で 研 修 に 参 加	履修 可能学期	科 目 名
		1	中国語Ⅰ（総合1）、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	中国語Ⅱ（総合1）、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	中国語Ⅲ（総合）、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	中国語Ⅳ（総合）、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5	中国語上級

韓国語研修	1 から 7 学期 で 研 修 に 参 加	履修 可能学期	科 目 名
		1	韓国語Ⅰ（文法・読解1）、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		2	韓国語Ⅱ（文法・読解1）、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		3	韓国語Ⅲ（文法・読解1）、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		4	韓国語Ⅳ（文法・読解1）、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		5	韓国語上級

【2024年度以降入学者】

英語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	英語Ⅰ (IE)、(W)、(S)
		2	英語Ⅱ (IE)、(W)、(S)
		3	英語Ⅲ (IE)、(EP)
		4	英語Ⅳ (IE)、(EP)
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

スペイン語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	スペイン語Ⅰ (総合1)、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	スペイン語Ⅱ (総合1)、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	スペイン語Ⅲ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	スペイン語Ⅳ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5・6	スペイン語上級

中国語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	中国語Ⅰ (総合1)、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	中国語Ⅱ (総合1)、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	中国語Ⅲ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	中国語Ⅳ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5・6	中国語上級

韓国語研修	1 から 7 学期 で 研修 に 参加	履修 可能学期	科 目 名
		1	韓国語Ⅰ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		2	韓国語Ⅱ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		3	韓国語Ⅲ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		4	韓国語Ⅳ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		5・6	韓国語上級



経済学部

研修に参加した翌学期に、卒業要件単位として以下の通り単位認定します。

研修区分	単位認定対象科目	単位認定数
英語研修	English（全カリ選択科目）	一研修につき、1単位×4科目まで
ドイツ語研修	ドイツ語	一研修につき、1単位×4科目まで
フランス語研修	フランス語	一研修につき、1単位×4科目まで
スペイン語研修	スペイン語	一研修につき、1単位×4科目まで
中国語研修	中国語	一研修につき、1単位×4科目まで
韓国語研修	韓国語	一研修につき、1単位×4科目まで



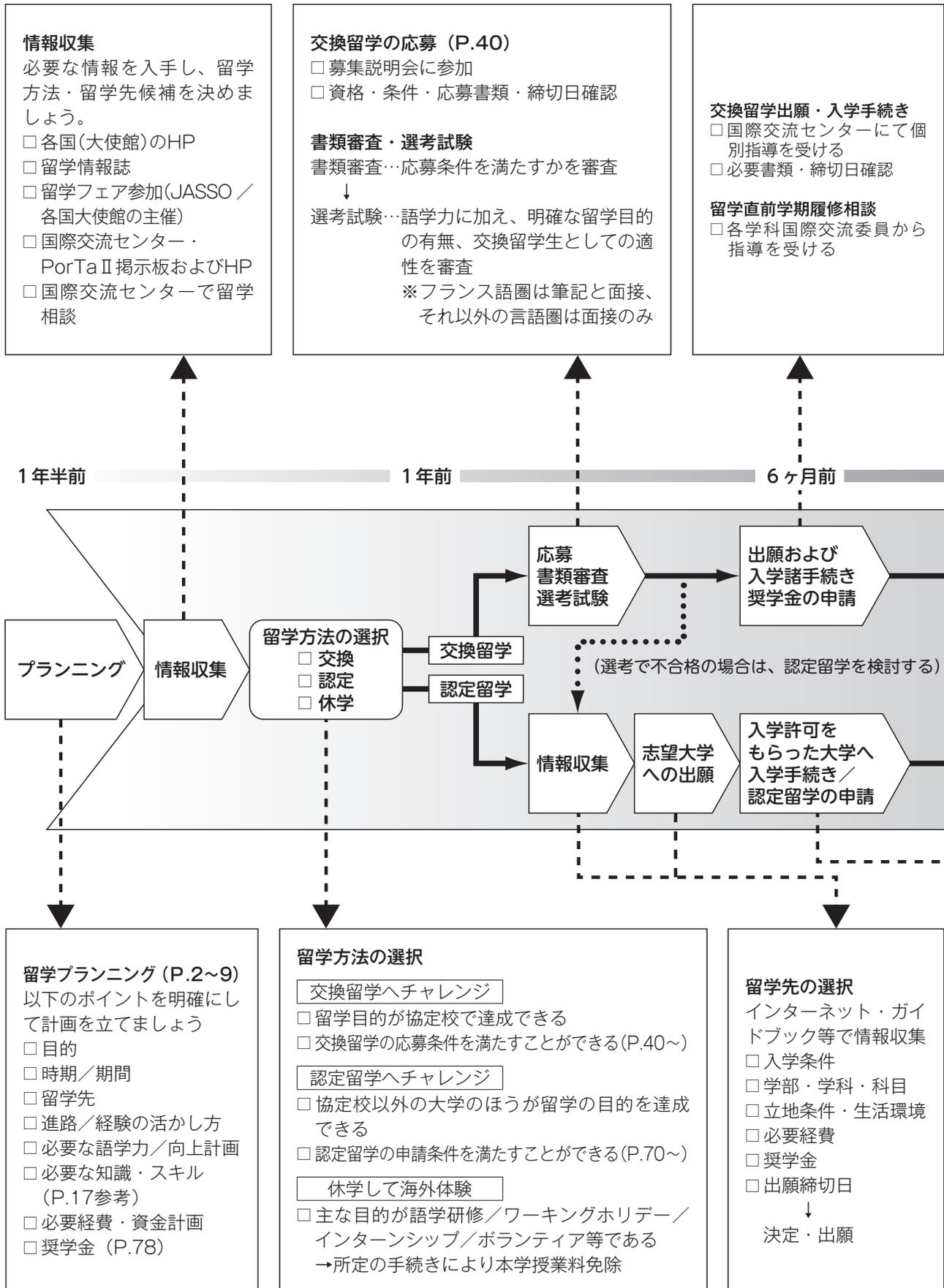
法学部

研修に参加した翌学期に、以下の通り単位認定します。ただし、翌学期に振り替える科目がない場合は、卒業要件外科目として認定します。

なお、英語研修修了者であっても、認定単位が成績通知表に記載されていない時点（認定確定前）において必修の英語科目の履修登録を削除することはできません。

研修区分	振り替え対象科目	単位認定数
ドイツ語研修	ドイツ語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位（1単位×4科目）まで
英語研修	English（必修科目のみ）の単位として振り替え	一研修につき4単位（1単位×4科目）まで
フランス語研修	フランス語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位（1単位×4科目）まで
スペイン語研修	スペイン語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位（1単位×4科目）まで
中国語研修	中国語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位（1単位×4科目）まで
韓国語研修	韓国語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位（1単位×4科目）まで

長期留学 プランニングから留学出発まで



留学情報サイト

- 日本学生支援機構(JASSO) 海外留学情報サイト
<https://ryugaku.jasso.go.jp/>
 ドイツ大学検索サイト
<https://www.hochschulkompass.de>
 スイス大学検索サイト
<https://www.studyprogrammes.ch/>
 アメリカ大学検索サイト
<https://educationusa.jp>
<https://www.petersons.com/>
<https://bigfuture.collegeboard.org/college-search>
Study UK : Discover You
<https://study-uk.britishcouncil.org/>
カナダ留学情報
<https://www.educanada.ca/index.aspx?lang=jpn>
オーストラリア留学情報
<https://www.studyaustralia.gov.au/ja>
ニュージーランド留学情報
<https://www.studywithnewzealand.govt.nz/ja>
Study in Indonesia
<https://studyinindonesia.info/>
Study in Türkiye
<https://www.studyinturkiye.gov.tr/>
Study in the Czech Republic
<https://ipc.gov.cz/en/study-in-the-czech-republic/>
Study in Poland
<https://study.gov.pl/>
Study in UZBEKISTAN
<https://www.studyinuzbekistan.com/>
フランス政府留学局(Campus France) 日本支局サイト
<https://www.japon.campusfrance.org/ja>
スペイン大学検索サイト
<https://www.studying-in-spain.com/>
メキシコ大学検索サイト
<http://www.anuies.mx/anuies/instituciones-de-educacion-superior/>
Study in China
<https://www.studyinchina.edu.cn>
Study in Taiwan
<https://www.studyintaiwan.org>
Study in Korea
<http://www.studyinkorea.go.kr/en/main.do>

- 留学前に行うこと (P.82~)**
- 個別ガイダンス(国際交流センター)
 - 単位振替事前相談(教務課)(P.90~)
 - 長期留学予定者のための就職ガイダンス(キャリアセンター)
 - 海外安全対策セミナー(7月・1月)(出席必須)
 - 獨協大学国際奨学金(交換留学生)申請(P.78)
 - 奨学金各種手続き(学生課)
 - 事前研修(P.83)
 - 奨学金(P.78)

- 渡航手続き (P.84~)**
- パスポート・ビザ取得
 - 渡航先の入国・行動制限措置、安全情報等の確認と準備
 - 航空券予約
 - 健康診断・歯科検診
 - 本学指定海外旅行保険等への加入
 - 出発日程をPorTa II に入力

3ヶ月前

1~2ヶ月前

ガイダンス個別指導

渡航準備



出発!!

留学先大学への入学手続き

- 留学先大学から受入許可通知受領
- 入学手続き(ドイツの場合は現地で行う)
 ※留学しない大学へは留学辞退の手続きも忘れずに行う

本学での手続き

- 認定留学の申請(P.73)

申請期限

- 秋学期からの留学… 6月末日
- 春学期からの留学… 1月末日

- 獨協大学国際奨学金(認定留学生)申請(P.78)
- 留学先大学の保険資料提出(留学先大学から指定保険への加入が義務付けられた場合のみ)

本ガイド 参考ページ

主な語学検定試験	P.8~9
2026年度国際交流センター・年間スケジュール	P.10~11
これまでの認定留学先大学一覧	P.76~77
海外留学奨学金・利用中の奨学金	P.78~81
海外渡航時に役立つサイト	P.121
留学と就職	P.122

交換留学の資格・条件

交換留学については応募時に、次の1. から5. の条件を満たしていることが必要です。

また、交換留学は留学開始時に本学に2学期以上在学（編入学生は1学期以上在学）していることが必要です（ドイツ語、英語、フランス語学科は3学期以上）。加えて、交換留学の場合は応募時から留学直前の学期まで、本学に在学していることが求められます。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

1. 修得単位数

応募時に次に掲げる各学科所定の単位を修得していること。

2024年度以降入学者

学部	外国語				国際教養	経済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期	16単位以上*注	16単位以上*注	16単位以上（「フランス語 I」5単位、基礎演習部門より2単位を含む）**注	16単位以上	16単位以上（外国語科目6単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）			16単位以上		
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語 I・II」10単位、基礎演習部門より4単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語 I・II・III」15単位、基礎演習部門より6単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語 I・II・III・IV」20単位、基礎演習部門より8単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語 I・II・III・IV」20単位、「総合フランス語 I」2単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語 I・II・III・IV」20単位、「総合フランス語 I・II」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語 I・II・III・IV」20単位、「総合フランス語 I・II」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

*注：留学開始時期は4学期目以降とする。

**注：留学開始時期は4学期目以降とする。また2学期目終了時に進級要件を満たしていない場合は、書類選考不合格（学内選考日程の都合により、面接選考を通過している場合でも遡って書類選考不合格）とする。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期	16単位以上*注	16単位以上*注	16単位以上（「フランス語Ⅰ」6単位を含む）**注	16単位以上	16単位以上（外国語科目6単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）			16単位以上		
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」2単位、「演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

*注：留学開始時期は4学期目以降とする。

**注：留学開始時期は4学期目以降とする。また2学期目終了時に進級要件を満たしていない場合は、書類選考不合格（学内選考日程の都合により、面接選考を通過している場合でも遡って書類選考不合格）とする。

2. 評定平均値（GPA）

応募までの獨協大学における修得科目の評定平均値（GPA）が**2.30以上**であること（小数点以下第3位を四捨五入*）。

GPAの計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績通知表は必ず全部保管しておきましょう（成績証明書にはFと×の科目は記載されないのので、注意してください。×は2023年度まで使用されていたものです）。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。

※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$GPA = \frac{(AAの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1)}{\text{総登録単位数 (累計)}}$$

…「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。

〈例〉マンチェスター大学3.0以上、ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校2.75以上等

3. 語学力

各語学力の条件は、原則として交換留学内定後の派遣先大学への出願締切日より遡って2年以内に取得したものを有効とします。

詳細は、P.44～47の「2027年度交換留学募集要項」の「語学力の条件」欄を参照してください。

4. 留学先の条件

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であること、かつ所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
言語圏	制限なし	制限なし	フランス語圏	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語 または 英語	英語	フランス語	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語 等	制限なし			制限なし		
留学期間	2学期間を原則とするが、1学期間も可										

5. 交換留学の期間

交換留学の期間は、1学期間または2学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われ、以下の期間となります。

- 1学期間の留学：春学期または秋学期の1学期間（留学先での学修期間は3ヶ月以上）
 - 2学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の2学期間（留学先での学修期間は6ヶ月以上）
- ※協定校の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する時期からの留学ができない場合もあるので注意してください。例えば、アメリカや英国の大学の多くは、春学期が1月に開始となり、本学の秋学期日程と重なるため、春学期から留学を開始することはできません。
- ※留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国してください。



1学期間の留学に関する注意事項

- ① 1学期間のみの受け入れを認めている協定校に限り応募が可能です。募集対象校は説明会等でお知らせします。
- ② 同じ大学に対し、2学期間と1学期間の両方で応募することはできません。ただし、大学が異なれば、併願は可能です。
- ③ 各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において2学期間の留学志願者を優先する場合があります。

「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」とは

本学の交換留学プログラムは「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」の育成を目的としています。この交換留学プログラムが目指す「しなやかさ」とは、異質な文化や考え方を寛容に柔軟に受けとめる力であり、他者を助ける用意がある心の広さです。そして「逞しさ」とは、さまざまなバックグラウンドを持つ人々と物怖じせずにつきあうことができ、自らの主張を積極的に発信し、行動に変えることのできる力です。海外での学習を通して、この両方の力をバランスよく併せもつとともに、豊かな語学力、コミュニケーション能力、主体性、異文化理解の精神を備えた人材の育成を目指します。留学先では日本文化を発信し、日本の理解者を世界中に増やす“アンバサダー”として、留学終了後は他の学生を牽引するリーダーとして本学のグローバル化推進の原動力となる等、国内外問わずグローバルな環境下で自ら行動し活躍できる人材へと成長することを期待しています。

事前・事後研修について

交換留学生は、プログラム趣旨や留学目的を再確認し、充実した留学期間を送るための準備としての事前研修、留学後には留学で得た学びと経験を振り返るとともに、さらにそれぞれが次のステップに向け学修計画をブラッシュアップするための事後研修の参加を必須とします（本ガイドP.83およびP.88参照）。

交換留学の応募方法

長期留学の資格・条件および交換留学募集要項を熟読し、自分が条件を満たしているかを確認した上で、以下「提出書類」の①～④（留学先により⑤⑥も）を揃え、応募締切日までに国際交流センターに提出してください。

応募締切日の目安はP.10～11の2026年度国際交流センター・年間スケジュールを参照してください。日程の詳細はPorTaⅡ掲示板[留学支援・国際交流]および国際交流センター掲示板で確認してください。

提出書類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 交換留学応募書類からダウンロードしてください。

- ①長期留学志願書（所定様式）
- ②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）
- ③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからのダウンロード可）
- ④必要とされる語学力証明書（有効期限内のものに限る、コピー可）
- ⑤志望理由書（所定様式。ドイツ語圏、英語圏、韓国への応募者のみ）
- ⑥留学先での履修計画（所定様式。英語圏、韓国への応募者のみ）

長期留学志願書には、演習指導教員（またはクラス担任）の署名、面談時の所見が必要です。必ず事前に指導教員に相談をし、承認を得てから応募してください。応募の際は事前に教務課の確認印をもらった上で提出してください。

交換留学応募における注意点

- ①選考は、第一次の書類審査（フランス語圏は筆記試験も実施、P.61～63参照）と第二次の面接選考により行います。面接選考は主に（1）語学能力、（2）コミュニケーション能力、（3）研究計画・専門知識、（4）留学への意欲、の観点から評価します。
長期留学志願書には、第1希望、第2希望の協定校名を記載できますが、応募状況や語学力によっては、それ以外の協定校に内定する場合があります。
- ②各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において2学期間の留学志願者を優先する場合があります。
- ③提出書類である語学力の証明書を応募締切日までに提出できるよう、語学試験の証明書が手元に届く日を確認の上、受験日を設定しましょう。
- ④交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。
また、GPA要件は応募書類提出時に満たしていなければなりません。
- ⑤応募書類提出後に、留学先・留学期間・留学開始時期の変更はできません。
- ⑥面接結果発表後に留学を辞退した場合は、原則として同じ派遣年度*の募集には応募できません。
- ⑦面接で不合格となった場合は、同じ派遣学期の二次・三次募集には応募できません。ただし、面接において交換留学生としての資質は有しているが派遣定員超過を理由に不合格となった場合は、再応募することができます。

※上記⑥で示す「派遣年度」とは、留学先の学事カレンダーに基づく学年度です。派遣始期が2通りある大学においても、「派遣年度」はあくまでも留学先大学の「学年度」を意味します（獨協大学の学年度は4月～翌年3月）。不明な場合は、国際交流センターで確認してください。

2027年度交換留学募集要項

No	国・地域名	大学・機関名	出発		募集 人数	授業料		派遣開始時期
			秋	春		派遣先	本学	
1	ドイツ	イエーナ大学	○	○	2	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
2	ドイツ	デュースブルク=エッセン大学	○	○	4	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
3	ドイツ	デュッセルドルフ大学	○	○	2	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
4	ドイツ	ハイデルベルク大学	○	○	2	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
5	ドイツ	ハレ=ヴィッテンベルク大学	○	○	2	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
6	ドイツ	ヒルデスハイム大学	○	○	2	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
7	ドイツ	フランクフルト大学	○	○	2*	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
8	ドイツ	ブレーメン専門単科大学	○	○	2*	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
9	ドイツ	ベルリン自由大学	○	○	2	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
10	ドイツ	ポツダム大学	○	○	3*	免除	要	2027年 4月～ 2027年10月～
11	ドイツ	マールブルク大学	○	○	5	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
12	ドイツ	ミュンスター大学	○	○	3*	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
13	ドイツ	リューネブルク大学	○	○	2	要	免除	2027年 3月～ 2027年 9月～
14	ドイツ	レーゲンスブルク大学	○	○	3*	要	免除	2027年 4月～ 2027年10月～
15	ドイツ	ロストック大学	○	○	2	免除	要	2027年 4月～ 2027年10月～
16	スイス	バーゼル大学	○	○	2*	要	免除	2027年 2月～ 2027年 9月～
17	アメリカ	ウィスコンシン大学 スティーブンス・ポイント校	○	×	2	免除	要	2027年 8月～
18	アメリカ	カリフォルニア大学 デービス校	○	○	10	要	免除	2027年 3月～ 2027年 9月～
19	アメリカ	カリフォルニア州立大学 モントレイ・ベイ校	○	×	3	免除	要	2027年 8月～
20	アメリカ	サンフランシスコ州立大学	○	×	2	要	免除	2027年 8月～
21	英国	エセックス大学	○	×	7	要	免除	2027年10月～
22	英国	カーディフ大学	○	×	2	免除	要	2027年 9月～
23	英国	ニューカッスル大学	○	×	3	免除	要	2027年 9月～
24	英国	マンチェスター大学	○	×	3	免除	要	2027年 9月～
25	カナダ	フレーザーバレー大学	○	×	—	免除	要	募集予定なし
26	カナダ	ヨーク大学	○	×	1	免除	要	2027年 9月～
27	カナダ	レジャイナ大学	○	×	3*	免除	要	2027年 9月～
28	ジャマイカ	西インド諸島大学モナ校	○	×	2	免除	要	2027年 9月～

語学力の条件		成績条件 (GPA)	選考方法		備考		
			第一次	第二次			
1)	1) Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、 TestDaF level 3以上またはドイツ語 検定2級以上 ただし、学部科目の履修には原則と してB1以上が必要。B1に満たない 場合は留学生用に開設されているド イツ語コース等に参加 2) Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1 級以上 ※各協定校の個別の応募条件は年度 の途中で変更が生じる場合あり	2.30	書類審査	ドイツ語と日本語による面接			
1)							
1)							
1)		3.00					
1)							
2)							
2)						※教授言語が英語によるプログラ ムへの応募が可能 語学力の条件： 国際交流センターにお問い合わせ ください。	
1)						※教授言語が英語によるプログラ ムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 71以上 (注)	
1)					2.30		※教授言語が英語によるプログラ ムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 71以上 (注)
2)							※教授言語が英語によるプログラ ムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 71以上 (注)
1)							
2)				※教授言語が英語によるプログラ ムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 543/ iBT® 72以上 (注)			
1)							
1)				※教授言語が英語によるプログラ ムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 80以上 (注)			
2)							
2)				※教授言語が英語によるプログラ ムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 72以上 (注)			
IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 78以上 (注)		2.75	書類審査	英語と日本語による面接			
①IELTS 6.5以上または TOEFL ITP® 550/iBT® 80以上 (注) ②IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 530/iBT® 71以上 (注)		2.30	書類審査	英語と日本語による面接	語学力条件の①は学部科目履修の 場合、②は指定されたコミュニケー ション関連の科目(1科目)履修 が必須。		
IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 500/iBT® 61以上 (注)		2.30	書類審査	英語と日本語による面接			
IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 500/iBT® 61以上 (注)		2.75	書類審査	英語と日本語による面接			
IELTS 6.0以上		2.30	書類審査	英語と日本語による面接	1学期間のみの留学は不可		
IELTS 6.0以上		2.30	書類審査	英語と日本語による面接			
IELTS 6.5以上 (6.0も可)		3.00	書類審査	英語と日本語による面接			
IELTS 6.5以上		3.00	書類審査	英語と日本語による面接			
IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 88以上 (注)		2.50	書類審査	英語と日本語による面接			
IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 83以上 (注)		2.30	書類審査	英語と日本語による面接			
IELTS 6.5以上または TOEFL ITP® 500/iBT® 82以上 (注)		3.00	書類審査	英語と日本語による面接			

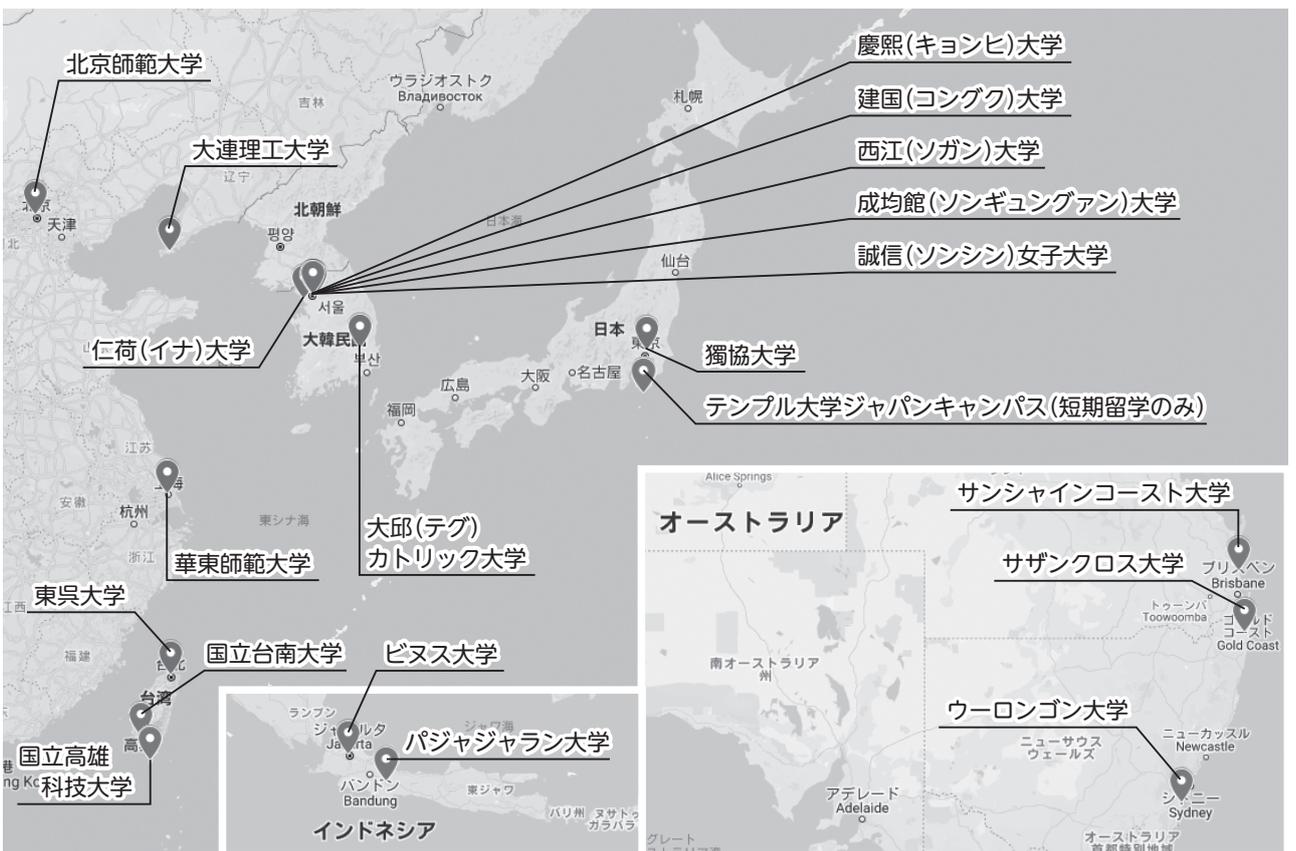
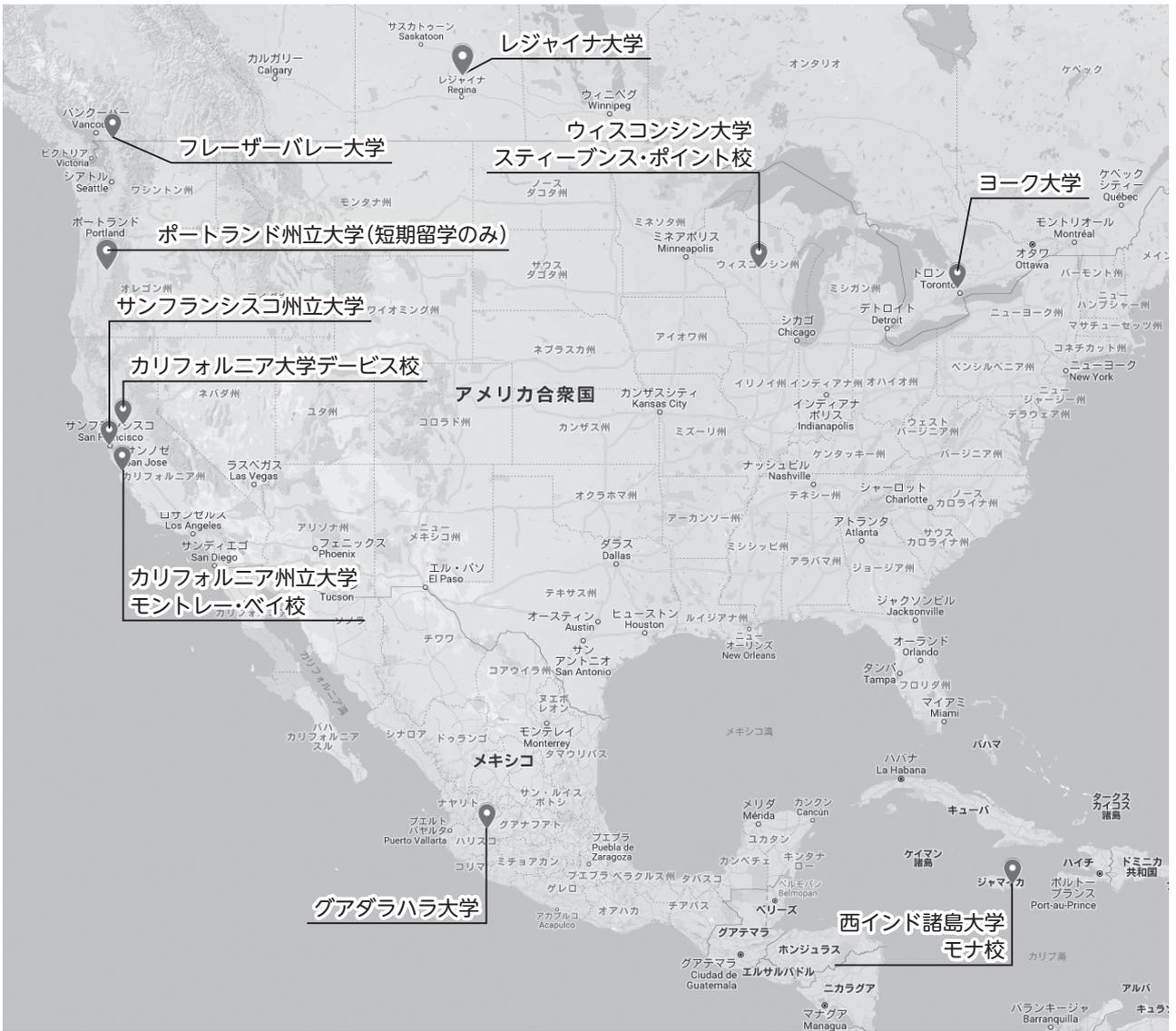
(注) (英語圏) 2026年1月からのTOEFL iBT® テストスコアの記載方法変更に伴い、新基準については以下のサイトをご参照ください。各大学が定めるスコア基準が確定しましたら説明会で案内いたします。 <https://www.jp.ets.org/toefl/test-takers/ibt/scores/understand-scores.html>
また、英語圏は協定校により上記以外にもさまざまな出願要件があるので、各協定校のページを確認した後、最新の要件を応募前に必ず国際交流センターで確認してください (例: IELTS™のバンドスコア要件、学部・学科により異なる語学力条件、GPA要件、履修可能なコースなど)。

2027年度交換留学募集要項

No	国・地域名	大学・機関名	出発		募集人数	授業料		派遣開始時期
			秋	春		派遣先	本学	
29	オーストラリア	ウーロンゴン大学	×	○	3	要	免除	2027年 2月～
30	オーストラリア	サザンクロス大学	×	○	—	免除	要	募集予定未定
31	オーストラリア	サンシャインコースト大学	×	○	—	免除	要	募集予定なし
32	インドネシア	ピヌス大学	○	○	5	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
33	インドネシア	バジャジャラン大学	○	×	2	免除	要	2027年 8月～
34	トルコ	ボアジチ大学	○	○	3	免除	要	2027年 9月～ 2027年 2月～
35	チェコ	マサリク大学	○	○	2	免除	要	2027年 9月～
36	ポーランド	アダム・ミツケヴィチ大学	○	○	2	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
37	ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	○	×	—	免除	要	2027年 9月～
38	フランス	西部カトリック大学	○	○	4	要	免除	2027年 2月～
					2			2027年10月～
39	フランス	バリ第1大学 バンテオン・ソルボンヌ	○	×	2	免除	要	2027年 9月～
40	フランス	マリー・エ・ルイ・バストゥール大学 (旧フランシュ・コンテ大学)	○	×	4	免除	要	2027年 9月～
41	フランス	リュミエール・リヨン第2大学	○	○	4	要	免除	2027年 2月～
								2027年 9月～
42	フランス	レンヌ第2大学	○	×	2	免除	要	2027年 9月～
43	スペイン	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学	○	○	2	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
44	スペイン	バルセロナ自治大学	○	×	2	免除	要	2027年 9月～
45	スペイン	マラガ大学	○	×	2	免除	要	2027年 9月～
46	メキシコ	グアダラハラ大学	○	×	3	免除	要	2027年 8月～
47	中国	華東師範大学	○	○	1	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
48	中国	大連理工大学	○	○	5	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
49	中国	北京師範大学	○	○	2	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
50	台湾	国立台南大学	○	○	3	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
51	台湾	国立高雄科技大学	○	○	2	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
52	台湾	東呉大学	○	○	2	免除	要	2027年 2月～ 2027年 9月～
53	韓国	仁荷（イナ）大学	○	○	3	免除	要	2027年 2月～ 2027年 8月～
54	韓国	慶熙（キョンヒ）大学	○	○	3	免除	要	2027年 2月～ 2027年 8月～
55	韓国	建国（コングク）大学	○	○	3	免除	要	2027年 2月～ 2027年 8月～
56	韓国	西江（ソガン）大学	○	○	1	免除	要	2027年 2月～ 2027年 8月～
57	韓国	成均館（ソングンガン）大学	○	○	3	免除	要	2027年 2月～ 2027年 8月～
58	韓国	誠信（ソンシン）女子大学	○	○	2	免除	要	2027年 2月～ 2027年 8月～
59	韓国	大邱（テグ）カトリック大学	○	○	3	免除	要	2027年 2月～ 2027年 8月～

	語学力の条件	成績条件 (GPA)	選考方法		備考
			第一次	第二次	
	IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 79以上 (注)	2.70	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 79以上 (注)	2.30	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 550/iBT® 79以上 (注)	2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 5.5以上	3.00	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 79以上 (注)	2.30	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 70以上 (注)	2.50	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 70以上 (注)	2.30	書類審査	英語と日本語による面接	
	実用フランス語技能検定2級程度	2.30	書類審査 筆記試験	フランス語と日本語による面接	
	DELFまたはTCF B2以上	2.30	書類審査	フランス語と日本語による面接	
	【語学留学】 DELFまたはTCF A2以上 【学部留学】 DELFまたはTCF B2以上	2.30	書類審査 筆記試験 (※備考)	フランス語と日本語による面接	※語学留学のみ筆記試験を実施
	【DUEFコース】 実用フランス語技能検定2級程度 【DU FOUコース】 DELF B1以上 (全技能で最低15/25以上) TCF350点以上 (補足試験の口頭表現・文書作成で15/20 以上)	2.30	書類審査 筆記試験	フランス語と日本語による面接	※春出発は1月末には現地着の必要あり。DU FOUコースは現地の受入状況により、開講されない場合あり。
	DELFまたはTCF B1以上	2.30	書類審査	フランス語と日本語による面接	※2027年秋派遣より派遣開始予定 ※語学留学希望者は要相談
	【語学留学】 DELEまたはSIELE A2程度 【学部留学】 DELEまたはSIELE B1以上	2.30	書類審査	スペイン語と日本語による面接	
	DELEまたはSIELE B1程度	2.30	書類審査	スペイン語と日本語による面接	
	【語学留学】 中国語検定3級以上または HSK3級以上 【学部留学】 HSK5級180点以上	【語学留学】 2.30 【学部留学】 3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	【語学留学】 中国語検定3級以上または HSK3級以上 【学部留学】 HSK5級180点以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	HSK5級180点以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定3級以上または HSK3級以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定3級以上、 HSK4級180点以上、 TOCFL Level 2以上または TECC D以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
	中国語検定3級以上または HSK3級以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験3級または韓国語能力 試験 (TOPIK) 3級程度*	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	※一部学科はTOPIK3級以上
	韓国語能力試験 (TOPIK) 5級以上	2.50	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験3級または韓国語 能力試験 (TOPIK) 3級程度	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	韓国語能力試験 (TOPIK) 4級程度※	3.20	書類審査	韓国語と日本語による面接	※P.67の語学力条件と備考欄参照
	「ハングル」能力検定試験3級または韓国語 能力試験 (TOPIK) 3級程度	2.50	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験3級または韓国語 能力試験 (TOPIK) 3級程度	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	「ハングル」能力検定試験3級または韓国語 能力試験 (TOPIK) 3級程度	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	

(注) (英語圏) 2026年1月からのTOEFL iBT® テストスコアの記載方法変更に伴い、新基準については以下のサイトをご参照ください。各大学が定めるスコア基準が確定しましたら説明会で案内いたします。https://www.jp.ets.org/toefl/test-takers/ibt/scores/understand-scores.html
また、英語圏は協定校により上記以外にもさまざまな出願要件があるので、各協定校のページを確認した後、最新の要件を応募前に必ず国際交流センターで確認してください (例: IELTS™のバンドスコア要件、学部・学科により異なる語学力条件、GPA要件、履修可能なコースなど)。



ドイツ	大学名	イエーナ大学			
	URL	Friedrich-Schiller-Universität Jena https://www.uni-jena.de/			
	大学設立年	1558年	協定締結年		2022年
	所在地	Fürstengraben 1, 07743 Jena, Deutschland			
大学紹介	1558年設立のフリードリヒ・シラー大学イエーナ（通称：イエーナ大学）は、ドイツのほぼ中央に位置するテューリンゲン州最大の総合大学である。国内有数の研究所と連携し学際的なプロジェクトに積極的に参加し、50ヶ国以上200を超える大学と協定を結び、共同研究ならびに学生交換を盛んに行っている。哲学部、社会学部など10の学部を有し、学生数は18,000名。そのうち留学生は約2,500名。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	600ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.86参照)	約110,000円		
	寮費	2,500～3,000ユーロ	約455,000～546,000円		
	食費	2,500～3,000ユーロ	約455,000～546,000円		
	教材費	500ユーロ	約91,000円		
	その他	3,600ユーロ	約656,000円		
	合計	9,700～10,700ユーロ	約1,767,000～1,949,000円		
備考	「外国語としてのドイツ語学科」に所属。語学力がB2以上であれば、学部科目の履修が可能。B2に満たない場合は交換留学生コース（ドイツ語・ドイツ事情）に参加。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	デュースブルク＝エッセン大学			
	URL	Universität Duisburg-Essen https://www.uni-due.de			
	大学設立年	1972年	協定締結年		1984年
	所在地	Campus Duisburg : Forsthausweg 2, 47057 Duisburg, Deutschland Campus Essen : Universitätsstr. 2, 45141 Essen, Deutschland			
大学紹介	ドイツ中西部のノルトライン＝ヴェストファーレン州の中心部、ライン川沿いのデュースブルク市と隣町エッセン市に2つのキャンパスをもつ総合大学。1991年には東アジア研究科が設立され、日本研究も充実している。2003年にデュースブルク大学とエッセン大学が統合し、デュースブルク＝エッセン大学に改められた。11学部を擁し、総学生数は約40,000名。留学生は130ヶ国から約6,200名におよぶ。隣国オランダ国境にも近く、ケルン、ボンへは鉄道で1時間圏内で交通の便も良い。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	640ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.86参照)	約117,000円		
	寮費	2,450～4,500ユーロ	約446,000～819,000円		
	食費	2,500～3,400ユーロ	約455,000～619,000円		
	教材費	100～500ユーロ	約19,000～91,000円		
	その他	2,400～3,400ユーロ	約437,000～619,000円		
	合計	8,090～12,440ユーロ	約1,474,000～2,265,000円		
備考	東アジア研究所に所属。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	デュッセルドルフ大学			
	URL	Heinrich Heine Universität Düsseldorf https://www.uni-duesseldorf.de/			
	大学設立年	1965年	協定締結年		2019年
	所在地	Universitätsstraße 1, 40225 Düsseldorf, Deutschland			
大学紹介	ドイツ西部に位置するノルトライン・ヴェストファーレン州で2番目に大きい州都デュッセルドルフにある総合大学。1907年に設立された医学校を起源とする大学であり、1965年の大学設立時に医学部、数学・自然科学部、芸術人文学部の3学部が設置された。1988年に、デュッセルドルフ出身の詩人ハインリヒ・ハイネにちなんで正式名称をハインリヒ・ハイネ大学デュッセルドルフに変更し、新たに2つの学部を増設した。ハイネの理念に基づき、大学は文化的多元主義、人種および宗教の寛容さ、並びに男女同権を強く支持している。現在、5学部に約35,000人の学生が学ぶ。芸術人文学部の現代日本研究所は、この種の研究所としては、ドイツ最大規模を誇る（学生数：約600名）。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	610ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.86参照)	約112,000円		
	寮費	3,500～4,500ユーロ	約637,000～819,000円		
	食費	2,500～3,000ユーロ	約455,000～546,000円		
	教材費	600ユーロ	約110,000円		
	その他	1,700～2,200ユーロ	約310,000～401,000円		
	合計	8,910～10,910ユーロ	約1,624,000～1,988,000円		
備考	芸術人文学部内の学科に所属。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	ハイデルベルク大学			
	URL	Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg https://www.uni-heidelberg.de			
	大学設立年	1386年	協定締結年		2011年
	所在地	Grabengasse 1, 69117 Heidelberg, Deutschland			
大学紹介	バーデン＝ヴュルテンベルク州ハイデルベルクにあるドイツ最古の大学。1386年プファルツ選帝侯ループレヒト1世により設立。宗教改革を支持するオットー・ハインリヒ選帝侯の大学改革により、名声を確立。現在550名の教授陣を含め、学者・教員数は約6,500名にもおよび。歴史上名高い哲学のフリードリッヒ・ヘーゲル、社会学のマックス・ウェーバーなど著名な学者が数多く教鞭をとった。ハイデルベルクはドイツでも屈指の観光地であるため、人口約16万人の小都市でありながら、休日も店がオープンレインフラ設備が充実するなど、学生が生活するのに非常に便利な街だといえる。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 3.00以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	165ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.86参照)	約31,000円		
	寮費	2,700～4,000ユーロ	約492,000～728,000円		
	食費	3,000～4,000ユーロ	約546,000～728,000円		
	教材費	350～500ユーロ	約64,000～91,000円		
	その他	3,720～4,920ユーロ	約678,000～896,000円		
	合計	9,935～13,585ユーロ	約1,811,000～2,474,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合があります。				

ドイツ	大学名	ハレ＝ヴィッテンベルク大学			
	URL	Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg https://www.uni-halle.de			
	大学設立年	1817年	協定締結年		2011年
	所在地	Universitätsplatz 10, 06108 Halle (Saale), Deutschland			
大学紹介	ザクセン＝アンハルト州のハレとヴィッテンベルクにある総合大学。16世紀にヴィッテンベルク大学が、17世紀にハレ大学が設立され、19世紀に両大学が統合し、ますますの発展を遂げた。宗教改革の立役者であるマルティン・ルターが神学部で教鞭をとっていたことにちなみ、1933年にはその名をマルティン・ルター大学とした(本学での通称はハレ＝ヴィッテンベルク大学とする)。9学部からなり、学生数は約18,000名にのぼる。ハレは岩塩の採掘地として有名であり、中世にはハンザ同盟の加盟都市として繁栄した。ヴィッテンベルクにあるルター記念建造物群は、ユネスコの世界遺産に登録されている。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	560ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.86参照)	約102,000円		
	寮費	4,200ユーロ	約765,000円		
	食費	2,400～3,000ユーロ	約437,000～546,000円		
	教材費	1,000ユーロ	約182,000円		
	その他	3,200ユーロ	約583,000円		
	合計	11,360～11,960ユーロ	約2,069,000～2,178,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合があります。				

ドイツ	大学名	ヒルデスハイム大学			
	URL	Stiftung Universität Hildesheim https://www.uni-hildesheim.de/			
	大学設立年	1989年	協定締結年		2017年
	所在地	Universitätsplatz 1, 31141 Hildesheim, Deutschland			
大学紹介	北ドイツのニーダーザクセン州に5つある財団立の大学・専門単科大学の一つ。1855年に設立されたカトリック教会の神学大学を起源とする大学で、1946年に教育専門単科大学となった。その後、1978年には教育学以外の新たな学部が創設され、1989年にヒルデスハイム大学が設立された。ニーダーザクセン州では2001年に財団立の大学を設立する根拠法令が定められたため、2003年に認可され財団立大学に組織変更された。ヒルデスハイム大学は、理論のみにとどまらず、実践も学べることで知られており、文化政策研究所を所有している大学はドイツではヒルデスハイム大学のみである。4学部30以上の学科に約8,400人の学生が学ぶ。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	800ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.86参照)	約146,000円		
	寮費	4,000～4,500ユーロ	約728,000～819,000円		
	食費	3,000～5,000ユーロ	約546,000～910,000円		
	教材費	500～1,800ユーロ	約91,000～328,000円		
	その他	2,520～2,700ユーロ	約459,000～492,000円		
	合計	10,820～14,800ユーロ	約1,970,000～2,695,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ドイツ	大学名	フランクフルト大学			
	URL	https://www.goethe-university-frankfurt.de/en			
	大学設立年	1914年	協定締結年		2024年
	所在地	Campus Westend:Theodor-W.-Adorno-Platz 1 60323 Frankfurt Campus Riedberg:Max-von-Laue-Straße 9 60438 Frankfurt am Main			
大学紹介	43,000人以上の学生が在籍するドイツ国内最大規模の総合大学。フランクフルト市内に4つのキャンパスが散在し、法学、経済学、社会学、教育学、心理学・体育学、神学、哲学・歴史学、言語学・文化学などを含む16の専攻分野を開講している。フランクフルトはドイツ国内でも日本人が多い町であり公共交通機関も整っている。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	690ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.86参照)		約126,000円	
	寮費	400～600ユーロ		約73,000～110,000円	
	食費	3,600～5,400ユーロ		約656,000～983,000円	
	教材費	500～1,500ユーロ		約91,000～273,000円	
	その他	2,200～4,400ユーロ		約401,000～801,000円	
	合計	7,390～12,590ユーロ		約1,347,000～2,293,000円	
備考	留学費用「その他」には、現地健康保険料金含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能 (語学力条件は国際交流センターに確認してください)。				

ドイツ	大学名	ブレーメン専門単科大学			
	URL	https://www.hs-bremen.de			
	大学設立年	1982年	協定締結年		2006年
	所在地	Neustadtswall 30, 28199 Bremen, Deutschland			
大学紹介	ドイツ北西部のハンザ都市ブレーメンにあり学生数約8,600名、5学部67以上の学科から成り、専門単科大学ではドイツ最大の規模を誇る。職業経験豊富な教授陣により実践分野に重点がおかれ、職業に直結する授業には定評がある。また、交換留学生は1学期に2つの語学コースを無料で受講できる。EU、経済、ツーリズムなどに興味のある学生に最適。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	700ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.86参照)		約128,000円	
	寮費	4,000～6,000ユーロ		約728,000～1,110,000円	
	食費	3,000～3,500ユーロ		約546,000～637,000円	
	教材費	100～500ユーロ		約19,000～91,000円	
	その他	2,700ユーロ		約492,000円	
	合計	10,500～13,400ユーロ		約1,913,000～2,458,000円	
備考	国際経営学科に所属。学部科目の履修にはB2を強く推奨。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能 (語学力条件はP.45参照)。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料金含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合があります。				

ドイツ	大学名	ベルリン自由大学			
	URL	https://www.fu-berlin.de/			
	大学設立年	1948年	協定締結年		2013年
	所在地	Kaiserswerther Str. 16-18, 14195 Berlin, Deutschland			
大学紹介	ドイツの首都ベルリンにある4つの大学のうち最も規模の大きい総合大学。社会科学、人文科学を中心に自然科学分野の学科も提供し、学際的な研究を特色としている。第二次世界大戦後、分割されたベルリンには東ベルリンのフンボルト大学があるのみであった。ソ連占領当局による統制への反発から、学生および教授陣により西ベルリンにおける大学設立が求められたことを受け、アメリカの支援によって1948年にベルリン自由大学が設立された。「政治的な影響から自由な学問」を目指した背景がベルリン自由大学の名前の由来となっている。12の専門分野に約33,500人の学生が学ぶ。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	620ユーロ (学期納付金)、本学免除 (P.86参照)		約113,000円	
	寮費	5,500～12,000ユーロ		約1,001,000～2,184,000円	
	食費	3,000～4,200ユーロ		約546,000～765,000円	
	教材費	100～1,000ユーロ		約19,000～182,000円	
	その他	2,700ユーロ		約492,000円	
	合計	11,920～20,520ユーロ		約2,171,000～3,736,000円	
備考	歴史・人文科学学部内の学科に所属。ただし、他学部の科目履修も可能。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料金含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合があります。				

ドイツ	大学名	ポツダム大学			
	U R L	University of Potsdam https://www.uni-potsdam.de/de/			
	大学設立年	1991年	協定締結年		2025年
	所在地	Campus I: Am Neuen Palais, 14469 Potsdam, Germany Campus II: Karl-Liebknecht-Straße 24-25, 14476 Potsdam, Germany Campus III: Griebnitzsee, 14482 Potsdam, Germany			
大学紹介	ドイツ東部・ブランデンブルク州の州都ポツダムに位置する公立総合大学。法学部、文学部、人間科学部、経済・社会科学部等を有し、学生総数は約20,000名。ベルリンへのアクセスは良好。サンサーシ宮殿公園群の新宮殿 commons をキャンパスとして使用し大学の建物は部分的にユネスコの世界文化遺産に登録されている。				
派遣期間	夏学期：2027年4月～2027年9月 冬学期：2027年10月～2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上（法学部はB2以上）、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	本学へ納入、学期納付金として留学先へ640ユーロ納入	約120,000円		
	寮費	4,000～6,000ユーロ	約728,000～1,092,000円		
	食費	2,000～3,500ユーロ	約364,000～637,000円		
	教材費	300～1,000ユーロ	約55,000～182,000円		
	その他	2,200～4,400ユーロ	約401,000～801,000円		
	合計	9,140～15,540ユーロ	約1,668,000～2,832,000円		
備考	留学費用「その他」には、現地健康保険料金含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能（語学力条件はP.45参照）。				

ドイツ	大学名	マールブルク大学			
	U R L	Philipps-Universität Marburg https://www.uni-marburg.de			
	大学設立年	1527年	協定締結年		2005年
	所在地	Biegenstr. 10, 35037 Marburg, Deutschland			
大学紹介	フィリップス大学（通称：マールブルク大学）は、ドイツのほぼ中央に位置するヘッセン州の中世のたたずまいを色濃く残す美しい大学街マールブルクにある。大学の歴史は古く、1527年に世界で初めてのプロテスタント系大学として創設された。経済学者のレプケ、作曲家のシュッツ、文学・言語学の分野ではグリム兄弟やドゥーデンなど、各方面で歴史的な著名人を数多く輩出している。現在は16学部、学生総数約22,000名の総合大学。ドイツで初めての障がい者用の寮など、設備面でも充実している。				
派遣期間	夏学期：2026年4月～2026年9月 冬学期：2026年10月～2027年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	750ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.86参照）	約137,000円		
	寮費	2,000～3,500ユーロ	約364,000～637,000円		
	食費	1,800ユーロ	約328,000円		
	教材費	100～500ユーロ	約19,000～91,000円		
	その他	2,700ユーロ	約492,000円		
	合計	7,350～9,250ユーロ	約1,340,000～1,685,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	ミュンスター大学			
	U R L	Universität Münster https://www.uni-muenster.de			
	大学設立年	1780年	協定締結年		2004年
	所在地	Schloßplatz 2, 48149 Münster, Deutschland			
大学紹介	ミュンスター大学のあるミュンスター市は、ノルトライン＝ヴェストファーレン州北部に位置し、デュースブルクとブレメンのほぼ中間にある歴史のある古都。大学は1588年に設立されたイエズス会神学校を起源とし、古い歴史を持つ。1980年には教育大学を、2004年には音楽単科大学を統合し、現在は15学部120以上の学科を持ち、教育・研究界をリードしている。学生総数は約45,000名、留学生は約3,500名。				
派遣期間	夏学期：2026年4月～2026年9月 冬学期：2026年10月～2027年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	660ユーロ（学期納付金）、本学免除（P.86参照）	約121,000円		
	寮費	4,500～6,000ユーロ	約819,000～1,092,000円		
	食費	2,500～4,500ユーロ	約455,000～819,000円		
	教材費	500～1,000ユーロ	約91,000～182,000円		
	その他	2,700ユーロ	約492,000円		
	合計	10,860～14,860ユーロ	約1,978,000～2,706,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能（語学力条件はP.45参照）。				

ドイツ	大学名	リュネブルク大学			
	U R L	Leuphana Universität Lüneburg https://www.leuphana.de/			
	大学設立年	1946年	協定締結年		2019年
	所在地	Universitätsallee 1, 21335 Lüneburg, Deutschland			
大学紹介	北ドイツのニーダーザクセン州の中心都市リュネブルクにある財団立の大学。1946年にニーダーザクセン州に8つある教員養成大学の一つとして設立され、1989年に大学として認定された。ニーダーザクセン州では2001年に財団立の大学を設立する法令が定められ、2003年に認可され財団立大学に組織変更された。2007年に現名称ロイファナ大学リュネブルク(通称:リュネブルク大学)に変更され、それに伴い新しいカリキュラムが導入された。学士課程Leuphana College、修士課程・博士課程Leuphana Graduate School、社会人コース Leuphana Professional Schoolという名称の3つの課程に分かれている。現在、4学部約10,000人の学生が学ぶ。				
派遣期間	夏学期: 2026年4月~2026年9月 冬学期: 2026年10月~2027年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	760ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.86参照)	約139,000円		
	寮費	3,500~4,500ユーロ	約637,000~819,000円		
	食費	3,000~6,000ユーロ	約546,000~1,092,000円		
	教材費	360~1,000ユーロ	約66,000~182,000円		
	その他	2,700~3,600ユーロ	約492,000~656,000円		
	合計	10,320~15,860ユーロ	約1,880,000~2,888,000円		
備考	人文科学部以外の授業については、履修制限あり。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	レーゲンスブルク大学			
	U R L	Universität Regensburg https://www.uni-regensburg.de/			
	大学設立年	1962年	協定締結年		2018年
	所在地	Universitätsstraße 31, 93053 Regensburg, Deutschland			
大学紹介	ドイツ南部バイエルン州でユネスコの世界遺産に登録されているレーゲンスブルクにある、1962年設立の総合大学。12の学部(言語学・文学・人文科学部、法学部、経済学部など)と40以上の学科を有し、学生数は約20,000名にのぼる。外国人向けのドイツ語コースが充実しており、留学生はそれぞれのレベルに合ったクラスで学部の授業と並行して無料で学ぶことができる。また、学期中に行われる語学コースでは通常の授業に加えて発音、文法、英語の授業も選択できる。				
派遣期間	夏学期: 2027年4月~2027年9月 冬学期: 2027年10月~2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	370ユーロ(学期納付金)、本学免除(P.86参照)	約68,000円		
	寮費	2,400~4,000ユーロ	約437,000~728,000円		
	食費	6,700ユーロ	約1,220,000円		
	教材費	250~400ユーロ	約46,000~73,000円		
	その他	2,700ユーロ	約492,000円		
	合計	12,420~14,170ユーロ	約2,263,000~2,581,000円		
備考	語学力がB2に満たない場合は学期開始前のドイツ語集中コースに参加、それでも達しない場合はDaF科目のみ履修可能。教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能(語学力条件はP.45参照)。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。留学生用に開設されているドイツ語コース等に参加する場合には、別途受講料等が発生する場合あり。				

ドイツ	大学名	ロストック大学			
	U R L	University of Rostock https://www.uni-rostock.de/			
	大学設立年	1419年	協定締結年		2026年
	所在地	Universitätsplatz 1, 18051 Rostock, Germany			
大学紹介	ドイツ北部メクレンブルク=フォアポンメルン州の港湾都市ロストックに位置する公立総合大学。バルト海沿岸および北ドイツ地域で最も古い歴史を持つ。神学、法学、医学、人文科学など9つの専門学部と全学横断的な研究を担う「インターディシプリナリー・ファカルティ(学際学部)」の計10学部から構成され、人文・社会科学系では、英米学、歴史、教職課程など幅広い科目が履修可能。				
派遣期間	夏学期: 2027年4月~2027年9月 冬学期: 2027年10月~2028年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上(法学部はB2以上)、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	新規協定校のため 詳細は国際交流センターにご確認ください。			
	寮費				
	食費				
	教材費				
	その他				
	合計				
備考	留学費用「その他」には、現地健康保険料含。				

ス イ ス	大 学 名	バーゼル大学 Universität Basel			
	U R L	https://www.unibas.ch			
	大学設立年	1460年	協定締結年		2008年
	所 在 地	Petersplatz 1, CH-4001 Basel, Schweiz			
	大 学 紹 介	バーゼル大学のあるバーゼル市は、スイス北西部、ドイツ語圏のバーゼル＝シュタット準州の州都。フランスとドイツとスイスの3国の国境が接する地点に位置し、市街地はライン川をまたぐ形で広がっている。7学部、70以上の研究機関を持つ総合大学で、学生数は約13,000名、教員数は約380名。留学生数は約3,000名におよぶ。スイス最古の大学で、哲学者のニーチェやヤスパースなどが教鞭をとり、心理学者のユングなどが学んだ。560年を超える歴史と伝統に培われた教育・研究分野での業績をベースに、未来志向の取り組みを続け、近年はとりわけ生命科学分野や文化部門に重点が置かれている。			
	派 遣 期 間	春学期：2027年2月～2027年8月 秋学期：2027年9月～2028年1月			
	成 績 条 件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上			
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	本学免除 (P.86参照)	約295,000円	
		寮 費	6,000～8,400スイスフラン	約1,194,000～1,672,000円	
		食 費	5,000～6,000スイスフラン	約995,000～1,194,000円	
		教材費	1,000～2,000スイスフラン	約199,000～398,000円	
		その他	8,000スイスフラン	約1,592,000円	
		合 計	20,000～25,000スイスフラン	約3,980,000～4,856,000円	
	備 考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能 (語学力条件はP.45参照)。			

ア メ リ カ	大 学 名	ウィスコンシン大学 スティーブンス・ポイント校 University of Wisconsin-Stevens Point			
	U R L	https://www.uwsp.edu/			
	大学設立年	1894年	協定締結年		2002年
	所 在 地	1108 Fremont Street, 103 SSC, Stevens Point, WI 54481-3109, USA			
	大 学 紹 介	アメリカ中西部ウィスコンシン州の25000人の町にある、学生数約7,500名の州立大学。留学生数は30ヶ国から125人。特に、生物学、コミュニケーション、美術、歴史、教育などの学科の評価が高い。学部のクラスサイズの平均は27名、学生：教師比は19：1で、教師陣と学生との距離が近い。課外活動も充実していて、学生の満足度が高い。科目選択の自由度が高く、留学生でも希望する科目を履修できることが多い。交換留学生はキャンパスにある学生寮に入居する。			
	派 遣 期 間	秋学期：2027年8月～2027年12月 春学期：2028年1月～2028年5月			
	成 績 条 件	GPA 2.75以上			
	語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち			
	留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)	—	
		寮 費	約7,300米ドル	約1,117,000円	
		食 費	約4,600米ドル	約704,000円	
		教材費	約500米ドル	約77,000円	
		その他	約3,700米ドル	約566,000円	
		合 計	約16,100米ドル	約2,464,000円	
	備 考	留学費用の「その他」には、登録料、現地健康保険料等を含む			

ア メ リ カ	大 学 名	カリフォルニア大学 デービス校 University of California, Davis			
	U R L	https://globalstudy.ucdavis.edu			
	大学設立年	1905年	協定締結年		2012年
	所 在 地	1333 Research Park Drive, Davis, CA 95616 USA			
	大 学 紹 介	カリフォルニア州北部デービス市 (サンフランシスコから車で約1時間半) にある州立大学。文系・理系ともに多彩な専攻科目と研究施設を備える大規模な総合大学で、最新の U.S.News and World Reportの全米総合大学評価では33位にランキングされている。特に、農業、獣医学、生体科学、バイオテクノロジー、環境科学の分野では、全米トップの高い評価を得ている。学生数は約39,000名。留学生比率は約13%。交換留学生は、アジア、ヨーロッパ、アメリカ大陸諸国22ヶ国の125の協定校から派遣される留学生を対象とするGlobal Study Programに入学する。学期はQuarter制で、秋学期、春学期どちらも入学可能だが、1年間の留学の場合は必ず連続する3 quarters以上の留学となる。			
	派 遣 期 間	春学期：2027年4月～2027年6月 夏学期：2027年6月～2027年9月 秋学期：2027年9月～2027年12月 冬学期：2028年1月～2028年3月			
	成 績 条 件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち			
	留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	44,737米ドル (3 quarters)、本学免除 (P.86参照)	約6,845,000円	
		寮 費	約12,000米ドル (留学生用の寮はないためアパートかホームステイ)	約1,836,000円	
		食 費	約4,000米ドル	約612,000円	
		教材費	約1,500米ドル	約230,000円	
		その他	約7,200米ドル	約1,102,000円	
		合 計	約70,000米ドル	約10,625,000円	
	備 考	語学力条件の1)、2) ともに交換留学として認められる。			

アメリカ	大学名	カリフォルニア州立大学 モントレー・ベイ校			
	U R L	California State University Monterey Bay https://csumb.edu/			
	大学設立年	1994年	協定締結年		2012年
	所在地	100 Campus Center, Seaside, CA 93955-8001 USA			
大学紹介	カリフォルニア州立大学機構 (California State University : 1857年にカリフォルニア州立機関として設立) 23校のうちの一つ。サンフランシスコの南、モントレー・ベイを臨むシーサイド市にある。日本語&日本文化専攻を含む30以上の学士号取得プログラム、7つの修士号取得プログラムを提供している。学生数は約7,700名、ヒスパニック系の学生が多い(約47%)。				
派遣期間	秋学期 : 2027年8月~2027年12月 春学期 : 2028年1月~2028年5月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—	
	寮費	約14,000米ドル		約2,142,000円	
	食費	約6,000米ドル		約918,000円	
	教材費	約1,000米ドル		約153,000円	
	その他	約4,300米ドル		約658,000円	
	合計	約25,300米ドル		約3,871,000円	
備考					

アメリカ	大学名	サンフランシスコ州立大学			
	U R L	San Francisco State University https://www.sfsu.edu/			
	大学設立年	1899年	協定締結年		2013年
	所在地	1600 Holloway Ave, San Francisco, CA 94132, USA			
大学紹介	カリフォルニア州立大学機構 (California State University : 23大学で構成) に属する総合大学 (1899年に教員養成大学として創立)。学生数は約26,000名、アジア系の学生が約26%、ヒスパニック系が約37%を占める。留学生比率は約4%。6つの学部 (経営学、人文学、教育学、民族学、健康・社会科学部、理工学部) を擁し、学士号レベルで110以上、修士号レベルでも90の専攻分野を有する。民族学部は全米でもユニークな学部として有名で、アフリカ系、アジア系、メキシコ系のアメリカ文化や人種問題の研究に力を注いでいる。外国語学科には日本語専攻プログラムがある。				
派遣期間	秋学期 : 2027年8月~2027年12月 春学期 : 2028年1月~2028年5月				
成績条件	GPA 2.75以上				
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	約14,040米ドル、本学免除 (P.86参照)		約2,148,000円	
	寮費・食費	約24,000米ドル		約3,672,000円	
	教材費	約1,200米ドル		約184,000円	
	その他	約8,000米ドル		約1,224,000円	
	合計	約47,240米ドル		約7,228,000円	
	備考	経営学部 (観光学を含む) や教育学部の科目履修は不可。協定に基づき授業料の10%割引あり。			

英国	大学名	エセックス大学			
	U R L	University of Essex https://www.essex.ac.uk/			
	大学設立年	1962年	協定締結年		1983年
	所在地	Wivenhoe Park, Colchester, CO4 3SQ UK			
大学紹介	学生数約16,000名の公立大学。そのうち留学生は約140ヶ国から約5,000名。社会科学分野の研究は英国でトップレベルにランク付けされている。加えて、法学、経済・経営学、TESOLを含む言語学等の人文科学も評価が高い。キャンパスはイングランド東部のコルチェスターにあり、ロンドンから電車で約1時間の距離。広いキャンパスには、カフェなどの飲食スペースやスポーツセンター、24時間開館している図書館などの施設が充実している。アカデミックな行事 (講演会等) や季節のイベント (クリスマス等) も多く、授業以外で学ぶ機会も多い。				
派遣期間	秋学期 : 2027年10月~2027年12月 春学期 : 2028年1月~2028年3月 夏学期 : 2028年4月~2028年7月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上 (※英国ビザ発給条件)				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	約18,100ポンド、本学免除 (P.86参照)		約3,765,000円	
	寮費	約5,000~10,900ポンド		約1,040,000~2,268,000円	
	食費	約1,350ポンド		約281,000円	
	教材費	約100ポンド		約21,000円	
	その他	約2,000ポンド		約416,000円	
	合計	約26,550~32,450ポンド		約5,523,000~6,751,000円	
備考	1学期のみの留学は不可。必ず、夏学期を含む3学期間履修すること。				

英国	大学名	カーディフ大学 Cardiff University			
	U R L	https://www.cardiff.ac.uk/			
	大学設立年	1883年	協定締結年		1999年
	所在地	Colum Road, Cathays, Cardiff, Wales, CF10 3EJ, UK			
	大学紹介	学生数33,000名以上の国立大学。150ヶ国を超える国から約8,100名の学生が在籍。近年ではジャーナリズム、カルチャー研究、英語学および経営学などが高く評価されている。優れた研究活動に支えられた教育が、高い学生満足度につながっている。キャンパスはウェールズ的首都カーディフにあり、ロンドンから電車で約2時間。英語と並びウェールズ語が公用語となっている。			
	派遣期間	秋学期：2027年10月～2027年1月 春学期：2027年2月～2027年6月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上（英国ビザ発給条件）			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.86参照）		—
		寮費	約5,200～7,000ポンド		約1,082,000～1,456,000円
食費		約3,000ポンド	約624,000円		
教材費		約150ポンド	約32,000円		
その他		約2,600ポンド	約541,000円		
合計		約11,000～12,800ポンド	約2,279,000～2,653,000円		
備考	主に外国語学部（MLANG）の科目を履修する。 詳細は、国際交流センターにて確認すること。				

英国	大学名	ニューカッスル大学 Newcastle University			
	U R L	https://www.ncl.ac.uk/			
	大学設立年	1834年	協定締結年		2009年
	所在地	Newcastle upon Tyne, Tyne and Wear, NE1 7RU, UK			
	大学紹介	学生数約29,000名以上の公立大学で、うち留学生は約7,000名。QS World University Rankings（2026）では137位と高い評価を受けている。キャンパスはイングランド北部のニューカッスル・アポン・タインにあり、ロンドンから電車で約3時間の距離。交換留学生の履修はFaculty of Humanities and Social Sciencesの中の科目に限定される。徒歩圏にスーパーマーケット、ショッピングモール、映画館、アジアンマーケット等が揃う便利なキャンパスで、図書館は24時間開館。			
	派遣期間	秋学期：2026年9月～2027年1月 春学期：2027年1月～2027年6月			
	成績条件	GPA 3.00以上			
	語学力条件	1) IELTS 6.5以上 各セクション5.5以上（英国ビザ発給条件） 2) IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上（1学期目はStage 1 modulesのみ履修可）			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.86参照）		—
		寮費	約4,150～7,750ポンド		約864,000～1,612,000円
食費		約1,100～2,140ポンド	約229,000～446,000円		
教材費		約110～600ポンド	約23,000～125,000円		
その他		約2,310～4,600ポンド	約481,000～957,000円		
合計		約7,670～15,090ポンド	約1,597,000～3,140,000円		
備考	語学力による履修制限あり。詳細は、国際交流センターにて確認すること。 1)、2)ともに交換留学として認められる。 主に人文社会学部（Humanities & Social Sciences）の科目を履修する（一部履修に制限あり）。				

英国	大学名	マンチェスター大学 The University of Manchester			
	U R L	https://www.manchester.ac.uk/			
	大学設立年	1824年	協定締結年		2010年
	所在地	Oxford Road, Manchester, M13 9PL, UK			
	大学紹介	学生数約40,000名以上の公立大学。そのうち留学生は約14,000名。世界中から学生が集まるため、国際色豊か。25名ものノーベル賞受賞者を輩出し、ビジネスからサイエンスまで幅広い分野で英国の教育をリードしている（開発学、国際関係学などの評価が高い）。日本語学科もあり、交友関係を広げやすい。キャンパスはイングランド北西部の都市マンチェスターに位置し、中心街からバスで5～10分。ロンドンからは電車で約3時間の距離。			
	派遣期間	秋学期：2026年9月～2027年1月 春学期：2027年1月～2027年6月			
	成績条件	GPA 3.00以上			
	語学力条件	IELTS 6.5以上 各セクション6.0以上			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入（P.86参照）		—
		寮費	約6,900ポンド		約1,436,000円
食費		約2,300ポンド	約479,000円		
教材費		約110ポンド	約23,000円		
その他		約2,750ポンド	約572,000円		
合計		約12,060ポンド	約2,510,000円		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 履修を希望する分野や科目によって英語力の要件が異なる場合があるため、自身の希望する分野の語学要件を確認すること。 主に人文社会学部（Faculty of Humanities）の科目を履修する。 正規授業に加えて、英語の補講を受けなければならない場合がある。 認定留学生には、マンチェスター大学の授業料の10%が免除される“Exchange Extra”が適用される場合がある。 →協定校HP参照				

カナダ	大学名	ヨーク大学			
	U R L	York University https://www.yorku.ca/index.html			
	大学設立年	1959年	協定締結年		1998年
	所在地	4700 Keele Street, Toronto, ON, Canada M3J 1P3			
大学紹介	カナダ東部のオンタリオ州トロント郊外にある、カナダで3番目に大きな州立大学で、学生数は約55,000名。さまざまな人種・民族が共存する多文化都市トロントにふさわしく、約180ヶ国から9,600名以上の留学生在籍する。11の学部と25の研究センターを擁し、時代の求める革新的かつ学際的な研究に取り組んでいる。ヨーク大学のビジネススクールは特に評価が高く、エコノミスト誌によるランキングではトップの評価を得ている。				
派遣期間	秋学期：2027年9月～2027年12月 春学期：2028年1月～2028年4月				
成績条件	GPA 2.50以上				
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約8ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)	-		
	寮費	約9,000カナダドル	約1,008,000円		
	食費	約7,000カナダドル	約784,000円		
	教材費	約1,500カナダドル	約168,000円		
	その他	約4,300カナダドル	約482,000円		
	合計	約21,800カナダドル	約2,442,000円		
備考					

カナダ	大学名	レジャйна大学 (カナダ)			
	U R L	University of Regina www.uregina.ca			
	大学設立年	1911年	協定締結年		2013年
	所在地	3737 Wascana Parkway, Regina, Saskatchewan S4S 0A2, Canada			
大学紹介	カナダ・中西部サスカチュワン州の州都レジャйнаに位置する公立大学。学生数約17,000人、全学生の約20%が留学生、約13%を先住民が占め、グローバル・多様性を重んじる校風。認定留学・休学留学を含めた海外からの留学生も積極的に受け入れる体制が整っており、Visiting Studentとして大学授業を聴講も可能。日本語学科も大学内にある。				
派遣期間	秋学期：2027年9月～12月 春学期：2028年1月～4月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)	-		
	寮費	約7,000カナダドル	約784,000円		
	食費	約6,400カナダドル (年間)	約717,000円		
	教材費	約2,300カナダドル	約258,000円		
	その他	約2,700カナダドル	約303,000円		
	合計	約18,400カナダドル	約2,062,000円		
備考					

ジャマイカ	大学名	西インド諸島大学 モナ校			
	U R L	The University of the West Indies, Mona Campus https://www.mona.uwi.edu/			
	大学設立年	1948年	協定締結年		2012年
	所在地	Mona, Kingston 7, Jamaica			
大学紹介	カリブ海に浮かぶ西インド諸島の一つ、ジャマイカの首都キングストンにある。イギリスの旧植民地で、英語を公用語とする。4つのキャンパスを有する西インド諸島大学(学生数45,000名)は、地域のニーズに応えることを大学のミッションとし、西インド諸島の経済的、文化的ポテンシャルを引き出すための研究に注力している。キングストン国際空港から車で約20分の距離にあるモナ校(学生数約20,000名)には、人文・教育、社会科学、科学・技術、工学、スポーツ、法学、医学の7つの学部があり、200以上の専攻プログラムを提供している。				
派遣期間	秋学期：2026年9月～2026年12月 春学期：2027年1月～2027年5月				
成績条件	GPA 3.00以上				
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)	-		
	寮費	約1,600～4,600米ドル	約245,000円～704,000円		
	食費	約3,000～4,600米ドル	約459,000円～704,000円		
	教材費	約400～1,200米ドル	約61,000円～184,000円		
	その他	約600米ドル	約92,000円		
	合計	約5,600～11,000米ドル	約858,000円～1,684,000円		
備考	外務省の危険レベル2以上に指定のときは派遣不可。				

オーストラリア	大学名	ウーロンゴン大学 University of Wollongong			
	U R L	https://www.uow.edu.au/			
	大学設立年	1951年	協定締結年		1996年
	所在地	Wollongong NSW 2522 Australia			
	大学紹介	ニューサウスウェールズ州ウーロンゴンにある国立総合大学。学生数は約33,000名、うち留学生は約7,300人。45ヶ国400を超える大学等と協定関係を結んでいる。QS World University Rankings (2025) では上位1%にランクインしている。ウーロンゴンは人口約30万人の海辺にある静かな街で、シドニーからは電車で約1時間半。中心部から約5km離れた所にキャンパスがあり、海岸へも2kmほど。			
	派遣期間	秋学期：2027年2月～2027年6月 春学期：2028年7月～2028年11月			
	成績条件	GPA 2.70以上			
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	30,000豪ドル、本学免除 (P.86参照)	約3,180,000円		
	寮費	約16,930豪ドル	約1,795,000円		
	食費	約5,400豪ドル	約573,000円		
	教材費	約200豪ドル	約22,000円		
	その他	約4,000豪ドル	約424,000円		
	合計	約56,500豪ドル	約5,994,000円		
備考	南半球は、学期の呼称(季節)が北半球と反対。				

オーストラリア	大学名	サザンクロス大学 Southern Cross University			
	U R L	https://scu.edu.au/			
	大学設立年	1994年	協定締結年		2014年
	所在地	Military Road, East Lismore NSW 2480			
	大学紹介	1994年設立の公立大学。約20,000名が学び、うち留学生は約3,000名。メイン・キャンパスはニューサウスウェールズ州リズモア。最寄の都市ブリスベンまではバスで約3時間の距離。開講科目は、アート、教育学、社会科学、ビジネス、観光学、法学、先住民研究、環境科学など。			
	派遣期間	秋学期：2026年2月～2026年6月 春学期：2026年7月～2026年10月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)	—		
	寮費	約7,600～8,800豪ドル	約806,000～933,000円		
	食費	約5,600～11,200豪ドル	約594,000～1,188,000円		
	教材費	約600豪ドル	約64,000円		
	その他	約2,520豪ドル	約268,000円		
	合計	約16,320～23,120豪ドル	約1,732,000～2,453,000円		
備考	学期の長さ、呼称が独特なので注意。 2026年度の募集予定は未定。				

インドネシア	大学名	ビヌス大学 Bina Nusantara (BINUS) University			
	U R L	https://binus.ac.id/			
	大学設立年	1974年	協定締結年		2019年
	所在地	Jl. K. H. Syahdan No. 9, Kemanggisan, Palmerah Jakarta 11480 Indonesia			
	大学紹介	4つのキャンパスを持つインドネシア最大規模の私立大学。学生数は約14,000名、留学生数は50ヶ国から約700人。コンピュータ、ビジネス、コミュニケーション等の授業が充実しており、日本文学の学科もある。自動車業界、情報系の日系企業へ卒業生を輩出しており、日本企業との繋がりも強い大学。「QS University Rankings: Asia 2025」では、包括性、教育、雇用、社会的責任において5つ星評価、総合点においても5つ星を得ており、特にビジネススクールはアジアの大学ランキングで30位、世界ランキングは250位以内に位置している。			
	派遣期間	秋学期：2027年9月～2028年2月 春学期：2028年2月～2028年7月			
	成績条件	GPA 2.75以上			
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)	—		
	寮費	約2,500米ドル	約383,000円		
	食費	約1,800米ドル	約276,000円		
	教材費	約300米ドル	約46,000円		
	その他	約1,900米ドル	約291,000円		
	合計	約6,500米ドル	約996,000円		
備考	教授言語は英語。				

インドネシア	大学名	バジャジャラン大学 Universitas Padjadjaran (UNPAD)			
	U R L	https://www.unpad.ac.id/en/			
	大学設立年	1957年	協定締結年		2026年
	所在地	Kabupaten Sumedang, Jawa Barat 45363			
	大学紹介	インドネシア西ジャワ州の州都バンドンに位置する州立大学。筑波研究学園都市から着想を得て山麓に作られた学園都市に16の学部を擁する。学生数約33,000人、教員数約2,000人。インドネシアで最も志願者の多い公立大学で、同国で初めて日本語教育を導入した。2つのキャンパスがあり、全18学部ある。			
派遣期間	前期：2027年8月～2027年12月 後期：2028年2月～2028年8月				
成績条件	GPA 3.0以上 コースによって異なる場合あり。				
語学力条件	TOEFL 70以上、IELTS 5.5以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)			
	寮費	US\$1,600～			
	食費	US\$180～			
	教材費	US\$65	登録費+インビテーション申請費		
	その他	US\$360			
合計	US\$2,205～				
備考	実際はインドネシアルピア (IDR) で支払いだが、米ドル換算目安で公表されているので上記の通り標記。2027年度秋派遣より派遣開始予定。				

トルコ	大学名	ボアジチ大学 Boğaziçi University			
	U R L	https://www.boun.edu.tr/en-US/			
	大学設立年	1971年	協定締結年		2016年
	所在地	34342 Bebek, Istanbul, Turkey			
	大学紹介	イスタンブールにある公立大学。学生数は約17,000名(交換留學生数は約350名)。「ボアジチ」とはトルコ語でボスポラス海峡を意味する。1863年にアメリカ人ロバート・クリストファーによりリベラルアーツ教育を目的とし設立された米国高等教育機関であるロバート・カレッジを起源とする。ロバート・カレッジは1971年にトルコ政府に譲渡され、公立のボアジチ大学として創設された。8つの学群Faculty/School (人文、経済・経営学、法学、教育、コミュニケーション、工学、応用科学、外国語)を擁し、30を超えるプログラムがそれぞれ学士、修士、博士号を提供している。日本語学習者は常時150名程度在籍している。大学ランキングは国内第2位で、入学最難関の大学としてトルコ国内から最も優秀な学生を集めている。			
派遣期間	秋学期：2026年9月～2027年1月 春学期：2027年2月～2027年6月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—	
	寮費	約5,400ユーロ	約983,000円		
	食費	約2,700ユーロ	約492,000円		
	教材費	約100ユーロ	約19,000円		
	その他	約2,700ユーロ	約492,000円		
合計	約10,900ユーロ	約1,986,000円			
備考	教授言語は英語。				

チェコ	大学名	マサリク大学 Masaryk University			
	U R L	https://www.muni.cz/en			
	大学設立年	1919年	協定締結年		2017年
	所在地	Komenskeho nam. 2, 602 00 Brno, Czech Republic			
	大学紹介	チェコ共和国第2の都市ブルノに位置する国立総合大学。教養、教育学、経済・経営学、社会科学、法学、理学、医学、薬学、情報科学、スポーツ科学の10学部を擁する。学生数は約33,000名(このうち留學生数は約5,500名)。チェコ国内の総合大学では、プラハのカレル大学に次いで高い評価を得ている。チェコの公用語はチェコ語であるが、英語を教授言語とする科目が多数あり、英語圏の交換協定校として協定を締結した。			
派遣期間	秋学期：2026年9月～2027年2月 春学期：2027年2月～2027年6月				
成績条件	GPA 2.50以上				
語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—	
	寮費	約1,900～2,200米ドル	約291,000～338,000円		
	食費	約2,300～2,800米ドル	約352,000～429,000円		
	教材費	約110米ドル	約17,000円		
	その他	約3,000米ドル	約459,000円		
合計	約7,310～8,110米ドル	約1,119,000～1,242,000円			
備考	教授言語は英語。 秋学期、春学期どちらからでも留学可能だが、秋学期募集を行い定員枠に空きがある場合のみ春学期募集を行う。				

ポーランド	大学名	アダム・ミツキエヴィチ大学 Adam Mickiewicz University				
	U R L	https://amu.edu.pl/en				
	大学設立年	1919年	協定締結年		2025年	
	所在地	ul. Wieniawskiego 1, 61-712 Poznań, Poland				
	大学紹介	ポーランド国内では最も歴史のある大学のひとつ。現在20学部200以上の専攻を擁し、日本研究専攻も有する。学生数は約29,000人、教員数は約5,000人の規模を誇り、国内有数の高い評価を得ている。英語で提供される200以上のコースから自身の専攻分野にかかわるものを自由に選択することができる。また、パディプログラムなど留学中のサポートも充実。				
	派遣期間	秋学期：2026年10月～2027年2月 春学期：2027年2月～2027年7月				
	成績条件	GPA 2.30以上				
	語学力条件	TOEFL iBT® 70以上またはIELTS5.5以上				
	留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—	
		寮費	約2,700～4,500ユーロ			約492,000～819,000円
食費		約2,000ユーロ		約364,000円		
教材費		約500ユーロ		約91,000円		
その他		約600～900ユーロ		約110,000～164,000円		
合計		約5,800～7,900ユーロ		約1,056,000～1,438,000円		
備考	授業言語は英語。					

ウズベキスタン	大学名	ウズベキスタン国立世界言語大学 Uzbekistan State World Languages University				
	U R L	https://uzswlu.uz/en				
	大学設立年	1949年	協定締結年		2024年(予定)	
	所在地	21a, block G-9a, S.Yusupov Street., Tashkent, Uzbekistan				
	大学紹介	1949年に設立されたタシケント外国語教育大学を起源とし、1992年に国立ロシア語ロシア文学大学と統合して誕生。ウズベキスタン国内トップレベルの外国語大学で、言語学、外国語教育、通訳・翻訳学の分野における最重要の教育研究機関の一つ。約23,000名以上の学生が英語、ロマンス・ゲルマン諸語、ロシア語、オリエンタル言語など、20を超える言語を学んでいる。また通訳学部には日本語を主専攻とするコースがあり、「第二外国語としての日本語教育プログラム」も提供されている。日本文化を紹介する交流イベント・協定校との学生交流も活発に行っている。本学からの交換留学生は教授言語が英語の科目を履修する。				
	派遣期間	秋学期：2027年9月～2027年12月 春学期：2028年1月～2028年6月				
	成績条件	GPA 2.90以上				
	語学力条件	TOEFL 新基準は回答まち				
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—	
		寮費	約1,000米ドル			約153,000円
食費		約1,500米ドル		約230,000円		
教材費		約100米ドル		約16,000円		
その他		約500米ドル		約77,000円		
合計		約3,100米ドル		約476,000円		
備考	教授言語は英語。					

フランス	大学名	西部カトリック大学 Université Catholique de l'Ouest				
	U R L	https://www.cidef.uco.fr				
	大学設立年	1875年	協定締結年		1997年	
	所在地	3 Place André-Leroy, BP 10808 49008 Angers, cedex 01 FRANCE				
	大学紹介	フランス中西部、ロワールの城が点在し、物産も豊かで美しいペイ・ド・ラ・ロワール地方の中心アンジェ市にある。1373年に創られた学校を前身とし、1875年に改めて創立された名門私立大学。学生数は約12000名、世界中に約180の協定校を有し約1,150名の留学生を受け入れている。本学学生が学ぶ西部カトリック大学付属国際フランス語教育センター(CIDEF)は、2学期制の通年コースと夏季コース(7月～9月)を開講。通年コースの中級以上になると選択科目として商業フランス語、歴史や文学、哲学、翻訳、観光業、ホテル業などを選択できる。DELF・DALF・TCF・パリ商工会議所認定フランス語試験受験可能。交換留学は付属語学学校のみ。				
	派遣期間	春学期：2027年2月～2027年5月 秋学期：2027年9月～2028年1月				
	成績条件	GPA 2.30以上				
	語学力条件	証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験(一次筆記・二次面接)があり、仏検2級程度の語学力が求められる。				
	留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	6,450ユーロ 春学期開始は7,400ユーロ、本学免除 (P.86参照)			約1,174,000～1,347,000円
		寮費	4,000～7,000ユーロ(寮により異なる) ※ホームステイの場合：3,500～5,400ユーロ(食事の有無により異なる)			約728,000～1,274,000円 約637,000～983,000円
食費		3,000～5,500ユーロ		約546,000～1,001,000円		
教材費		—		—		
その他		3,000～4,500ユーロ		約546,000～819,000円		
合計		約15,950～24,400ユーロ		約2,903,000～4,441,000円		
備考						

フランス	大学名	パリ第1大学 パンテオン・ソルボンヌ			
	U R L	https://www.pantheonsorbonne.fr/			
	大学設立年	1971年	協定締結年		2013年
	所在地	12, place du Panthéon 75005 Paris, FRANCE			
大学紹介	パリ大学としての起源は12世紀に遡り、ヨーロッパで最も古い国立大学の一つである。1968年に7つの大学に分かれた後、1971年、新たに第1から第13大学までの独立大学として編成された。その1番目に名を連ねるパリ第1大学(「パンテオン・ソルボンヌ」)を冠する別称を持つが、日本における通称は「パリ1」は、現在、経済・経営学、人文科学・技術、法学・政治学の3つの専門分野の傘下に10の学科および4つの研究科を有する。学生数は約45,000名。本部は学生街カルチェ・ラタン地区の中心に位置する。交換派遣は法律・政治・経営・地理・歴史分野に限定される。				
派遣期間	秋学期：2027年9月～2028年1月 春学期：2028年1月～2028年5月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	DELFLまたはTCF B2 以上(要証明書)				
留学費用概算(約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.86参照)		—	
	寮費	4,000～8,000ユーロ		約728,000～1,456,000円	
	食費	3,000～6,000ユーロ		約546,000～1,092,000円	
	教材費	—		—	
	その他	3,500～5,000ユーロ		約637,000～910,000円	
	合計	約10,500～19,000ユーロ		約1,911,000～3,458,000円	
備考	専攻分野は応募前に相談のこと。				

フランス	大学名	マリー・エ・ルイ・バストゥール大学(旧フランシュ・コンテ大学)			
	U R L	https://www.univ-fcomte.fr/			
	大学設立年	1423年	協定締結年		2018年
	所在地	1 Rue Claude Goudimel, 25030 Besançon, FRANCE			
大学紹介	フランス東部に位置するフランシュ・コンテ地方の中心ブサンソン市にあり、中世からの伝統を誇る国立総合大学。医学、薬学、科学技術、教育、言語学など41分野の教育・研究を行っており、学生数は約27,000名である。外国人に対するフランス語教育において、フランス屈指の質の高いプログラムを提供し、毎年世界各国から3,000名以上の学生を受け入れている。				
派遣期間	秋学期：2027年9月～2027年12月 春学期：2028年1月～2028年5月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	学部留学の場合、DELFLまたはTCF B2以上(要証明書)。語学留学の場合、DELFLまたはTCF A2 以上(要証明書)。				
留学費用概算(約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.86参照)		—	
	寮費	約2,400ユーロ。ホームステイの場合は7,500ユーロ程度		約437,000～1,365,000円	
	食費	3,000～5,500ユーロ		約546,000～約1,001,000円	
	教材費	—		—	
	その他	3,000～4,500ユーロ		約546,000～819,000円	
	合計	約8,400～17,500ユーロ		約1,529,000～3,185,000円	
備考	1学期目に語学留学をし、要件を満たせば、2学期目は学部留学できる。(応募前に国際交流センターへ要相談。)				

フランス	大学名	リュミエール・リヨン第2大学			
	U R L	https://cief.univ-lyon2.fr			
	大学設立年	1973年	協定締結年		2022年
	所在地	18 quai Claude Bernard, F69365 Lyon Cedex 7, FRANCE			
大学紹介	フランス第2の都市リヨンにある国立大学。1809年創立のリヨン大学が1973年に3つの大学に分割。学問分野は人文科学、社会科学等。交換派遣は付属語学学校のみ。				
派遣期間	秋学期：2027年9月～2027年12月 春学期：2028年2月～2028年5月				
成績条件	GPA 2.30				
語学力条件	DU FOUコース DELFL B1以上(全技能で最低15/25以上)もしくはTCF350点以上(補足試験の口頭表現・文書作成で15/20以上)(要証明書)。DUEFコースは証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験(一次筆記・二次面接)があり、仏検2級程度の語学力が求められる。				
留学費用概算(約9ヶ月)	授業料	DUEFコース：3,550ユーロ DU FOUコース：3,750～3,950ユーロ、本学免除(P.86参照)		約647,000円 約683,000～719,000円	
	寮費	約2,700ユーロ ホームステイの場合は5,200～7,200ユーロ		約492,000円 約947,000～1,311,000円	
	食費	3,000～5,500ユーロ		約546,000～約1,001,000円	
	教材費	—		—	
	その他	3,000～4,500ユーロ		約546,000～819,000円	
	合計	12,250～21,150ユーロ		約2,231,000～3,850,000円	
備考	春出発は、1月末には現地着の必要あり。DU FOUは専門フランス語コースで「メディア・コミュニケーション」「経営・経済」「芸術・言語」3分野あり。それぞれの分野の基礎知識があることが望ましい。ほか、DU FOUは現地の受入状況により開講されない場合がある。				

フ ラ ン ス	大 学 名	レンヌ第2大学			
	U R L	https://www.univ-rennes2.fr/			
	大学設立年	1969年	協定締結年		2025年
	所 在 地	Place du Recteur Henri Le Moal, 35000 Rennes			
	大 学 紹 介	フランスの西部、ブルターニュ地域圏の中心都市であるレンヌにあり、語学、芸術、歴史・社会学が学べる文系大学。キャンパス内に語学学校が併設されており、年間を通し、約3000人の留学生を受け入れている。			
	派 遣 期 間	秋学期：2027年9月～2027年12月 春学期：2028年1月～2028年5月			
	成 績 条 件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	DELFLまたはTCF B1以上 ※備考を参照のこと。			
	留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—
		寮 費	約2,700ユーロ		約492,000円
食 費		約3,000～5,500ユーロ	約546,000～約1,001,000円		
教材費		—	—		
その他		約3,000～4,500ユーロ	約546,000～819,000円		
合 計		約8,700～12,700ユーロ	約1,584,000～2,312,000円		
備 考	2027年度秋派遣より派遣開始予定。 ※学部留学のため、B2以上の語学力があることが望ましい。留学開始時点でB1レベルの場合は、付属語学学校CIREFEにて1学期間無料のフランス語講座を受講すること。 ※付属語学学校CIREFEでの語学留学を希望する場合には、要相談。				

ス ペ イ ン	大 学 名	サンティアゴ・デ・コンポステラ大学			
	U R L	https://www.usc.gal/es			
	大学設立年	1495年	協定締結年		2025年
	所 在 地	Colexio de San Xerome, Praza do Obradoiro, s/n, 15782 Santiago de Compostela, SPAIN			
	大 学 紹 介	スペイン北西部ガリシア州の、カトリック教会有数の聖地巡礼地としても有名なサンティアゴ・デ・コンポステラに本部を置き、1495年にカスティーリャ王国最初の大学として設立された歴史ある公立大学。学生数は約24,000名、人文学、哲学、言語学などの23学部を有する。付属のインターナショナルコース (CI-USC) では外国人学生を対象にスペイン語及びスペイン文化のコースが開講されており、語学留学も可能。			
	派 遣 期 間	〈学部留学〉 秋学期：2027年9月～2028年1月 春学期：2028年2月～2028年7月 〈語学留学〉 春学期：2027年4月～2027年7月 秋学期：2027年9月～2027年12月			
	成 績 条 件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	〈学部留学〉 B1以上、ただしスペイン語・スペイン文学専攻の場合はB2以上 (要証明書) 〈語学留学〉 DELEまたはSIELE A2程度			
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	〈学部留学〉 留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—
		寮 費	2,500～3,000ユーロ		約455,000～546,000円
食 費		2,000～3,500ユーロ	約364,000～637,000円		
教材費		50～200ユーロ	約10,000～37,000円		
その他		3,300～4,500ユーロ	約601,000～819,000円		
合 計		7,850～11,200ユーロ	約1,430,000～2,039,000円		
備 考	留学費用の「その他」には、ビザ申請に必要な現地健康保険料を含む。				

ス ペ イ ン	大 学 名	バルセロナ自治大学			
	U R L	https://www.uab.cat/			
	大学設立年	1968年	協定締結年		2010年
	所 在 地	Campus de la UAB Bellaterra, 08193 Cerdanyola del Vallès, Barcelona, SPAIN			
	大 学 紹 介	スペイン第2の都市バルセロナ郊外に3つのキャンパスを持つバルセロナ自治大学は、比較的新しい公立大学。学生数は約36,000名で、交換留学生は約1,400名。バルセロナ市街地より約20km北に位置し、人文学、コミュニケーション学、経済経営学、教育学、法学、医学、心理学、翻訳通訳学などの学部がある。交換留学生は、翻訳通訳学部にも所属し、履修科目の50%以上を翻訳通訳学部の科目から登録しなければならない。カタルーニャ語のみで開講される授業もある。			
	派 遣 期 間	秋学期：2027年9月～2028年2月 春学期：2028年2月～2028年6月			
	成 績 条 件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	DELE B1程度			
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—
		寮 費	約3,000～8,050ユーロ		約546,000～1,466,000円
食 費		約2,500～3,500ユーロ	約455,000～637,000円		
教材費		約30～100ユーロ	約6,000～19,000円		
その他		約3,300～4,500ユーロ	約601,000～819,000円		
合 計		約8,830～16,150ユーロ	約1,608,000～2,941,000円		
備 考	留学費用の「その他」には、ビザ申請に必要な現地健康保険料を含む。				

スペイン	大学名	マラガ大学			
	U R L	Universidad de Málaga https://www.uma.es			
	大学設立年	1972年	協定締結年		2017年
	所在地	Avda. Cervantes, 2 29071 Málaga, SPAIN			
大学紹介	マラガ大学は、スペイン南部のアンダルシア州に2つのキャンパスを持つ、比較的新しい公立大学。学生数は約34,000名で、観光学、芸術、哲学・文学、コミュニケーション学、経済経営学、教育学、法学、医学、健康科学、心理学などの学部がある。交換留学生はどの学部の科目も履修することができるが、メインの学部を決めそこから50%以上を履修しなければならない。英語で開講される授業もある。				
派遣期間	秋学期：2027年9月～2028年2月 春学期：2028年2月～2028年7月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	DELE B1程度				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)	-		
	寮費	4,000～9,600ユーロ	約728,000～1,748,000円		
	食費	2,000～3,500ユーロ	約364,000～637,000円		
	教材費	50～200ユーロ	約10,000～37,000円		
	その他	3,300～4,500ユーロ	約601,000～819,000円		
	合計	9,350～17,800ユーロ	約1,703,000～3,241,000円		
備考	留学費用の「その他」には、ビザ申請に必要な現地健康保険料を含む。				

メキシコ	大学名	グアダラハラ大学			
	U R L	Universidad de Guadalajara https://www.udg.mx/			
	大学設立年	1792年	協定締結年		2012年
	所在地	Av. Juárez No.976, Colonia Centro, C.P. 44100, Guadalajara, Jalisco, México			
大学紹介	メキシコ中西部に位置するハリスコ州の州都グアダラハラに本部を置く、国内有数の高等教育機関として知られる州立総合大学。都市部に学科別に分かれた7つのキャンパス (Centro Universitario)、郊外に地域別に分かれた12のキャンパスを有する。総学生数は約140,000名。芸術・建築・デザイン、生物・農業、経済・経営、精密科学・工学、健康科学、社会人文学などの学部がある。				
派遣期間	1学期：2027年8月～2027年12月 2学期：2028年1月～2028年5月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	DELE B1程度				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)	-		
	寮費	40,000～45,000メキシコペソ ※留学生用の寮はないためアパート	約320,000～360,000円		
	食費	20,000～50,000メキシコペソ	約160,000～400,000円		
	教材費	500～2,000メキシコペソ	約4,000～16,000円		
	その他	25,000～78,000メキシコペソ	約200,000～624,000円		
	合計	85,500～175,000メキシコペソ	約684,000～1,400,000円		
備考					

中国	大学名	華東師範大学			
	U R L	East China Normal University https://www.ecnu.edu.cn/			
	大学設立年	1951年	協定締結年		2013年
	所在地	中山北路キャンパス：上海市普陀区中山北路3663号 閔行キャンパス：上海市閔行区東川路500号			
大学紹介	1951年に設立された国家教育部直属の全国重点大学の一つ。世界都市上海にありながら、緑豊かで広大なキャンパスを有し、中心部へのアクセスもよい。学生数は約38,000名、そのうちおよそ1,500名の留学生が学部所属の正規生として学んでいる。国際交流を重視しており、交流協定を結ぶ教育機関は300にも上る。				
派遣期間	春学期：2027年2月～2027年7月 秋学期：2027年9月～2028年1月				
成績条件	<語学留学>GPA 2.30以上 <学部留学>GPA 3.00以上				
語学力条件	<語学留学> 中国語検定3級以上またはHSK 3級以上 <学部留学> HSK 5級180点以上				
留学費用概算 (約11ヶ月)	授業料	留学先免除※、本学へ納入 (P.86参照)	-		
	寮費	11,550～49,500元	約255,000～1,089,000円		
	食費	18,000～22,000元	約396,000～484,000円		
	教材費	400～1,000元	約9,000～22,000円		
	その他	11,000～22,000元	約242,000～484,000円		
	合計	40,950～94,500元	約902,000～2,079,000円		
備考	本学交換留学生は、語言生として語学留学する方法と、普通進修生として学部留学する方法の2種類がある。				

中国	大学名	大連理工大学				
	U R L	Dalian University of Technology https://www.dlut.edu.cn/				
	大学設立年	1949年	協定締結年		2018年	
	所在地	大連凌水キャンパス：大連市甘井子区凌工路2号				
	大学紹介	大連理工大学は全国重点大学の一つで、遼寧省大連市にメインキャンパスがあり、理系学部のほか、人文社会、経済管理、外国語学部などの文系学部も擁している。中でも国際教育学部は主に留学生を受け入れ、中国語コースや漢語言本科（経済・貿易）コースが開講されている。交流協定を結ぶ教育機関は45ヶ国323校に上る。				
	派遣期間	春学期：2027年2月～2027年7月 秋学期：2027年9月～2028年1月				
	成績条件	GPA 3.00以上				
	語学力条件	<語学留学> 中国語検定3級以上またはHSK3級以上 <学部留学> HSK5級180点以上				
	留学費用概算 (約11ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—	
		寮費	6,600～19,800円			約146,000～436,000円
食費		11,000～22,000円		約242,000～484,000円		
教材費		400～1,000円		約9,000～22,000円		
その他		11,000～22,000円		約242,000～484,000円		
合計		29,000～64,800円		約639,000～1,426,000円		
備考	本学交換留学生は、語言生として語学留学する方法と、普通進修生として学部留学する方法の2種類がある。					

中国	大学名	北京師範大学				
	U R L	Beijing Normal University https://www.bnu.edu.cn/				
	大学設立年	1902年	協定締結年		2010年	
	所在地	海淀キャンパス：北京市海淀区新街口外大街19号				
	大学紹介	北京師範大学は国家教育部直属の重点大学の一つであり、教師教育、教育科学、文理基礎学を主な特色とする著名な総合・研究型の大学である。40以上の国・地域の約300の大学や研究所と交流協定を結んでいる。				
	派遣期間	春学期：2027年2月～2027年7月 秋学期：2027年9月～2028年1月				
	成績条件	GPA 3.00以上				
	語学力条件	<学部留学> HSK5級180点以上				
	留学費用概算 (約11ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—	
		寮費	19,800～26,400円			約436,000～581,000円
食費		18,000～22,000円		約396,000～484,000円		
教材費		400～1,000円		約9,000～22,000円		
その他		11,000～22,000円		約242,000～484,000円		
合計		49,200～71,400円		約1,083,000～1,571,000円		
備考	本学交換留学生は、「経済と工商管理学院」「法学院」のいずれかの学院を選択し、その学院が開設する科目を履修する。					

台湾	大学名	国立台南大学				
	U R L	National University of Tainan https://www.nutn.edu.tw				
	大学設立年	2004年	協定締結年		2022年	
	所在地	府城キャンパス：台南市中西区樹林街二段33号 栄誉キャンパス：台南市東区栄誉街67号 他				
	大学紹介	台湾西南部に位置する台南市に設置された国立大学。前身は1899年に創立された台南師範学校であり、2004年に国立台南大学に改組された。師範学校からの流れをくむ教育学部のほか、人文学部、理工学部、環境生態学部、芸術学部、管理学部の計6学部を有する総合大学である。				
	派遣期間	春学期：2027年2月～2027年6月 秋学期：2027年9月～2028年1月				
	成績条件	GPA 2.30以上				
	語学力条件	中国語検定3級以上またはHSK3級以上				
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—	
		寮費	17,000～78,000ニュー台湾ドル			約85,000～390,000円
食費		75,000～120,000ニュー台湾ドル		約375,000～600,000円		
教材費		2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円		
その他		27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円		
合計		121,000～258,000ニュー台湾ドル		約605,000～1,290,000円		
備考	学部留学。一つの学部にも所属するが、学部横断的に履修が可能。留学生向けの中国語の授業も開講されている。					

台湾	大学名	国立高雄科技大学		
	U R L	National Kaohsiung University of Science and Technology		
	U R L	https://www.nkust.edu.tw/		
	大学設立年	2018年	協定締結年	
所在地	第一キャンパス：高雄市燕巢区大学路1号/高雄市楠梓区卓越路2号 建工キャンパス：高雄氏三民区建工路415号 燕巢キャンパス：高雄市燕巢区深中路58号 他			
大学紹介	国立高雄科技大学 (NKUST) は、2018年2月1日に国立高雄応用科技大学、国立高雄第一科技大学、国立高雄海洋科技大学が合併して設立された台湾最大の科学技術大学で、外国語学部や管理学院などの文系学部も有する。			
派遣期間	春学期：2027年2月～2027年6月 秋学期：2027年9月～2028年1月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	中国語検定3級以上、HSK 4級180点以上、TOCFL Level 2以上またはTECC D以上			
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—
	寮費	19,400～32,600ニュー台湾ドル		約97,000～163,000円
	食費	75,000～100,000ニュー台湾ドル		約375,000～500,000円
	教材費	2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円
	その他	27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円
	合計	123,400～192,600ニュー台湾ドル		約617,000～963,000円
備考	学部留学。獨協大学での専門と関連のある学部にも所属するが、学部横断的に履修が可能。留学生向けの中国語の授業も開講されている。			

台湾	大学名	東呉大学		
	U R L	Soochow University		
	U R L	https://www.ch.scu.edu.tw/		
	大学設立年	1951年	協定締結年	
所在地	外雙溪キャンパス：台北市士林區臨溪路70號 城中キャンパス：台北市中正区貴陽街一段56號			
大学紹介	台湾台北市にある私立の総合大学。もともとは1900年に中国蘇州に建学された、中国初の西洋式教育の大学で、1951年に台湾で再興された。人文社会学部、外国語文学部、理学部、法学部、商学部、ビッグデータ・マネジメント学部の6学部、計26学科を擁し、約244校の海外教育機関と交流協定を結んでいる。			
派遣期間	春学期：2027年2月～2027年6月 秋学期：2027年9月～2028年1月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	中国語検定3級以上またはHSK 3級以上			
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—
	寮費	24,000～150,000ニュー台湾ドル		約120,000～750,000円
	食費	75,000～100,000ニュー台湾ドル		約375,000～500,000円
	教材費	2,000～10,000ニュー台湾ドル		約10,000～50,000円
	その他	27,000～50,000ニュー台湾ドル		約135,000～250,000円
	合計	128,000～310,000ニュー台湾ドル		約640,000～1,550,000円
備考	学部留学。特定学部にも所属せず、学部横断的に履修が可能、ただし理学部とビッグデータ・マネジメント学部を除く。留学生向けの授業（中国語の授業含む）も複数開講されている。			

韓国	大学名	仁荷 (イナ) 大学		
	U R L	Inha University		
	U R L	https://www.inha.ac.kr		
	大学設立年	1954年	協定締結年	
所在地	100 Inha-ro, Michuhol-gu, Incheon 22212, Korea			
大学紹介	仁川 (インチョン) 国際空港や7,000社を超える工業団地を擁する仁川市にある私立総合大学。ソウル中心地からは、電車やバスで1時間～1時間半の距離にある。約18,000名の学部生が学び、世界各国からの留学生も多い。文化体験プログラムなどの国際交流にも力を入れている。			
派遣期間	春学期：2027年2月～2027年6月 秋学期：2027年8月～2027年12月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験 (TOPIK) 3級程度 (韓国語文学科、国際韓国言語文化学科に所属する場合はTOPIK 3級以上)			
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入 (P.86参照)		—
	寮費	約2,200,000ウォン		約242,000円
	食費	約4,000,000～5,000,000ウォン		約440,000～550,000円
	教材費	約200,000ウォン		約22,000円
	その他	約3,000,000ウォン		約330,000円
	合計	約9,400,000～10,400,000ウォン		約1,034,000～1,144,000円
備考	※医学及び看護系分野は履修不可。			

韓国	大学名	慶熙(キョンヒ)大学			
	U R L	Kyung Hee University https://www.khu.ac.kr/			
	大学設立年	1949年	協定締結年		2008年
	所在地	ソウルキャンパス: 26, Kyungheedaero, Dongdaemun-gu, Seoul 02447, Korea 国際キャンパス: 1732, Deogyong-daero, Giheung-gu, Yongin-si, Gyeonggi-do 17104, Korea			
大学紹介	幼稚園から大学院まで一貫教育を行っている名門私立総合大学で、学部の学生数は約26,000名。ソウル市北東部と京畿道龍仁市にキャンパスを置く。在学生による留学生へのトウミ(チューター)制度をいち早く取り入れた大学として有名。				
派遣期間	春学期: 2027年2月~2027年6月 秋学期: 2027年8月~2027年12月				
成績条件	GPA 2.50以上				
語学力条件	韓国語能力試験(TOPIK) 5級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.86参照)		—	
	寮費	約2,900,000~3,100,000ウォン		約319,000~341,000円	
	食費	約5,000,000~5,500,000ウォン		約550,000~605,000円	
	教材費	約200,000ウォン		約22,000円	
	その他	約3,000,000ウォン		約330,000円	
	合計	約11,100,000~11,800,000ウォン		約1,221,000~1,298,000円	
備考					

韓国	大学名	建国(コングク)大学			
	U R L	Konkuk University https://www.konkuk.ac.kr/			
	大学設立年	1959年	協定締結年		2008年
	所在地	ソウルキャンパス: 120 Neungdong-ro, Gwangjin-gu, Seoul 05029, Korea			
大学紹介	ソウル市東部にメインキャンパス、忠清北道忠州市に理系中心のキャンパスを置く名門私立総合大学。ソウルキャンパスは、緑に囲まれた自然豊かな環境で、ソウル中心地へのアクセスも良い。学部には約22,000名の学生が在籍する。				
派遣期間	春学期: 2027年2月~2027年6月 秋学期: 2027年8月~2027年12月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK) 3級程度				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.86参照)		—	
	寮費	約5,750,000ウォン(寮の利用は1学期目のみ可。2学期目は外部住居。)		約633,000円	
	食費	約5,000,000~5,500,000ウォン		約550,000~605,000円	
	教材費	約300,000ウォン		約33,000円	
	その他	約3,000,000ウォン		約330,000円	
	合計	約14,050,000~14,550,000ウォン		約1,546,000~1,601,000円	
備考					

韓国	大学名	西江(ソガン)大学			
	U R L	Sogang University https://www.sogang.ac.kr/			
	大学設立年	1960年	協定締結年		2024年
	所在地	35 Baekbeom-ro, Mapo-gu, Seoul 04107, Korea			
大学紹介	カトリックのイエズス会により設立されたミッション系の大学。韓国ではトップクラスの3大学に準じる大学群に属する。学生数は約8,000名。ロヨラ国際学部と本学国際教養学部との学部間協定だが、本学の他学部生も交換留学生として派遣できる。同学部では韓国、アジア、貿易、経済、経営、メディアなどをグローバルな視点から学ぶことができる。				
派遣期間	春学期: 2027年2月~2027年6月 秋学期: 2027年8月~2027年12月				
成績条件	GPA 3.2以上が望ましい				
語学力条件	韓国語能力試験4級以上が望ましい※				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.86参照)		—	
	寮費	約5,000,000ウォン		約550,000円	
	食費	約5,000,000~5,500,000ウォン		約550,000~605,000円	
	教材費	約200,000ウォン		約22,000円	
	その他	約3,000,000ウォン		約330,000円	
	合計	約13,200,000~13,700,000ウォン		約1,452,000~1,507,000円	
備考	※教授言語韓国語による授業を履修するにはTOPIK 4級の合格証(または同等の語学力を示す教員からのレター)が必要。				

韓国	大学名	成均館(ソンギョングァン)大学			
	U R L	Sungkyunkwan University https://www.skku.edu/eng/			
	大学設立年	1946年	協定締結年		2025年
	所在地	人文科学キャンパス: 25-2, Sungyunkwan-ro, Jongno-gu, Seoul 03063, Korea			
	大学紹介	1946年に設立した韓国・ソウル特別市鍾路区にある私立大学。1398年に設立された朝鮮王朝の最高教育専門機関である成均館を母体と見なし、東アジアで最古の教育機関の一つといえる。1996年以降、韓国ではサムスングループのサポートを受けている大学として知られる。学生数は約26,000名、教員・研究者数約3,500名。本学と成均館大学校文科大学の協定(大学と学部間)のため、履修は文科大学(College of Liberal Arts)の科目に限定される。			
派遣期間	春学期: 2027年2月~2027年6月 秋学期: 2027年8月~2027年12月				
成績条件	GPA 2.50以上				
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK)3級程度				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.86参照)	—		
	寮費	約3,600,000~4,500,000ウォン	約396,000~495,000円		
	食費	約5,000,000~5,500,000ウォン	約550,000~605,000円		
	教材費	約200,000ウォン	約22,000円		
	その他	約3,000,000ウォン	約330,000円		
	合計	約11,800,000~13,200,000ウォン	約1,298,000~1,452,000円		
備考					

韓国	大学名	誠信(ソンシン)女子大学			
	U R L	Sungshin University https://www.sungshin.ac.kr/			
	大学設立年	1963年	協定締結年		2017年
	所在地	スジョンキャンパス: 2, Bomun-ro 34 da-gil, Seongbuk-gu, Seoul 02844, Korea ウンジョンキャンパス: 55, Dobong-ro 76 ga-gil, Gangbuk-gu, Seoul 01133, Korea			
	大学紹介	「誠信(誠実さと信頼)」「知新(新しい知識を広く深く)」「自動(自ら動き、自らの力で)」を教育理念に、社会をリードする女性人材の育成を目指す私立総合女子大学。ソウル市北東部に位置するスジョンキャンパスとウンジョンキャンパスに合わせて約11,000名の学生が在籍する。「女性」をキーワードにした授業やメイクやファッション等に関する授業を開設しているのも特徴の一つ。			
派遣期間	春学期: 2027年2月~2027年6月 秋学期: 2027年8月~2027年12月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK)3級程度				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	留学先免除※、本学へ納入(P.86参照)	—		
	寮費	約2,800,000~5,100,000ウォン	約308,000~561,000円		
	食費	約5,000,000~5,500,000ウォン	約550,000~605,000円		
	教材費	約200,000ウォン	約22,000円		
	その他	約3,000,000ウォン	約330,000円		
	合計	約11,000,000~13,800,000ウォン	約1,210,000~1,518,000円		
備考					

韓国	大学名	大邱(テグ)カトリック大学			
	U R L	Catholic University of Daegu https://www.cu.ac.kr/			
	大学設立年	1914年	協定締結年		2003年
	所在地	ヒョソンキャンパス: Hayang-ro 13-13, Hayang-eup, Gyeongsan-si, Gyeongbuk 38430, Korea			
	大学紹介	韓国のカトリック系大学の中で最大の規模を誇る私立総合大学。学部在籍者は約15,000名。理系の3学部は大邱市内のキャンパスに、その他11学部は慶尚北道慶山市にあるヒョソンキャンパスに属している。大邱市内から電車やバスで1時間ほどの距離にあるヒョソンキャンパスには日本語・日本文学科もあり、日本語を学ぶ韓国留学生も多い。			
派遣期間	春学期: 2027年2月~2027年6月 秋学期: 2027年8月~2027年12月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK)3級程度				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	留学先免除、本学へ納入(P.86参照)	—		
	寮費	約1,700,000ウォン	約187,000円		
	食費	約4,000,000~4,500,000ウォン	約440,000~495,000円		
	教材費	約200,000ウォン	約22,000円		
	その他	約3,000,000ウォン	約330,000円		
	合計	約8,900,000~9,400,000ウォン	約979,000~1,034,000円		
備考					

MEMO



A series of horizontal lines for writing, spaced evenly down the page.

認定制留学の資格・条件

認定制留学については申請時に、次の1. から5. の条件を満たしていることが必要です。

また、認定制留学は留学開始時に本学に2学期以上在学（編入学生は1学期以上在学）していることが必要です（ドイツ語、フランス語学科は3学期以上）。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

1. 修得単位数

申請時に次に掲げる各学科所定の単位を修得している必要があります。

2024年度以降入学者

学部	外国語				国際教養	経済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期											
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」10単位、基礎演習部門より4単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」15単位、基礎演習部門より6単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、基礎演習部門より8単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ」2単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」20単位、「総合フランス語Ⅰ・Ⅱ」4単位、基礎演習部門より8単位、「専門演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

学部	外国語				国際教養	経済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期		16単位以上		16単位以上	16単位以上(外国語科目6単位を含む)	16単位以上(英語科目3単位を含む)			16単位以上		
3学期	32単位以上	32単位以上	32単位以上(「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む)	32単位以上	32単位以上(外国語科目12単位を含む)	32単位以上(英語科目6単位を含む)			32単位以上		
4学期	48単位以上	48単位以上	48単位以上(「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む)	48単位以上	48単位以上(外国語科目18単位を含む)	48単位以上(英語科目8単位を含む)			48単位以上		
5学期	64単位以上	64単位以上	64単位以上(「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む)	64単位以上	64単位以上(外国語科目24単位、演習2単位を含む)	64単位以上(英語科目10単位を含む)			64単位以上		
6学期	80単位以上	80単位以上	80単位以上(「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」2単位、「演習」2単位を含む)	80単位以上	80単位以上(外国語科目24単位、演習4単位を含む)	80単位以上(英語科目10単位を含む)			80単位以上		
7学期	96単位以上	96単位以上	96単位以上(「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」4単位を含む)	96単位以上	96単位以上(外国語科目24単位、演習4単位を含む)	96単位以上(必修科目を全て修得していること)			96単位以上		
8学期	112単位以上	112単位以上	112単位以上(「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」6単位を含む)	112単位以上	112単位以上(外国語科目24単位、演習4単位を含む)	112単位以上(必修科目を全て修得していること)			112単位以上		

2. 評定平均値 (GPA)

申請までの獨協大学における修得科目の評定平均値 (GPA) が**2.30以上**であること (小数点以下第3位を四捨五入^{*})。

GPAの計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績通知表は必ず全部保管しておきましょう (成績証明書にはFと×の科目は記載されないのので、注意してください。×は2023年度まで使用されていたものです)。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。 ※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$GPA = \frac{(AAの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1)}{\text{総登録単位数 (累計)}}$$

…「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※留学を希望する大学への出願に必要なGPA要件は、各留学先HP等で確認してください。

3. 語学力

下表は、認定留学の申請時に必要な語学力の条件です。原則として申請日より遡って2年以内に取得した語学力の証明書コピー*を提出してください。

下表の学内条件を満たしていても、留学先が個々に定める条件を満たしていないと入学許可が下りないので、詳細は各大学(機関)にお問い合わせください。

※留学先での教授言語が認定留学申請者の母語である場合は、語学力の証明書提出の代わりに、その母語を主な教授言語とした中等教育機関(高等学校等)の卒業証明書(または卒業証書の写し)等を提出することで、下表の学内語学力条件を充足しているとみなすことができます。該当する方は事前に国際交流センターまでお問合せください。

教授言語	語 学 力 の 条 件
ドイツ語	留学先が指定する語学力を有していること (Goethe-/ÖSD-Zertifikat A2以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定2級以上)
英語	TOEFL iBT® 61以上、TOEFL ITP® 500以上 (本学実施の団体受験のみ)、IELTS™ 5.5以上、実用英語技能検定準1級以上、TOEIC® L&R 700以上またはDuolingo English Test (DET) 100点以上 注：国際教養学部生が申請時にIELTS™スコアを提出する際は、5.0以上を目安とする。
フランス語	実用フランス語技能検定準2級以上、DELTA A2以上またはTCF (TCF SOを含む) 270点以上
スペイン語	DELE A2以上、SIELE A2以上またはスペイン語技能検定4級以上
中国語	中国語検定3級以上またはHSK 3級以上
韓国語	「ハングル」能力検定4級以上または韓国語能力試験 (TOPIK) 2級以上

4. 留学先の条件

①言語圏および教授言語

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であり、所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外 国 語				国際教養	経 済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
言語圏	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語または英語	英語	フランス語または英語	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語 等	制限なし			制限なし		
留学期間	1学期間または2学期間										

②認定留学における教育機関

学位(学士、修士、博士号等)の授与権を有する大学か、それと同等の高等教育機関※であること。大学の場合は、原則として専門課程への入学許可を得ていること。また、教授言語をドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語とする場合のみ、下表の条件を満たしている機関でも認められます。

なお、P.76の「これまでの認定留学先大学一覧」に記載のない大学(機関)への認定留学を希望する場合は、留学先大学(機関)への出願手続き開始前に同大学(機関)の資料(パンフレット、コースカタログ、大学や開設科目、自身の履修計画に関する詳しい資料等)を国際交流センターに提出し、認定留学先として認められるかを必ず相談しましょう(認定留学が認められない場合もあります)。

※アメリカのコミュニティカレッジなど

教授言語	大学(またはそれと同等の高等教育機関)以外の条件
ドイツ語	大学の留学生用語学コースまたは大学付属の語学学校
フランス語	大学付属の語学学校(単に大学と提携しているだけの場合は不可)
スペイン語	大学付属の外国人コース(この場合認定できる単位は、原則としてスペイン語およびコースの中に含まれている文化論、歴史などに限られる)。ただし、事前にコースの内容を検討した上で、判断する。 (例) スペインの場合：サラマンカ大学付属語学学校および国立大学の付属語学学校 メキシコの場合：メキシコ国立自治大学外国人コース (UNAM CEPE)
中国語	外国人向け高等教育施設(機関)
韓国語	大学付属の語学学校(単に大学と提携しているだけの場合は不可)

5. 認定留学の期間

認定留学は原則として1学期間または2学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われます。したがって、留学開始日と留学終了日を以下の要領で設定し、この期間を目安に留学を完結させてください。

- 1学期間の留学：春学期または秋学期の1学期間（留学先での学修期間は3ヶ月以上）
 - 2学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の2学期間（留学先での学修期間は6ヶ月以上）
- ※留学先大学・機関の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する学期からの認定留学の申請ができない場合もあるので注意してください。（例：留学先の学期開始が1月あるいは6・7月などの場合は、本学の秋あるいは春学期日程と重なるため、認定留学の申請はできません。）
- ※所定の手続きを経て、最長4学期間まで延長することができます（詳細はP.78参照）。
- ※留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国してください。



認定留学申請までの流れ

■ 資料請求

留学先大学を決めるには、自分の留学目的に合う大学をHP等で調べ、候補を絞りましょう。また、HPで資料や願書請求用のフォームがあれば、これを利用しましょう。近年は、HP上のオンライン申請が一般的です。

■ 志望大学への出願

出願の際は、HPや送られてきた資料などをよく読んで、書類の不備や不足がないようにしましょう。出願資格、出願締切日もよく確かめてください。オンライン出願が一般的ですが、出願書類の原本提出が必要な場合は、提出物のコピーを取っておくほか、郵便局のEMS（国際スピード郵便）などの配達記録が残るものを利用しましょう。

留学先大学から受入れ許可の通知が届いたら、その大学の指示に従い入学手続きをします。

留学ビザが必要な場合は、該当国の大使館のHPで申請方法を確認し、余裕をもって手続きを行いましょう。特に留學生の出発が多い時期は込み合いますので、注意が必要です。

なお、複数の大学から許可が届いた場合は、留学しない大学には必ずその旨を連絡して下さい。今後留学する獨協生や他の日本からの留學生のためにもマナーを守りましょう。

■ 認定留学の申請

留学先から入学許可がもらえたら、獨協大学に認定留学の申請をします。申請期限までに申請をしないと、留学期間は在学期間と認められません。



認定留学の申請

認定留學生の身分で留学するには、国際交流センターに申請する時点で、本学が定めた要件をクリアしていなければなりません（要件を満たしていない場合は休学扱いとなります）。「認定留学の資格・条件」を熟読し、自分が要件を満たしているかを確かめた上で、以下に記載の提出書類①～⑤を揃えて国際交流センターに提出してください。

なお留学先で健康保険加入が義務づけられている場合は、その保険の詳細（補償内容、保険料等）がわかる資料を提出してください。

提出書類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 認定留学申請書類からダウンロードしてください。

- ①長期留学志願書（所定様式）
- ②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）
- ③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからダウンロード可）
- ④必要とされる語学力証明書コピー（有効期限内のものに限る）
- ⑤留学先大学等（P.72「4. 留学先の条件」の②参照）が発行した入学許可証明書コピー

■ 認定留学の申請期限

秋学期から留学する場合…… 6月末日

春学期から留学する場合…… 1月末日

※上記の申請期限は、あくまでも認定留学生としての身分を得るための学内申請期限であり、それ以外の留学手続きにかかる期間は考慮していません。渡航のためのビザ取得等には時間を要することから、早めに国際交流センターに相談し、時間に余裕をもって希望する留学先に出願してください（特にスペインの場合は学生ビザの取得に2ヶ月ほどかかるため、留学開始5ヶ月前の出願が目安）。

※やむを得ず期限までに申請できない可能性がある場合は、必ず事前に国際交流センターまでご相談ください。

※本学「海外危機対応マニュアル」に基づき、派遣が認められない場合があります（P.12およびP.110参照）。

■ 休学から認定留学への切り替え申請

認定留学については出発前の申請が原則ですが、例えば休学して海外で語学研修中の方が、認定留学申請に必要な要件を満たせば、学期単位で認定留学に切り替えることができます場合があります。ただし、出発前に国際交流センターおよび教務課でその旨を相談し、指導を受けていること、「海外安全対策セミナー」に出席していることが条件となります。

認定留学への切り替えには、前述の認定留学申請手続きが必要なほか、国際交流委員会による承認後、速やかに復学手続きを行う必要があります。復学手続きについては、大学HPまたは教務課学事係で確認してください。また、「海外安全対策セミナー」で案内している本学指定の海外旅行保険への加入も必須となります。

認定留学先の選び方

1. 認定留学は、自分で留学先となる高等教育機関等を選択するので、対象となる機関は世界中にたくさん存在します。その中から自身に最適の留学先を見つけるためには、まず留学の目的や勉強したい分野をはっきりさせましょう。
2. 次に、留学したい国・地域を定め、どのような機関で、どんな授業が開講されているかを調べましょう。機関選択の際には、条件（立地、治安、出願条件、学費、奨学金、留学生サポート等）を書き出した一覧表を作り、比較検討してみてください。また、留学に関する情報収集には、日本にある各国大使館のHPや、日本学生支援機構の海外留学支援サイト等を活用するとよいでしょう。
3. 留学先がある程度絞れたら、出願方法を確認し、出願書類を準備します。機関により出願締切が異なるので、注意してください。また、学内の認定留学申請期限（秋学期：6月末日、春学期：1月末日）に間に合うよう、余裕を持って出願手続きを進めてください。
4. 無事に入学許可を取得したら、国際交流センターで認定留学申請手続きをしてください。

なお、留学エージェントを通して出願することも可能です。獨協大学では、学部留学をサポートする一般財団法人日本スタディ・アブロード・ファンデーション（JSAF）および一般財団法人海外留学推進協会（SAA）とパートナーシップを結んでいます。JSAFおよびSAAは学内で定期的に留学説明会を実施していますので、関心のある方は参加してみてください。日程はPorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] でお知らせします。

ただし、JSAFやSAAの留学プログラムは、本学の認定留学とは直接的な関係はありません。留学エージェントを利用した留学プログラムが必ずしも本学の認定留学として認められるとは限りませんので、注意してください。

2026 獨協大学 オープンカレッジ 毎日レッスン!実践英会話

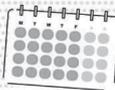
毎日英会話 × キャンパス

キャンパス内で毎日、英会話レッスンが受けられる!
将来に向けてスキルアップするチャンス!
英語に苦手意識のある方にもおすすめ!



Point 1

圧倒的な練習量/
毎日40分×通年100回



身につく秘訣は毎日!
毎日練習すれば
英語が口から自然にできる

Point 2

ここが違う/
プロのネイティブスピーカー
講師担任制



皆さんのレッスンを担当するのは
教授経験豊富なプロの講師のみ

Point 3

アウトプット中心/
話して学ぶカリキュラム



最大12名のグループレッスンで
効率よく「知っている英語」を
「使える英語」に

まずは気軽に
ご参加ください!

大学主催の課外講座だから安心! 🍀

受講イメージ

全員の希望をもとに下記時間帯から毎日6-7コマ開講します。
開講コマは各曜日で異なります。

TIME TABLE	MON	TUE	WED	THU	FRI
1時限 1 9:10 - 9:50 2 10:00 - 10:40		授業	授業		
2時限 3 10:55 - 11:35 4 11:55 - 12:35	授業			LESSON EC	LESSON
昼休み 5 12:45 - 13:25	LESSON		LESSON	EC	
3時限 6 13:35 - 14:15 7 14:35 - 15:15				授業	授業
4時限 8 15:30 - 16:10 9 16:30 - 17:10	授業	EC	授業		
5時限 10 17:20 - 18:00	EC	LESSON			

What is EC?

English Challenge (イングリッシュチャレンジ、通称 EC は、レッスンとは別に追加料金なしで参加できるフリートークの時間です。レッスン内容のアウトプット、スラッグやイディオム、英語でのゲームなど、何でもリクエスト OK! EC を最大限活用することが上達のコツです。積極的に参加しましょう。

講座情報

講座期間	【前期】(50回) 5/11(月) ~ 7/21(火) 【後期】(50回) 9/29(火) ~ 12/16(水) <small>※大学休業日は、レッスンがありません。</small>	受講料	125,000円(テキスト代込、税込) <small>※本講座は、獨協大学オープンカレッジの一つです。 オープンカレッジ新規登録者は、 別途会員登録費が2,200円(税込)がかかります。</small>
受講対象	獨協大学生・卒業生・教職員・一般の方	定員	120名(先着順)
開講レベル	初級～ <small>※開講レベルは、申込人数によって変動する可能性があります。</small>		

受講生の声



K.S.さん

2024年度受講
外国語学部交流文化学科

毎日楽しく継続して学習できました!

大学入学後、スピーキングの授業が増えて他の学生との英語力の差を感じてしまい、自分の英語力を強化するために受講を決めました。

元々内気な性格でしたが、徐々に英語を話すことに対して抵抗がなくなり、大学の授業でも怖気づかずに取り組めるようになったと思います。さらに、知っている英語だけでいかに自分の意思を伝えられるか?という点を意識して話せるようになりました。

この講座の魅力は、講師が優しくフレンドリーなので話しやすい点だと思います。キャンパスで講師と偶然会った時も気軽に話しかけてくれて嬉しかったです。授業の合間の時間でレッスンが受けられるため、継続して参加することができました。

お申込みはオープンカレッジHPから▼
【申込期限】4/14(火)まで

講座説明会

4/2(木) 4/3(金)

無料体験会

4/10(金) 4/13(月)

※無料体験会の参加希望者は前日までに講座HPよりお申込みください。(各回定員15名/先着順)

- 【4/2】 ①11:05 ~ 11:45 E-102(東棟1階)
②11:55 ~ 12:35 W-101(西棟1階)
③15:35 ~ 16:15 W-207(西棟2階)
- 【4/3】 ①10:10 ~ 10:50 W-102(西棟1階)
②11:35 ~ 12:15 W-103(西棟1階)
③13:45 ~ 14:25 W-102(西棟1階)

- ①10:55 ~ 11:35 ③13:35 ~ 14:15
②12:45 ~ 13:25 ④15:30 ~ 16:10
4-105B (4棟1階)

申込みについて

獨協大学エクステンションセンター
☎ 048-946-1678
✉ open-college@stf.dokkyo.ac.jp



【オープンカレッジHP】

講座について

英会話講座サポートセンター

☎ 03-3836-0085
✉ e-students_support@campus-english.jp

お問い合わせの際は、下記を添えてご連絡ください。
①大学名 ②お名前
受付: 平日9:00~18:00



【講座HP】

グラスゴー・カレドニアン大学	1	マードック大学	1	ブラジル	1
サリーローハンプトン大学	1	ラ・トローブ大学	1	ミナスジェライス・カトリック大学	1
サンダーランド大学	1				
シェフィールド大学	2				
テムズバレー大学	1	ニュージーランド	2	チリ	1
ノッティンガム大学	1	オークランド大学	1	チリ大学	1
バーススバ大学	2	カンタベリー大学	1		
バースユニバーシティカレッジ	1				
マンチェスター大学	2	マレーシア	1	中国	60
ランカスター大学	1	リンカーン・		廈門大学	1
リーズ大学	6	ユニバーシティ・カレッジ*1	1	華東師範大学	6
レスター大学	1			山西大学	1
レスター大学大学院	1			四川大学	1
レディング大学大学院	2			西安交通大学	3
ローハンプトン大学	1	フランス	209	清華大学	1
ロンドン大学	1	アヴィニヨン大学	2	浙江大学	3
ロンドン大学クイーンメアリー校	2	エクス・マルセイユ大学		对外経済貿易大学	3
ロンドン・メトロポリタン大学	2	(旧プロヴァンス大学)	3	中央民族大学	3
		オルレアン大学	1	天津理工大学	1
		カン大学	5	東華大学	1
アイルランド	1	グルノーブル・アルプ大学		復旦大学	7
メイヌース大学	1	(旧ノーブル第3大学)	4	北京大学	10
		サヴォワ・モンブラン大学		北京外国語大学	4
ハンガリー	1	(旧サヴォワ大学)	14	北京語言大学	3
エトヴェシュ・ロラード大学	1	ストラズブール大学	12	北京師範大学	7
		ソルボンヌ大学	11	香港中文大学*1	2
		トゥール大学	2	遼寧師範大学	3
チェコ	3	トゥールーズ・ジャン・ジョレス大学	1		
マサリク大学*1	3	ナント大学	3		
		コート・ダジュール大学		台湾	11
		(旧ニース大学)	4	国立中山大学*1	1
エストニア	3	パリ・カトリック学院	8	国立台湾師範大学	1
タリン工科大学*1	3	パリ・デカルト大学	1	国立台湾大学*1	1
		ブルゴーニュ大学	20	東呉大学	8
		ペルピニャン大学	3		
リトアニア	3	ボルドー・モンテーニュ大学		韓国	14
ビリニュス大学*1	1	(旧ボルドー第3大学)	1	慶熙(キョンヒ)大学	1
ミコラス・ロメリス大学*1	2	ポール・ヴァレリモンペリエ第3大学		高麗(コリョ)大学	1
		(旧モンペリエ第3大学)	10	建国(コングク)大学	1
		マリー・エ・ルイ・パストゥール大学		淑明(スンミョン)女子大学	1
フィンランド	2	(旧フランシュ・コンテ大学)	11	西江(ソガン)大学	3
ヘルシンキ大学*1	2	ラ・ロシェル大学	1	漢陽(ハニャン)大学	1
		ランス大学	2	延世(ヨンセ)大学	6
		リュミエール・リヨン第2大学	5		
イタリア	2	リヨンカトリック大学	37		
ミラノカトリック・		リール大学(旧リール第3大学)	4		
サクロクオーレ大学*1	2	レンヌ第2大学	3		
		西部カトリック大学	31		
オーストラリア	27	スペイン	12		
ウーロンゴン大学	6	アリカンテ大学	3		
オーストラリア国立大学	1	アルカラ大学	3		
オーストラリアカトリック大学	1	サラマンカ大学	1		
グリフィス大学	9	バルセロナ大学	5		
サザンクロス大学	5				
スウィンバーン工科大学	1	メキシコ	5		
ディーキン大学	1	グアダハラハラ大学	2		
マッコリー大学	1	メキシコ国立自治大学	3		

*1 教授言語：英語

*2 教授言語：フランス語



留学期間の延長

長期留学生（交換・認定）は、獨協大学が許可した留学期間を含め最長4学期間まで延長することが可能です。留学の延長を希望する場合は、以下に示すとおり所定の手続きが必要です。なお、編入学生の留学期間は最長2学期間であるため、1学期間の留学生がさらに1学期間の留学を希望する場合に限り延長申請ができます。

留学期間を延長した場合でも、本学の単位として認定できる単位数の上限（32単位）は変わりません。

【交換留学生】

交換留学の期間を問わず、留学延長後の身分は認定留学生となります。身分が変更となるため、改めて長期留学志願書を提出してください。

【認定留学生】

留学中の大学等を変更せずに留学期間の延長を希望する場合は、長期留学延長願を提出してください。なお、留学先を変えて留学期間の延長を希望する場合は、改めて長期留学志願書を提出してください。

提出書類

- ①長期留学延長願または長期留学志願書・誓約書（いずれも所定様式）
- ②留学先大学等が発行した延長（入学）許可証明書
- ③成績通知表（最新のもの、コピー可、A4サイズにコピーすること。PorTaⅡからダウンロード可）
- ④留学延長を希望する大学等の資料（新たに留学を希望する大学が「これまでの認定留学先大学一覧」（P.76）に記載されていない場合のみ。本学における当初の留学期間終了予定日の4ヶ月前までに資料を国際交流センターに提出すること）

長期留学延長願および長期留学志望書には演習指導教員（またはクラス担任）の署名と所見、誓約書には保証人の署名・捺印が必要です。海外からの書類の準備・提出には時間がかかるので、余裕を持って申請手続きを進めてください。

■留学期間延長の申請期限

当初の留学期間が春学期に終了予定（～9月23日）の場合…… **6月23日**

当初の留学期間が秋学期に終了予定（～3月31日）の場合… **12月20日**



奨学金

3つのポイント（急騰する留学費用支援のため2025年度から変更）

- ・獨協大学国際奨学金に月額上限100,000円を支給する「グローバルチャレンジ奨学金」を新設。2026年度からは、本学卒業生で創設者天野貞祐先生のご令孫である安川ひろし氏（1972年卒）からのご寄付を原資とした「安川グローバルチャレンジ奨学金」を3年間新設し、この間「グローバルチャレンジ奨学金」に代えて運用します。
- ・獨協大学国際奨学金（交換留学生奨学金、認定留学生奨学金）の支給金額を月額30,000円にアップ。
- ・獨協大学国際奨学金と大学推薦を必要とする外部奨学金（JASSO協定派遣奨学金を含む）の併給が可能に。

1. 「獨協大学国際奨学金」および「安川グローバルチャレンジ奨学金」(給付型奨学金)

奨学金名	対象者	GPA条件	採用人数	金額	支給回数と時期
交換留学生奨学金	交換留学生	/	安川グローバルチャレンジ奨学金受給者を除く全交換留学生	月額 30,000円	留学期間に応じ、6ヶ月分を一括して支給(年1回または2回) 6月・11月
安川グローバルチャレンジ奨学金*			3.0	年間5名まで	
認定留学生奨学金	認定留学生	2.6	若干名***	月額 30,000円	

*交換留学生奨学金と安川グローバルチャレンジ奨学金を重複して受給することはできません。

**大学推薦を必要とする外部奨学金(JASSO協定派遣奨学金を含む)が併給基準を定めている場合は、その範囲内での支給となります。

***留学先の授業料や本学GPA等の条件を満たし、選考により採用された者が対象です。

※獨協大学国際奨学金の申請方法や選考等についての詳細は、国際交流センターにお問い合わせください。

※獨協大学国際奨学金と文部科学省による修学支援新制度(給付奨学金)は従来どおり併給が可能です。

※獨協大学国際奨学金は交換留学生、認定留学生ともに、特に考慮すべき点がある場合に限り、月額60,000円を上限として給付する場合があります。

※交換留学および認定留学をする大学院生の場合は、「獨協大学大学院国際奨学金」および「安川グローバルチャレンジ奨学金」を受給することができます。詳細は、大学院事務室にお問い合わせください。

2. 独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)

「海外留学支援制度(協定派遣)奨学金」(給付奨学金)

【対象：交換留学生】

JASSOによる海外留学支援制度(協定派遣)は、協定大学等に派遣される学生(大学院生含む)に対して、留学に係る費用の一部を奨学金として支援することにより、グローバル社会において活躍できる人材を育成するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資することを目的として支給される奨学金制度です。採用者は、派遣先大学において一定の単位の修得(一部の国では修了証)が求められます。JASSOから本学に対して支給枠の割当があった場合、国際交流センターから対象者に通知します。対象者のうち、定められた期日までに必要書類を提出した者の中から、学内選考およびJASSOによる最終承認を経て、支給の採用者が決定します。採用者には派遣留学期間中、本学を通じて月額8~12万円(派遣先の地域によって支給額が異なる)が支給されるほか、「渡航支援金」として、一定の派遣期間を満たす者へは1万円が支給されます。

主な申請要件は次の通りです。

(A) 成績評価係数(GPA) 2.30以上(3点満点。奨学金採用者選考時の前年度の成績)。本学の成績通知表に記載のGPAとは計算式が異なります。

$$\text{成績評価係数} = \frac{(\text{AA} \cdot \text{Aの単位数} \times 3) + (\text{Bの単位数} \times 2) + (\text{Cの単位数} \times 1) + (\text{F} \cdot \text{FGの単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数}^*}$$

※総登録単位で算出するため、F・FGが多いと成績評価係数は低くなります。十分に注意してください。

(B) 在籍大学等において「経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者」として認められる者。

※海外留学支援制度(協定派遣)奨学金は、本学に対して毎年支給枠の割当があるとは限らないため、募集がない場合もあります。

●修学支援新制度を利用している方へ

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金と修学支援新制度の給付奨学金は同時に受給できません。詳細は「■現在奨学金を利用中の方への注意(学生課)」(P.81)をご確認のうえ、「ガクシー」のチャット機能よりお問い合わせください。

3. 海外留学奨学金（大学推薦）

大学推薦を必要とする海外留学向けに各奨学金財団による奨学金募集は、随時PorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕または出願要件を満たす対象者に個別に案内します。なお、大学推薦による奨学金に合格した場合でも、当該奨学金の併給基準によりJASSO海外留学支援制度（協定派遣）および獨協大学国際奨学金の併給ができません場合があります。

本学宛に募集が案内された奨学金実績（参考）

奨学金名	支給内容	学内募集時期
（公財）飯塚教育英会 海外留学奨学生	学部生 年額80万円	4月頃
（公財）業務スーパージャパンドリーム財団奨学生	月額 15万円または20万円 留学一時金 15万円または20万円	12月頃・6月頃（年2回）
官民協働海外留学支援制度 トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム	月額6～16万円 留学準備金15～35万円 （第18期の例）	12月頃

※個人応募の奨学金には推薦状の提出が必要なものもあります。

4. 海外留学奨学金（個人応募）

各奨学金団体が募集している奨学金の一部を紹介します（日本学生支援機構（JASSO）の海外留学情報サイト（<https://ryugaku.jasso.go.jp/>）等より、大学在籍者に給付する奨学金を抜粋）。このほかにも外国政府、自治体、民間団体等が募集する奨学金も多数あります。応募を希望する場合は必ず各団体に直接問い合わせ、最新の募集要項等を入手してください。留学開始時期の1年以上前に応募を締め切るものが多いので、早いうちから情報の収集に努めましょう。海外留学情報サイトでは、国・地域のほか募集期間等による検索もすることができます。



実施機関	奨学金名	支給内容
外国政府等	ドイツ学術交流会（DAAD） 夏期ドイツ語講座参加奨学金（HSK）	奨学金450ユーロ、旅費補助、語学学校の受講料と宿泊費、健康・傷害・個人賠償責任保険料
	日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画	滞在費月額14,852.39ペソ、医療保険、往復航空券、入学金・授業料支給
	中国政府奨学金（普通進修生、高級進修生）	学費免除、寮費免除、生活費月額（普通進修生：月額3,000元、高級進修生：月額3,500元）、総合医療保険料免除
	教育省華語文奨学金（台湾への語学留学）	月額25,000元
	埼玉県・オハイオ州スカラシップ（集中英語・学部・大学院留学コース）	派遣期間中の授業料免除
地方自治体	埼玉県・クィーンズランド州スカラシップ（大学附属英語学校派遣）	授業料免除
	埼玉県・山西大学への奨学生派遣事業〔中国〕（1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年コース）	派遣期間中の授業料と寮費の免除
	「埼玉発世界行き」奨学金 一般奨学金地域活躍コース・冠奨学金	地域活躍コース20万円 ※冠奨学金は種類ごとに異なる（50万～120万円）
	戸田市海外留学奨学制度	授業料、生活費、渡航費用 最大150万円
	民間団体	（一財）霞山会 留学奨学金（中国・台湾）
（公財）松下幸之助記念志財団 松下幸之助国際スカラシップ		月額20万円、往復渡航費補助
（公財）村田海外留学奨学会 海外留学奨学金		支度金、授業料、生活費、諸経費、帰国費
（公財）ロータリー財団 ロータリー財団奨学生 第2770地区（他地区でも募集あり）		上限20,000米ドル相当

※獨協大学PorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕にも随時奨学金情報を掲載しています。
※募集を中断、中止している場合があります。

■ 現在奨学金を利用中の方への注意（学生課）

1. 修学支援新制度の扱い

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金と修学支援新制度の給付奨学金とは併給できません。両方の支給金額を確認のうえ、どちらを受給するかを選択してください。修学支援新制度の給付奨学金を停止するためには書類提出が必要なため、協定派遣奨学金受給開始月の1ヶ月以上前に、「ガクシー」のチャット機能よりお問い合わせください。なお、「多子世帯で給付奨学金の月額が0円の方」も停止手続は必須です。

また、修学支援新制度による授業料減免は本学に授業料を納める場合のみ適用されます。

2. JASSO奨学金（修学支援新制度の給付、貸与第一種、貸与第二種）

JASSO奨学金は、交換留学・認定留学を含む在籍期間が4年間で支援終了となります。4年生で留学を開始する場合は、留学終了後の学納金や履修計画にもご注意ください。

なお、貸与奨学金利用中の方は「留学時特別増額貸与奨学金」が申請可能です。

3. 獨協大学学部奨学金の扱い

獨協大学学部奨学金は、留学・休学の方は受給できません。春学期に学部奨学金に採用された方が秋学期から留学する場合、秋学期分の奨学金は受け取れません。

春学期に留学していた方が秋学期から在学する（本学で講義を受ける）場合、秋学期半年分の学部奨学金を申請できます。詳細は9月に案内します。

また、この制度では長期留学期間は、最短修業年限の計算に算入しませんので長期留学で卒業が延伸した場合にも申請可能です。

4. 民間・自治体等奨学金の扱い

本学から推薦する民間・自治体等の奨学金を受けている場合は、事前に学生課奨学係へご相談ください。個人で直接応募した奨学金を受けている場合は、自分で支給団体に相談してください。



留学前に行うこと

長期留学生は、「留学は学生本人の自発的選択と責任において行われるべきものである」ということをしっかり理解してください。主体的に自己管理を行うとともに、渡航準備から帰国までを含む留学中の一切の行動を、学生自身の責任において進めることが求められます。本留学ガイドを熟読し、事前に十分に理解した上で、必要な手続きや行動を進めてください。

留学に関する情報は、何もせずに待っていて得られるものではありません。受身の態度からは何も始まりません。自ら留学先大学（機関）のHPや国際交流センター窓口で情報収集を図るとともに、不明点は留学先の担当者に直接確認するよう心掛けてください。

1. 留学前ガイダンス

教務課で、留学内定者を対象に留学後の単位認定手続き等に関するガイダンスを行います。対象者は教務課各学部係と日程調整の上、必ずガイダンスを受けてください。

また、教職課程や司書課程履修者は、上記のガイダンスに加え、各課程の科目履修方法や実習等の手続きについて説明を受けてください。

2. 語学力の向上

留学先の語学条件を満たすことがゴールではありません。留学決定後も語学力の向上に努めましょう。特に学部留学では、「外国語を学ぶ」ことではなく、「自身の専門を学ぶ」ことが求められます。現地の学生とともに講義を受け、ディスカッションやグループワークに参加することに加え、予復習や宿題として日々大量の教科書や資料を読みこなし、課題のレポートも作成しなければなりません。そのため、日常会話能力に加え、自分の学問分野に関する専門的な語学力が要求されます。留学先大学によっては、入学条件の語学要件のほかに、分野や科目ごとに必要な語学要件を定めている場合も少なくありません。

多くの学生は、留学先大学が求める所定の語学検定試験を受験し、その試験結果（スコアレポート）を確認していることと思います。自身の足りないスキルを留学までに確実に伸ばすことが、留学先でのさらなる成長につながります。本学では、授業以外での「毎日レッスン！実践英会話」（有料）、ゲーテ・インスティトゥートドイツ語講座（有料）の開講、アテネ・フランセフランス語講座サポートプログラム（有料）など、学ぶ意欲のある学生を支援する仕組みを提供しているので、積極的に活用しましょう。

【「毎日レッスン！実践英会話」について（エクステンションセンター）】

授業の合間に毎日40分英会話が学べる「毎日レッスン！実践英会話」を開講しています。この講座では、教授経験豊富なネイティブスピーカー講師が少人数（最大12名）のレベル別クラスでレッスンを行います。毎日実践的な会話練習を行うため、留学先ですぐに使える英会話力を養えます。受講は月曜から金曜の毎日40分、年間100回。さらに、追加料金なしで参加できるフリートーククラスがあります。

参考情報は、P.75をご確認ください。

開講時期：春期 5月上旬～7月中旬 秋期 9月下旬～12月中旬（1回40分、計100回）

受講料：125,000円（テキスト代込、税込）

毎日レッスン！実践英会話はオープンカレッジ講座であるため、初めてオープンカレッジ講座を申し込む方は別途会員登録料2,200円（税込）が必要です。

問い合わせ先：エクステンションセンター

講座説明会を4月上旬に行います。詳しくは、PorTaⅡ掲示板 [図書館・学修支援・語学学習] にてご確認ください。

また語学力の向上についてはP.6～9も参照してください。

3. 留学中の学習計画立案

留学開始前に、留学先大学で具体的にどのような分野（科目）を履修するか決める必要があります。留学先大学では、本学が提供している分野のみならず、その大学ならではの科目や分野も多く提供されています。自分の専門分野や興味ある分野を軸にしつつ、新たな知見を獲得するため、さまざまなことに積極的に挑戦してください。ただし、科目や分野によっては単位認定の対象とならないものや、留学先大学の都合で急きょ開催されない場合などもあるので、事前に教務課や指導教員との確認が必要です。

留学先大学では、十分な予備知識を持って授業に臨むことが求められます。また、出願時に提出する成績証明書（Academic Transcriptなど）に記載されている過去の学修履歴を判断し、履修の可否が決められる場合もあります。自身の学びたい分野をより深く探求するために、留学前に関連する分野や科目について自己学習を進めておきましょう。

4. 事前研修（交換留学生は参加必須）

学術交流協定を結んでいる大学へ本学学生を派遣する交換留学は「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」を育成することを目的としています。原則として全ての交換留学生は、派遣前に行われる事前研修と留学終了後の事後研修の参加を必須とします。認定留学生の参加も推奨します。

事前研修内容等（予定）

※各回の対象者には事前に案内します。

日時・内容・対象		秋学期留学開始者 (出発時期 8月～10月)	春学期留学開始者 (出発時期 2月～4月)
第1回	プログラム目的の共有、 留学研究課題の明確化	2026年5月23日（土） 13：35～16：35	2026年10月24日（土） 13：35～16：35
第2回	留学計画のブラッシュアップ	2026年6月27日（土） 13：35～16：05	2026年12月5日（土） 13：35～16：05

〔参考 事後研修内容等（予定）〕

日時・内容・対象		春学期留学終了者 (帰国時期 5月～7月)	秋学期留学終了者 (帰国時期 11月～3月)
第1回	留学の振り返り	2026年7月25日（土） 13：35～16：35	2027年2月20日（土） 13：35～16：35
第2回	留学後の学修計画のブラッシュアップ	2026年7月31日（金） 13：35～15：35	2027年2月26日（金） 13：35～15：35

5. 海外安全対策セミナー（短期・長期留学生は参加必須）

本学の留学制度を利用して短期・長期留学する学生は、「海外安全対策セミナー」への参加を義務づけています。このセミナーでは留学前の情報収集や海外で注意すべき点、トラブル発生時の対処方法等について説明し、留学生自身の危機管理意識を高めることを目的としています。また、本学指定の海外旅行保険についても案内します。日程等の詳細はPorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流]、[あなたへのお知らせ] にてお知らせします。授業時間と重なるため、以下の日程に参加できない場合は、事前に国際交流センターに申し出てください。

実施予定

夏季： 2026年 7月1日（水）または 7月3日（金）

春季： 2027年 1月8日（金）または 1月13日（水）



渡航手続き

1. パスポート（旅券）の取得

下表の書類を用意し、都道府県のパスポート申請窓口または、オンラインで申請してください。オンライン申請はアプリのインストールが必要です。旅券には10年有効と5年有効の2種類があります。申請から受領までに通常2週間程度（土・日・祝日・振替休日・年末年始を除く）かかります。現行では手数料（窓口申請：11,300円、オンライン申請：10,900円（5年間有効）／窓口申請：16,300円、オンライン申請：15,900円（10年間有効））はパスポート受取時に納めます。なお、旅行法改正により2026年7月1日より18歳以上の方は、10年有効旅券のみ発行可能となりました。詳細は外務省ホームページをご確認ください。代理人申請や現住所と住民登録の住所が異なる場合は、各都道府県のパスポート申請窓口にお問い合わせください。代理人が申請した場合も含め、パスポートは本人でなければ受け取ることができません。

【必要書類】

一般旅券発給申請書	外務省ホームページからダウンロード、または都道府県のパスポート申請窓口のほか市区町村役所で配布。全国共通書式。2023年3月改正のもの。（古い様式のもの不可）
戸籍謄本	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月以内に発行されたもの ・有効なパスポートを所有し、氏名・本籍（都道府県名）に変更がない場合は省略可 ・戸籍事務がコンピューター化された市区町村では戸籍謄本に代わって「戸籍の個人事項証明書」や「戸籍の全部事項証明書」が発行される。
住民票の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月以内に発行されたもの ・必要となるのは次の場合 （ア）住民基本台帳ネットワークシステムの利用を希望しない （イ）住民登録をしていない都道府県で申請する（詳細はパスポート申請窓口で確認）
写真	・4.5cm×3.5cm正面無帽・無背景。6ヶ月以内に撮影されたもの
本人確認の書類	マイナンバーカード（個人番号カード）、運転免許証、または健康保険証と学生証。コピー不可
発給済みの旅券（該当者のみ）	有効なパスポートまたは期限切れのパスポート

2. 学生ビザ（査証）の取得

ビザ取得の要件・手続きは国・地域によって異なります。また変更となることも多いので、各自で最新情報を大使館等に確認してください。

【主な必要書類】

パスポート（旅券）	残存有効期間に注意
写真	サイズ・必要枚数については大使館等に確認
入学許可書	留学先大学等が発行したもの
財政証明書	金融機関による証明（ただし、国・地域により免除される場合がある）
学生査証申請書（所定用紙）	大使館または大使館HPで入手可能
その他	国・地域により必要な書類が異なるので、大使館または大使館HPで確認

3. 渡航先の入国・行動制限措置等の確認と準備

コロナ下においては、国・地域や時期により入国（入境）者に対し、新型コロナウイルス陰性証明やワクチン接種証明の提示、到着後検査や一定期間の隔離等を求めるといった状況が発生しました。渡航先の入国等に必要な書類、手続きについては事前によく調べ、準備を行いましょ。各種措置はさまざまな状況に応じて流動的に変更される可能性がありますので、現地の日本国大使館・領事館や各国当局のホームページ等で最新情報を入手することが大切です。

4. 航空券の購入

多くの国は片道チケットで支障なく入国できますが、国によっては、入国の際に帰国用の航空券の提示を求められることもあります。留学期間が1年以内であれば、帰国日を後で設定できるオープンチケット（帰国日は出発日から最長1年間）を使うのもよいでしょう。格安航空券でも問題ありませんが、出発が旅行のハイシーズンと重なる人は早めに予約しましょう。

5. 海外旅行保険の加入

海外で病気にかかったりケガをしたりした場合、治療費は非常に高額となり、かつ、皆さんの安否について大学が正確な情報を収集するのは極めて難しくなります。

そこで本学では、留学生全員（休学して留学する者、個人での語学留学等は除く）に大学指定の海外旅行保険とトータルサポートサービスへの加入を義務づけています。留学先で健康保険加入が義務づけられている場合は、その保険の詳細（補償内容、保険料等）がわかる資料を提出してください。詳細はP.110（「危機管理・安全対策」のページ）をご覧ください。

6. 在留届の提出

外国での在留期間が3ヶ月以上にわたる日本人は、旅券法および同法施行規則により在留届を提出する必要があります。日本出発前でも現地到着の90日前から住所未定でも届け出ることができますので、外務省「在留届電子届出システム（ORRnet）」サイトから提出してください。また、留学先での引越や帰国など記載事項に変更が生じた場合は、必ず変更届・帰国届を提出してください。

※日本国籍以外の方は、各自、留学先最寄りの自国の大使館または領事館で必要手続きを確認してください。

出典：外務省ホームページ > 海外渡航・滞在 > 届出・所在調査

7. 外貨購入・送金手続

留学中の費用の持参・調達の方法としては、現金持参、クレジットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポート、現地銀行口座を開設して日本から送金（銀行振込や小切手の送付）等が考えられます。海外に多額の現金を持っていくことは大変危険です。また、外資系の銀行で現地に支店がある場合は渡航前に口座開設ができるため便利ですが、銀行口座開設には時間を要する場合があります。現地到着後、口座開設まで使える現金、クレジットカード、デビットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポート等を持参することをおすすめします。

外貨現金	外国為替取扱銀行で購入できます。現金を持参する場合は、多額になりすぎないように気をつけるとともに、人目にふれる場所に置かず、スリ等の危険にも注意しましょう。
クレジットカード	身分証明にもなり便利です。ただし、紛失や使い過ぎ、カード犯罪等に十分に注意する必要があります。また、万一紛失した際に即時に利用停止手続きができるよう、カード番号やカード会社の緊急連絡先を別に控え保管しておきましょう。地域によっては利用できないカードもあるため、事前に留学先国において利用可能か調べるのが重要です。
デビットカード	利用代金は銀行口座から即座に全額引き落としになります。カードに紐づいた銀行口座の預金残高を超える利用はできません。VISAやMastercardなど国際ブランドが付いているものが留学には便利です。
トラベルマネーカード キャッシュパスポート	事前に入金して利用するプリペイドタイプのカードで、留学先のATMで現地通貨を引き出すことができ、デビットカードとしても利用できます。入金した額だけ利用できるため、使い過ぎや紛失の際にも安心です。また、残額が少なくなったら、日本の家族等に追加で入金してもらうこともできます。
現地で口座開設 (海外送金)	留学先において口座を開設し、日本の口座から海外送金することができます。送金するルートは次のような方法があります。受取銀行への仲介手数料や口座登記料が別途かかる場合があります。 【銀行からの外国向け送金方法】 電信送金（Telegraphic Transfer） 銀行窓口での手続きのほかインターネットバンキングにより送金できる場合もあります。手数料は割高です。基本的には銀行手数料は送金人負担となります。 【ゆうちょ銀行および国際送金取扱郵便局からの外国向け送金方法】 口座あて送金／口座間送金があります。 詳細は、ゆうちょ銀行HPで確認しましょう。 ※個人番号（マイナンバー）の届出等が必要です。事前に必要書類を確認し、余裕をもって手続きを行いましょう。
海外送金サービス	Wise、PayPal、Western Unionなどのサービスを利用した海外送金も可能です。手数料、為替レート、必要な書類（マイナンバーカード等）が異なりますので、ご自身で比較検討してから決めてください。

8. 渡航日程の届け出

留学先に渡航する日程や利用する航空会社が決まり次第、PorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）で入力してください。



留学時の学納金の取り扱い

1. 長期留学中の本学への学納金（参考）

①入学年度2024年度以降

交換留学（協定校の授業料が免除の場合）

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	420,000円	420,000円	840,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
教育充実費 （在籍基本料分）	80,000円	80,000円	160,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	506,800円	506,000円	1,012,800円	

交換留学（協定校に授業料を納付する場合）、または認定留学の場合

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	0円	0円	0円	
教育充実費 （在籍基本料分）	80,000円	80,000円	160,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	86,800円	86,000円	172,800円	

②入学年度2016～2023年度

交換留学（協定校の授業料が免除の場合）

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	380,000円	380,000円	760,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	526,800円	526,000円	1,052,800円	

交換留学（協定校に授業料を納付する場合）、または認定留学の場合

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	0円	0円	0円	
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	146,800円	146,000円	292,800円	

上記以外に、獨協大学が指定する海外旅行保険に加入する必要があります。また、留学先でも別途保険加入を義務づけている場合があります。留学先大学が現地の保険加入を義務づけている場合、本学が指定する海外旅行保険の低補償プランを利用できることもありますが、補償内容が異なりますので、詳細は35周年記念館1階にある同窓会事務室（保険手続き窓口）で十分に確認してください。

2. 本学からの学納金納付案内のスケジュールについて

留学期間中の学納金の納付は以下の通りです。不明な点は、会計課までお問い合わせください。

Web口座振替（金融機関・ゆうちょ銀行）制度による納入 （※振替日前の個別案内なし）	学期	Web画面によるオンライン手続き締切日	口座振替日
	春学期	3月20日	4月12日
秋学期	8月20日	9月12日	
銀行振込による納入	学期	振込用紙の発送予定日	納入期限
	春学期	4月1日	4月末日
	秋学期	9月1日	9月末日

※口座振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日が振替日となります。

※高等教育の修学支援新制度に申込をされている方は、スケジュールが異なります。

学納金に関する詳細は、以下のHPで確認することができます。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/openinfo/activity2/payment.html>



留学中に行うこと

留学先に到着したら、以下の手続きを順に行ってください。

1. 在留届の提出

外務省「在留届電子届出システム（ORRnet）」サイトから在留届を提出してください（P.85参照）。

2. 連絡先等の届け出（住所連絡・変更届）

留学先の住所、電話番号、携帯電話、Eメールアドレス、在留届登録日等を、到着後1週間以内にPorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）で入力してください。

3. 履修報告の届け出（履修報告届）

各学期の履修登録期間終了日から1週間以内にPorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）で入力してください。

4. 中間報告書を提出する（所定様式）

最初の学期終了後1ヶ月以内に、学修・生活状況について、中間報告書（所定様式）を以下の学部・学科別メーリングリスト宛にメール送信してください。中間報告書は長期留学中の学生の学修・生活状況を大学側で把握するために利用するとともに、次期留学予定の学生に公開することがあります。

【所属別メーリングリスト】

（国際交流センタースタッフに加え、関連教員・スタッフが情報共有できるようになっています）

ドイツ語学科学生	ryugaku1@ml.dokkyo.ac.jp
英語学科学生	ryugaku2@ml.dokkyo.ac.jp
フランス語学科学生	ryugaku3@ml.dokkyo.ac.jp
交流文化学科学生	ryugaku7@ml.dokkyo.ac.jp
言語文化学科学生	ryugaku4@ml.dokkyo.ac.jp
経済学部学生	ryugaku5@ml.dokkyo.ac.jp
法学部学生	ryugaku6@ml.dokkyo.ac.jp
大学院生	ryugaku8@ml.dokkyo.ac.jp

※「中間報告書」とは別に、留学中に相談事や問題がある場合は、国際交流センターにメールしてください（a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp）。個人的な相談は、直接担当者に連絡してもかまいません。

また、Zoomによる面談も実施可能です。

5. 帰国連絡の届け出（帰国日程届）

留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国するスケジュールを組み、帰国予定日1ヶ月前を目途に、PorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）に入力してください。

万が一、帰国日が出発前に加入した大学指定の海外旅行保険の期間を過ぎてしまう場合は、保険期間終了前に保険の延長手続きが必要となります。

詳細は大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし手続きを進めてください。

国際交流 > 留学制度 > 留学予定・留学中・帰国学生へ > 留学期間の延長 > 海外旅行保険の延長手続き



留学後に行うこと

留学を終了して帰国したら、以下の順に帰国後の手続きを行ってください。

1. 各種書類の提出（国際交流センター）

国際交流センターHP（留学制度>留学予定・留学中・帰国学生へ>帰国後の手続き）にアクセスし、帰国後1ヶ月以内*に次の書類を提出してください。以下4点の書類提出をもって留学が終了したとみなされますので、交換・認定留学生とも、必ず提出してください。*留学成果報告書を除く。なお国内での留学の場合はコース、課程、その他の留学プログラム終了日から1ヶ月以内に提出してください。

留学終了届	保健センターで健康診断（復学者健診）を受け、所定の欄に確認印をもらってください。この健康診断受診は、原則として学校医（内科）の来校日となりますので、詳細や日程は保健センターに確認してください。 教務課に帰国の報告を行い、所定の欄に確認印をもらってください。 保健センター、教務課の確認印を得た上で、国際交流センターに提出してください。
留学アンケート	国際交流センター内の閲覧資料として活用します。留学を希望する学生にとって貴重な情報源となりますので、できるだけ詳しく記入してください（原則、氏名を伏せて公表）。 所定様式への入力後、メールによる提出可。
留学体験記と写真	国際交流センター内の閲覧資料および次年度発行の「留学ガイド」に体験記を掲載します。体験記（Word文書にて1,500文字程度）を作成し、写真数枚とともに国際交流センターにデータ送信してください（a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp）。 また、体験記の掲載にあたっては、紙面の都合により編集する場合があります。あらかじめご了解ください。 *提出原稿は、「留学ガイド」以外の獨協大学の刊行物に掲載する場合があります。
留学成果報告書	留学統計資料の一つとして大学HP等で公表します（原則、氏名は伏せて公表）。 事後研修参加後、1週間以内にP.87に記載の【学部・学科別メーリングリスト】宛に提出してください。*事後研修に参加していない認定留学生も提出は必須。

「留学終了届」「留学アンケート」はPorTaⅡダウンロードセンターよりダウンロード（留学支援 > 留学関連提出書類 > 留学終了時提出書類）、「留学成果報告書」は所定様式をメール添付にて配布

2. 単位認定に関する書類、資料の提出（教務課）

出発前の個人面談での指示のもと、単位の認定に関する諸手続きを確実に行ってください。

3. その他手続き（就職・奨学金・資格課程等）

就職指導、奨学金受給再開（留学による中断がある場合）、資格課程等については、関連する窓口に行き、速やかに必要な手続きを済ませてください。特に帰国後すぐに就職活動を予定している場合は、留学前・帰国後ともに、キャリアセンターでガイダンスを受けてください。

4. 事後研修（交換留学生は参加必須）

交換留学生は以下の日程で行われる事後研修に参加することが必要です。国際交流センターからの案内に従い、必ず参加してください。認定留学生も参加を強く推奨します。

事後研修内容等（予定）

日時・内容・対象		春学期留学終了者 (帰国時期 5月～7月)	秋学期留学終了者 (帰国時期 11月～3月)
第1回	留学の振り返り	2026年7月25日(土) 13:35～16:35	2027年2月20日(土) 13:35～16:35
第2回	留学後の学修計画のブラッシュアップ	2026年7月31日(金) 13:35～15:35	2027年2月26日(金) 13:35～15:35

5. 語学検定試験の受験（交換留学生は受験必須※）

留学の成果を測定するため、交換留学生には、原則として留学終了後に語学検定試験を受験することが義務づけられています。これは、言語運用能力の向上を客観的に評価し、留学を考えている学生に対してモデルケースとして示すことを目的としています。またその結果は自身の留学後の就職活動や進学準備等にも役立てることができますので、交換留学終了後、速やかに受験申込をし、受験後はスコアレポートを提出してください。

※留学終了時に卒業を予定している場合は、卒業までに受験および受験料補助申請を完了させてください。

※交換留学生については下記の語学検定試験の受験料に関し、1人につき1回分の受験料を全額補助します（受験料の支払いにかかる振込手数料、交通費等は自己負担）。

※交換留学生のための受験料補助とは別に、長期留学の語学力条件に必要なレベル取得のための語学検定試験受験料の補助についてはP.8～9を参照してください。

【補助の対象および範囲】

- 留学前に受験したものと同一の試験を受験してください（ただし、英語については原則としてTOEIC® 受験とし、海外への進学希望者に限りIELTS™、TOEFL iBT® の受験も可とします）。
 - 試験がレベル別の場合、留学出願時より1ランク以上上のレベルを申し込んでください。
 - 留学先の留学プログラム終了日から起算し、6ヶ月以内*に受験した語学検定試験を原則として対象とします。ただし、6ヶ月以内に受験を希望する試験が実施されない場合、または、留学プログラム終了日前に1ランク以上上の語学検定試験を受験するに足る能力を有していると自己判断し、かつ留学先での受験を希望する場合は、事前に国際交流センターに相談してください。国際交流センターが補助対象として適切と判断した場合は、受験料補助の対象とします。
- ※留学終了学期に卒業を予定している場合は、卒業までに受験し、および受験料補助申請を完了させてください。

対象試験

言語	試験名称	受験費用（参考）
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	24,000円～42,000円
英語	TOEIC® L&P ^{*1}	7,810円
	IELTS™	27,500円
	TOEFL® iBT	195 USD
フランス語	TCF ^{*2}	20,000円～23,000円
	DELF/DALF	20,500円～31,500円
	実用フランス語技能検定試験	10,000円～14,500円
スペイン語	DELE	15,000円～21,000円
	スペイン語技能検定	11,000円～13,970円
中国語	HSK	7,920円～11,550円
	中国語検定	7,800円～11,800円
	TOCFL	7,500円
	TECC	7,590円
韓国語	韓国語能力試験（TOPIK II）	7,700円
	「ハングル」能力検定	6,300円～10,000円

※1 留学前に受験したTOEFL® またはIELTS™の結果とCEFRで比較

※2 TCF（必須／補足試験）の種別については要事前相談。

注：上記の受験費用は、実施団体により改訂される場合があります。

【補助申請手続】

	手続内容
受験前	各自、該当試験の受験申請を行う。以下の場合は、申込前に国際交流センターに相談してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 留学先のプログラム終了後6ヶ月以内に受験を希望する試験が実施されない場合 • 帰国前に留学先での受験を希望する場合
受験後	スコアレポート到着後、1ヶ月以内に以下3点を国際交流センターに提出してください。 ①留学後の語学検定試験受験料補助申請書 ②語学検定試験受験料の領収書（電子も可） ③試験結果のスコアコピー ※1 WEB申込等でクレジットカード払いのため領収書が発行されない場合、カード会社発行の利用明細書（電子も可）および受験者氏名、試験名、受験日、受験費用が分かる書類を提出してください。 提出書類は返却不可につき、必ず控えをとってください。 ※2 外貨で現金払いの場合、換算レート基準日は、領収書の発行日にかかわらず「留学後の語学検定試験受験料補助申請書」を国際交流センターが受領した日とします。 ※3 レベル別の試験の場合、万一不合格となった場合でも申請可とします。
受験料支給	原則として書類提出の翌月末までに、奨学金振込口座として指定した口座に獨協大学が振り込みます。

長期留学により修得した単位の認定について

概要	「学生の留学により修得した単位の認定に関する細則」の第6条により、交換または認定留学期間中に留学先大学等で修得した単位については、学部教授会の承認を得て、在学期間を通じて合計32単位を限度として、大学院にあっては研究科委員会の承認を得て、15単位を限度として認定することができます。
認定の流れ	<p>(1) 帰国後、速やかに必要書類（各学科のページ参照）を教務課各学部係へ提出します（郵送は不可）。</p> <p>(2) 提出された書類を教務課でチェックします。</p> <p>(3) 各学部・学科で審査します。</p> <p>(4) 教務委員会および各学部教授会で承認されれば単位が認定されます。</p>
認定の種類 (振替と換算)	<p>「振替」 留学先大学で修得した科目の学修時間数と学修内容を検討し、本学の開設科目の中に類似した科目がある場合は、本学の科目を修得したものと見なします。</p> <p>「換算」 留学先大学で修得した科目の内容が学修効果の上で本学の卒業に必要な単位として含めることができるが、それに類似した科目が本学に開設されていないか、あるいは類似した科目をすでに修得している場合に、その単位を選択科目の分野を修得したものと見なし認定します。</p> <p>振替と換算については、単に学生が留学先大学で修得した科目の内容ばかりでなく、既修科目や現在履修中の科目の状況等を考慮して、教務委員あるいは、演習担当教員およびクラスアドバイザーが協議のうえ、個々に判断されます。詳細は教務課各学部係窓口（大学院生は大学院事務室）で相談してください。</p>
算定基準	<p>本学学則第22条を原則とし、留学先で修得した科目の授業時間数に基づいて、本学で単位として認定します。</p> <p>なお、授業時間数については、各大学の制度とともに留学先で修得した科目の「科目内容、授業形態、難易度、成績、修得単位数等」を考慮して審査します。</p> <p>また留学中に修得した科目を本学の科目として認定できるのは、本学が留学生として認定した期間に修得した科目に限られます。</p> <p>成績証明書・通知表には留学の記録（留学年度、長期留学〔交換・認定〕、留学先大学名）と認定された科目名および評価「P」（認定）が表示されます。</p>
認定日	所定の手続き・審査を経て、各学部教授会で承認された日が認定日となります。
4年生への注意	<p>留学終了と同時に卒業を希望する場合、出発前の教務課ガイダンスで「希望」を伝えるとともに必要な手続きとスケジュールをよく確認してください。</p> <p>3月卒業→2月20日までに単位認定の手続きを完了させること 9月卒業→8月20日までに単位認定の手続きを完了させること</p> <p>※教職課程および日本語教員養成プログラム履修者は、出発前に担当係で指導を受けてください。</p>
問い合わせ先	<p>単位の認定に関する問い合わせ先は、教務課各学部係です。</p> <p>外国語学部係 ドイツ語学科担当 inquiry_doitsugo@ml.dokkyo.ac.jp 英語学科担当 inquiry_eigo@ml.dokkyo.ac.jp フランス語学科担当 inquiry_furansugo@ml.dokkyo.ac.jp 交流文化学科担当 inquiry_kouryu@ml.dokkyo.ac.jp 国際教養学部係 inquiry_gengo@ml.dokkyo.ac.jp 経済学部係 keizai_mail@stf.dokkyo.ac.jp 法学部係 inquiry_hou@ml.dokkyo.ac.jp</p>

※大学院の単位認定については、大学院事務室で確認をしてください。



<p>ドイツ語学科で認定される科目</p>	<p>【2023年度以前入学生】 (1) 外国語科目群 (2) 演習科目群 (3) 概論・専門講義・テキスト研究科目群 * 専門演習は、留学期間に応じて最大4単位まで認定できます。 * 英語による授業（講義・演習）は最大10単位まで認定できます。 * ドイツ語圏の大学で行われる外国人留学生向けの語学コースや、大学付属の語学学校における授業で、国際交流センターに長期留学の出願・申請時に提出した語学資格のレベルより上のものを受講し、成績証明書または修了書を修得した場合、外国語科目群のうち「初級・中級ドイツ語」および「上級ドイツ語」部門の科目として認定できます。 * 科目特性表に準じますので、熟読してください。 詳細については、ガイダンスで説明します。</p> <p>【2024年度以降入学生】 (1) 外国語科目群 (2) リベラルアーツ科目群 (3) 演習科目群 * リベラルアーツコースの学生は、「卒業論文演習」を2単位まで、「専門演習」「専門講読演習」を留学期間・時期に応じてそれぞれ最大4単位まで認定できます。ただし、「Seminar I」「Seminar II」「Seminar III」の単位認定はできません。 * プロジェクトコースの学生は、留学期間・時期に応じて「Seminar I」「Seminar II」の単位を合計最大4単位まで、「Seminar III」の単位を最大4単位まで認定できます。ただし、「専門演習」「専門講読演習」「卒業論文演習」の単位認定はできません。 * 英語による授業（講義・演習）は最大10単位まで認定できます。 * ドイツ語圏の大学で行われる外国人留学生向けの語学コースや、大学付属の語学学校における授業で、国際交流センターに長期留学の出願・申請時に提出した語学資格のレベルより上のものを受講し、成績証明書または修了書を修得した場合、外国語科目群のうち「初級ドイツ語」「中級ドイツ語」および「選択ドイツ語」部門の科目として認定できます。 * 科目特性表に準じますので、熟読してください。 詳細については、ガイダンスで説明します。</p>
<p>ドイツ語学科で認定されない科目</p>	<p>語学としての英語の授業は、認定の対象としません。 また、以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「ドイツ語卒業研究」(2024年度以降入学生) • 「卒業論文」 • 他学部の科目 • 他学科の科目 • 外国語学部共通科目 • 「交流文化論」 • 免許課程科目 • 全学共通授業科目
<p>必要書類</p>	<p>(1) 「単位の認定・換算願」(教務課で配布) (2) 成績証明書(修得単位の記載されたもの) (3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認定を希望される科目の講義概要(シラバスなど) • 授業のノート(ノートを清書した場合はオリジナルも提出) • 提出したレポート(口頭発表などの場合は、その原稿を提出) • 授業時に配布された資料 • 講義の時間数が確認できる資料(Vorlesungsverzeichnisあるいはそれに該当する資料)
<p>単位認定のプロセス</p>	<p>教務課で提出書類のチェック→教務事項の担当教員および関係する教員による審査(必要に応じて面談)→ドイツ語学科教授会</p>



<p>英語学科で 認定される科目</p>	<p>英語を教授言語とする学部教育課程またはそれと同等の高等教育機関で修得した単位が認定の対象になります。 通常、英語を教授言語とする学部教育課程またはそれと同等の高等教育機関で履修する科目には、内容によって以下の表のような番号が振られています。その番号により本学のどの範囲の科目に認定できるかが決定します。留学先の国や大学により番号が異なりますので、留学をする前に必ず演習担当教員（またはクラスアドバイザー）と教務委員に単位認定の可能性について確認してください。 〈例〉</p> <table border="1" data-bbox="383 481 1412 974"> <thead> <tr> <th>認定可能な科目</th> <th>4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国、カナダ</th> <th>3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリア、カナダ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(2023年度以前入学者) 学科基礎科目、学科共通科目、 第二外国語</td> <td rowspan="2">100番台相当以上</td> <td rowspan="2">100／1000番台相当以上</td> </tr> <tr> <td>(2024年度以降入学者) 専門基礎科目、英語基礎科目、 英語応用科目、第二外国語</td> </tr> <tr> <td>学科専門科目 (特殊講義、文献セミナーを除く)</td> <td>200番台相当以上</td> <td>200／2000番台相当以上</td> </tr> <tr> <td>特殊講義、文献セミナー、 演習</td> <td>300番台相当以上</td> <td>200／2000番台相当以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ただし、第二外国語、演習については次のとおりです。 ●第二外国語…本学で第二外国語科目が未修得の場合のみ認定できます。 ●演習…申請時において3年生以上を認定対象とします。留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します。</p>	認定可能な科目	4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国、カナダ	3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリア、カナダ	(2023年度以前入学者) 学科基礎科目、学科共通科目、 第二外国語	100番台相当以上	100／1000番台相当以上	(2024年度以降入学者) 専門基礎科目、英語基礎科目、 英語応用科目、第二外国語	学科専門科目 (特殊講義、文献セミナーを除く)	200番台相当以上	200／2000番台相当以上	特殊講義、文献セミナー、 演習	300番台相当以上	200／2000番台相当以上
認定可能な科目	4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国、カナダ	3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリア、カナダ												
(2023年度以前入学者) 学科基礎科目、学科共通科目、 第二外国語	100番台相当以上	100／1000番台相当以上												
(2024年度以降入学者) 専門基礎科目、英語基礎科目、 英語応用科目、第二外国語														
学科専門科目 (特殊講義、文献セミナーを除く)	200番台相当以上	200／2000番台相当以上												
特殊講義、文献セミナー、 演習	300番台相当以上	200／2000番台相当以上												
<p>英語学科で 認定されない科目</p>	<p>以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他学部の科目 他学科の科目 外国語学部共通科目 「交流文化論」 免許課程科目 全学共通授業科目（第二外国語を除く） 													
<p>必要書類</p>	<p>(1) 「単位振替・換算願」(教務課で配付) (2) 成績証明書(評価基準が記載されたものを含む) 原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課へ相談。 (3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> シラバス、講義概要 授業時間数が明記された文書 教科書、ノート、レポート等授業内容が確認できるもの 													
<p>単位認定の プロセス</p>	<p>教務課によるチェック→演習担当教員による審査*→教務委員による審査→英語学科教授会 *演習が決定していない場合は、原則として教務委員による審査となります。</p>													



フランス語圏への留学

フランス語学科で認定される科目	<p>(1) 単位認定対象となる留学先は、大学または大学付属の語学学校に限られます。</p> <p>(2) フランスの大学も通常、1年を2学期に分けて授業を行っています（一般的には、10月～1月、2月～5月・6月）。大学の学部へ留学する場合、1学期16単位まで単位認定することができます。大学付属の語学学校の場合、各学期の初めにクラス分けのためのテストが実施され、その結果で授業を受けるクラスが決まります。単位認定を受けるためには中級以上に入らなければなりません（初級クラスの場合は、認定対象となりません）。どのレベルのクラスで授業を受けるかによって、帰国後に本学で「単位認定」を受ける際に、申請できる単位の上限も違ってきます。下記の表を参考にしてください。</p> <p>留学中の獨協大学の1学期あたりに認定できる単位数の上限</p> <table border="1"> <tr> <td>初級 (A1/A2)</td> <td>認定できません</td> </tr> <tr> <td>中級 (B1/B2)</td> <td>10単位まで</td> </tr> <tr> <td>上級 (C1/C2)</td> <td>16単位まで</td> </tr> </table> <p>〈例〉 1学期目中級→2学期目上級：10+16=26単位まで 1学期目初級→2学期目中級：0+10=10単位まで</p> <p>(3) 認定科目一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学科基礎科目 • 学科共通科目 • 学科専門科目 • 演習（専門演習*） • 全学共通授業科目の英語 <p>※2024年度入学者より「専門演習」となる</p> <p>単位認定の一例</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>留学先大学の授業科目</th> <th>獨協大学の授業科目 (2023年度以前入学者)</th> <th>獨協大学の授業科目 (2024年度以降入学者)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Compréhension et expression orales</td> <td>「総合フランス語」や「フランス語会話」</td> <td>「総合フランス語」や「フランス語会話」</td> </tr> <tr> <td>Expression écrite</td> <td>「フランス語文章表現法」など</td> <td>「フランス語文章表現法」など</td> </tr> <tr> <td>Compréhension écrite</td> <td>「フランス語コミュニケーション講読」、「フランス芸術文化講読」、「フランス現代社会講読」など</td> <td>「フランス語圏国際発信講読」、「フランス語圏文化構想講読」、「フランス語圏社会共創講読」など</td> </tr> <tr> <td>Littérature</td> <td>「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」</td> <td>「フランス語圏文化構想各論」や「フランス語圏文化構想講読」</td> </tr> <tr> <td>Economie</td> <td>「フランスの経済」や「フランス現代社会講読」</td> <td>「フランス語圏の経済」や「フランス語圏社会共創講読」</td> </tr> </tbody> </table>	初級 (A1/A2)	認定できません	中級 (B1/B2)	10単位まで	上級 (C1/C2)	16単位まで	留学先大学の授業科目	獨協大学の授業科目 (2023年度以前入学者)	獨協大学の授業科目 (2024年度以降入学者)	Compréhension et expression orales	「総合フランス語」や「フランス語会話」	「総合フランス語」や「フランス語会話」	Expression écrite	「フランス語文章表現法」など	「フランス語文章表現法」など	Compréhension écrite	「フランス語コミュニケーション講読」、「フランス芸術文化講読」、「フランス現代社会講読」など	「フランス語圏国際発信講読」、「フランス語圏文化構想講読」、「フランス語圏社会共創講読」など	Littérature	「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」	「フランス語圏文化構想各論」や「フランス語圏文化構想講読」	Economie	「フランスの経済」や「フランス現代社会講読」	「フランス語圏の経済」や「フランス語圏社会共創講読」
	初級 (A1/A2)	認定できません																							
	中級 (B1/B2)	10単位まで																							
	上級 (C1/C2)	16単位まで																							
	留学先大学の授業科目	獨協大学の授業科目 (2023年度以前入学者)	獨協大学の授業科目 (2024年度以降入学者)																						
Compréhension et expression orales	「総合フランス語」や「フランス語会話」	「総合フランス語」や「フランス語会話」																							
Expression écrite	「フランス語文章表現法」など	「フランス語文章表現法」など																							
Compréhension écrite	「フランス語コミュニケーション講読」、「フランス芸術文化講読」、「フランス現代社会講読」など	「フランス語圏国際発信講読」、「フランス語圏文化構想講読」、「フランス語圏社会共創講読」など																							
Littérature	「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」	「フランス語圏文化構想各論」や「フランス語圏文化構想講読」																							
Economie	「フランスの経済」や「フランス現代社会講読」	「フランス語圏の経済」や「フランス語圏社会共創講読」																							
フランス語学科で認定されない科目	<p>以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他学部の科目 • 他学科の科目 • 外国語学部共通科目 • 「交流文化論」 • 免許課程科目 • 全学共通授業科目（英語は認定可能） 																								
必要書類	<p>(1) 「単位振替・換算願」（教務課で配付）</p> <p>(2) 「成績証明書」の原本</p> <p>(3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> • 留学先のパンフレット、シラバス、講義概要 • 時間割表（授業時間数が明記されたもの） • 教科書、ノート、プリント等授業内容が確認できるもの 																								
単位認定のプロセス	<p>教務課によるチェック→演習のみ演習担当教員による審査→教務委員による審査→フランス語学科教授会</p>																								

フランス語圏以外への留学（認定留学のみ）

- ・ 交換留学の場合は、フランス語圏以外への留学は認められません。
- ・ 単位の認定は、教授言語が「英語」で、留学先が大学である場合に限られます。大学付属の語学学校は単位認定対象ではありません。
- ・ 留学先で修得した単位については、上記「フランス語学科で認定される科目」に相当するもののみ認定されます。単位を修得した授業の内容によっては認定単位数が非常に少なくなる場合もあります。事前に教員と相談するなど、慎重に履修計画を立てるようにしてください。



外国語学部 交流文化学科生

留学先で修得した単位が、全て認定の対象になるわけではないので、留学の準備段階、また現地での履修登録の段階で、本学の指導教員と十分に相談をしてください。

英語圏への留学

大学または大学同等の単位認定資格を持つ高等教育機関で専門教育を受けることを目的とします。語学学校や大学附属の英語学校で留学生用に開設されている英語科目の単位は認定されません。

- (1) 学科基礎科目
- (2) 学科共通科目 (2023年度以前入学者のみ)
- (3) 学科専門科目
- (4) 全学共通授業科目 外国語科目群外国語部門 (英語以外)
(第二外国語 (英語プラス1言語) として履修している言語で、単位が未修得の科目のみ)
- (5) 演習 (3年生以上のみ、留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します)

なお、英語圏の大学では、履修する科目に、内容によって以下の表のような番号が振られることが一般的です。その番号により、本学ではどの範囲の科目に単位認定できるかが決まります。留学先の国や大学により科目番号の振り方が異なる場合もありますので、履修にあたっては、科目の内容を指導教員とよく相談してください。

〈例〉

交流文化学科で認定される科目とその範囲

認定可能な科目	〈例〉4年制の学士課程 アメリカ合衆国など	〈例〉3年制の学士課程 英国、オーストラリアなど
学科基礎科目、学科共通科目、 学科専門科目 (英語部門)、 第二外国語 (英語プラス1言語) *	100番台相当以上	100/1000番台相当以上
学科専門科目 (ツーリズム/ トランスナショナル文化/ グローバル社会部門)	200番台相当以上	200/2000番台相当以上
演習	300番台相当以上	200/2000番台相当以上

* 認定を希望する科目のレベルにより、内容から判断します。

交流文化学科で認定されない科目

- 以下の科目の単位としては認定できません。
- 他学部の科目
 - 他学科の科目
 - 外国語学部共通科目
 - 免許課程科目
 - 全学共通授業科目 (第二外国語 (英語プラス1言語) は除く)

必要書類

- (1) 「単位振替・換算願」(教務課で配付)
- (2) 成績証明書 (評価基準が記載されたものを含む)
原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課へ相談。
- (3) 履修科目の時間数および単位数を証明する文書またはそれにかわるもの
- (4) その他 (授業内容が確認できる資料)
 - シラバス、講義概要等
 - 教科書、ノート、レポート、授業での発表原稿、ポートフォリオ等
 履修と学習の状況をあわせて確認するため、直筆ノートやPCによるメモ、配布資料への書き込みなどがわかる資料を留学中にしっかり保存し、できるだけ提出してください。

単位認定のプロセス

教務課によるチェック→指導教員による審査→教務委員による審査→交流文化学科教授会

留学制度
長期留学

英語圏以外への留学	
大学で専門教育を受けること、また、大学および大学と同等の単位認定資格を持つ高等教育機関で語学教育を受けることを目的とします。	
交流文化学科で認定される科目とその範囲	(1) 学科基礎科目 (2) 学科共通科目 (2023年度以前入学者のみ) (3) 学科専門科目 (4) 全学共通授業科目 外国語科目群外国語部門 (英語以外) (第二外国語 (英語プラス1言語) として履修している言語で、単位が未修得の科目のみ) (5) 演習 (3年生以上のみ、留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します)
交流文化学科で認定されない科目	以下の科目の単位としては認定できません。 <ul style="list-style-type: none"> ・他学部の科目 ・他学科の科目 ・外国語学部共通科目 ・免許課程科目 ・全学共通授業科目 (外国語科目群外国語部門 (英語以外) は除く)
必要書類	(1) 「単位振替・換算願」(教務課で配付) (2) 成績証明書 (評価基準が記載されたものを含む) 原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課に相談。 (3) 履修科目の時間数および単位数を証明する文書またはそれにかわるもの (4) その他 (授業内容が確認できる資料) <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス、講義概要等 ・教科書、ノート、レポート、授業での発表原稿、ポートフォリオ等 履修と学習の状況をあわせて確認するため、直筆ノートやPCによるメモ、配布資料への書き込みなどがわかる資料を留学中にしっかり保存し、できるだけ提出してください。
単位認定のプロセス	教務課によるチェック→指導教員による審査→教務委員による審査→交流文化学科教授会



英語・スペイン語・中国語・韓国語圏への留学	
概要	<ul style="list-style-type: none"> □ 長期留学の単位認定は、所定の手続に従って標記言語圏にある大学および英語圏を除く大学附属の語学学校に留学し、単位を修得した場合に限り取り扱います。 □ 単位認定を希望する学生は帰国後、所定の手続に従い教務課に申請してください。 □ 単位認定の種類は「振替」または「換算」のいずれかです。所定の手続きを経て、適当と認められた場合に認定を行います。 □ 認定できる単位の数には上限があります。
振替	<ul style="list-style-type: none"> □ 国際教養学部では、留学先大学等で修得した単位について、その科目が「学科基盤科目」、「外国語科目」、「各研究科目」のいずれかの部門に属する科目、または「演習」に類似し、かつ本学で単位未修得の場合、これらの科目への振替を受け付けます。 □ 他方、「卒業研究」、「卒業論文」、「全学共通授業科目」、「他学部開設科目」、「海外実践プログラム」（2024年度以降入学対象）、および「免許課程科目（教科法を含む）」への振替は受け付けません。これらの科目は本学で履修のうえ、単位を修得してください。 □ 国際教養学部教授会が単位の振替を認定したときは、本学の成績証明書の科目欄に「振替科目名」と「P」が記載されます。
換算	<ul style="list-style-type: none"> □ 国際教養学部では、振替の対象とならない単位について換算を受け付けます。 □ ただし、外国語科目（英語およびスペイン語・中国語・韓国語）で必修科目または選択必修科目に相当する単位の換算は受け付けません。 □ 国際教養学部教授会が単位の換算を認定したときは、本学の成績証明書の科目欄に「換算科目」と「P」が記載されます。
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> □ (1) 「単位振替・換算願」（教務課で配付） □ (2) 「成績証明書」の原本 □ (3) 審査資料 <ul style="list-style-type: none"> • 留学先のパンフレット、シラバス・講義概要（授業内容のわかるもの） • 時間割表（授業時間数が明記されたもの）、学事日程表 • 教科書、ノート、プリント、レポート等授業内容が確認できるもの □ 十分な資料が提出されない場合には、単位が認定できないことがあります。
単位認定のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> □ 教務課によるチェック→教務委員および関係する科目担当の教員による審査→学部教授会

英語・スペイン語・中国語・韓国語圏以外への留学

留学を希望する場合は、あらかじめ演習指導教員および教務課に相談してください。



経済学部生

経済学部の学生は、留学先の言語圏にかかわらず、次の通り認定されます。

認定される科目	学部基礎科目 学科基礎科目 学科専門科目 全学共通授業科目 演習														
認定されない科目	以下の科目の単位としては認定できません。 ・教職関連科目 ・他学部の科目 ・免許課程科目														
出発前	<p>留学が決定した場合、単位認定希望の有無にかかわらず、必ず事前に教務課経済学部係窓口へ来課し、次の事項を書面で報告してください（A4用紙1枚、様式自由）。</p> <p>（1）学籍番号、氏名 （2）留学先大学 （3）留学中の連絡先 （4）留学先での履修予定科目、単位数、総授業時間数と獨協大学で振替を希望する科目名と単位数（表形式、下記例参照）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">外国での履修予定科目 (原文のまま)</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> <th style="text-align: center;">総授業時間数 分×回=分</th> <th style="text-align: center;">獨協大学での 振替希望科目</th> <th style="text-align: center;">単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">212 International Economics</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">60分×48回=2880分</td> <td style="text-align: center;">国際経済学 a 国際経済学 b</td> <td style="text-align: center;">2 2</td> </tr> </tbody> </table>					外国での履修予定科目 (原文のまま)	単 位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単 位	212 International Economics	8	60分×48回=2880分	国際経済学 a 国際経済学 b	2 2
外国での履修予定科目 (原文のまま)	単 位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単 位											
212 International Economics	8	60分×48回=2880分	国際経済学 a 国際経済学 b	2 2											
留学中	帰国後の単位認定審査（面接・書類審査）に備えて、必要書類の収集・保管を心がけてください。														
帰国後	<p>単位認定を希望する場合、帰国後速やかに以下の必要書類を揃えて提出し、単位認定申請手続きを行ってください。</p> <p>（1）「留学により修得した単位の認定・振替願」（教務課で配付） （2）「成績証明書」（原本） ※評価基準が記載されたもの （3）審査資料 ①シラバス、講義概要、授業時間割表、授業時間数が明記された資料 ②教科書、ノート、レポートほか、授業内容が確認できるもの （審査時に追加資料の提出を求める場合があります）</p>														
単位認定のプロセス	<p>教務課で提出書類のチェック→教務主任、学科長、学部長等による審査→経済学部教授会で承認</p> <p>※審査は必要に応じて面接を行います。 審査で単位認定・振替を希望する各科目の認定・振替可否を決定します。 授業内容・時間数により認められない場合があります。</p>														



法学部生

法学部の学生は、留学先の言語圏にかかわらず、次の通り認定されます。

法学部で認定される科目	法学部専門科目				
法学部で認定されない科目	<ul style="list-style-type: none"> • 学則別表の「免許」部門にある科目（法律学科生） • 全学共通授業科目 • 他学部の科目 • 免許課程科目 				
出発前	<p>留学が決定し、単位認定を希望する場合は、必ず教務課法学部係に次の事項をメールで報告してください。</p> <p>(1) 学籍番号、所属、氏名 (2) 留学先大学（国名）、留学の種類（交換／認定）、留学期間 (3) 出発・帰国予定日、獨協大学で履修を再開する年度・学期 (4) 留学時、確実に連絡の取れるメールアドレス (5) 留学先大学での履修予定科目、単位数、総授業時間数と獨協大学での振替希望科目、単位数（下記例参照）（任意）</p>				
	留学先大学での履修予定科目 （原文のまま）	単 位	総授業時間数 分×回＝分	獨協大学での 振替希望科目	単 位
	GV214 International Relations	8	60分×48回＝2880分	国際関係史 a 国際関係史 b	2 2
	※単位認定を希望しない場合は、上記の報告は不要ですが、帰国後の履修の方針などを決めておく必要がありますので、教務課法学部係に相談してください。				
留学中	単位認定を希望する場合、あらためて留学先大学での履修登録科目、単位数、総授業時間数と獨協大学での振替希望科目、単位数をメールで報告してください（任意）。また、帰国後の単位認定審査に備えて、必要書類の収集・保管を行ってください。				
帰国後	<p>単位認定を希望する場合、帰国後速やかに以下の必要書類を教務課法学部係に提出し、単位認定申請手続きを行ってください。</p> <p>(1) 「留学により修得した単位の認定・振替願」（教務課で配付） (2) 成績証明書の原本（標語の意味や成績分布など評価基準を説明する資料を含む） (3) 授業内容および授業時間数がかかる資料（シラバス、時間割表、アカデミックカレンダーなど）</p> <p>※授業内容を確認するため、追加で教科書、スライド、プリント、ノート等の提出を求める場合があります。</p>				
単位認定のプロセス	<p>①教務課で提出書類のチェック→②教務主任・学科長・学部長による書類審査→③法学部教授会で承認</p> <p>※書類審査の際、必要に応じて面接を実施することがあります。 ※審査により、申請科目の認定可否を決定します（授業内容・時間数等により認められない場合があります）。</p>				

これまで受けた問い合わせの中で特に多いものを、Q&Aの形でまとめました。



単位の認定

- Q1. 留学中に修得した単位は32単位までしか獨協大学での単位として認められないそうですが、それは留学中にそれ以上の単位を履修することができないということですか？**
- A1. 学部生については32単位まで、大学院生については15単位まで、本学の単位として認定することができます。留学先の許可があれば、何科目（単位）でも履修できますが、本学では上限を超える単位の認定はできません。なお、在留資格の関係上、学期ごとに最低履修科目（単位）数が定められている場合があるので注意してください。
- Q2. 昨年度、休学して外国の大学で勉強し、単位を修得することができました。今からでもこれを獨協大学の単位として認めてもらえますか？**
- A2. 休学して留学した場合は認められません。単位の認定は交換・認定留学生として認められた場合に限りられます。本学を休学して渡航した後、大学への入学資格を得ることができた場合は、身分の変更（休学から認定留学）を申請することができます。しかし、この場合でも、遡っての身分変更はできません。休学から認定留学への変更を申請する場合は、申請期限に間に合わせるために早急に国際交流センターと連絡をとり、その指示に従ってください。（出発前に国際交流センターおよび教務課で相談をし指導を受けていること、「海外安全対策セミナー」に出席していることが申請の条件となります。）
- ※休学から認定留学への切り替え申請については、P.74を参照。
- Q3. 1年間留学して、4年間で卒業できますか？**
- A3. 出発時期、振替・換算される単位数や卒業要件にもよるため、教務課各学部係にご相談ください。



履修と卒業

- Q1. 教職課程を履修していますが、教育実習はどのように行えばよいですか？**
- A1. 教育実習を行うには、実施前年度に教育実習校の開拓が必要です。また教育実習実施前年度末までに実習要件科目等^{*}の要件を満たさなければなりません。
- ※英語学科、交流文化学科、言語文化学科（実習教科：英語）の学生は教育実習実施前年度末までに英語資格要件の証明書の提出が求められます。
- 中学校の教育職員免許状取得には、教育実習のほかに介護等体験が義務づけられています。実施前年度の秋学期に申し込み、特別支援学校および社会福祉施設で指定の日（合計7日間）に体験します。
- 上記のとおり、留学時期によって、各種手続きに支障がないよう計画する必要があります。
- 留学を検討する段階から必ず教務課免許課程係に相談してください。
- Q2. 3学年の秋学期から留学して4学年の春学期終了後に帰国する場合、卒業見込証明書は発行してもらえるのでしょうか？**
- A2. 「卒業見込証明書」は、留学終了届を国際交流センターに提出し、所定の要件を満たせば発行できます。詳細については、教務課各学部係にお問い合わせください。



留学中の学生生活

Q1. 留学継続が困難になり帰国しなければならない場合、どのような扱いになりますか？

- A1. 留学期間の途中で留学を中止して帰国する場合、留学を中止した理由や帰国の時期によって扱いが異なりますので、帰国しなければならない場合は速やかに国際交流センターに連絡し、指示を受けてください。学業不振やカルチャーショック等は改善される可能性もあります。どうしても帰国しなければならない状況に陥る前に、困ったことがある場合はできるだけ早く国際交流センターに相談してください。なお、交換留学生や認定留学生対象の奨学金の給付を受けていた場合、中止した理由によっては全額返還していただくことがあります。

Q2. 外国の大学の学期制について教えてください。

- A2. 以下に主要国の一般的な学期制度について簡単に説明します。詳細は留学を希望する大学のパンフレット等で確認してください。

ドイツ オーストリア スイス	2学期制です。ドイツの場合、冬学期は10月～3月、夏学期は4月～9月、オーストリアの場合、冬学期は10月～1月、夏学期は3月～6月となります。ドイツの専門大学やスイスの場合、各学期は1、2ヶ月早く始まり、1、2ヶ月早く終わります。多くの科目が学期ごとに開設されていることから、冬学期または夏学期から1年間という単位で留学することができます。
英国	2学期制は、9月～12月、1月～6月、3学期制は9月～12月、1月～3月、4月～6月に分かれます。
アメリカ	一般に9月から翌年5月までの9ヶ月間が1学年（academic year）となります。6月～8月は夏休みまたは夏学期（summer session / school）です。その1学年（9ヶ月間）を2期に分けるのがセメスター（semester）制で、1年間（12ヶ月間）を夏学期を含む4期に分けるのがクォーター（quarter）制です。1セメスターは17～18週間（秋：8月下旬～12月中旬、春：1月中旬～5月中旬）、1クォーターは10～12週間（秋：9月下旬～12月中旬、冬：1月上旬～3月中旬、春：3月下旬・4月上旬～6月中旬）です。他にも大学独自の学期制度を設けている場合があります。
オーストラリア ニュージーランド	多くは2学期制。第1学期は2月下旬～6月末、第2学期は7月末～11月末です。 ※北半球と季節が逆
カナダ	2学期制を採用している大学が多いです。9月初旬から翌年4月までが1学年となっています。
フランス	一般に約4ヶ月からなる2学期で1学年度が構成されています。第1学期は9月・10月初旬から12月下旬・翌年1月下旬まで、第2学期は1月中旬・2月初旬から5月下旬・6月中旬まで。3学期制の場合は、学校によって異なります。
スペイン	2学期制が多く、第1学期は9月～2月、第2学期は2月～7月です。
メキシコ	2学期制が多く、第1学期は8月～12月、第2学期は1月～6月です。
中国、台湾	2学期制です。第1学期は9月～1月、第2学期は2月～6月・7月です。台湾の語学コースでは、4学期制を採用している大学が多いです。
韓国	2学期制です。第1学期は3月～6月、第2学期は8月～12月です。
インドネシア	2学期制が多く、第1学期は9月～12月・1月、第2学期は2月～6月・7月です。
チェコ トルコ ポーランド	2学期制です。第1学期は9月～1月、第2学期は2月～6月です。
ウズベキスタン	2学期制です。第1学期は9月～1月、第2学期は2月～6月です。

Q3. 私はこれまで海外経験が一度もありません。海外のトラブルにはどんなことに気をつければよいですか？

A3. よくあるトラブルとしては、次のようなものがあります。

【パスポートの紛失】

海外では命の次に大切なものはパスポートだと言われています。旅券番号と発行年月日のページのコピーを必ず持参しましょう。特に短期留学の場合は、紛失すると翌日から団体行動が取れなくなりますので、十分注意してください。紛失に気づいたら、直ちに最寄りの在外公館で再発給の手続きを取ってください。

パスポートは即時発給ができません。発給までに2週間程度を要します。なお、帰国のための渡航書を受給するには、一般旅券発給申請書の代わりに渡航書発給申請書および日程等が確認できる書類等の提出が必要です。パスポート再発行の手続き方法については、外務省HPで確認してください。

【クレジットカードの紛失】

あらかじめクレジットカード会社の連絡先、カード番号等を控えておきましょう。紛失の際は不正利用を防止するために、一刻も早く連絡してください。

【スマートフォンの紛失・盗難】

特に電子決済機能を利用している場合は、二次被害のリスクが高くなります。決済機能の利用を停止するための連絡先やクレジットカード会社の連絡先などは、スマートフォン内に保存するのではなく、別の場所に控えておくことが大切です。またスマートフォンのメモ機能にIDやパスワードなどの情報を保存していると不正利用される可能性が高くなるので、注意が必要です。

【現金の紛失】

まず戻ってくることはないと思われませんが、最寄りの警察に届けてください。

※その他の注意点については、P.115の「渡航先での注意事項」を必ず参照すること。

Q4. 長期留学中に休暇を利用して留学先国以外に旅行したいと考えています。手続きや注意すべきことを教えてください。

A4. まず、再入国に必要な手続きを、留学先大学の担当者に必ず確認してください。例えばアメリカの場合、滞在許可の有効期限内であっても、再入国の際に留学先大学が発行した書類の提示が必要となります。

また、日本人が短期の観光を目的とした入国をするのに、査証（ビザ）を必要とする国としない国があります。必要とする場合は、査証取得のための申請をしなければなりません。出発前にインターネットなどで情報を集めましょう。

地域によっては単独旅行を控えたほうがよい場合もあります。最近のテロ等の治安情勢を踏まえ、常に最新の「海外安全情報」を入手し、たびレジに登録するとともに身の安全に注意した行動をとるようにしましょう。

なお、留学前・留学中・帰国途中に第三国に渡航する場合や長期間滞在先を変更する場合は、必ず事前にPorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）に入力して、報告してください。保険加入の際は、帰国途中の旅行期間もカバーするよう、加入期間を設定してください。

※詳しくは、P.112の「海外旅行保険の加入（必須）」を参照してください。

長期留学体験記【交換留学】ドイツ語圏

ドイツ

ベルリン自由大学

外国語学部ドイツ学科 H.S.
留学期間：2024年8月～2025年7月

私は2024年8月から2025年7月まで、ドイツ・ベルリンの自由大学に交換留学しました。外国語学部ドイツ語学科に所属し、当初は映画研究を軸に置いていましたが、現地での授業や課外活動を通じて、モビリティ（移動や地域）や都市文化、さらに芸術と社会の結びつきへと関心が広がりました。ベルリンという多文化的な都市に身を置いたことは、学問的な探究と自己理解の双方に大きな影響を与える時間となりました。



冬学期には「Filmalyse」や「Novinki-Seminar: Filmkritisches Schreiben」などの授業を履修し、ショット分析や音響効果、編集技術を通じて映画を批評的に読み解く力を鍛えました。毎授業のディスカッションでは積極的に発言し、友人と参考文献を探し上映作品を追加で分析するなど、主体的に学びを深める姿勢が自然と身につきました。

夏学期には研究関心が広がり、芸術と都市の関係について興味を持ちました。「Migration, Tourism, Heritage」といった授業を通じて都市文化やモビリティに関連するテーマに触れることができました。また、課外活動としてベルリン日独センターでのプロジェクト「SHUHARI」に主催者のひとりとして参加し、都市と遺産をテーマにした議論やワークショップに取り組みました。これらの学びを通じて、芸術と社会・歴史とのかかわりをより広い視点で理解できるようになりました。

留学生活で最も大きな試練は、精神面での不調でした。私は日本にいた時から精神的な治療を受けていましたが、環境の変化や気候の影響もあり、ベルリンで症状がさらに悪化しました。特に2024年冬から夏にかけては数ヶ月にわたり外出することすら難しく、ほとんど全ての時間を部屋で一人きりで過ごしました。当初は誰にも相談できず、孤独感と無力感に押しつぶされる日々が続きました。しかし、次第に友人たちから心配の声をかけてもらうようになり、その後の後押しもあってベルリンでカウンセリングを受け始めました。専門家の支援を得ながら少しずつ外に出られるようになり、生活のリズムを取り戻していきました。同じタイミングで一緒に来独した留学生在が精神的な不調を理由に帰国を選んだこともあり、その現実には「自分も同じ状況になり得た」という恐怖を強めました。一方で、自分が支援を受けながら留学を継続できたことの重みを実感するきっかけにもなりました。

この経験を通じて、困難に直面した時に一人で抱え込まず、周囲や専門機関に助けを求めることの重要性を学びました。精神的に苦しい時期を経ても、支えを得ながら少しずつ歩みを続ければ留学をやり遂げられるという実感は、学問的成果に劣らない大きな意味を持つものとなりました。

今回の留学は、学術的な知識や語学力の向上に加え、自分自身と深く向き合う時間でもありました。精神的な不調を抱えながらも最後まで留学を続けられたことは、自信と同時に他者への共感を育む経験でした。今後は映画研究で培った批判的思考を基盤としつつ、モビリティや都市文化、芸術と社会の関係について研究をさらに深めたいと考えています。そのために、研究内容の体系化と学術的基盤の強化に取り組む予定です。また、ドイツ語・英語の資格試験（ゲーテやIELTS™など）にも挑戦していきたいと考えています。

留学生活は楽しい経験に満ちていますが、同時に精神的・生活的に大きな困難に直面することもあります。それでも友人や専門家の支援を受けることで、私は最後まで学びを続けられました。留学先でも一人で抱え込まずに支援を求めれば必ず意味のある時間になります。留学は学業的な成果だけでなく、自分自身と向き合い、人としての成長につながる経験です。困難を恐れずに挑戦し、必要な時には周囲に助けを求めながら歩み続けてほしいと思います。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター > 学生用フォルダ > 留学支援 > 長期留学体験記・短期留学アンケート

イギリス

カーディフ大学

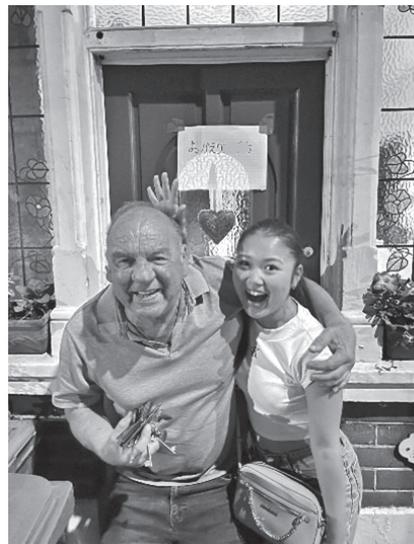
交流文化学科 M.Y.

留学期間：2024年9月～2025年6月

2024年9月から2025年6月まで、イギリスのカーディフ大学に交換留学をしました。大学1年次の夏休みに1か月のイギリスのポーツマスの語学研修プログラムに参加しましたが、この経験をきっかけに、もっと長くイギリスで暮らしてみたい、イギリスの大学生活を体験してみたいと思うようになり、イギリスへの交換留学を決意しました。

【寮生活について】

滞在中は学生寮で、正規生のルームメイト5人と一緒に暮らしました。初めは少し緊張していましたが、彼らはとても優しく、一緒にご飯を作ったり、夜は一緒に遊んだり沢山話したりしました。まるで家族のように過ごすことができました。イギリスの大学生のリアルな日常を肌で感じる事ができたのは、この環境のおかげです。さらに、12月には現地で仲良くなったフランス人の友人の家にも遊びに行き、文化の違いを感じながらも深くつながれることの嬉しさを知りました。



【授業について】

授業では、日本史や奴隷制度に関する講義、そしてイギリス政治について学びました。中でも印象的だったのは、日本史の講義で、日本で自国の歴史を学ぶ時とは違う視点から日本を見つめ直す事ができたことです。別の国からどのように日本の歴史が語られるのか、どのような印象を持たれているのかを知ることができました。イギリス政治の講義は、専門用語が難しく、内容理解に時間がかかることが課題でした。そのために、まずは日本語で資料を読み直したり、自分なりに調べ直したりするうちに、少しずつ理解できるようになりました。また、追加資料を読み内容やテーマへの理解を深めました。わからないままでは終わらせない、自分の力で掘り下げる姿勢を身につけられたのは、大きな収穫です。

【その他】

また、ポーツマスでの語学研修中にお世話になったホストファミリーとも再会することができました。5回ほど彼らの家に帰りました。中でも、クリスマスとお正月は彼らと一緒に過ごせたことがとても嬉しかったです。本格的なイギリスのクリスマス文化を味わうこともできました。カーディフ大学への交換留学の目的の一つに、ホストファミリーとの再会がありました。その目的を果たすことができ、とても嬉しかったです。

私はこの交換留学を「特別で周りの人に感謝しなければいけない機会」だと心から思っていました。どんな困難も「イギリスで学生生活を送れていることが嬉しい」という気持ちで乗り越えられた気がします。勉強や生活もとても大変なことが多くありました。それでも毎日が新鮮で、友人たちと協力しながら自分で考えて乗り越えることで、精神的に強くなれた気がします。

【留学を終えて】

これから留学を考えている人には、「目的を持つこと」と「自分の足で動くこと」の大切さを伝えたいです。私は日本に帰国する際、カーディフ生活との別れがとても悲しく感じました。それは、どのような留學生活にしたいのか、どうなりたいたのかを考え、それに向かって努力ができたから、そしてそれ以上にたくさんの幸せな出来事を体験できたからだと思います。特に長期留学を考えている人は、情報収集をし、自分から積極的に動いてみてください。それが長期留学実現につながります。また、留學生活の質をより良いものにできます。留学現地でしか見えないもの、感じられないことがたくさんあります。他に留学に行った友人たちもみんな違った感想をもち、それぞれのかたちで成長しています。そしてその体験は、日本に帰ってきてからも、ふとした瞬間に背中を押してくれる原動力になると思います。

フランス

リュミエール・リヨン第2大学

フランス語学科 A. K.

留学期間：2024年9月～2024年12月

私はフランスのリヨンという街にある、リュミエール・リヨン第2大学に秋学期の1学期間だけ留学しました。

リヨンは日本で言うと大阪にあたる、フランスでパリに次ぐ第2の都市として知られています。そのため、街に出ればきれいな景色が広がり、一生ここに住んでも良いと思えるような街でした。

私は語学学校に通っていたため、学校ではフランス語を中心に勉強していました。クラス編成は国籍に偏りはなく、アメリカ、イラン、中国、カナダなど世界各地から集まっており、それぞれの文化についても知れる貴重な時間でした。私はそこで出会ったイラン人とスーダン人の友人と遊びながら滞在期間の大半を過ごし、この時間が自分のフランス語能力を向上させました。特に、彼らとバスケットボールをしていた時には、隣のコートから「一緒にプレイしよう」という誘いを受け、リヨンに住んでいる同世代のフランス人の人々とバスケットをするなど、日本では絶対に過ごすことができない時間を過ごしました。また、当然のことではありますが、学校でも私生活でも周りに日本人はあまりおらず、結果としてフランス語しか話さない日々が続いたことも、自分の語学力を向上させるきっかけになったと思います。



この街の治安に関しては、良い所は問題ないが、悪い所は悪いという状況で、知らずに治安が悪い所に立ち寄ってしまうと危ない目にあう可能性があると感じました。例をあげると、治安の悪い地区では、トラムを降りた瞬間にどこから持ってきたのかわからない怪しいタバコを売りつけられます。しかし、治安の悪さを体験することも別の視点でとらえてみれば日本の治安の良さを実感できる機会でもあると思います。自分がこの留学を決めたきっかけは、たまたまスマートフォンを触っていたタイミングで交換留学のお知らせのメールが届き、確認してみたところ、元々は予算的に長期留学に行くことは無理だろうと勝手に諦めていましたが、詳細を見て計算してみたところ、可能性があると感じ、そこからさまざまな準備を始めたことです。そのため、家庭からの金銭的な援助はあまりなく、自分でお金を集めて留学に行きました。

SNSを見てみると同じタイミングで留学に行っている友だちがヨーロッパのさまざまな国に旅行をしていたりするのを見て、「自分もお金が十分にあったらな」と思うこともありましたが、お金が十分でなかったからこそ、旅行よりも友人と過ごす時間がメインになり、その時間が自分の語学力を成長させ、フランスの文化に馴染む手助けをしてくれたと思います。つまり、これからフランスへの留学を考えている方は、行く前にアルバイトを頑張りさえすれば家庭の経済状況にかかわらず留学にチャレンジできるということです。また、お金を集める段階から、目標のために頑張る力や、滞在先での自炊などの生活能力もお金がある方と比べてプラスで付いてくると思います。

私は卒業後に将来的なフランス語圏での永住権の取得を目標としており、そのためのフランス語学能力の向上を目標として今回の留学にチャレンジしました。結果として、この留学は自分にとって大きな成長を促してくれました。それは語学力の向上はもちろんのこと、それ以外にさまざまなスキルが身についたことが理由です。そのため、金銭的な問題を解決させて、留学にチャレンジした自分の判断は大正解だったと思います。振り返ってみれば簡単ではないことも少なくありませんでしたが、それを忘れさせるほどの経験やリヨンという街に対して感謝の気持ちのほうが遥かに大きいです。個人的には、これから留学を少しでも考えている人は多少のリスクを払ってでも留学に行くべきだと思います。

スペイン

マラガ大学

言語文化学科 K. S.

留学期間：2024年9月～2025年7月

【マラガについて】

マラガはアンダルシア、スペインの南にある地中海沿いの街です。都会ではないですが、小さい街に観光地からビーチ、大学、ショッピングセンターなどがぎゅっと詰まっています。マラガの好きなのはなんと言っても気候です。晴れている日が多いので、暮らしているだけでポジティブな気持ちになります。日の出日の入りの時刻が遅く、夏の日の出は8時くらい、日の入りは21時くらいなので、夜遅くまで活動できます。そのんびりとした暮らしが好きでした。天気がいいと言っても、私の滞在中に異常な大雨と洪水が2度ほどあり、大雨に慣れていないマラガが大騒ぎだったこともありました。



また、スペイン語ネイティブでも聞き取りが難しいと言われるアンダルシア方言には、とても苦労しました。話すのがとても早く、挨拶すらも¡Hola!でない場合があることに、最初はとても戸惑いました。

【大学について】

私は哲学文学部の美術史学科で学びました。留学生向けの授業はなく、現地学生に混じって授業を受けるスタイルでした。テストも課題もスペイン人と同じ条件で評価されるので、ついていこうと必死でした。初めは授業に行くのさえ本当に怖くて、先生が何を言っているのかさっぱり分からず絶望しました。幸い同じく獨協から留学していた友人と同じ授業を取っていたので、助け合うことができました。さらに、何も分からなそうな顔をしている私たちと一緒に授業を受けて、説明をしてくれるようなクラスメイトを見つけることができました。彼女たちのおかげで、なんとか課題を提出し、テスト勉強もして、どうにか乗り切っていました。

【日常生活について】

最初の1ヶ月はバスの乗り方も電車の乗り方も分からない状況で、必死に情報を集め、マラガを探検して、だんだんと慣れていきました。3ヶ月も暮らせば、マラガの生活も日常になりました。

学校の寮は費用が高かったため入らず、最初の1ヶ月は獨協の留学生と一緒にAirbnbに泊まり、現地で住まいを探しました。スペインのピソはシェアハウスが主流で、私が選んだのもシェア型のピソでした。1学期目はスペイン人の女の子とチリ人の女の子、2学期目はスペイン人の女の子2人と暮らしていました。オーナーさんが英語を話せたり、ルームメイトも私が理解できない時は英語を話してくれたりと言ってくれました。

休みの日はビーチに行ったり、友人とジムに通ったり、旅行に行ったりしました。旅行には、パリやバルセロナ、マドリード、コルドバ、セビージャなどに行きました。日本の友人たちがスペインまで来てくれて、一緒に旅行した時はとても嬉しかったです。

留学生同士のコミュニティにも参加し、スペイン語だけでなく英語力も上がったと思います。それと同時に、他の国の留学生が流暢な英語を話すなかについていけないことも多く、これから先、努力して絶対に英語を話せるようになると決めました。

【留学を終えて】

留学生活はキラキラしたことばかりではありませんでした。日本人がほほえないなか、友だちは思ったようにできないし、できないことの方が多く、日本食が恋しくて、環境の変化で風邪をひいて、帰りたくて泣いた日もありました。不自由なことが多い環境で自分の弱さにも気づけました。少しずつ言語交換会に参加したり、留学生コミュニティに飛び込んだりと、できることを積み重ねました。

その中で素敵な出会いがあって、毎日見る景色が日本と全く違って、美味しく大好きになった食べ物があって、歩いて生活しているだけでポジティブになれるマラガの街と気候と人々がいて、のんびりした時間の流れがありました。どう努力したらいいのかわからなくて必死に頑張ってきて、そんななかで1人の友人に、「あなたの適応力はすごい、あなたのスペイン語はすごい、自分を誇ったほうがいいよ。」と言ってもらえた瞬間は嬉しかったです。楽しいことも大変なことも多かったです。総じて行ってよかったと思います。留学に行ったことで、確実に私の人生の軌道は変わったと思います。またマラガに戻りたいです。

中国

華東師範大学

言語文化学科 K. K.

留学期間：2025年2月～2026年1月

【街・大学の様子】

華東師範大学は上海に位置していて虹橋空港からタクシーで30分、浦東空港からは1時間の場所にあり、観光地にも30分以内で行ける立地に恵まれた大学です。寮も大学内にあってとても便利かと思いきや、教室まで徒歩10分もかかるぐらい、とにかくキャンパスが広いです。またキャンパス内だけで生活ができてしまうほど、大学内には食堂・カフェ・コンビニ・スーパー・運動場などの設備が充実しています。大学周辺には大型ショッピングモールが2つもあり、その日の気分次第で行き先も選べます。気温も東京とほぼ同じくらいで過ごしやすく、街の治安もよく、危険と感じたりはしませんでした。



【授業の様子】

事前にシラバスを確認していたので、受けてみたい授業は山程ありましたが、交換留学生は自分で授業の登録ができず、最後の登録期間に職員に依頼して登録するかたちとなります。そのため、先着順の授業がすでに満員となっていて取れなかった授業もありました。私は前期3科目（HSK4.5級レベル）後期4科目（HSK5.6級レベル）を受講しました。すべての授業は留学生向けで、アジア、ヨーロッパからの留学生と一緒に講義を受講しました。現地の中国人学生と講義を受ける機会がなかったとはいえ油断はできません。講義は全て中国語で行われます。基本的に毎週課題が出されて翌週の授業内で答え合わせをするかたちです。初めのうちについてはついていけず、講義が終わってから先生に質問しに行ったり、休日も復習・課題に追われたりする日々が多くありました。後期は授業のレベルが一気に上がり気分が落ち込むこともありましたが、友人たちの励ましもあり何とか乗り越えることができました。座学のみならず、授業で習ったものが実際に展示されている博物館や美術館を訪れたり、料理を作ったりといった課外活動もありました。実際に経験・体験したことで、より知識として記憶に定着させることができました。

【寮・生活の様子】

留学生寮は4つあり私は留学生2号楼を選択しました。1部屋2人のバストイレがついた部屋で私は韓国人の学生とルームシェアをしました。寮の部屋選択の際ルームメイトの国籍だけ確認できる仕組みになっており、比較的文化的に似ている韓国人の学生との同室を選びました。幸いなことに彼は本科生でこの寮にすでに1年間住んでいたため、授業や大学のこと、観光地やおいしい店などを教えてくれ、何もわからない私を大いに助けてくれました。

週末は基本的に外出をしていました。上海は世界で最もカフェの多い都市と言われており、カフェで勉強したり、中日交流会などの言語交換活動に参加したり、ミルクティーを片手に街を歩くCity walkなどもしました。連休には旅行にも出かけました。

【留学を終えて】

人生の中で一番記憶に残るぐらい充実した1年間を過ごせたと同時に、一番成長できたと実感できる1年でもありました。チャレンジ精神、問題解決力、適応力など留学していなければこんなに伸ばすことができなかつたであろうと実感しています。留学を終え、今、しみじみと私は周りの人に恵まれていると思います。留学中に会った人たちはとても優しく、私を手厚くもてなし、助けてくれました。また帰国後には自分を待っていてくれる家族や友人がいることも決して当たり前ではないことに気づかされました。多くの人に支えられて、生かされている人生だなと感じます。留学へと送り出してくれた家族、最後までサポートしてくれた国際交流センターの方々、現地で出会った人たちのすべてに心から感謝しています。

【アドバイス】

留学を試みたくとも、語学力や経済的な理由、生活できるか等の不安から迷っている人は少なからずいると思います。でも、留学をする目的があるなら、その時に留学するべきだと私は思います。大学生生活の4年間なんてあっという間で時間は有限です。留学できるチャンスがあって、目的もあるなら挑戦する価値は大いにあります。私も友人の留学生たちも中国に来る前はとても不安で、心境はあなたと同じでした。しかし誰一人として留学に来て後悔したと言う人はいません。皆、留学に来てよかったと口をそろえて言っています。不安を抱えながら踏み出した一歩が自分の見ている世界を変化させます。その不安は自分自身の糧になり、乗り越えれば自信にもつながります。自分を信じて進みましょう！

こんな体験記ですが、少しばかりでもあなたの背中を押せたのなら幸いです。頑張ってください。

【大学の様子】

私は、建国大学に2学期間留学をしました。大学はソウル中心部に位置しているため、アクセスも非常に良く生活しやすい環境だと思います。周りには飲食店が多く、お昼ご飯は学食に行ったり、大学外で食べていました。大学の真ん中に大きな湖があり、季節毎の自然を目にすることができる素敵なキャンパスでした。敷地も広いので、大学内にも解放感を感じました。私は大学の敷地内にある寮で生活をしていましたが、寮での生活にもすぐに慣れて、特に不自由無く過ごせました。韓国ではコーヒーがよく飲まれているため、学内にはコーヒーショップがたくさんあります。勉強スペースも十分にあるためとても良い環境だったと思います。また、建国大学は留学生が多く、英語での授業もあり、多国籍の雰囲気を感じることができました。



【授業】

私は文化コンテンツ学科に所属し勉強していました。韓国の伝統文化や地域文化、映画コンテンツといった内容の授業を履修しました。外国語で専門用語を理解することの難しさを感じましたが、この学科には留学生が多く、日本人も多くいたので、分からないところなどは助け合いながら取り組みました。私が履修していた授業は、試験ではなく発表やグループワークを評価対象としているものがほとんどでした。獨協大学ではそれらの経験が多くなかったため少し苦労しました。特にグループワークでは、数人で1つのパワーポイントを作成するので、役割分担などに手こずった記憶が残っています。驚いたのは、普段の授業で韓国の学生が積極的に手を挙げて質問をしたり自分の意見を教授に述べることで、韓国の学生の学ぼうとする姿勢に感激しました。日本では恥ずかしさや授業を中断してしまうという理由で、発言しにくい授業環境を自分たちで作ってしまっているのだなと感じました。学生は、テスト期間になると、大学の自習室が深夜まで満席になるほどよく勉強をしていました。周りに影響を受けて私も勉強に対する意欲が高まったように思います。

【日常生活】

私は、写真サークルに入っていました。元々写真を撮ることがとても好きで、せっかくの機会なのでやってみようと思い参加しました。毎週土曜日に開催されていて、自由参加のため他に約束が無い日は参加していました。活動日には数人のグループに分かれて行動し、各自持参したカメラなどで撮影をします。ミッションなどもグループで行うので、そこでたくさん友人ができました。ソウル大公園や、ハヌル公園など普段行くことのないきれいな景色の場所に行くことができ、とても良い思い出です。また、私には韓国の他の大学にも友だちが何人かいたので、休日はいろいろな場所に遊びに行きました。カフェが好きなので友人とおしゃべりをしに出かけたり、旅行に行ったりと毎日忙しく過ごしていました。私は韓国の昔の雰囲気が残る街並みが好きなので、ソウルから1時間半くらいの場所にある水原（スウォン）に遊びに行ったことが印象に残っています。夜の街灯に照らされた昔の建造物などがきれいで、カフェから見た眺めが忘れられません。旅行では行きにくいであろう遠出もできて良かったなと思います。

【留学を終えて】

留学は短い期間なので多くを吸収したい気持ちがありましたが、実際に自分自身が成長できた期間だったなと思っています。韓国に行く前は、誰かに頼ってばかりいて、自分が意欲的に何かをすることはありませんでした。留学生活を始めて、学習面や生活面で韓国のきっぱり意見を言うという文化に自然と慣れ、意思を伝えることが上達したように感じます。周りを気にしすぎないというのが大事だと思います。日本帰国後は母に「なんだか大人になったね」と言ってもらえました。自分に自信が大きくなった良い経験だったなと感じました。これからもこの自信を持って積極的に行動に移せるように頑張りたいです。

長期留学体験記【認定留学】英語圏

アメリカ合衆国

ミズーリ州立大学

国際関係法学科 K. S.

留学期間：2024年8月～2025年5月

【留学の動機】

留学前は将来、特にやりたいことがなく、初めは海外に身を置いて自分自身を知る機会を得たり、海外の文化に触れたりしたいといった漠然としたことがきっかけでさまざまな留学の情報を集めるようになりました。調べていく中で、実際に海外留学を経て、さまざまな問題を克服してビジネスの世界で活躍されている方や、私のように、初めはやりたいことがなかったが、海外で勉強したことによってやりたいことが見つかった方がいたと知ったことから、私も海外留学をしたいと本気で思うようになりました。

私が留学先に選んだのはアメリカ合衆国のミズーリ州立大学という大学です。地域の特色としてはさまざまな人種が集まっています。さらにアメリカンフットボールの強豪チームやメジャーリーグのチームが2つあるなど、スポーツも盛んであるのが特徴です。自然が豊かで、アメリカならではの野生動物や山を間近で感じることができ、生活しやすい地域でした。



【授業】

法学部に所属しているので、現地の法学部生とともに授業を受けていました。周りでは弁護士や検察官、裁判官を目指す学生ばかりで、真面目で頭が良い学生が多かったです。その中でも特にアメリカの犯罪学や会社法に力を入れて勉強しました。アメリカでは銃や一部の薬物が合法ということもあり、日本では考えられない法律や、事件を取り扱った犯罪学の授業があり、非常に興味深かったです。会社法では法律の背景に国籍や人種、性別など、国際問題で取り扱われるようなトピックと結びついていることが多く見受けられ、多様性を学ぶことができました。

【生活・文化体験】

生活様式は基本的に日本とは異なりましたが、なかでも食文化にとっても驚きました。例として、私は友だちと食事をとっていたのですが、ほとんどの友だちが毎日同じ食事をしており、基本的に高カロリーな食事をしていることに驚きました。日本では健康に気を使い、さまざまな食料を摂取するのに対してアメリカ人は好きなものだけ食べていました。また、食堂自体も高カロリーなものが多く、体に気を使って食事をしていると少し不思議そうな目で見られることが多かったです。

また、文化体験として一番印象に残っていることは、地元のキリスト教の学生団体に所属したことです。私は無宗教でしたが、友だちは快く受け入れてくれて一からキリスト教について教えてくれました。また、このコミュニティに入ったことで多くの友だちができ、私の英語力向上の大きな後押しとなりました。また、キリスト教では特に友だちや家族を大切にすることがあり、無宗教な私にとっても、大切なものを再確認させてくれた機会となりました。

【挫折と克服】

一番大きな挫折は言語の壁でした。留学前は海外の人と会話したことがあまりなく、教科書で勉強した程度の英語力でした。すると留学して最初に感じたことは今まで感じたことのない速さの英語と、使ったことのない文章ばかりで全くコミュニケーションが取れず、とても落胆しました。そこで、毎日8時間～10時間英語の勉強をしたり、積極的に友だちと会い、会話をしたりすることで少しずつコミュニケーションを楽しめるようになっていきました。留学を終えるときには政治の演説やメジャーリーグの現地中継をストレスなく理解することができ、それについて友だちと会話できる程度まで英語力が伸びていました。最初に感じた言語の壁を克服することができたと感じています。

【留学を終えて】

私は今、日本で働き日本の課題解決を第一に考え、その先に海外に展開できることで貢献したいと考えています。この考えに至った背景は、海外に身を置いたことによって、日本の良さや改善点を肌で感じ、それに対して当事者意識を持ったことがきっかけです。この留学で培った異文化理解や問題解決力を活かして、日本の世界における存在価値を高めたいと考えています。

その他の留学体験記は、国際交流センターおよびPorTaⅡダウンロードセンターで公開しています。
PorTaⅡダウンロードセンター > 学生用フォルダ > 留学支援 > 長期留学体験記・短期留学アンケート

長期留学体験記【認定留学】韓国

韓国

漢陽（ハニャン）大学

言語文化学科 N. R.

留学期間：2024年9月～2024年12月

私は韓国・ソウルの東部にある漢陽大学に1学期間認定留学として留学しました。留学には大学入学時から興味を持っていましたが、実際に計画し行動し始めたのは3年生になってからであり、就職活動などを含めたこれからの人生計画で見ると少し遅い時期になってしまいました。留学をしようと思った主な理由は、語学力の向上でした。また、国際協力に興味があり大学でも授業を受けており、より専門性を高めたかったので、留学の機会に社会科学部政治外交学科で学習することにしました。



【授業について】

学部課程への留学のため履修した授業も外国人向けのもではなかったため、進行速度が早いと感じる時もありました。すべて対面で、発表や討論など学生中心に行われるものが多くありました。国際協力について学ぶ授業では、毎回の発表後に学生からの質問や意見交換が積極的になされ、韓国の学生たちの学問に対する熱意に感心したこともありました。私は特に参考書を読んだり発表内容を詳しく理解することに難しさを感じました。中間試験と期末試験は日本より難易度が高く設定されているような気がしました。そのため勉強する時間を多く取る必要があり、徹夜したこともありました。周りの人や教授に確認し授業についていくのは大変でしたが、その分良い経験になりました。また獨協大学では運動生理학을学ぶゼミに所属していたため留学先でスポーツ動作分析の授業を受けましたが、より設備が整っていたため最新の分析ソフトウェアを使い一つの論文を完成させることができました。学期末のポスター発表会では優秀賞を頂き、自信に繋がるとともに大きな達成感を感じました。

【生活】

留学生向けの寮が無かったので、日本にいる頃からインターネット上で探しカカオトークで家主と直接連絡を取るなどして住居を探しました。住んでいたのはワンルーム型のコシウォンで、個室以外の部分が共用だったので初めは慣れませんでした。コンビニやスーパーマーケットも近く、学校から歩いて10分以内にあり、便利でした。ただ、韓国では住居探しも支払いも外国人登録番号と電話番号があればどれも楽ですが、逆に無いととても不便で、外国人登録が済むまでにはかなり日数がかかったため、この点では不便なことが多かったです。

【課外活動】

私は人と知り合う機会を増やしたかったので、サークルなどの課外活動をいくつかしました。はじめに入ったランニングサークルでは、人数が多かったため友だちもでき、週1回ランニングをしながら交流しました。少し経ってから友だちが会長をしている編み物サークルに入り、何度かゆったりとカフェで活動しました。また獨協大学ではボクシング部に所属しているので、韓国でも続けたいと思い家の近くのジムにも通いました。ジムの会長が気さくな方でとても仲良くなり、フィットネス用のジムにもかかわらず大会に出る準備まで手伝ってくださり韓国で2回勝利を果たすことができました。

【留学を終えて】

韓国語能力についてはレベルがかなり向上したと感じています。留学前は4技能のうち話すことの練習があまりできておらず、機会も無かったため話すことに対して自信が全くありませんでした。いざ韓国語で話してみると、すらすらと話せるわけでもなくつかかってしまったり、言い方が正しかったかどうか不安になったりしました。しかし、分からない単語を違う言い方で伝えることや覚えた単語を使ってみるなどの工夫をしたことで、上達に繋がったと思います。また韓国人の友だちが上手だと褒めてくれたりよく通じてるよと言ってくれたことで、更に自信に繋がりました。授業で読み書き・聞き取りを続け日常でも常に韓国語に触れていたため、4技能全体のレベルが上がったと思います。それだけでなく韓国人の友だちができたことは、私にとって留学期間中の大きな収穫でした。誕生日パーティーをしたり、学期終了後に友だちの故郷に旅行に行くこともできました。今では日常会話では日本語と同じように韓国語で表現できていると感じます。電話もよくしていますが、今考えてみれば表情やジェスチャーが見えない中で楽しく話せていることは留学前では考えられないことです。

初めはとても不安でしたが、失敗を怖がらずに挑戦することはとても大切だと思います。誰でも行動に移せば、この留学の機会に大きく成長できると思います。



危機管理・安全対策

Risk Management and Security Measures

安全な海外留学のために



安全のためのガイドライン

世界各地では紛争、襲撃事件、テロ、暴動や内乱、さまざまな感染症や大規模な災害などが発生しており、私たちは流動的な状況への対応を日々迫られています。海外渡航にあたっては基本的な安全管理・危機管理対策に加え、感染症対策や関連措置への対応等の備えが求められています。そのためには渡航者である学生自身による状況確認と判断力、情報収集力や危機管理能力を高めることが必要です。渡航後、常にその国や地域の最新情報入手に努めることはもちろんですが、渡航前から目的地について調査したり、オリエンテーション等に参加し危機管理に対する意識を高めるとともに、起こりうるリスクを可能な限り想定し準備をしておくことが大事です。

本学の危機管理について

本学では、学生・教職員の海外派遣に際し、大学として安全配慮義務を全うするとともに、万が一緊急事態が発生した場合、危機発生時に迅速かつ適切に対応するため、「海外危機対応マニュアル」を制定しています。危機発生時は、同マニュアルに基づき、関係各省庁とも連携し危機管理対応を行います。大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし、出発前に一読ください。



HOME > 国際交流 > 留学関連情報 > 危機管理 > 海外における危機管理対応について > 海外危機対応マニュアル



渡航と安全対策

日本は世界でも特に治安の良い国です。そのため、日本にいる時と同じ安全意識を持ったまま渡航することは非常に危険です。さらに、渡航先で問題が生じた場合や予期しないトラブルに巻き込まれた場合は、自己責任において対処しなければなりません。そのため、個人でできる予防策を講じておく必要があります。

獨協大学では、短期・長期を問わず留学の決まった学生に、学内で実施する「海外安全対策セミナー」への参加を義務づけています。これにとどまらず、渡航前に「外務省海外安全ホームページ」「世界の医療事情（外務省・在外公館医務官情報）」等のサイトにアクセスし、常に最新の情報を入手するように心がけましょう。渡航を予定している国・地域の政府観光局や、旅行会社や保険会社なども貴重な情報源となります。外務省海外安全ホームページのメールサービスを利用すれば関心のある地域について発出された最新の情報を受け取ることもできます。また在留届の提出（P.87）が不要な3ヶ月未満の渡航を予定している場合は、いざという時に在外公館などから緊急時情報提供を受けられる海外旅行登録システム「たびレジ」に必ず登録しましょう。「たびレジ」には本人以外のメールアドレスも登録することができるため家族とも情報を共有しておくことをおすすめします。これらを踏まえ、P.121には「海外渡航時に役立つサイト」を掲載しているので、渡航を計画している方は各自確認してください。

また、本学では、危機管理の対策として大学から派遣する長期・短期留学生に対し、本学指定の海外旅行保険への加入を義務づけています。病気になったり、不慮の事故に遭遇した場合はもちろんですが、派遣先大学や他人の物品を破損した場合等の賠償問題に対応するためにも、保険加入は必須です。

なお保険加入以外にも渡航前にすべきことをP.112~に掲載しているので、必ず目を通しておきましょう。

※長期留学（交換・認定）、短期留学（協定校・認定）、および休学して留学する場合も含め、本学は在籍学生の渡航中の車やバイクはもちろん、電気を動力とする乗り物（電動キックボード、ペダル付き原動機付自転車（モペット）、電動アシスト自転車）等の運転を禁止しています。

海外安全対策セミナー

獨協大学では、本学の留学制度を利用して短期・長期留学する学生に、学内で実施する「海外安全対策セミナー」への参加を義務づけています。このセミナーでは、海外で注意すべき点、トラブル発生時の対処方法について説明し、学生の危機管理意識を高めることを目的としています。本学の制度を利用せずに海外に渡航する学生にも参加をおすすめしています。

2026年度は、以下の日程で実施する予定ですが、最新の情報はPorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] で確認してください。

夏季：2026年7月 1日(水) または7月 3日(金) (予定)

春季：2027年1月 8日(金) または1月13日(水) (予定)



普段から心がけたい危機管理の心がまえ

危機管理は重大な事故や犯罪に巻き込まれることを防ぐためだけでなく、日常のちょっとしたことで起こるトラブルを未然に防いだり、拡大させないためにも大切です。快適な留学生活を送るためには安全への気配りが常に大切です。

出発前	<ul style="list-style-type: none"> ・パスポートの残存有効期間を確認する ・パスポートの迅速な再発行のため写真やコピーを準備しておく ・国際キャッシュカードやトラベルマネーカード、キャッシュパスポート等の準備をする ・滞在先の文化、風俗、気候等の事情を調べておく ・常備薬の準備／特別に処方された薬を持っていく際は英語で書かれた診断書や処方箋を作ってもらおう ・海外旅行保険に加入する（留学期間と、留学に付随する旅行期間の全てをカバーするもの） ・持参するクレジットカード等の番号や発行会社、発行連絡先を確認しメモしておく ・出国や渡航先入国に関する制限がないか情報収集
留学中	<ul style="list-style-type: none"> ・心身両面における健康に留意する（無理をしないように） ・体調不良を感じたら、早めに医者にかかるなど対処する（もしもに備えてモバイルバッテリー／充電器を持参すると良い） ・カルチャーショックを感じた時は周囲の人やカウンセラーに相談し、無理をせず現実的な解決方法を探る ・日本と同じ感覚で行動しないよう注意し、日本人を含めた面識のない人を安易に信用しない ・現地の交通手段・交通事情について確認する ・政治的な話や特定の国や民族、宗教、習慣、文化などについて人前で大声で話さない ・話し相手に対して意思表示をはっきりする ・想定されるトラブル対応会話を準備する（とっさの一言が言えるように） ・クレームを言うべきときはきちんと伝え、納得のいく回答や対応を求める ・毎日使う財布には必要最低限の現金と使用予定のクレジットカードのみを入れ、余分なお金や使わないクレジットカード等は別の場所に保管する ・レシートの金額や釣り銭はどんな場面でもきちんと確認し、買い物時のレシート、カード使用時の控えを管理する ・クレジットカードの利用明細をチェックする ・飲酒が認められる年齢は国によって違うため、事前に調べ、必ず遵守する ・夜の公園、地下の薄暗いカフェなどには近づかない、1人で行動しない ・ブランド物はなるべく身につけない ・麻薬や覚せい剤などの薬物には絶対に手を出さない ・携帯電話やスマートフォンとは別に、家族や現地の緊急連絡先（大使館、領事館、大学緊急連絡先等）の情報を紙にメモし保管する ・現地の報道に注意し、デモ・集会・テロ等を見たら速やかにその場を離れる ・現地で発せられている規制や制限を把握し、遵守する ・日本の家族等にも定期的に近況報告をする
帰国時 帰国後	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の重量オーバー、日本への持ち込み禁止物等に気をつける ・麻薬等のいわゆる「運び屋」とならないよう、知人に荷物の運搬を頼まれても断る ・帰国時に検査証明提出や自主隔離などの制限がないか確認する ・体調不良時には早めに医者にかかる



学生・家族（保証人）の責任

海外滞在中に問題が生じた場合や予期しないトラブルに巻き込まれた場合は、自分の判断で対応しなければなりません。海外滞在中の事故やトラブルには、本学がコントロールできない種類のものが多いということも認識してください。「自分の身は自分で守る」という自己責任の意識を常に持つことが大切です。

留学で渡航する学生が事故や事件に巻き込まれた場合、本学は学生の安全確保や救援に最大限の努力をします。速やかに連絡が取れるよう、学生は滞在中の所在地を明確にし、電話番号やメールアドレスなどの連絡先を忘れずに本学に届け出るとともに、変更があった場合も必ず連絡してください。

また、渡航する学生のご家族や保証人等には、学生が無事に出発し無事に帰国できるように協力する責任があります。学生と一緒に留学先の国や地域の治安や生活環境を確認し、文化・風習などを調べることをおすすめします。また、留学前には留学に対応できる健康状態にあるかを確認し、留学中は定期的に連絡をとるようにして現地生活の様子を把握し、問題や心身不調の早期発見に心がけてください。



出発前にすべきこと

1. 情報収集

■ 外務省海外安全ホームページで、以下の情報を出発前に確認しましょう。

- ・海外安全情報（危険・スポット・広域情報、安全対策基礎データ、安全の手引等）
- ・たびレジ、オンライン在留届
- ・「海外安全虎の巻」
- ・「海外旅行のテロ・誘拐対策」
- ・「海外安全劇場 海外へ渡航するあなたへ～外務省からのお知らせ（動画）」
- ・「海外で困ったら 大使館・総領事館でできること（パンフレット・アニメーション資料）」

2. 海外旅行保険の加入（必須）

留学中は、自然災害被災をはじめとして、感染症罹患、交通事故といったトラブルに巻き込まれる可能性が常にあります。特に、海外で病気にかかったり、ケガをした場合、その治療費は非常に高額であり、かつ、皆さんの状況について大学が正確な情報を即座に収集することは極めて難しいのが実情です。

そこで、海外での危機管理体制強化の一環として、本学から留学に派遣する学生には、大学指定の海外旅行保険およびトータルサポートサービスへの加入を、留学の必須条件としています。この保険は包括契約であることから、学生の皆さんが個人で加入する場合よりも割安な保険料で加入することができます。トータルサポートサービスは、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて24時間365日、日本語で相談できるサービスで、学生本人だけでなく、ご家族からの相談にも対応します。

なお、長期留学の場合、上記海外旅行保険とは別に留学ビザ取得の要件として保険加入が求められる国があります。また留学先大学でも現地の保険への加入を指示される場合があります。この場合、留学先国・大学の指示に従って加入することになりますが、本学で加入した保険の内容を証明する書類（英文の付保証明書）を提示すれば、現地での保険加入が免除（または一部免除）されることもありますので、事前にしっかり調べて準備してください。また、英文の付保証明書は渡航の際は必ず携行してください。

3. 健康管理等

■ 健康診断

留学先の機関によっては健康診断書の提出を求められることがあります。また書類の提出を求められない場合でも、自分の健康状態を把握するために、出発前には健康診断を受けましょう。

本学で毎年4月に行われる定期健康診断の受診は最低限必要ですが、足りない項目については、医療機関等で追加検査を受けてください。また、健診や追加検査後に再検査や受診をすすめられた時には、必ず受診してください。特に持病がある場合は、事前に国際交流センターにもその旨を知らせてください。

なお、健康に不安のある人、アレルギーや持病がある人、服用している薬がある人などは英文の診断書や処方箋等を持参しましょう。

国によっては医療過誤の際の損害賠償が厳しいなどの理由から、医療情報が不明確な患者に対して医師が十分な処置を行ってこない場合があります。そのような時に英文診断書等があると現地の医師にも患者の症状や処置方法・処方薬がわかるので、スムーズに治療を受けることができます。かかりつけの病院で英文診断書等を出してもらえない場合、日本旅行医学会等のHPから英文診断書を発行してくれる医師や病院を確認し、発行してもらいましょう。

■ 歯科検診

留学が決まったら早めに歯科検診を受けましょう。海外では歯科医に行きたくても何ヶ月も診察の予約が取れなかったり、実際に治療を受けた後、高額な費用を請求されることがあります。なお、長期留学の場合、大学指定の海外旅行保険で治療費の8割が補償されます（低補償プランを除く）が、歯科治療の場合は一旦自分で立替払いをする必要があります（帰国後に請求）。必要な治療は必ず日本で終わらせてから渡航してください。

■ 予防接種

海外渡航時の予防接種には、入国時に法的に要求されるものと、入学の条件として留学先大学等から要求されるものがあります。これらの予防接種を受けないと留学や旅行が不可能となりますので、詳しくは渡航先国の大使館や最寄りの検疫所、留学先大学などに確認してください。

・ 法的に要求される場合

特定の国（主にアフリカの熱帯地域や南アメリカの熱帯地域）では、入国の際に黄熱病予防接種証明書を提示しないと入国できません。またこれらの国からインドや東南アジアの国へ入国する際や、帰国時の乗り換えの際などに必要になる場合もあります。予防接種は予約制で、実施機関が限られています。厚生労働省検疫所HPで早めに確認しておきましょう。

・ 留学先の大学等から要求される場合

必要な予防接種の種類は留学先により異なりますので、早めに詳細を確認しましょう。数回（2～3回）接種が必要なものもあるので、できるだけ出発の6ヶ月以上前には医療機関または本学保健センターに相談してください。

また特に要求がなくても、破傷風や風疹等は何の国へ行くにも予防接種がすすめられていますし、はしかの抗体検査・予防接種も受けておくことをおすすめします。渡航先によってはA型・B型肝炎、狂犬病等の予防接種も要求される場合があるので、早めに自分の留学先の国と教育機関の規定を確認しましょう。

■ 持病・常用薬

・ 現在服用中の薬がある場合

持病のため普段から薬を服用している人、治療中や経過観察中の人は、その病気の経過や治療法、服用中の薬剤等に関して、主治医に診断書や処方箋等を書いてもらいましょう。できれば渡航先の国の言語で書いてもらうことが望ましいのですが、難しい場合は英文診断書でも役に立ちます。

また、薬を使用している場合は、現地ですぐに適切な医療機関が見つからない場合も考えて、2～3ヶ月分の薬を持参することをおすすめします。ただし、海外へ大量の医薬品を持ち出すときは、検疫等で問題が起こらないように必ず英文診断書等を携行しましょう。

・ 常用薬

海外では医師の処方箋がないと薬が買えないことがありますし、一般の薬局で売っている薬も日本で入手できるものとは異なる場合があるため、特に自分がよく使う薬は持参しましょう。乗り物酔い止め、頭痛・生理痛薬、腹痛・下痢止めや胃腸薬、風邪薬などは、普段自分が使っているものを持っていくと安心です。

日本から医薬品を送ってもらう場合は、国・地域によって発送に関する条件が異なりますので、出発前に必ず確認

しておきましょう。

■体調管理

出発直前に友人等との壮行会を行い、体調を崩し出発を延期するケースが散見されます。出発前はそうしたリスクも考えて準備、行動してください。



到着後にすべきこと

1. 緊急時の連絡と対策

渡航中、思わぬ事件や事故に遭遇した時や自然災害等で生命が危険にさらされた場合には、直ちに救助や救援を求めましょう。このような場合に備えて、滞在国や滞在している地域の警察や消防署、日本大使館・領事館の連絡先を必ずメモしておいてください。

また、本学指定で加入する「海外留学生トータルサポートサービス」の利用方法をあらかじめ理解し、緊急事態発生の場合はすぐに連絡してください。

2. 留学中の健康管理について

留学中の健康管理のために、自分のペースをつかんで、規則正しい生活を心がけましょう。特に食事は、栄養のバランスや食べる量など、自分で管理するしかありません。好きなものだけを好きなだけ食べて、体重は10キロも増加したのに栄養失調になった人や、ストレスから拒食症・過食症になってしまう人もいます。健康であることが充実した留学生活にもつながります。また海外では食べ物や水を介した消化器系の感染症や動物や蚊・ダニなどが媒介する感染症も発生しています。時差や気候、環境の変化からくるストレスにより免疫力が低下すると、これらの感染症にかかりやすくなります。季節性のインフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症対策同様にうがいや手洗いを励行し、食事管理（生水や氷を避け、十分に火が通った安心・安全なものを食べる）や適切な自衛（虫よけの利用、着衣の工夫、感染症発生時には人ごみに近寄らない等）を心がけましょう。またアレルギーが重症化する場合もあるため、動物やペットへのむやみな接触も避けましょう。

体調不良を感じたら早めに医師やカウンセラーに相談してください。本学の指定する「海外留学生トータルサポートサービス」でも、看護師、医師が日本語で各種相談に応じます（専門医による電話相談サービスは事前予約が必要です）。加えて、現地の病院の紹介も行っています。



渡航先での注意事項

滞在地では、その国の法の遵守は当然ながら、「目立たない」「行動を予知されない」「用心を怠らない」という“安全の三原則”を守りましょう。それが自分の身を守る安全対策につながります。

現地での行動について不安がある場合は、一人で判断せずに留学先の責任者やアドバイザー、短期留学の場合は同行教職員やホストファミリーなどに相談するようにしてください。

安全の原則 ①：目立たない
<ul style="list-style-type: none"> • 華美な身なり、目立つ格好はしない • 公共の場で大声で話をしたり、大笑いしたりしない • ウロウロ、キョロキョロしない
安全の原則 ②：行動を予知されない
<ul style="list-style-type: none"> • 自分の行動予定をむやみに他人に話さない • 行動のパターン化（移動ルートや時間などの固定化）を避ける
安全の原則 ③：用心を怠らない
<ul style="list-style-type: none"> • 親しげに近づいてくる人物を無条件に信用しない、スキを見せない • 電車や車、カフェの座席に荷物を置いたまま席を離れない • 自分の名前や住所をむやみに知らせない • 見知らぬ人からすすめられたものを安易に口にしない（パーティ等での麻薬への誘いにも注意） • 知り合って間もない人物からの誘いには要注意（特に夜間や1対1での外出） • ホームステイ先等でセクハラ等に遭わないように注意する • 夜の公園、危険な場所、雰囲気の悪い場所へは近づかない • 人けのないところを歩くのは昼間でも避ける、特に夜間の単独行動は避ける • 万一に備え、自分の旅行日程・連絡先を家族・知人に残す • ATMを利用するときは周りに注意し、道路に露出したATMはできるだけ使わない • 釣り銭などの受領時、お金を財布にきちんとしまってから次の行動に移る • 多額の現金は持ち歩かず貴重品は安全な場所に預け、パスポートはコピーを携行する • ファスナー等で閉まらず簡単に開いてしまうバッグは使わず、ショルダーバッグは斜め掛け、リュックサックは前に抱える

■貴重品の取扱い

現金、クレジットカード、パスポート、デジタルカメラ、スマートフォン、パソコンなどの貴重品が盗難に遭う被害が多数報告されています。外出先はもちろん、残念ながらホームステイ先や寮においても実際に起こっています。共同生活の中で物を紛失すると、同居人を疑わざるを得ない状況になり、お互いに非常に嫌な思いをします。そんな状況を作り出さないためにも、すぐに戻るからと安心せず、外出時には必ず部屋の鍵だけでなく、スーツケース等の鍵もかける、貴重品は目につくところに置かない、留学先大学のガイドラインに従って防止策をとるなど、十分注意してください。

■麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ

麻薬や覚醒剤等に関する取り締まりや罰則は世界中で厳しさを増しています。麻薬関連の犯罪で科される刑罰は、日本とは比べものにならないほど重いもので、国によっては極刑に処せられることもあります。いかなる種類の麻薬でも、所持、譲渡、売買、製造、輸出入など全て厳重に禁止されています。一方、非医療用大麻（嗜好用マリファナ）についてはカナダやアメリカの一部の州において購入や所持等がすでに合法化されています。また、チョコレートやクッキーなどの菓子、飲料など「大麻入り食品」も市場に出回っているため、手軽に入手できます。しかし、日本では大麻取締法において、大麻の所持・譲受（購入を含む）等については違法とされ、合法地域での行為も処罰の対象となります。大麻を吸うと視覚・聴覚の変化や情緒不安定、集中力の低下や思考の変化等が現れ、長く続けると幻覚・妄想や暴力的な行動等、精神的に異常をきたしたり、知的機能の低下等を招くことがあります。また「危険ドラッグ」には、液体、粉末、葉片、気体とさまざまな形状のものがあり、「お香」「アロマリキッド」「合法ハーブ」「タイヤ充填用（自転車）」等と称して販売されているものもあります。その成分には、麻薬や覚醒剤等と同様の成分が含まれており、人体にとって大変有害です。これを使用すると、意識障害、おう吐、痙攣、呼吸困難等の症状を引き起こし、死に至るケースもあります。大学の寮やパーティなどで学生が遊び半分にマリファナなどをすすめてくることもあるかもしれませんが、毅然とした態度で断りましょう。そのような場に居合わせてしまった場合は、その場からできるだけ早く立ち去ることが大切です。軽い気持ちで手を出し、一生を棒に振るような結果を招かないようにしてください。

また、自らは意識しなくても、土産を手渡されたり、小荷物を託されたりする形で、本意に麻薬を所持させられてしまうこともあります。中身のわからないものには最大の注意を払う、無用心に引き受けない、ということを忘れないでください。実際に他大学の学生が麻薬の運び屋として、逮捕された例があります。

■各種ハラスメント

文化の異なる社会においては、ジェンダーや性的行為、教員と学生の関係に文化的な差異があったり、制度や法律的な扱いが異なることもあります。ハラスメントに関する知識や現地の文化を知ることは重要です。知らないで被害を受けやすいだけでなく、思いがけず加害者になってしまう危険性すらあります。

キャンパスや寮、ホームステイ先、地域コミュニティなど場所はどこであれ、留学先において、もしセクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメント、あるいは何らかの差別的な扱いを受けたと感じたら、すぐに大学のカウンセリング・センターやインターナショナル・オフィスの留学生担当者に相談しましょう。教職員が同行する短期留学の場合は、まず同行の教職員に相談してください。プライバシーは確実に守られますので、心配は不要です。

文化によってジェンダー問題の扱われ方は大きく異なります。特に外国人の場合、人種が異なるというだけで目立ちますし、言葉が十分に話せなければ、騙される危険性も残念ながら高いと言えるでしょう。男女間においても、デート時の暗黙のルールが日本とは違っていたり、あなたの行動があなたの意図したものとは違う解釈をされてしまう危険性もあります。曖昧な態度を続けると、YESと誤解されてしまうことがありますので、嫌だと感じたら、はっきりとNOと言う態度をとることが大切です。

安心して過ごせる環境を確保することはあなたの権利であり、充実した留学生活を送るための大切な課題です。

■セーフセックス

性行動においても安全や健康に留意しましょう。コンドームの使用や禁欲的な生活は、性感染症、HIV感染等を防ぐだけでなく、望まない妊娠を避ける有効な手段となります。また海外で注意すべきなのは、文化によって性に対する考え方やモラルが異なることです。イスラム教国や仏教国等ではあからさまな性がタブー視される傾向にあり、日本とは状況がかなり異なることを認識してください。

■カルチャーショック

ある程度の期間外国で暮らしていると、程度の差はあれ必ずカルチャーショックを体験します。カルチャーショックとは、異なった文化や環境の中で、今まで自分の国や文化の中で培ってきたものが通用しなくなり、精神的な打撃を受けることです。例えば、見るもの聞くもの全てが新鮮な時期を過ぎると、だんだん周囲に疑問や反発を感じたり、敵意を抱いたりするようになります。

疲労・倦怠感、ホームシック、イライラ、うつ、食欲不振、不眠、欲求の増加、高揚感などの症状はカルチャーショック時によく見られます。

こういった症状に気づいたら、あまり深く考え込まずに身近な友人に話してみたり、気分転換に自分の好きなことや趣味に没頭してみましょう。また、日記を書いてみることは、混乱し、舞い上がっている自分を客観視できる良い対処法です。それでも症状が軽くない場合には早めに留学アドバイザーやカウンセラーなどに相談しましょう。

「せっかく留学をしているのだから日本人の友だちはいらない！」という人がいますが、つらい状況の時に微妙な心境を理解してくれるのは、やはり同じ文化・生活習慣の中で育ってきた日本人です。完全に日本人のネットワークを遮断するのではなく、困った時には助け合える良い関係を築いておきましょう。

■差別・偏見、異文化間のトラブル

留学先の国や地域で、差別や偏見を受けることは、多かれ少なかれあります。また同時に、自分の中にある差別や偏見といった意識に気がつくかもしれません。世界は実に多種多様な人々で構成されているという当然のことを、肌で感じるはずですが、価値観、考え方はもちろん、文化的背景の異なる人々にも出会うでしょう。その時大切なのは、自文化と他文化を構成するアイデンティティを意識・尊重し、人間としての尊厳をもって自らも行動し、相手にも接するということです。留学先の国の人々が、日本人をどのようなイメージで捉えているのかを知っておくことも、助けになるかもしれません。

外国人とのコミュニケーションでは、国民性による表情やジェスチャーの違いが思わぬ誤解を生むこともあります。言葉によるコミュニケーションがスムーズにいかない場合、表情やジェスチャーといった別の情報源から相手のメッセージを曲解してしまう危険度が増します。誤解が一旦生じてしまうと不信感が募り、修復不可能な状況に陥ってしまうことも珍しくありません。相手から「こんなひどいことを言われた」「こんなひどい態度を取られた」と感じた時は、素直に相手に疑問をぶつけてください。それにより、お互いの誤解はほぼ解けるでしょう。

日本人は“察する”文化の中で育っていますが、外国では言葉として“発する”ことが重要です。「郷に入っては郷に従え」で現地に溶けこむよう努めましょう。

コロナ禍が始まって以降、特にアメリカなどではアジア系住民に対する嫌がらせや暴力行為が増えています。攻撃を受けた場合は、逃げる、周囲に助けを求めるなど、被害を最小限に抑えるよう行動してください。また人けの少ない場所や乗り物、夜間の一人歩きを避けるなど、自分の身は自分で守ることが大切です。

■宗教・民族

日本では宗教に無関心な人が多いため、他国の宗教に対しても無頓着になりがちです。しかし、海外には信仰心の篤い人が多くおり、私たちの何気ない言動が相手を傷つけ、誤解や食い違いを生むこともありえます。偏見や差別などは、その多くが宗教や民族感情に根ざしており、無知や無理解がトラブルの引き金になります。渡航先の国の宗教や慣習を調べるのはもちろんですが、国際人として他国の人の宗教や文化に対する尊敬の念を忘れないよう行動しましょう。

また、記念日や祝祭日などは、その起源が宗教や歴史的な事件に関連していることが多々あります。国によっては、その前後に過激集団間の紛争や宗教的な対立が起こりやすくなる場合がありますので、留学先の国の記念日や祝祭日、安息日などについても外務省HP等で下調べをしておきましょう。

提出書類等に宗教を記入する欄がある場合、特に信仰している宗教がなければ空欄にしておきましょう。「信仰している宗教はない」という意味で「NO」と記入すると、国によっては「宗教を否定している＝無政府主義者である」とみなされ危険人物扱いを受ける場合がありますので注意してください。

■ マイノリティ

日本で体験することはほとんどないでしょうが、海外で生活を始めた途端、自分がその社会ではマイノリティ（社会的少数者・社会的弱者）であることに気づかされます。特にアジア系の居住者が少ない国や地域では、時には周囲から好奇の目で見られたり、物珍しい存在としての扱いを受けたりするかもしれません。そのため人間関係がうまく築けなかったり、存在を無視されて誤解が生じたりと、不快な気持ちを味わうこともあるかもしれませんが、ほとんどは悪意のないものです。自分の国と文化に誇りをもって毅然とした態度で臨みましょう。

■ 法律・条例

改めて言うまでもなく、留学先の国や地域は日本とは異なる法律や条例で統治され、社会的秩序が保たれています。その際気をつけたいのは、法律もまたその国の文化によって規定されているため、日本国内では当たり前で合法的な言動が、海外では非合法となる場合もあるということです。例えば、日本では20歳になると飲酒ができますが、アメリカでは21歳で、しかも州により詳細は異なります。日本の常識は海外の常識ではありません。

その国の法律や条例についての基本的な知識を得るといのは、実は大変重要なことなのです。メディアで問題視された日本人学生の世界遺産の建造物への落書きなども、こうした自覚に欠けた軽率な行為と言えます。

事故や事件を引き起こしたり巻き込まれたりしたとき、鍵を握るのは現地の法律です。万一、現地の法律や条例を犯してしまい、現地警察に逮捕・連行されるような事態に陥った時は、速やかに日本大使館や領事館と連絡を取り、弁護士を紹介してもらうなど法的な対応や適切な助言を得ることが大切です。ただし、在外公館ができることは国によってはかなり限定される場合もあります。

また、留学先機関の学則や懲罰規程なども日本の大学とは異なります。自分の留学先の規程には必ず目を通しましょう。

■ 逮捕・誤認逮捕

海外滞在中に警察に連行されたり逮捕されたりした時は、弁護人や通訳の要請を最優先に行いましょう。最初に、在留邦人の安全を主要任務としている大使館・領事館等の在外公館への連絡を要請し、領事等との面会を求め、家族・大学等への連絡支援を依頼しましょう。また、万が一差別的・非人道的な扱いを受けた時は、関係当局に改善の要求をしなくてはなりません。

■ 銃とキャンパス内の安全対策

日本でもしばしば報道されているように、北米諸国では一般市民が銃を所持する割合が高く、特にアメリカでは銃関連の犯罪が多発しています。日本とは異なり、銃犯罪は身近な問題になりえるということを認識しましょう。

危機意識の持ち方は大学生活においても同様です。アメリカの大学の多くは銃規制に関する方針（Firearms Policy）を設けていますが、許可制や登録制により大学構内に銃を持ち込むことが可能な大学も少なくありません。アメリカの大学のHPには、University PoliceやSecurity Office等の部署が独自のページを設けていて、キャンパスやその周辺の治安の確認や、犯罪関連の情報収集ができるようになっています。必ず目を通して、万が一学内で銃犯罪が起こった時にはどのように対応すればよいのか、確認しておくことが大切です。

アメリカの場合、ほとんどの大学では24時間体制の警備を行っていますので、何かあった時に助けを求められるように、場所や連絡先を確認しておきましょう。また、授業が始まると夜遅くまで図書館で勉強することもあるでしょうが、夜間の移動等には、Campus EscortやSafe Walk等のサービスがある場合、活用するようにしましょう。

■ 性暴力

統計調査等で、欧米諸国の大学のキャンパスやキャンパス周辺で性暴力に関する事件が予想以上に多いことが報告されています。このような強姦や性暴力といった痛ましい事件は、特にパーティやデートなどで飲酒した後に発生しやすいようです。望まないときにはNO!ときっぱりとした意思表示をすること。それが被害を防ぐ第一の対策です。

アメリカやカナダの大学では、University PoliceやSecurity Officerなどが24時間体制で警備を行っていますし、いざという時に助けを求められる緊急電話（Emergency Phone）が大学構内に設置されていますので、必ず場所を確認しておきましょう。被害を防ぎ自分の身を守るためには、これら緊急時のサポート制度や対策を最大限活用することが大切です。

■ Date Rape Drugに要注意！

海外で多発して社会問題になっている事件のひとつに、Date Rape Drugという薬物をアルコールやジュースに混入し、昏睡状態に陥らせて暴行におよぶというのがあります。自分の身を守るのは自分自身であることを十分認識し、対策を講じてください。信用できない人とは飲食をともにしない、信頼の置ける友人と席をともにする、他人から飲み物をもらわない、店で注文した飲み物は自分でグラスを受け取る、グラスに飲み物が入っている間は席を外さない、などを心がけましょう。

■ 政治関連

政治問題や社会制度等について議論や意見を交わすことは、語学力はもとより情報収集力や思考能力を伸ばす上でも格好の学習機会といえます。しかし、過度の議論や過激な応酬に発展しそうな場合にはクールダウンが必要です。国によっては、熱がこもりすぎてデモや暴動が発生してしまうことも全くないとはいえません。デモや情宣活動など過激な政治行動に不用意に参加したり、興味本位で近づいたりしないようにしましょう。歴史や領土等に関わる微妙な問題について、迂闊に人を刺激するような言動は慎むのが賢明です。特に政治的衝突やその影響とみられる事件・事案が生じている場合には、たとえ意見を求められたとしても、よくわからないまま、安易に意見を述べることをないように注意しましょう。

■ テロ被害に遭わないために

世界各国でテロ事件が多発しています。特に最近の傾向として、ソフトターゲット（民間人）に対するテロが増加しています。外務省「海外安全ホームページ」等で現地情報を確認し、「狙われやすい人、場所、日時」の情報を収集し、危険回避に努めてください。最終的には、個人による「予防」と「対処」が不可欠です。

・事前対策

- ①人混みを避ける（観光地、宗教施設、ホテルロビーなど）。目立つ服装を避ける。
- ②イヤホン等で外部の音を遮断しない。
- ③レストラン等では、出入口付近やガラス面の近くを避け、入口を見通せる奥の壁際か柱の近くに席をとる。

・もしテロに遭遇した場合 →発生から10分が勝負

- ①爆発音・銃撃音が聞こえたら、直ちに伏せる。
- ②頑丈な物陰に隠れる。
- ③できるだけ速やかに現場から離れ、近寄らない。
- ④避難する時間がない時は、隠れる。
- ⑤群衆パニックに巻き込まれない。冷静に。
- ⑥安全な場所に移動できたら、体に異常がないかを確認。

【爆発テロの場合】

- ①カバン等で頭部を保護し、姿勢を低くして現場を離れる。
- ②複数の爆発物が仕掛けられている可能性に注意。

【銃撃事件の場合】

- ①低い姿勢で、ジグザグに逃げる。
- ②不用意に動く狙われるので、目立たない、叫ばない。
- ③落ち着いたら、スマートフォン、携帯電話の電源を切る。

安全な場所に移動できたら、速やかに自宅および本学国際交流センターに状況報告をお願いします。事態の重大性によっては、留学の中止、帰国等の措置をとりますので、大学の指示に従ってください。

■ 自然災害

自然災害には、地震、津波、噴火、暴風雨、洪水、ハリケーン、竜巻、異常気象（猛暑、豪雨、豪雪）などがあります。特に地震や竜巻等、予測が難しい自然災害では、一瞬の判断の誤りが確実に生命に関わります。留学先の国や地域でどのような種類の自然災害が起きやすいか、いざという時はどうしたらよいかを入念に調べておき、事前の心構えを忘れないようにしましょう。暴風雨など、ある程度の予測ができるものに対しては、対処の仕方を周りに確認しておくことで安心です。また、災害発生後は衛生状態が悪くなるのが考えられるので、健康状態に留意してください。

■被害に遭ってしまったら

強盗や引ったくりに出くわした際に抵抗すると、命を失う危険もあります。むやみに抵抗しないでください。被害に遭ったら直ちに警察に届けましょう。後日、海外旅行保険の保険金請求に必要となるため、現地の警察から Damage Report / Police Report（被害届／事故調書）等を必ずもらっておいてください。

軽いケガだと思っても、思わぬ後遺障害により保険金を請求する時のためにも、必ず病院へ行き、診断書を出してもらってください。

被害に遭うと、気が動転して後の対処を怠ってしまうことがあります。警察への届け出、保険金請求の準備、パスポートや航空券などが盗まれた場合の再発行手続き、クレジットカード等が盗まれた場合のカード会社への連絡等、対応を迅速かつ適切に行ってください。

なお、本学指定で加入する「海外留学生トータルサポートサービス」に連絡すれば、必要な手続きについて日本語で説明を受けられます（24時間365日対応）。

■最悪の事態への対応

海外滞在中に死亡例が発生する可能性も全くないとは言い切れません。万が一、このような緊急事態が発生した場合、本学では第一報を入手し次第、緊急対策本部を設け、事実や身元の確認および事故処理等に最大限の努力を注ぎます。

本学では第一に在外公館の支援のもと、ご家族や関係者との連絡、遺体の荼毘あるいは日本への搬送等に関する手続き等、事故対応に最善を尽くします。

■メディアへの対応

獨協大学の学生が、本学が企画する留学で海外滞在中に事件・事故等に遭遇し、メディアからの取材を受ける場合は、基本的には本学の緊急対策本部が対応窓口となります。取材については、個人情報の取り扱いや提供情報の内容を詳細に確認した上で、本学が慎重かつ適切に対応します。

海外渡航時に役立つサイト

		ホームページ		海外安全ホームページ	
		海外安全	外務省		https://www.mofa.go.jp/mofaj/index.html
渡航3ヶ月未満の方 たびレジ (海外安全情報無料配信サービス)	渡航3ヶ月以上の方 ORRネット (オンライン在留届)			海外安全アプリダウンロード	
				for iPhone	for Android
					
NHKワールド・ラジオ日本	短波放送の受信方法・周波数		https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/howto/		
健康・衛生	WHO	世界保健機関		https://www.who.int/	
	厚生労働省	新型コロナウイルス感染症について		https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html	
		検疫所FORTH 海外で健康に過ごすために		https://www.forth.go.jp	
外務省	世界の医療事情		https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/		
日本国 在外公館 および 窓口機関	ドイツ	在ドイツ日本国大使館		https://www.de.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html	
	スイス	在スイス日本国大使館		https://www.ch.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html	
	アメリカ	在アメリカ合衆国日本国大使館		https://www.us.emb-japan.go.jp	
	英国	在英国日本国大使館		https://www.uk.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html	
	カナダ	在カナダ日本国大使館		https://www.ca.emb-japan.go.jp	
	ジャマイカ	在ジャマイカ日本国大使館		https://www.jamaica.emb-japan.go.jp	
	オーストラリア	在オーストラリア日本国大使館		https://www.au.emb-japan.go.jp	
	インドネシア	在インドネシア日本国大使館		https://www.id.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/	
	トルコ	在トルコ日本国大使館		https://www.tr.emb-japan.go.jp	
	チェコ	在チェコ共和国日本国大使館		https://www.cz.emb-japan.go.jp	
	ポーランド	在ポーランド日本国大使館		https://www.pl.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html	
	ウズベキスタン	在ウズベキスタン日本国大使館		https://www.uz.emb-japan.go.jp	
	フランス	在仏日本国大使館		https://www.fr.emb-japan.go.jp	
	スペイン	在スペイン日本国大使館		https://www.es.emb-japan.go.jp	
	メキシコ	在メキシコ日本国大使館		https://www.mx.emb-japan.go.jp	
	中国	在中国日本国大使館		https://www.cn.emb-japan.go.jp	
	台湾	(公財) 日本台湾交流協会		https://www.koryu.or.jp	
	韓国	在大韓民国日本国大使館		https://www.kr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/	
	国・地域別 観光サイト	ドイツ	ドイツ政府観光局		https://www.germany.travel/en/home.html
スイス		スイス政府観光局		https://www.myswitzerland.com/ja/	
アメリカ		GoUSA		https://www.gousa.jp	
英国		英国政府観光庁		https://www.visitbritain.com/jp	
カナダ		カナダ観光局		https://jp-keepexploring.canada.travel	
ジャマイカ		Visit Jamaica		https://www.visitjamaica.com	
オーストラリア		オーストラリア政府観光局		https://www.australia.com/ja-jp	
インドネシア		Visit Indonesia		https://www.visitindonesia.jp	
トルコ		Go Turkiye		https://goturkiye.com	
チェコ		チェコ政府観光局		https://www.visitczechrepublic.com/ja-JP	
ポーランド		ポーランド政府観光局		https://www.poland.travel/ja	
ウズベキスタン		Uzbekistan.travel		https://uzbekistan.travel/en/	
フランス		フランス観光開発機構		https://www.france.fr/ja/	
スペイン		スペイン政府観光局		https://www.spain.info	
メキシコ		Visit Mexico		https://visitmexico.com	
中国		中国駐東京観光代表処		http://www.cnto-tokyo.jp	
台湾		台湾観光協会		https://jp.taiwan.net.tw	
韓国	韓国観光公社		http://japanese.visitkorea.or.kr		



就職活動

<キャリアセンター>

Job Hunting

留学と就職



就職活動のグローバル化

グローバル化がますます加速するなか、企業は生き残りを賭け、海外経験豊かな学生の採用を重視しています。海外で事業展開している日本企業のなかには、国内の人材だけではなく、海外拠点での現地採用や、海外の大学に留学中の学生に内定を出すなどの「グローバル採用」を行う企業が増えています。

海外に市場を持つか否かにかかわらず、国籍を問わず優秀な人材を採用したい、外国人を採用することで社内を活性化させたいという目的でグローバル採用を実施する企業も増えています。企業だけでなく公共団体等にも、同様の動きは広がっています。今や外国人の学生も日本人にまじって就職活動をするなど、“就職活動のグローバル化”は、すでに当たり前になっているのです。グローバル人材とは、単に外国語のスキルをもつだけではなく、世界の激しい変化にも対応できる「しなやかさと逞しさ」をもち、それらをビジネスの現場で発揮できる人材をさします。海外留学は、グローバル人材になるための“はじめの一歩”だと言えるでしょう。留学先では、日本とは異なる社会の在り方や文化の違いを、自分の目で確かめ、考え、貪欲に吸収してください。そして、留学先で得た知識や出会いを通じて、自分の将来を考え、どうすれば社会に貢献できるかを、じっくり考えてください。



留学経験を就職活動に生かすために

「留学すると就職活動に不利ですか?」という質問をよく受けます。確かに、留学中は企業訪問や会社説明会に直接出席できない等の地理的な問題はありますが、海外でもグローバル採用の説明会が開催されていたり、WEBでの説明会や選考を実施する企業も増えています。また、帰国時期がエントリー時期に間に合わなくても、留学先でインターネットを駆使して情報を収集し、企業にアプローチする学生もいます。一方、就職活動にとらわれず、留學生生活を優先させる学生もいます。いずれも、自分が留学で得たものを採用担当者にしっかり説明できるようになってほしいと思います。ただ海外にいたというだけでは、就職に有利にはなりません。留学して自分がどう変わり、成長したのかを客観的に見つめ直す視点をもってください。

2027年4月採用(現大学4年生)は、会社説明会等の広報活動開始時期が3年生の3月1日以降、選考活動(面接など)が4年生の6月1日以降とされていますが、実際は早期化(3年生の夏休みごろ)しています。留学を思い当たったら早い段階からキャリアセンターにも相談し、就職に関する状況を理解した上で留学計画を立てましょう。



キャリアセンターによる「留学希望者のための就職ガイダンス」

キャリアセンターでは、留学を希望する学生を主対象とする「留学希望者のための就職ガイダンス」を開催(4/22予定・アーカイブ有)し、留学の経験をどう活かせるか、出発前の注意事項、留学中にすべきこと等を説明しています。また、留学中でもキャリアスUCを活用して就職活動の準備が可能です。キャリアスUCで進路希望登録を行い、適宜キャリアセンターからの情報を確認してください。大学に届く求人情報もキャリアスUCから確認できます。現在、オンラインでのWEB相談も受け付けていますので、不安なことがあれば予約してご利用ください。大学のキャリアセンターに送られてくる求人票は、獨協大生を積極的に採用しようとする企業からの求人ですが、帰国留學生の採用を別枠で、あるいは通年で実施する企業が増えています。帰国留學生の就職活動のチャンスは広がっています。

皆さんが充実した留學生を送り、その経験を自分のキャリアに活かすことができるよう、キャリアセンターは国際交流センターとともにサポートいたします。

〔キャリアセンターメールアドレス〕shuushoku@stf.dokkyo.ac.jp



キャリアスUC

長期留学した学生の主な進路一覧

長期留学した学生の主な進路一覧（過去5年）

留学年度	ドイツ語圏	英語圏	フランス語圏	中国語圏/韓国語圏/スペイン語圏 ★は韓国語圏 ☆はスペイン語圏
2024年度	東芝ライフスタイル(株) キンドリルジャパン・テクノロジーサービス(株) デジタルデータソリューション(株) フェデラルエクスプレスジャパン(同) (株)りそなホールディングス	(株)マスタック 日本通運(株) 鴻池運輸(株) 全日本空輸(株)	(株)サイサン (株)トッパントラベルサービス インバウンドテクノロジー(株)	全日本空輸(株) 日産トレーディング(株)☆ クラブツーリズム(株)★
2023年度	(株)テラスカイ 全日本空輸(株) (株)ファーストリテイリング	(株)ジャムコ 日工(株) 日本製図器工業(株) (株)NHKグローバルメディアサービス 全日本空輸(株) 郵船ロジスティクス(株) 日通NECロジスティクス(株) 住友商事パワー & モビリティ(株) 西本Wismettacホールディングス(株) 山本通産(株) 岡三証券(株) PwCコンサルティング(同) チリツ・カルト・プロパティ・マネジメント・カンパニー(株) 近畿日本ツーリスト(株) (株)JTB (株)東京早稲田外国語学校 中学校教員(三重県)	(株)ティー・アイ・シー (株)日本総合研究所 国際空港上屋(株) 双日食料(株) (株)ファーストリテイリング (株)帝国ホテル (株)農協観光	(株)エンプラス★ (株)ユニシス 日本航空(株) ANAエアポートサービス(株)☆ 羽田空港サービス(株)★ (株)ファーストリテイリング☆ (株)あらた★ (株)NAAリテイリング★ ユアサ商事(株) (株)京王プラザホテル★ (学)獨協学園 獨協医科大学
2022年度	日工(株) 全日本空輸(株) 日本通運(株) 東京都医業保険組合	(株)T&K TOKA ルネサスエレクトロニクス(株) 日本電波工業(株) (株)時事通信社 キャセイパシフィック航空 全日本空輸(株) 日本航空(株) パシフィックセンチュリーホテル(株) (株)ミリアルリゾートホテルズ (株)森ビルホスピタリティコーポレーション KNT-CTホールディングス(株) (財)海外産業人材育成協会 地方公務員(長野県・市町村)	(株)サラダクラブ クリスチャンディオール(同) (株)成城石井 RIMOWA JAPAN(株) 三菱地所ホテルズ&リゾーツ(株) (株)JTBグローバルマーケティング&トラベル	古河電気工業(株)☆ (株)韓進インターナショナルジャパン★ (株)近鉄エクスプレス☆ (株)日新★ 羽田空港国際旅客サービス(株)★ 双日食料(株)☆ (株)タウ★ (株)良品計画☆ 三井住友ファイナンス&リース(株)☆ クラブツーリズム(株) NAAセーフティサポート(株)★ 郵船コーディアルサービス(株)☆ 長野県人事委員会★
2021年度		(株)ヨコソー イースタン・カーライナー(株) (公財)日本英語検定協会	(株)JALスカイ	日鉄物流(株)☆ アサヒグループホールディングス(株) (一社)国際交流サービス協会☆
2020年度	富士フイルムロジスティクス(株)	日本通運(株)	(株)三井不動産ホテルマネジメント	(株)アダストリア★ 地方公務員(茨城県・市町村)★

「留学年度別」のデータのため、卒業年度に達していない学生の進路情報は含まれません。

言語文化学科 2026年3月卒業 N. K.

留 学 先：キャンベルズビル大学（アメリカ）

留学期間：2023年8月～2024年5月（認定留学）

就 職 先：ANA（全日本空輸株式会社）

私は多くの学生が就職活動を始める3年生の秋学期から4年生の春学期にかけて約1年間アメリカに留学していました。私が日本に帰国したのは5月の中旬です。

留学をする前は、同級生が就職活動やインターンを始める時期に留学に行くからと就職活動やインターンを全くしていないことに不安を感じましたが、私は卒業を1年延ばすことを決めました。理由は2つあり、一つめは、留学中は留学に専念したかったからです。時期的には、アメリカで就職活動を始め、日本で最終選考や面接を受けるということもできました。しかし、せっかく留学をしているのであれば、現地でしかできないことをやりたいという気持ちが強くありました。二つめは、希望する業界の幅を狭めたくなかったからです。一次面接や二次面接は主にオンラインでの実施が多かったのですが、私が日本に帰国する頃に面接を実施している企業を最初から絞ってしまうと業界や企業の選択肢を減らすことになってしまいます。帰国後に幅広く色々な業界を受けたいという思いがあり、卒業時期を延ばし、私は帰国後、秋学期になってから就職活動を本格的に始めました。

この決断は結果的にとても良かったと感じています。企業の選択肢を多く持ちながら就職活動を行うことができること、同じ時期に就職活動を行っている仲の良い友人と励まし合うことができること、先に就職活動を終えた同級生からアドバイスを沢山貰えることなど多くのメリットがありました。また、留学に専念した結果、さまざまなことを体験することができ、その体験談を留学のエピソードとして就職活動の面接やエントリーシートなどで活かすことができました。しかし、中にはどうして卒業を1年延ばす必要があったのかと質問する企業もあったため、しっかりと自分なりの答えを持つ必要があると思います。

また、認定留学で留学をし、卒業単位を超えて単位を取ることができたため、単位のことを心配することなく、就職活動に集中することもできました。

業界を考える際、私は留学で学んだ言語を活かすだけではなく、さまざまな国の人とかわかり、私が行ったサービスで多くの人を笑顔にしたいという思いから、最終的には、航空業界とホテル業界に絞って就職活動を行いました。

私が内定を頂くことができた航空業界は、留学やワーキングホリデーなど海外経験が多い方がたくさんいます。また、TOEICなどのスコアが満点に近い方やスコアが高い方も多くいます。だからこそ、他の方と差をつけるために自分にしかない強みやエピソードを話し、面接官の方に興味を持ってもらうことが大切だと思います。なかなか自分にしかない強みやエピソードに気づくことは難しいと思います。私はキャリアセンターをよく利用し、相談や面接対策、エントリーシートを添削してもらったことで、私自身にしかない留学でのエピソードや私の強みに気づくことができました。加えて、就職活動を行う中で抱いた小さな不安も相談し、悩みを聞いてもらうようにしました。そうすることで少しでも就職活動への精神的負担を減らすことができたと感じました。

いつの時期から留学しようか、同年代の学生たちが就職活動を行う中で留学していても大丈夫なのかと不安を抱えている人も多いと思います。就職活動や留学に対してネガティブに考えるのではなく、就職活動の準備が他の方より長く準備できるとポジティブに考え、その時にしか体験できないこと、自分がやりたいことを行うことが大切だと思います。また、留学を考えている方の中には、航空業界やホテル業界などを目指している方も多くいますので、私の経験談が少しでも皆さんのお役に立つと幸いです。

フランス語学科 2025年9月卒業 M. T.

留 学 先：リュミエール・リヨン第2大学（フランス）

留学期間：2023年9月～2024年6月（交換留学）

就 職 先：株式会社ファーストリテイリング

私は3年の秋学期から2学期間、フランスでの留学を経験しました。4年の夏頃に帰国し後期は休学を選択、翌年度の春学期から復学し9月に卒業しました。交換留学プログラムだったため4年間で卒業することも可能でしたが、帰国した時点でまわりは既に就職活動を終えている人が多く、志望する業界の企業のほとんどが募集を締め切っている状態だったため、半期休学して卒業時期をずらし、就職活動自体を1年かけて行う選択をしました。不安もありましたが、就職活動は焦って他の人と合わせようとしてもうまくいかないので、自分のペースで進めたことは良い決断だったと思っています。

夏頃の帰国後にまずしたことは、合同企業説明会に参加したり気になる企業を調べたりして、とにかく情報を集めました。私は、留学期間中は語学に集中するために現地で就職活動はしていませんでした。しかし、どのような企業や職種があるかをある程度調べることはできたと今では思います。帰国してほぼゼロからのスタートだったので、より多くの企業を知ることから始め、インターンシップや本選考の日程などを抑えておおまかなスケジュールを把握しました。それと並行する形で自己分析を進め、自己PRやES作成に向けて準備をしました。

秋から冬にかけては少しずつ志望業界を定め、インターンシップにエントリーし3社ほど参加しました。ここでは本選考前のESの書き方や面接、グループディスカッションなどの練習を兼ねて、できるだけ多くの企業にエントリーしました。私はこの時期あたりからキャリアセンターを積極的に活用しました。キャリアセンターでは、就活全般における相談や面接練習、ES添削などを助けていただきました。過去に留学した先輩方がどのように就職活動を進めていたかを調べたり、機会があればOB・OGの方に実際に連絡を取って訪問したりすることができます。また、大学のイベントで就職活動におけるマナー講座やOB・OGの方々から自己PRを添削してもらったりセミナーなどに参加し、本選考に向けた練習を重ねました。

年が明けて本格的に早期選考や本選考エントリーが始まりました。実際に私がエントリーシートに記入していたこととして、留学でのエピソードやアルバイトのことを記入していました。ここで大切なのは、何をしたかというよりも、困難や苦勞に直面した時にどう乗り越えたか、他の人と何かを成し遂げるためにどう協力し、自分自身はどう行動したか、ということです。特に留学を経験するみなさんは、慣れない環境の中で目標に向かって努力する、言語や文化の壁を超えて多くの人とかがかわるなど、アピールに繋がる要素がたくさんあると思います。自分がどんなことをしたか、留学後に細かく思い出してみてください。

最後に、就職活動はまわりの人とどうしても比較してしまいがちですが、初めにも述べたように焦っても決まらずうまくいきません。就職活動に正解はないので、先輩や先生方、キャリアセンターのスタッフの方などを頼りながら、自分のペースで進めて欲しいです。そして、留学に行くからにはあまり先の就職活動などに強く縛られすぎずに、ぜひその場その時を全力で楽しみ、たくさんのことを学んでください。そこで経験したことが、今後の進路への強みに自然と変わっていくと思います。

留学から就職活動にかけて長期戦にはなりますが、体調に気をつけて頑張ってください。これを読んでくださっているみなさんが納得する結果を出せるよう、応援しております。



留学統計資料 (過去5年)

Statistical Data

※2019～2022年度については新型コロナウイルス感染症の影響により、留学の中止・延期が生じています。

■交換留学生数

国・地域名	留学先大学	2021		2022		2023		2024		2025		過去5年間合計		大学別計	国・地域別計
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春学期	秋学期		
ドイツ	イエーナ大学							1		1		2		2	50(4)
	デュースブルク=エッセン大学			2		1				1	1(1)	2	3(1)	5(1)	
	デュッセルドルフ大学						1						1	1	
	ハイデルベルク大学			1	1	1	1	1	1	1	1	4	4	8	
	ハレ=ヴィッテンベルク大学									2		2		2	
	ヒルデスハイム大学	1	1				1			1		2	2	4	
	フランクフルト大学										2		2	2	
	ブレーメン専門単科大学		1		1	1	1		1		1	1	5	6	
	ベルリン自由大学			1	1	1	1		1			2	3	5	
	マールブルク大学								1	2	3(1)	2	4(1)	6(1)	
	ミュンスター大学													0	
	リューネブルク大学					1	1(1)					1	1(1)	2(1)	
レーゲンスブルク大学		1	1		1	1(1)	1		2		5	2(1)	7(1)		
スイス	バーゼル大学									1		1		1	1(0)
アメリカ	ウィスコンシン大学スティープス・ポイント校		2		2		3		2(1)		1		10(1)	10(1)	13(1)
	カリフォルニア大学デービス校		1										1	1	
	カリフォルニア州立大学モントレー・ベイ校								2				2	2	
	サンフランシスコ州立大学													0	
英国	エセックス大学		1				1		1		1		4	4	19(0)
	カーディフ大学								1		1		2	2	
	ニューカッスル大学		1		3		1		3		3		11	11	
	マンチェスター大学				2								2	2	
カナダ	ヨーク大学				1				1		1		3	3	3(0)
ジャマイカ	西インド諸島大学モナ校													0	0(0)
オーストラリア	ウーロンゴン大学			1		2		2(1)		1		6(1)		6(1)	7(1)
	サザンクロス大学									1		1		1	
チェコ	マサリク大学		2			1(1)	2		2(1)	1		2(1)	6(1)	8(2)	8(2)
インドネシア	ピヌス大学						1						1	1	1(0)
フランス	西部カトリック大学		1	5(2)	3(1)	2	2	4(1)	4(1)	1(1)	2	12(4)	12(2)	24(6)	38(10)
	マリ・エ・ド・バスター大学 (旧フランス・コンテ)				2						1		3	3	
	リュミエール・リヨン第2大学						3		2(1)	3(1)	3(2)	3(1)	8(3)	11(4)	
スペイン	バルセロナ自治大学		1	1	2		2		2		2(1)	1	9(1)	10(1)	19(2)
	マラガ大学		3(1)		2				2		2		9(1)	9(1)	
メキシコ	グアダラハラ大学		1		3		2		3		1		10	10	10(0)
中国	華東師範大学									1	1	1	1	2	5(1)
	大連理工大学		1		1(1)						1		3(1)	3(1)	
	北京師範大学													0	
台湾	東呉大学				2	2	1			1	2	4	6	6(0)	
韓国	仁荷(イナ)大学		2	2	1		1(1)			2		4	4(1)	8(1)	40(10)
	慶熙(キョンヒ)大学			4		4(1)		3		1	2	12(1)	2	14(1)	
	建国(コングク)大学		1	2	1(1)	4(3)	1(1)	2(1)	1		2(2)	8(4)	6(4)	14(8)	
	西江(ソガン)大学										1		1	1	
	誠信(ソンシン)大学						1						1	1	
	大邱(テグ)カトリック大学				1								1	1	
	延世(ヨンセ)大学		1										1	1	
小計		1	21(1)	18(2)	31(3)	21(5)	28(4)	14(3)	30(4)	22(2)	34(7)	76(12)	144(19)	220(31)	220(31)
合計			22(1)	49(5)	49(9)	44(7)	56(9)	220(31)							

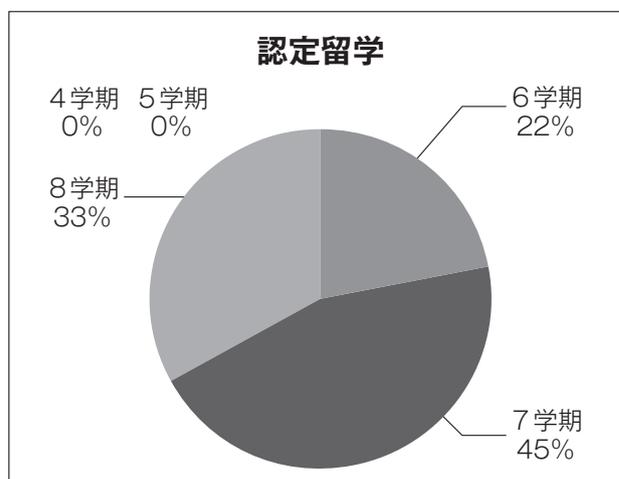
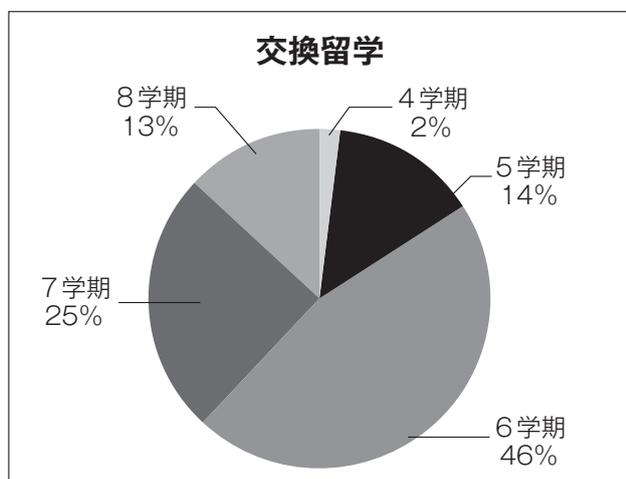
() 内は留学期間が半年の学生の内数

■ 認定留学生数

国・地域名	2021		2022		2023		2024		2025		過去5年間合計		合計
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春学期	秋学期	
ドイツ					1 (1)		1	1	1		3 (1)	1	4 (1)
アメリカ				11 (3)	2 (2)	7 (1)	1 (1)	4 (2)			3 (3)	22 (6)	25 (9)
英国													
カナダ													
オーストラリア					1 (1)	2 (2)	2 (1)	1 (1)		2 (2)	3 (2)	5 (5)	8 (7)
ニュージーランド													
アイルランド													
ハンガリー							1 (1)				1 (1)		1 (1)
チェコ						1 (1)		2				3 (1)	3 (1)
エストニア													
リトアニア													
フィンランド													
イタリア													
マレーシア					1						1		1
フランス				1 (1)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (1)	4 (4)	7 (5)	11 (9)
スペイン							1				1		1
メキシコ													
チリ													
中国										1 (1)		1 (1)	1 (1)
台湾				1	1 (1)	1 (1)	3 (3)				4 (4)	2 (1)	6 (5)
韓国						2 (2)		1 (1)	1 (1)		1 (1)	3 (3)	4 (4)
小計				13 (4)	7 (6)	15 (8)	10 (7)	11 (6)	4 (3)	5 (4)	21 (16)	44 (22)	65 (38)
合計				13 (4)		22 (14)		21 (13)		9 (7)		65 (38)	

() 内は留学期間が半年の学生の内数

■ 長期留学開始学期 (2025年度参考)



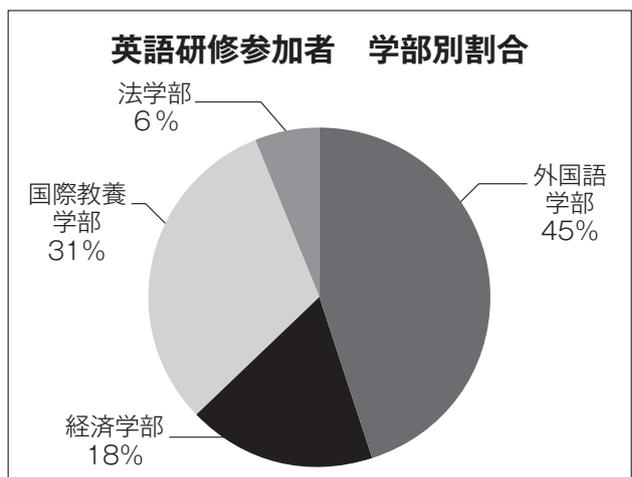
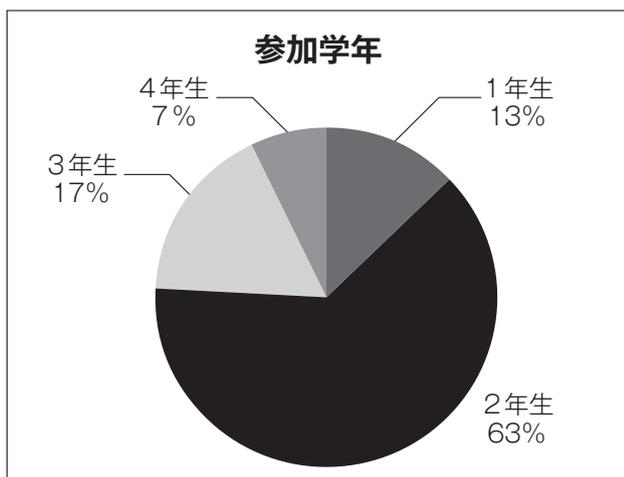
■短期協定校留学参加者数

国・地域名	留学先大学	2021	2022	2023	2024	2025	合計	
ドイツ	ハレ=ヴィッテンベルク大学	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	4	15	15	15	49	
アメリカ	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校							0
	カリフォルニア大学デービス校							0
カナダ	ヨーク大学		30	28	18	16	92	
	レジャイナ大学		8	27	30	24	89	
オーストラリア	ウーロンゴン大学			30	23	19	72	
フランス	マリ=エ=ルイ=バスターク大学 (旧フランシュ=コンテ大学)				17	14	31	
	ブルゴ=ニュー大学			14			14	
スペイン	マラガ大学		16	9	中止		25	
メキシコ	グアダラハラ大学						中止	0
中国	大連理工大学							0
台湾	東呉大学		2	中止	6	8	16	
韓国	建国 (コングク) 大学							0
	慶熙 (キョンヒ) 大学		2	10	10	8	30	
日本	テンブル大学ジャパンキャンパス (海外渡航なし)					2		2
合計				62	133	121	104	420

■短期認定留学参加者数

国・地域名	2021		2022		2023		2024		2025		合計		国・地域別			
	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春				
ドイツ					2	4	9	3	11	7	18					
アメリカ	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	7	4	11	4	2	1		9	20	29			
アイルランド															0	
英国							12	11	23	14	8	15	43	40	83	
カナダ															0	
オーストラリア															0	
ニュージーランド							12		9	7	10	9	31	16	47	
フィリピン							7	3	3	4	5	2	6	9	21	30
マレーシア																0
フランス												6		6		6
スペイン								2				4		6		6
中国																0
韓国																0
合計						14	31	25	44	32	34	39	109	110	219	
				14	56	76	73	219								

■短期留学（協定校・認定）参加者データ（2025年度参考）



滞在先の緊急連絡先（留学する際に記入し、活用してください）

連絡先	施設名／住所／担当者名	電話番号／URL／メールアドレス
留学先大学		
受入担当部署		
カウンセリング		
セキュリティー		
保健センター		
その他		
滞在先		
ホテル		
アパート・寮・ ホストファミリー		
現地緊急連絡先		
日本大使館 領事館		
警察		
病院		
消防		
海外留学生 トータルサポート サービス	海外危機管理サポートデスク	

獨協大学 緊急連絡先

連絡先	施設名／住所／担当者名	電話番号／URL／メールアドレス
獨協大学	〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1	https://www.dokkyo.ac.jp/ https://www.dokkyo.ac.jp/international/
	国際交流センター	+81-48-946-1918 a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp
	学生課	+81-48-946-1671
	保健センター	+81-48-946-1944
	カウンセリング・センター	+81-48-946-1931
通常業務時間：月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00 ※一斉休業時や上記業務時間外の緊急連絡先：+81-48-946-1698（守衛所）		



留学ガイド 2026

獨協大学 国際交流センター

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号 TEL.048-946-1918 FAX.048-946-2892
E-mail a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp <https://www.dokkyo.ac.jp/international/>

